

取扱説明書 ブルーレイディスクレコーダー

品番 DMR-BRX6000
DMR-BRX4000
DMR-BRX2000

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。
(10～14ページ)

接続と設定を行う

お買い上げ時は、18ページ
詳しい接続・設定は、219ページ

ブルーレイディーガ
DIGA



BRX6000



BRX2000

BRX4000

視聴 ▶

チャンネル録画 ▶

通常録画 ▶

再生・編集 ▶

ダビング ▶

スカパー！プレミアムサービス ▶

CATV ▶

他機器からダビング
(ビエラ・ディーガなど) ▶

ビデオカメラ ▶

写真・音楽 ▶

便利機能 ▶

必要なとき ▶

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

「操作」についての

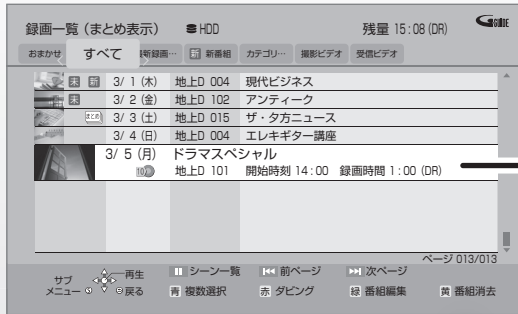
本書以外にも、目的別に以下のガイドで本機の操作をご案内しています。

1 機器操作は

表示中の画面で確認

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示、さらには補足説明などを確認できます。

例)操作できるボタンの表示



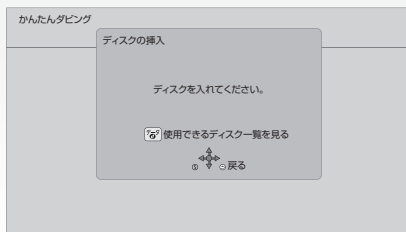
選択中の項目は黄色で表示

例えば、黄ボタンを押すと番組の消去ができます

基本的な操作は、リモコンの
[▲][▼][◀][▶]と[決定]を使います。



補足説明



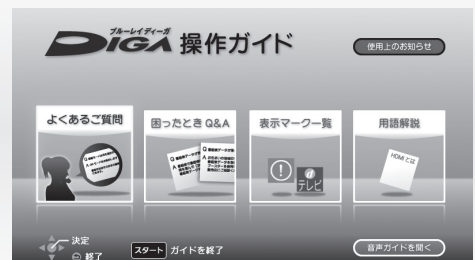
データ マークが付いた画面が表示されたとき
データ ボタンを押すと、
d 操作に対する補足説明が確認できます。

2 困ったときは

操作ガイド

困ったときの解決方法や、調べたい用語を確認できます。

- ① **スタート** を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す
- ③ 「設定する・その他の機能」を選び、**決定** を押す
- ④ 「操作ガイド」を選び、**決定** を押す



3 音声で案内

音声ガイド

機器の操作を音声や操作音で確認できます。

- ご使用になる場合は、初期設定「音声ガイド機能」を「入」に設定してください。(→190)



予約確認



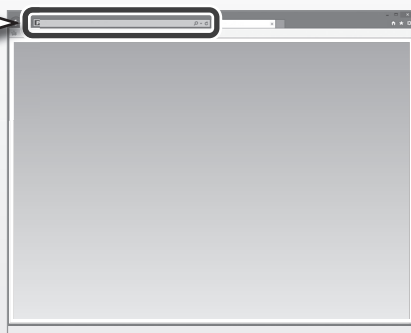
ボタンを3秒以上押すと、設定画面を直接表示することができます。

4 連携機器情報などの詳しい情報は

当社ホームページ

お持ちのパソコンからご覧ください。(本機からホームページをご覧になることはできません)

ブラウザのアドレスバーに
diga.jp と入力



本機を使用していただくための、サポート情報を掲載しています。

- 接続機器に合わせた“接続方法”や“基本の使い方”がわかる「使い方ナビゲーション」「つなぎ方ナビゲーション」
- 連携できる機器品番情報などを確認できる「動作確認情報一覧」
- 困ったときや、用語を調べたいときの「よくあるご質問」など

例えば…

使い方ナビゲーション



例えば…

動作確認情報一覧



ホームページの内容は、変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

本機の「特長」

チャンネル録画

▶ 49 ページ

お好きなチャンネルをまるごと録画できるので、見逃した番組やおもしろそうな番組を、あとから探してじっくりと見ることができます。

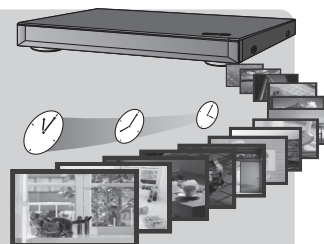
BRX6000 最大10チャンネルを約21日間まる録り※

BRX4000 最大6チャンネルを約36日間まる録り※

BRX2000 最大6チャンネルを約16日間まる録り※

※ 15倍録モード(約1.6 Mbps)記録時。

本機の安定性維持のため1日5分～60分程度のメンテナンス時間中は、チャンネル録画などの一部機能が使えません。
チャンネル録画用HDD容量が不足すると、古い番組から上書き消去します。



新着番組や好きな番組がすぐに見つかる

新着番組

▶ 38 ページ

新着番組画面で、録画された番組の中から、すぐに見たい番組やお気に入りの番組を確認できます。

再生メニュー

▶ 44 ページ

番組を視聴しながら見たい番組を探せます。

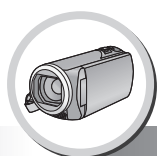


4Kアップコンバート出力対応

4Kダイレクトクロマアップコンバート (24p/30p出力) ▶ 105、196 ページ

24p/30p(4K)出力の機能を使って、プレミアム高画質で再生できます。

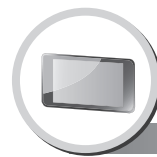
(4Kはアップコンバート出力対応です)



4K動画を保存・再生

見る/残す ▶ 91、135 ページ

撮影した4K動画の再生や取り込みをします。



番組をどこでも視聴

外からどこでもスマホで視聴 ▶ 204 ページ

録画した番組や放送中の番組をスマートフォンで見ることができます。

番組持ち出し ▶ 154 ページ

番組を携帯電話などのモバイル機器に持ち出します。



BRX6000 **BRX4000**

快適なリモコン操作

モーション操作 ▶ 36 ページ

モーションボタンを押してリモコンを上下左右に傾け、画面上のポイントを動かすことで、番組再生中でもチャンネル録画一覧などの番組を選んだりできます。

音声操作 ▶ 37 ページ

見たい番組を、音声ですばやく手軽に探すことができます。



ネットワークにつないで楽しむ

ネットワークに接続すると、いろいろな機能を利用することができます。

スカパー！プレミアム
サービス Link (録画)

▶ 126 ページ

お部屋ジャンプリンク
(DLNA)

▶ 168 ページ

ネットワークを
使ってダビング

▶ 132 ページ

インターネットサービス
を利用する

▶ 162 ページ

外からどこでもスマホで視聴

外出先から、番組の視聴や録画予約などができます。

詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/av/m_access/



ディモーラ/ミモーラ

▶ 42, 244 ページ

ディモーラやミモーラに会員登録すると、さらに便利な機能がご利用いただけます。

シーン再生

ディモーラから
のおすすめ

ニュース一覧

など

ディモーラやミモーラのサービスの詳細については、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック株式会社 テレビ番組情報ウェブサービス

ディモーラ : <http://dimora.jp/>

ミモーラ : <http://me-mora.jp/>



ネットワークに接続して利用できるその他の機能については、230 ページをご覧ください。

Panasonic
Smart
App

パナソニックスマートアプリについて

パナソニック商品を、スマートフォンで楽しく快適に使うための統合アプリです。

・機器操作、ディモーラ/ミモーラのサービスなども簡単に使えます。

パナソニックスマートアプリのダウンロード方法や使い方はこちら
<http://panasonic.jp/pss/ap/>



ご使用になる前に.....	15
●本書内のマーク表示について.....	16
●本書内のリモコンボタンの表示について ...	16
付属品.....	17
接続と設定を行ってください.....	18

接続と設定について詳しくは、以下をご覧ください。
詳しい接続と設定..... 219

接続

B-CAS（ビーカス）カードを	
挿入する.....	220
●B-CAS カードの契約について.....	221
テレビやアンテナと接続する.....	222
ビデオと接続する.....	227
アンプと接続する.....	228
●HDMI 端子で接続する.....	228
●デジタル音声端子で接続する.....	229
ネットワーク接続をする.....	230
●各機器と直接接続する.....	231
●ハブまたはブロードバンドルーターを 使って各機器と接続する.....	232
電源コードを接続する.....	235

設定

リモコン設定をする BRX6000 BRX4000	236
かんたん設置設定をする.....	237
リモコンのテレビ操作設定をする.....	239
かんたんチャンネル録画設定をする.....	241
かんたんネットワーク設定をする.....	242
●こんな画面が表示された場合.....	243

各部の働き.....	25
●本体前面.....	25
●本体背面.....	26
●リモコン.....	27
ディスク・SD カードを入れる.....	29
●ディスク.....	29
●SD カード.....	29
記録できるディスクについて.....	30
●どのディスクを選べば良いかわからない.....	32
●記録したディスクを他の機器で 再生するには？.....	33
HDD の領域について.....	34
操作の前に.....	35
●本機の映像をテレビに映す.....	35
●本機の電源を切る.....	35
●画面上の基本操作について.....	35
●モーション操作について BRX6000 BRX4000	36
●音声操作について BRX6000 BRX4000	37
新着番組画面について.....	38
●お気に入りの項目を変更する.....	39
スタート画面について.....	40
●スタート画面で表示できる機能.....	41
●お好みの表示に変更する.....	43
再生メニューについて.....	44

□ 視聴

テレビ放送を見る	46
●データ放送を見る	46
●その他の選局方法	46
●番組視聴中の便利な機能	47

📺 チャンネル録画 (録画・再生・保存・設定)

チャンネル録画について	49
チャンネル録画した番組を再生する	50
●チャンネル録画一覧の見方	51
チャンネル録画した番組を検索する	52
●検索機能を使って番組を探す	52
●番組検索したキーワードの履歴から番組を 探す	54
チャンネル録画した番組を保存する (ワンタッチ保存)	55
●ワンタッチ保存の確認、取り消し、修正など	57
チャンネル録画設定を変更する	58
●録画できるチャンネル数や 録画容量を増やす (追加チャンネル)	60

🕒 通常録画

放送中の番組を録画する	61
番組表の見方	62
番組表 (G ガイド) を使って 通常の予約録画をする	63
●番組表の表示設定	65
●詳細設定をする	67
●番組表での予約の取り消し / 修正	68
●録画中の予約録画を止める	68
●注目番組一覧から予約録画する	69
日時を指定して予約録画する (時間指定予約)	70
自動予約機能を使う	71
●おまかせ録画する	71
●おまかせ録画した番組を再生する	74
●関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリーまとめて予約)	75
●自動予約の確認、修正、登録の取り消し	76
●新番組を自動で予約録画する	77

検索機能を使う	78
●ジャンルや人名、ワードで検索する	78
●選択した番組から検索する	79
予約内容の確認、取り消し、修正など	80
予約録画の便利な機能	82
予約録画に関するお知らせ	83
多重音声の記録について	85
録画モードについて	86
番組の同時録画について	88
記録の制限について	89

📺 再生・編集

再生する	90
●通常録画した番組を再生する	90
●市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する	90
●撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を再生する	91
●HDD に取り込んだ撮影ビデオを再生する	92
●他の機器で作成したプレイリストの再生	92
●録画一覧について	93
● まとめ 番組について	97
●再生中のいろいろな操作	98
●3D 映像を楽しむ	101
●BD-Live 対応の BD ビデオや 副映像のある BD ビデオを楽しむには	102
●マスターグレードビデオコーディング 対応のディスクを楽しむ	102
●音声や字幕などの設定をする (再生設定)	103
通常録画した番組を検索する	107
番組を編集する	109
チャプターの作成・再生・編集	113
●チャプターマークを作成する / 削除する	113
●チャプターを再生・編集する	114
番組を消去する	115

(→ 次ページに続く)

ダビング

番組のダビングについて	116
番組をダビングする	118
•かんたんダビング	118
•詳細ダビング	120
•ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) をダビングする	122
•複数の音声や字幕情報の番組を DVD 画質でディスクにダビングする	124
ダビング時の動作について	125

スカパー！プレミアムサービス

スカパー！プレミアムサービス対応 チューナーから録画する	126
---------------------------------------	-----

CATV

CATV (ケーブルテレビ) から録画する ...	127
•ネットワークを使って予約する	128
•見ている番組を録画する	129
•i.LINK を使って予約する	129
•lr システムを使ってタイマー予約する	130
•外部入力から時間指定予約する	130

他機器からダビング

ビエラなどからダビングする	131
•ネットワークを使ってダビングする	132
•お引越しダビング	132
•i.LINK (TS) を使ってダビングする	134
•外部入力を使ってダビングする	134

ビデオカメラ

ビデオカメラから取り込む	135
•撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を 取り込む	136
•接続した機器を再生して取り込む	140
•ネットワークを使って取り込む (ダビング)	140

写真・音楽

写真を再生する	141
•おもいで再生をする	142
•写真再生のいろいろな機能	143

写真を整理する	144
写真を取り込む / 書き出す	145
•写真を取り込む	145
•写真を書き出す	146
音楽 CD を再生する	147
•音楽再生中のいろいろな操作	147

便利機能

写真や動画をネット送受信する	148
•ディーガなどの対応機器へ送信する	148
•ディーガなどの対応機器から受信する	150
•送受信の設定を確認・変更する	150
動くアルバムを楽しむ	151
•動くアルバムを作成する	151
•動くアルバムを再生・消去・ ダビングする	153
録画した番組をモバイル機器に持ち出す ...	154
•持ち出し番組を作成する	155
•ネットワーク経由で持ち出す (転送)	156
•SD/USB 経由で持ち出す (転送)	156
•転送した番組を確認・消去する	158
ビエラリンク (HDMI) を使う	159
インターネットサービスを利用する	162
•acTVila (アクトビラ) を利用する	162
•Netflix のサービスを利用する	164
•動画共有サイトなどのサービスを 利用する	164
自宅にあるパソコンで操作する	165
ドアホンやセンサーカメラから録画された 映像を再生する	166
•録画された映像を再生する	166
•録画された映像を編集する	167
お部屋ジャンプリンク (DLNA) を使う ...	168
•別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する)	168
•別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)	169

ファイル共有機能を使う.....	170
●パソコンから本機にデータを保存する.....	171
●保存した動画ファイル（MP4）や写真を 本機で再生する.....	171
●保存した動画ファイル（MP4）や写真を 録画一覧や写真一覧に取り込む.....	172
●ミュージックサーバー機能を利用する.....	173
マイメニューについて.....	174
●マイメニューを設定する.....	174
●マイメニューを使う.....	175

？ 必要なとき

本機で記録できるようにする （フォーマット）.....	176
ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去.....	178
ファイナライズ.....	179
文字入力.....	180
●文字パネルから文字入力する.....	180
●リモコンボタン方式で文字入力する.....	181
いろいろな情報を見る（メール / 情報）.....	183
放送設定を変える（放送設定）.....	184
●アンテナレベルを確認する.....	186
●受信アンテナ設定をする.....	186
●受信チャンネルを修正する.....	188
本機の設定を変える（初期設定）.....	190
●リモコン設定をする [BRX6000] [BRX4000].....	200
●リモコン設定をする [BRX2000].....	202
●ネットワーク連携する機器の設定をする.....	203
ソフトウェアの更新について.....	206
再生のみできるディスク / 使えないディスクについて.....	207
●再生のみできるディスク.....	207
●本機で使えないディスク.....	207
SD カードについて.....	208

別売の USB ハードディスク（USB-HDD） について.....	209
●推奨 USB-HDD について.....	209
●接続する.....	210
●チャンネル録画用フォーマット、 通常録画用フォーマットで使用する.....	211
●SeeQVault フォーマットで使用する.....	213
●取り外しについて.....	213
USB 機器について.....	214
●接続できる USB 機器について.....	214
●USB 機器を接続する.....	214
●取り外しについて.....	214
取り扱いについて.....	215
受信できるテレビ放送について.....	218
こんな表示が出たら.....	247
故障かな!?.....	249
仕様.....	253
同時操作について.....	264
●録画 / 予約録画中の同時操作.....	264
●ダビング中の同時操作.....	265
●本機を操作中のお部屋ジャンプリンク （DLNA）の同時操作.....	265
著作権など.....	266
保証とアフターサービス （よくお読みください）.....	268
さくいん.....	270

安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



電源プラグ
を抜く

異常があったときには、電源プラグを抜く

- ・煙が出たり、異常なおいや音がある
- ・映像や音声が出ないことがある
- ・内部に水や異物が入った
- ・電源プラグが異常に熱い
- ・本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

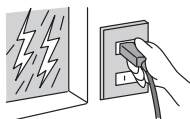
- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

警告

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

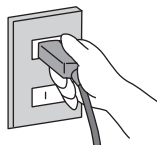


接触禁止



感電の原因になります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない
(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)



傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



ぬれ手禁止

感電の原因になります。

メモリーカードは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

- 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

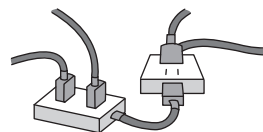
分解、改造をしない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

本機のイラスト(姿図)は、イメージイラストであり、ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますがご了承ください。

警告

電池は誤った使いかたをしない



- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 新・旧電池や違う種類の電池をいっしょに使わない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

- 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートによる火災の原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す



そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

次の安全上のご注意のリモコンについては、DMR-BRX6000、DMR-BRX4000でリモコンを無線方式にしてご使用時に適用されます。

心臓ペースメーカーを装着している方は本体やリモコンを装着部から22 cm以上離す



本体やリモコンからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない



本体やリモコンからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

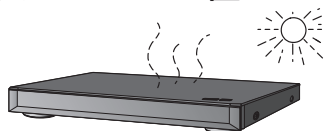
病院内や医療用電気機器のある場所で使用しない



本体やリモコンからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

⚠ 注意

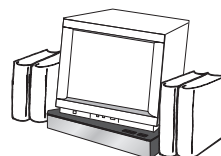
異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

放熱を妨げない



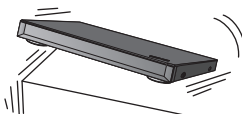
内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- 背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

不安定な場所に置かない



- 高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

⚠ 注意

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

- ディスクやSDカード、USB機器は、保護のため取り出しておいてください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す



液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

ディスプレイに指をはさまれないように注意する

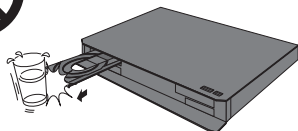


指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

機器の前に物を置かない



リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスプレイを開くことができますが、開いたときに、物に当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスプレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない



病状悪化の原因になることがあります。

3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる



長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする



お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいので、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する



そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D映像の見えかたには個人差がありますので、「3D設定」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

本機の設置について

- アンプなどの熱源となるものの上に置かない。
 - 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
 - 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
 - 不安定な場所に設置しない。
 - 重いものを上に載せない。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。



本機を廃棄 / 譲渡するときは

215 ページをご覧ください。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。詳しくは 162 ページをご覧ください。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

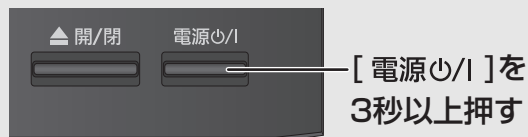
- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
 - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、電源を切ったまま放置してください。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機が操作を受け付けなくなったときは…



チャンネル録画は中断し、本機の電源が切れます。故障かな！？と思った場合 →249

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。

無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。

Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。

Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを（→○○）で示しています。
- 本書では、スタート画面などの操作はお買い上げ時の状態で説明しています。
- 本書における本体および画面のイラストは、DMR-BRX6000 のものです。

ご使用になる前に (続き)

本書内のマーク表示について

機種によって機能の相違点がある場合は、以下のマークで機種マークを表示しています。

機種名	機種マーク
DMR-BRX6000	BRX6000
DMR-BRX2000	BRX2000

機種名	機種マーク
DMR-BRX4000	BRX4000

ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
通常録画用 HDD	HDD
チャンネル録画用 HDD	HDD
BD-RE *	BD-RE
BD-R *	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW

ディスクなど	表示マーク
DVD ビデオ	DVD-V
+R	
+R DL	
+RW	
CD	CD
SD カード	SD
USB 機器	USB
通常録画用 USB-HDD	USB-HDD
チャンネル録画用 USB-HDD	USB-HDD

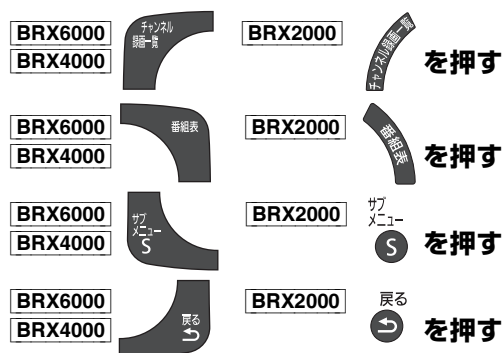
※ DL、BDXL も含みます。

- 同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
 - ・AVCREC 方式の場合 : 例) **RAM AVCREC** **-R AVCREC**
 - ・VR 方式の場合 : 例) **RAM VR** **-R VR** **-RW VR**
 - ・ビデオ方式の場合 : 例) **-R V** **-RW V** (ただしファイナライズ後は **DVD-V**)
- ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画 (AVCHD) が記録されたディスクや SD カードの場合は、**AVCHD** と表示
- ビデオカメラなどで撮影した動画 (MP4) が記録された SD カードの場合は、**MP4** と表示

本書内のリモコンボタンの表示について

DMR-BRX6000/DMR-BRX4000 と DMR-BRX2000 では、付属しているリモコンの形状が異なります。本書ではリモコンの形状の異なる箇所では以下のように記載しています。

例)

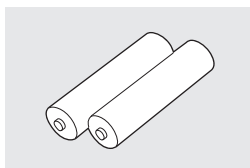




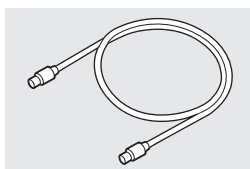
BRX6000 **BRX4000**
リモコン (1 個)
N2QBYB000041



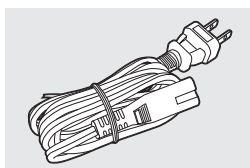
BRX2000
リモコン (1 個)
N2QAYB001044



リモコン用乾電池 (2 本)
単 3 形乾電池



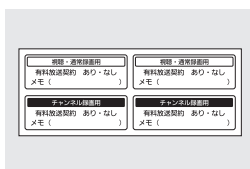
アンテナケーブル (1 本)
(75Ω 同軸ケーブル)
K2KYYYY00040



電源コード (1 本)
K2CA2YY00269



B-CAS カード (2 枚)
●台紙に貼り付けてあります。
●本カードの紛失時は
(→220)



B-CAS カードシール (1 枚)
RQLC2529
●B-CAS カードに貼ります。
(→18)

- 電源コードキャップ*および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
※ 付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2015 年 3 月現在のものです。
変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト

 **Panasonic Store**

接続と設定を行ってください

① ビーカス B-CAS カードを挿入する

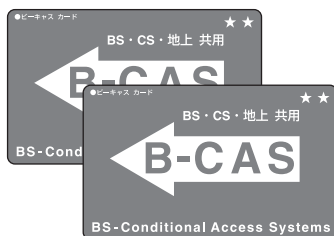
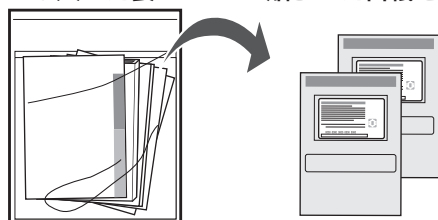
本機には 2 枚の B-CAS カードが同梱されています。
用途に応じて正しく挿入してください。
(2 枚のカードは同じものです。どちらを視聴・通常録画用またはチャンネル録画用に使用しても問題ありません)

🔗 B-CAS カードの契約について (→221)

1 台紙からはがす

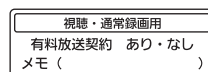
取扱説明書
が入った袋

B-CAS カードが
貼られた台紙を取り出す



2 付属のシールを貼る

視聴・通常録画用

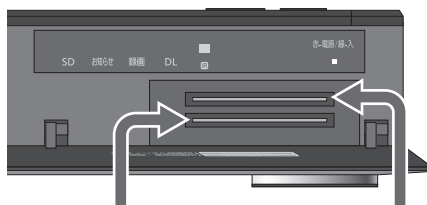


チャンネル録画用



3 挿入する

本機前面



視聴・通常録画用



チャンネル録画用



ご家庭のアンテナ端子に合わせて接続してください

A アンテナ端子が別々の場合



VHF/UHF 端子 BS/CS 端子
(地上デジタル)

次のページからの手順

②～⑦を行ってください。

地上デジタル放送のみ視聴する場合

次のページからの手順

②③⑥⑦を行ってください。

B アンテナ端子がひとつの場合



VHF/UHF・BS/CS 混合の端子
(別売の分波器が必要です)

224 ページの **B** の接続をして
手順⑦を行ってください。

地上デジタル放送のみ視聴する場合

次のページからの手順

②③⑥⑦を行ってください。

C CATV をご利用の場合



ケーブルテレビの端子

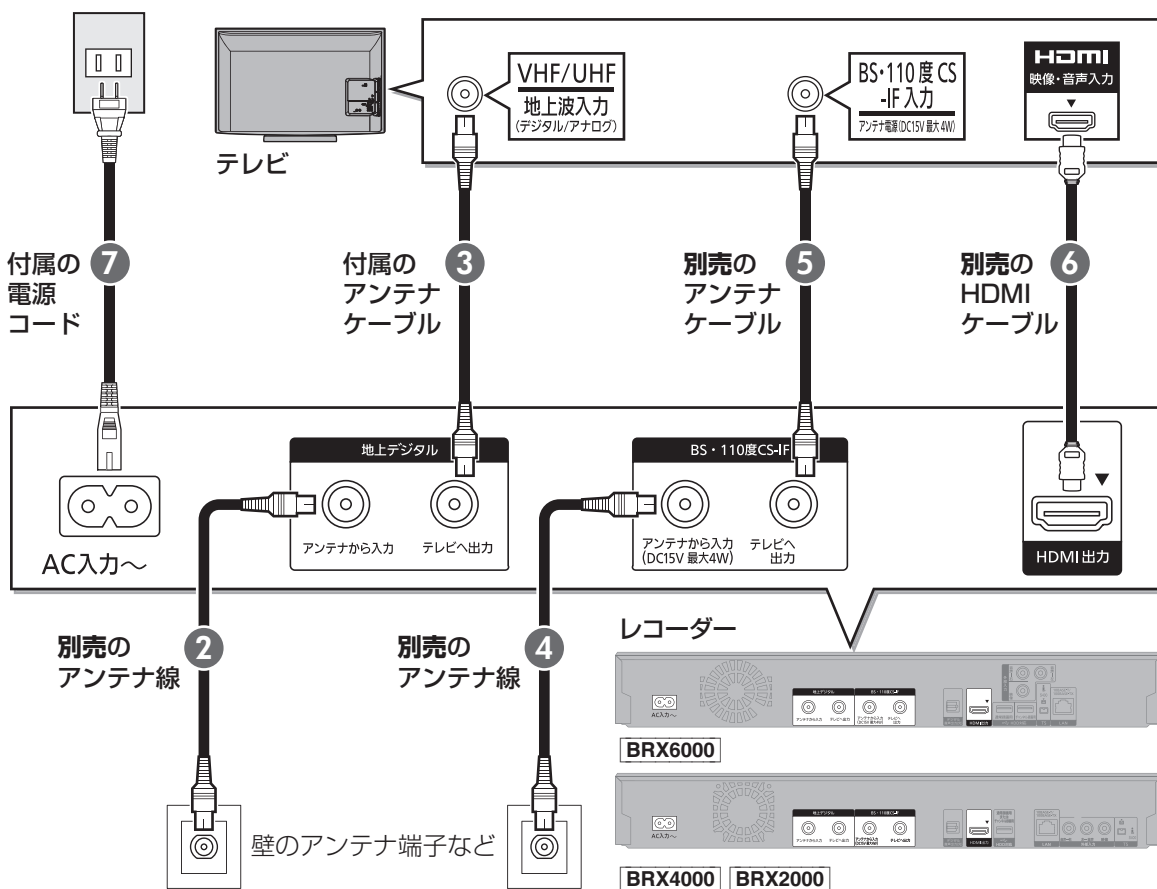
225 ページへ



接続と設定を行う

完成図

⑤⑥のケーブルは付属していません。別途購入が必要です。

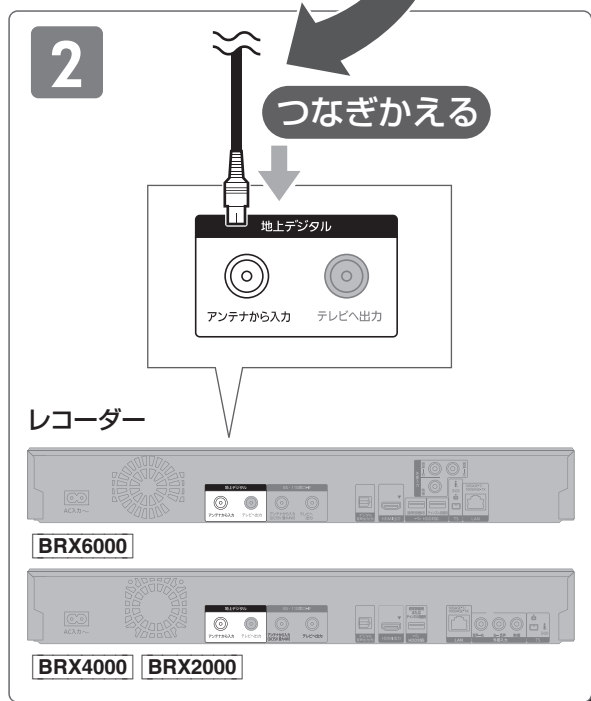
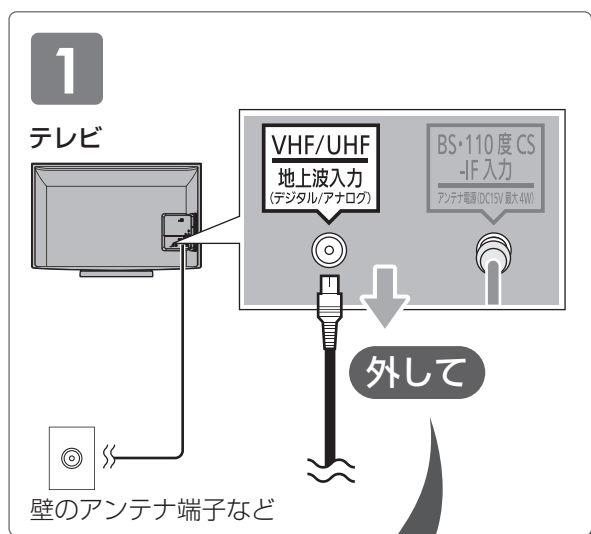


接続と設定を行ってください (続き)

地上デジタル放送

② アンテナをつなぎかえる

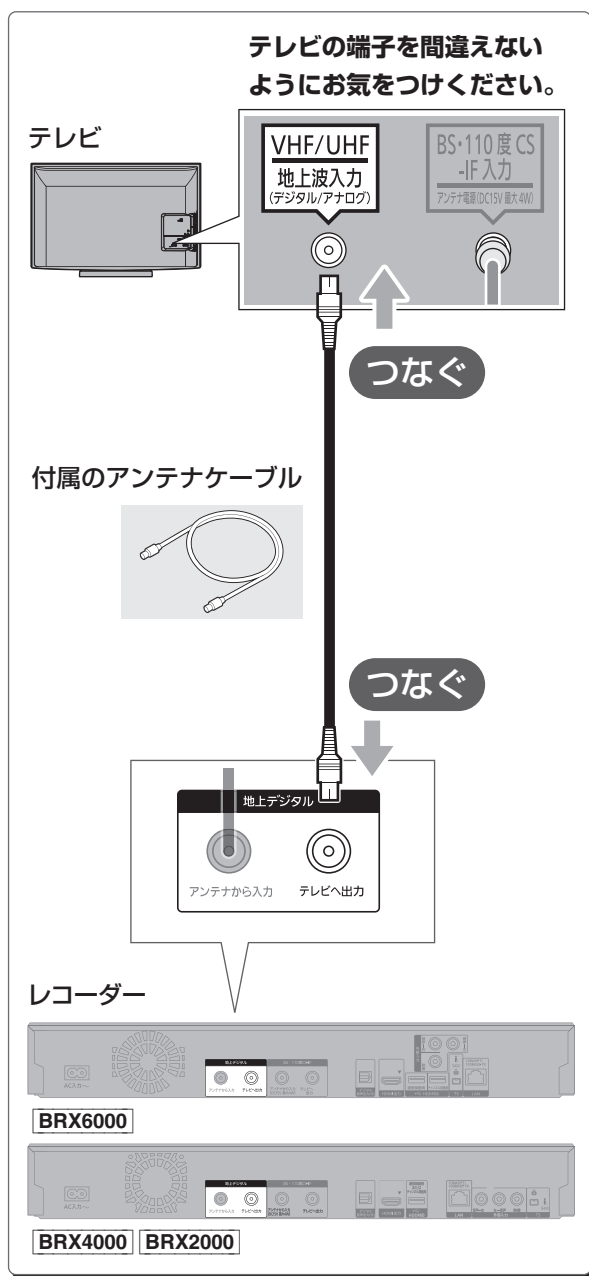
テレビにつないでいるアンテナ線を外してレコーダーにつなぎかえます。



地上デジタル放送

③ アンテナケーブルをつなぐ

付属のアンテナケーブルを使ってテレビとレコーダーをつなぎます。



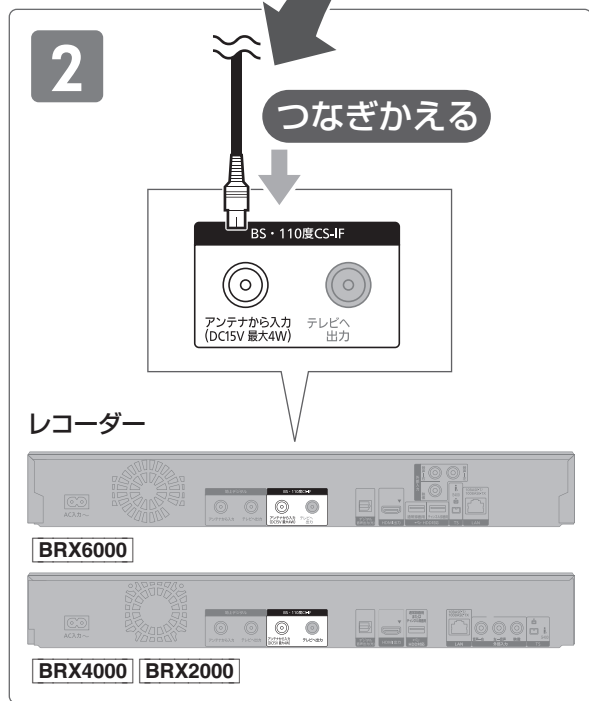
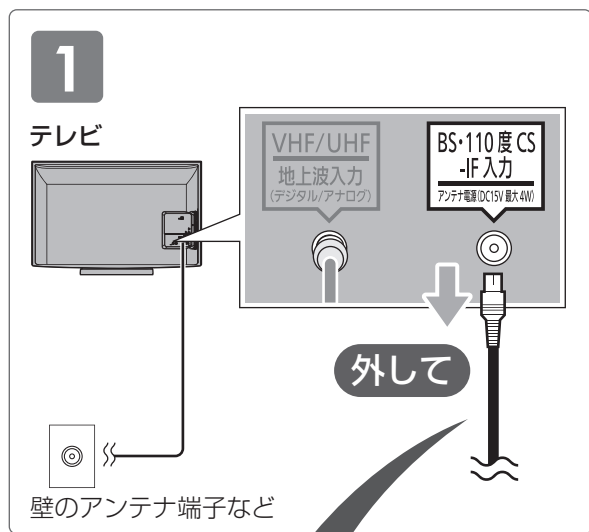


BS・CSを視聴しない場合、以下の接続は不要です。⑥に進んでください。

④ アンテナをつなぎかえる

BS デジタル放送・CS デジタル放送

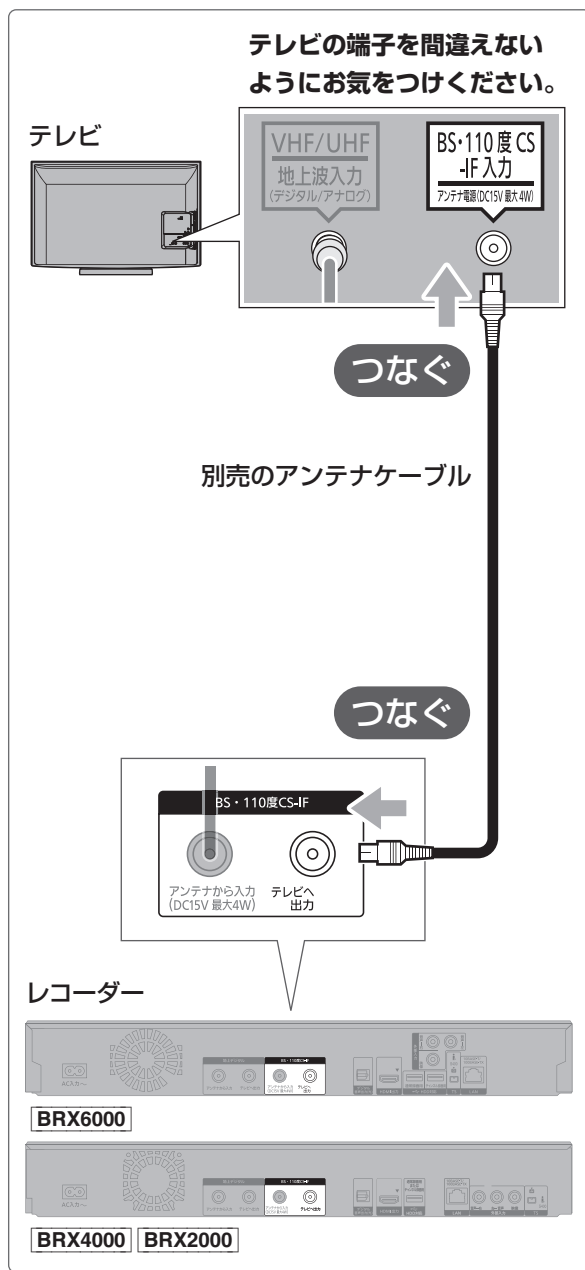
テレビにつないでいるアンテナ線を外してレコーダーにつなぎかえます。



⑤ アンテナケーブルをつなぐ

BS デジタル放送・CS デジタル放送

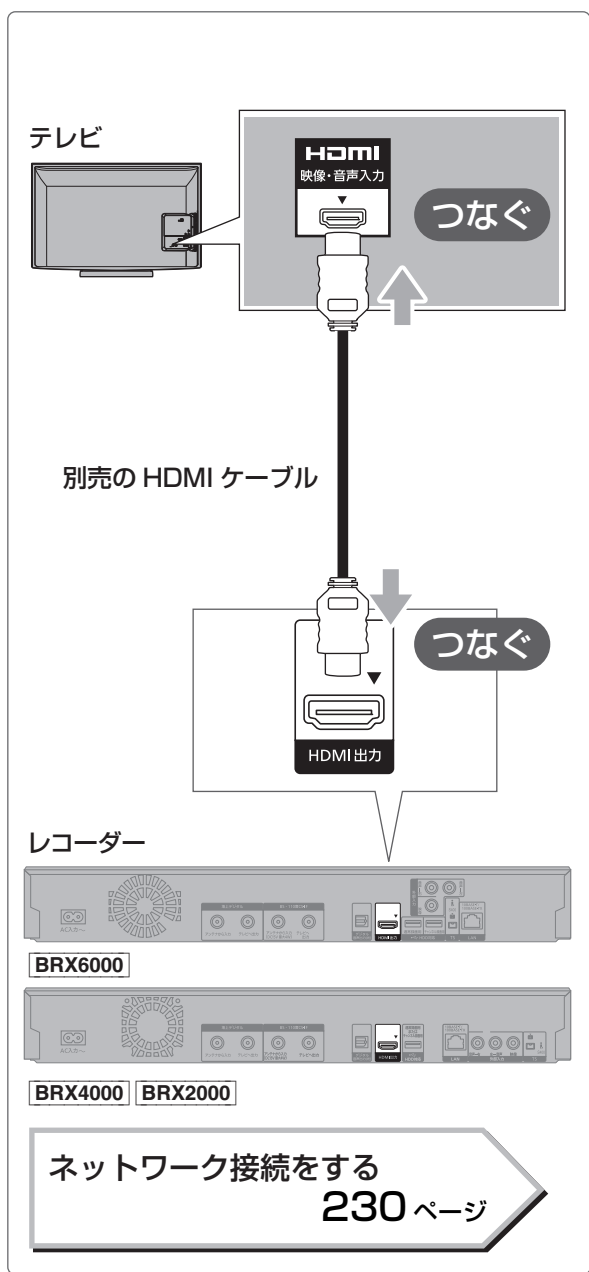
別売のアンテナケーブルを使ってテレビとレコーダーをつなぎます。



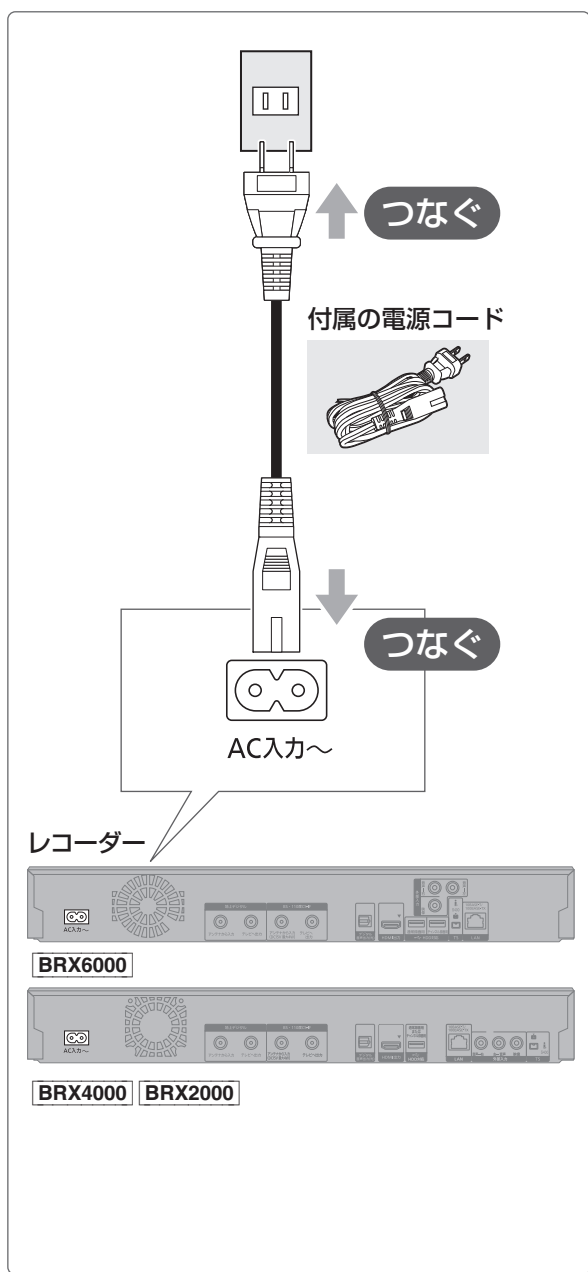
接続と設定を行う

接続と設定を行ってください (続き)

⑥ HDMI ケーブルをつなぐ



⑦ 電源コードをつなぐ

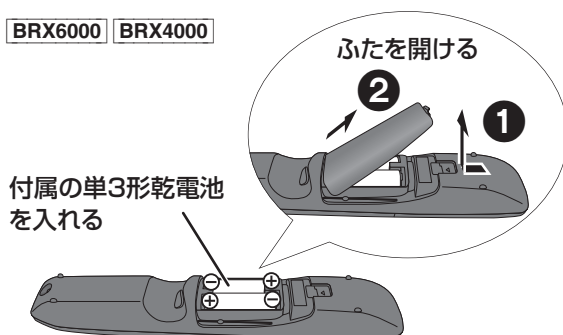




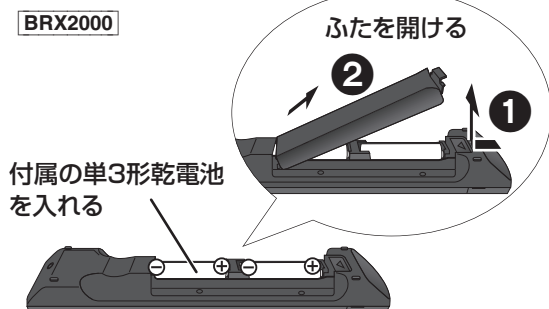
8 電源を入れる

1 リモコンに電池を入れる

BRX6000 BRX4000



BRX2000

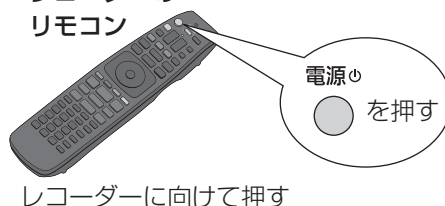


リモコンのふたを閉じるときは、開けるときの逆の手順②①で閉じてください。

2 レコーダーの電源を入れる



レコーダーの
リモコン



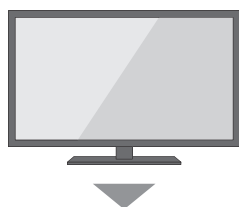
- $\oplus\ominus$ を確認してください。
- BRX6000** **BRX4000** 電池はアルカリ乾電池をお使いください。(マンガン乾電池も使用できますが、アルカリ乾電池に比べて、電池寿命が短くなります)
- BRX2000** 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。

- リモコンを使うと他の当社製レコーダーなどが同時に動作してしまう場合は、リモコンモードを変えてください。(→201、202)
- 本機のリモコン受信部(→25)に向けて、まっすぐ操作してください。
- BRX6000** **BRX4000** 無線方式でリモコンをお使いの場合(→200)
 - ・本機に向けずに操作できます。(お買い上げ時は赤外線方式です)

接続と設定を行ってください(続き)

9 設定をする

1 テレビの入力を切り換える



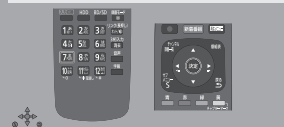
以下の画面が表示されるように切り換えてください。

BRX6000

BRX4000

リモコン設定
無線リモコンの登録を行います。
リモコンの数字ボタン「ア」と「決定」ボタンを同時に5秒以上押してください。
(時間がかかることがあります)

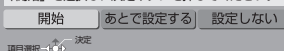
完了画面が表示されない場合は、リモコンを本体に近づけて操作してください。



BRX2000

かんたん設置設定

正しくお使いいただくために各種設定を行います。
「開始」を選択し、決定ボタンを押してください。



接続と設定について詳しくは...

ビデオと接続する

227 ページ

アンプと接続する

228 ページ

ネットワーク接続をする

230 ページ

かんたん設置設定をする

237 ページ

かんたんチャンネル録画設定をする

241 ページ

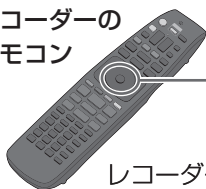
かんたんネットワーク設定をする

242 ページ

2 画面に従って設定する

詳細は →236 ページ

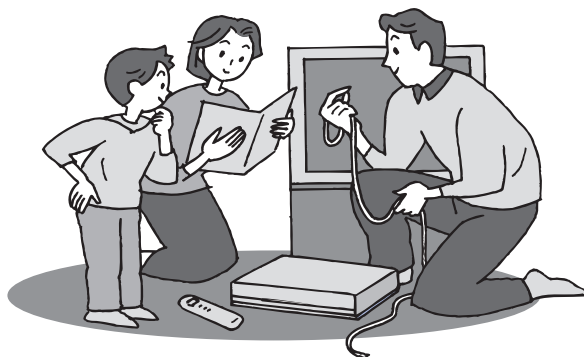
レコーダーの
リモコン



レコーダーに
向けて操作



などで操作



各部の働き

本体前面

ランプ

以下の場合に点灯します。

SD : SD カード、USB 機器の読み書き時 (点滅)

お知らせ: 本機にエラーが発生した場合など

- 「こんな表示が出たら」(→247)で確認してください。

録画 : 通常録画中

- 予約録画が始まる前の約3分間や通常録画、チャンネル録画ができない状態のときは点滅します。

DL : ダウンロード実行中またはソフトウェアの更新中

ディスクトレイを
開閉する

電源を
切/入する

ディスクトレイ

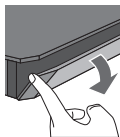
SDカードを入れる

チャンネル録画用 B-CAS
カードを入れる (→220)

USB端子
[ハイスピードUSB(USB2.0)対応]

視聴・通常録画用 B-CAS
カードを入れる (→220)

前面
とびらの
開け方



赤外線リモコン受信部

(**BRX6000** **BRX4000** 赤外線方式でリモコンを使用時の
リモコン受信部です)

受信範囲:

正面…約 7 m 以内、左右…各約 30°、上下…各約 20°

電源ランプ

電源「切」状態で赤、
電源「入」状態で緑に
点灯します。

- BRX6000** **BRX4000** 無線方式の場合、リモコンを本体に向けなくても操作できますが、リモコンと本体との距離が約 7 m 以内の範囲で使用してください。ただし、間に障害物がある場合や、周囲の環境、建物の構造によって使用可能範囲が狭くなります。

お知らせ

- 以下の場合、電源「切」時に電源ランプは消灯状態になります。
 - ・「クイックスタート」(→191)を「切」に設定
 - ・「クイックスタートモード」(→191)を「省エネ」に設定

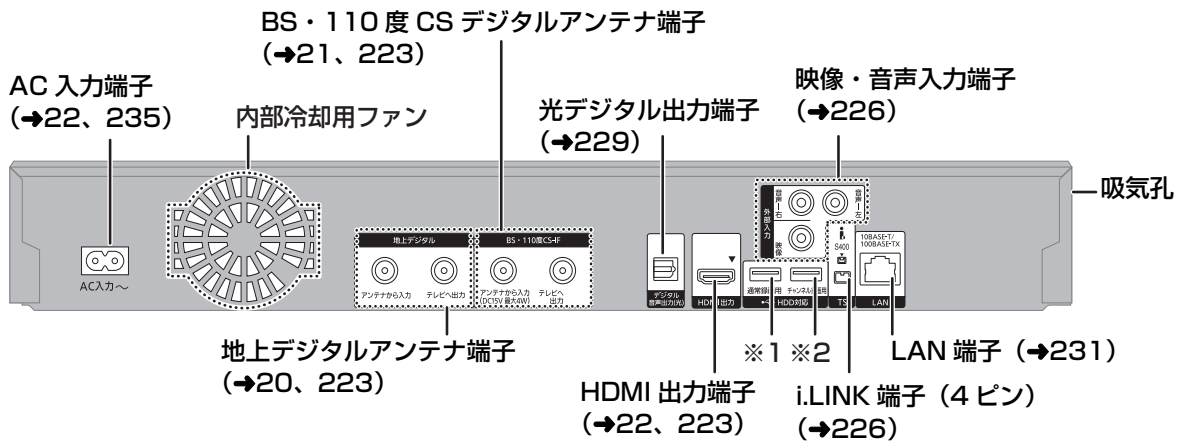


接続と設定を行う

各部の働き (続き)

本体背面

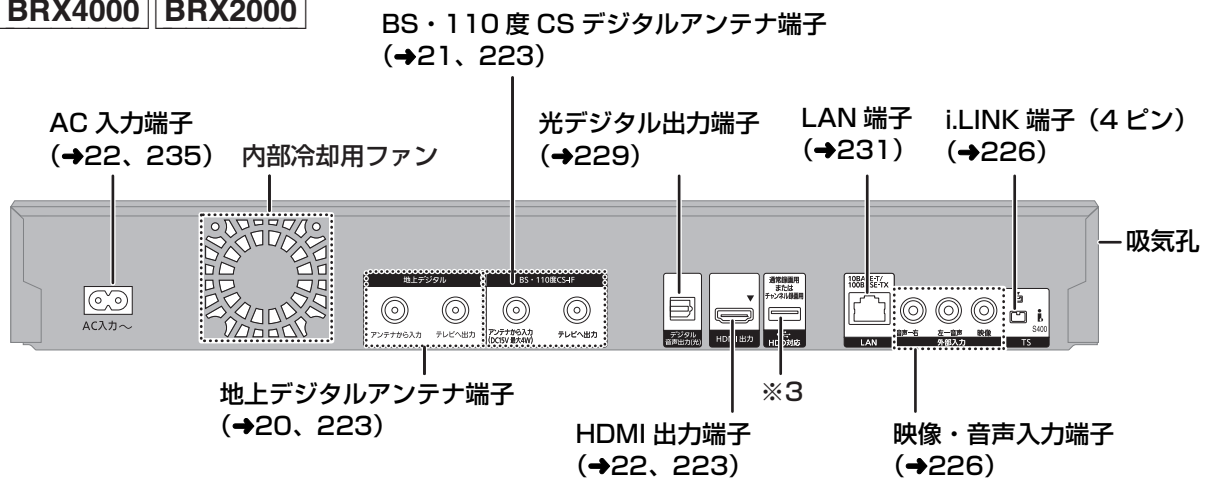
BRX6000



USB 端子

- ※ 1：スーパースピード USB (USB3.0) 対応
 - 通常録画用 USB-HDD を接続する場合は、この端子に接続してください。(→210)
- ※ 2：スーパースピード USB (USB3.0) 対応
 - チャンネル録画用 USB-HDD を接続する場合は、この端子に接続してください。(→210)

BRX4000 BRX2000



USB 端子

- ※ 3：スーパースピード USB (USB3.0) 対応
 - 通常録画用またはチャンネル録画用 USB-HDD を接続する場合は、この端子に接続してください。(→210)

お知らせ

- BRX6000** 接続する USB ケーブルの形状によって、背面の USB 端子に複数同時に接続できない場合があります。その場合、本体前面の USB 端子をご使用ください。

リモコン

BRX6000 BRX4000

マイク

- 音声操作 (→37) するとき 사용합니다。

テレビ操作モードにする (→201)

本機の電源を切/入する

チャンネルを順に選ぶ

テレビの電源を切/入する

テレビの入力を切り換える

放送を切り換える (→46)

録画一覧 / ディスクメニューを表示する (→90)

ワンタッチ保存する (→56) / 通常録画する (→61) / ワンタッチ予約する (→63)
●ワンタッチ保存/予約は、チャンネル録画一覧上または番組表上で実行することができます。

チャンネル録画の録画一覧を表示する (→50)

サブメニューを表示する

画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用します。

検索画面を表示する (→107)

チャンネル録画設定をする (→58)

外部接続機器に入力を切り換える

HDD/BD/SDを切り換える

チャンネルなどを

番号で選ぶ/
番号や文字を入力する

モーションランプ

ディストレイを開閉する

リモコン背面

モーション
ボタン
(→36)

テレビの音量を

調節する

データ放送の

画面を表示

する (→46)

一時的にテレビの音を消す

●もう一度押すと音が出ます。

Netflix 画面を表示する (→164)

音声で操作する (→37)

スタート画面を表示する (→40)

新着番組画面を表示する (→38)

再生メニューを表示する (→44)

番組表を表示する (→63)

選択および決定する

前の画面に戻る

チャプターマークを作成・削除する (→113)

録画や再生時の基本操作

通常録画の予約一覧画面を表示する (→80)

情報を表示する (→47、100)

録画モードを選ぶ (→61)

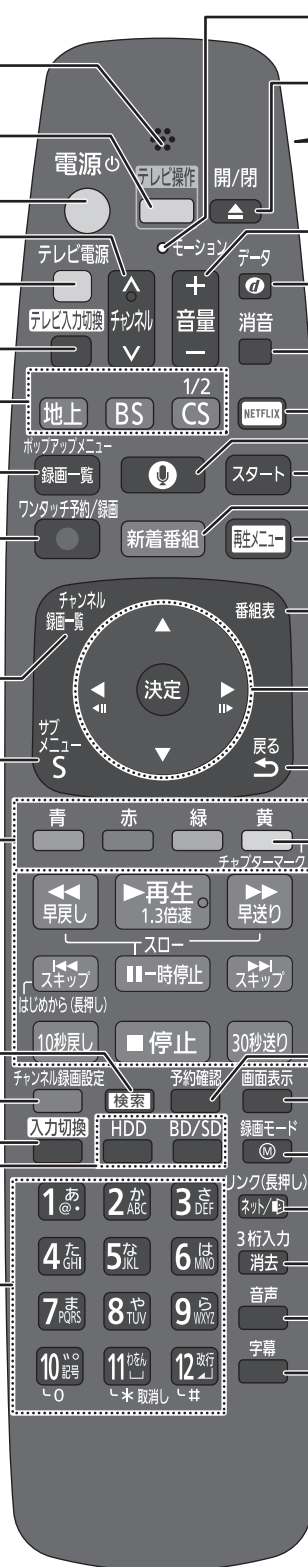
テレビでネット画面を表示する (→162)

ネットワーク設定をする (→242)

3桁番号を入力してチャンネルを選局する (→46)

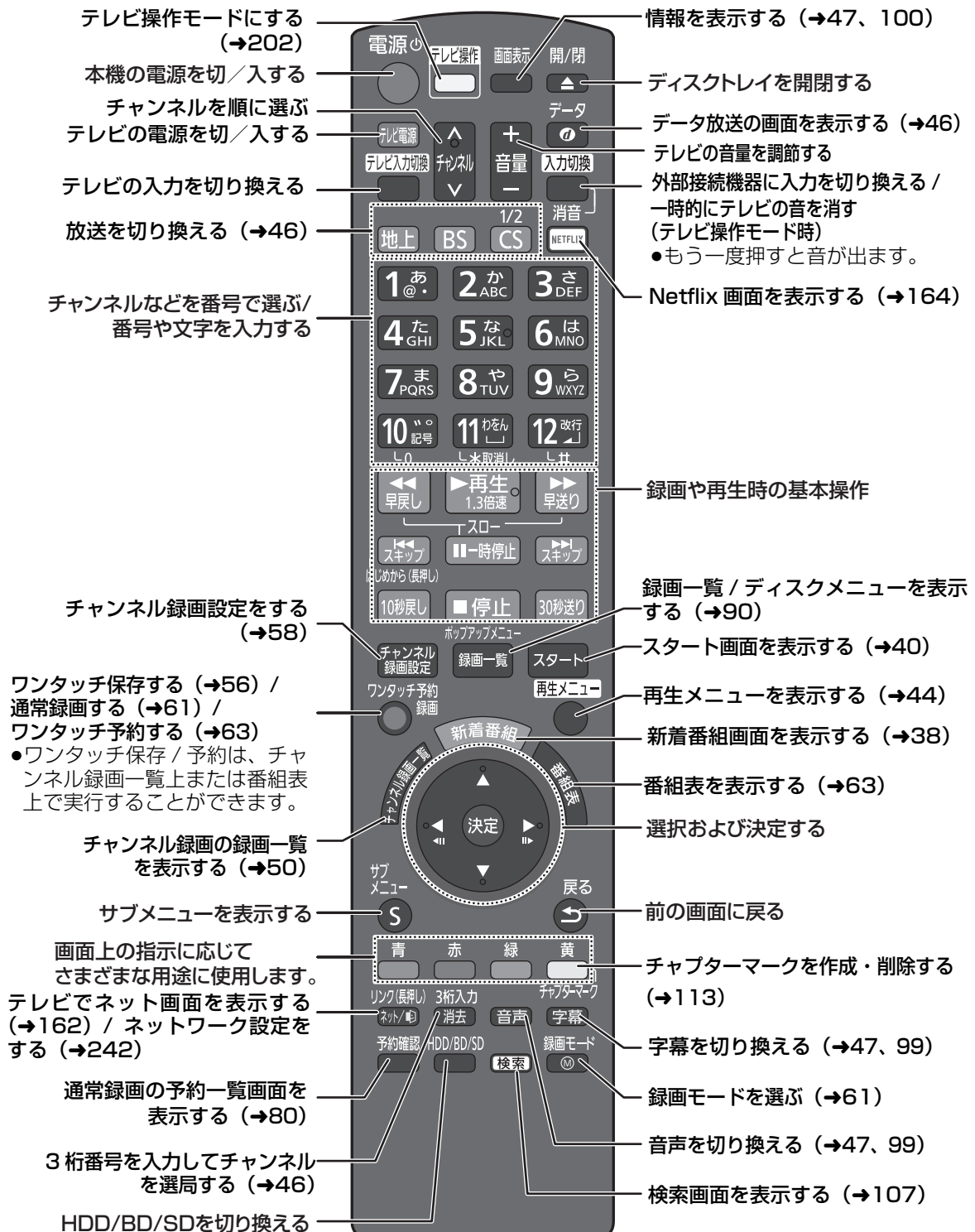
音声を切り換える (→47、99)

字幕を切り換える (→47、99)



リモコン (つづき)

BRX2000

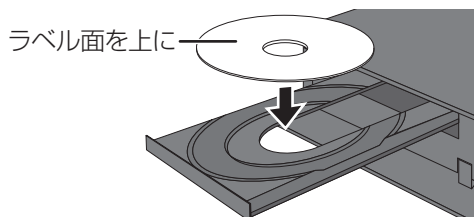


ディスク・SD カードを入れる

ディスク

開/閉  を押してトレイを開き、ディスクを入れる

- もう一度押すと、トレイが閉まります。
- 本体の [▲ 開 / 閉] でも操作できます。
- ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

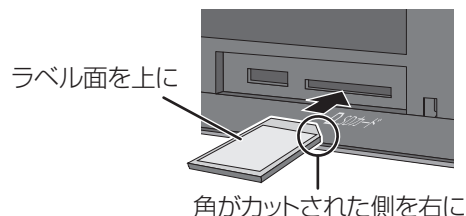


お知らせ

- 両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
- ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。(→216)
- 傷の付いたディスクは、記録や再生ができません。
- 使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。
- カートリッジ付きディスクについて**
 - ・カートリッジ付きの BD-RE (Ver.1.0) は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
 - ・DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイに載せてください。(→下記)
 - (TYPE1 は使えません)
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをお勧めします。

SD カード

- ① 本体前面のとびらを開ける
- ② カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む



- ③ 本体前面のとびらを閉じる

 カードを取り出すには

上記手順 ② で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

- 本体の“SD”ランプ (→25) 点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。
- mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

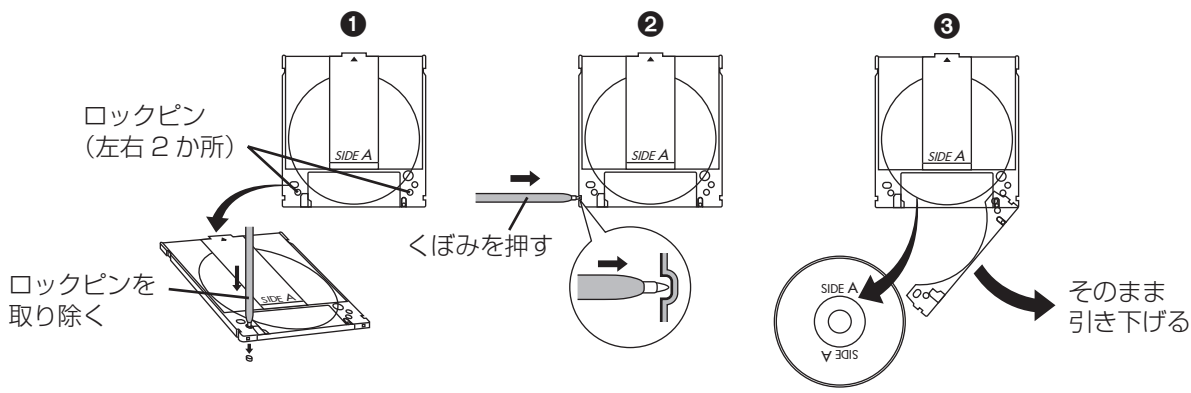
例)



カートリッジ付きディスクの取り出し方例

カートリッジからの取り出し方はディスクによって異なります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合



記録できるディスクについて

ディスクの種類	ロゴ	記録可能なディスク	記録方式	
BD-RE		BD-RE : Ver.2.1(1層/2層)、 Ver.3.0(3層)に対応した 2倍速メディアまで	—	
BD-R		BD-R : Ver.1.1/1.2/1.3(1層/2層)に 対応した6倍速メディア、Ver.2.0(3層/4層) に対応した4倍速メディアまで		
DVD-RAM		Ver.2.0/2.1/2.2に対応した 5倍速メディアまで	AVCREC方式	
			VR方式 (DVDビデオ録画規格)	
DVD-R		DVD-R : Ver.2.0/2.1に対応した 16倍速メディアまで	AVCREC方式	
DVD-R DL (片面2層)		DVD-R DL : Ver.3.0に対応した 8倍速メディアまで	VR方式 (DVDビデオ録画規格)	
			ビデオ方式 (DVDビデオ規格)	
DVD-RW		Ver.1.1/1.2に対応した6倍速メディアまで	VR方式 (DVDビデオ録画規格)	
			ビデオ方式 (DVDビデオ規格)	

●8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。

	記録できる コンテンツ	記録できる画質 録画モード	フォーマットは？ (→176)	備考
	番組 写真	放送画質 DR ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	- DL、BDXL™ にも記録できます。 - カートリッジ付きのBD-RE (Ver.1.0) の記録や再生はできません。 (カートリッジからディスクを取り出しても使えません) 2015年 3 月現在、BD-R (片面4 層)は発売されていません。
	番組 写真	ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	- デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクが確かめてください。 - カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。 (TYPE1は使えません)
	番組 写真	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要 (データ用ディスクの場合、フォーマット必要)	
	番組	ハイビジョン画質 1.5～15倍録	必要	デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクが確かめてください。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	不要	- コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。 - デジタル放送は記録できません。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクが確かめてください。
	番組	DVD画質 XP SP LP EP FR	必要	- コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。 - デジタル放送は記録できません。

●DVD の記録方式は、本機でフォーマット (→176) することで設定されます。

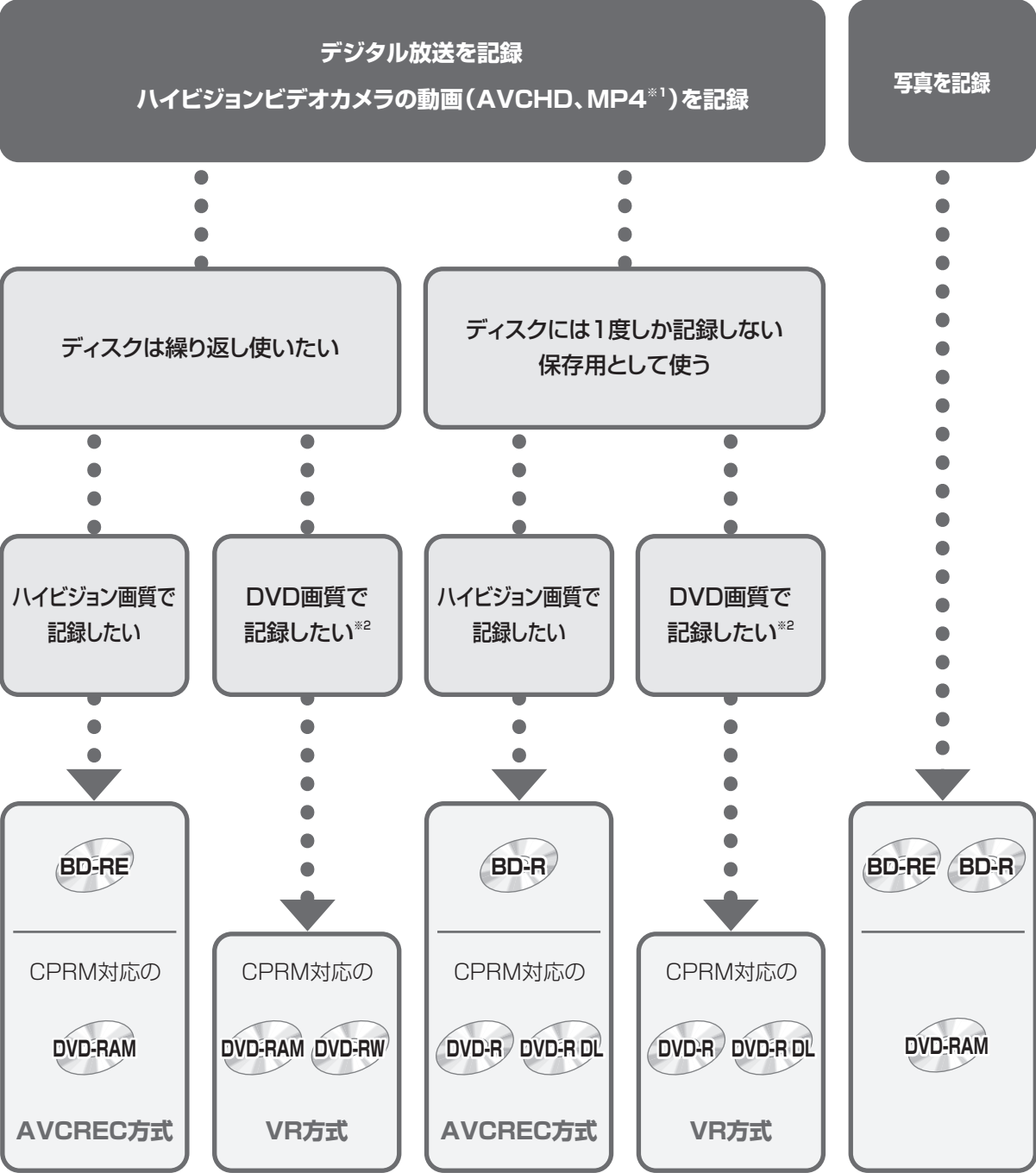
記録できるディスクについて (続き)



こんなとき
どうしたらいいの？

どのディスクを選べば良いかわからない…

お客様の使い方に合わせてディスクを選んでください。



※1 MP4はHDDに取り込んだあと、ディスクにダビングします。
※2 ハイビジョンビデオカメラの動画の場合、HDDに取り込んだあと、VR方式、ビデオ方式のDVDにダビングします。



こんなとき
どうしたらいいの？

記録したディスクを他の機器で再生するには？



BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

- LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できない場合があります。
- 当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
- 1.5 ～ 15 倍録モードの番組や、本機に取り込んだ動画（AVCHD、MP4）、LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）で録画した番組は、再生できない場合があります。
- DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
 - ・ DL のブルーレイディスクは、2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
 - ・ BDXL のブルーレイディスクは、 右記のロゴが付いた機器で再生できます。



以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

- 記録したディスクの再生に対応
- 記録したディスクの記録方式の再生に対応
 - ・ AVCREC 方式の場合：

対応機器には右記のロゴが付いています。

対応機器以外で使用しないでください。

ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。

 はファイナライズ（➔179）が必要です。
 - ・ VR 方式の場合：

VR 方式の再生に対応している必要があります。
 - ・ ビデオ方式の場合：

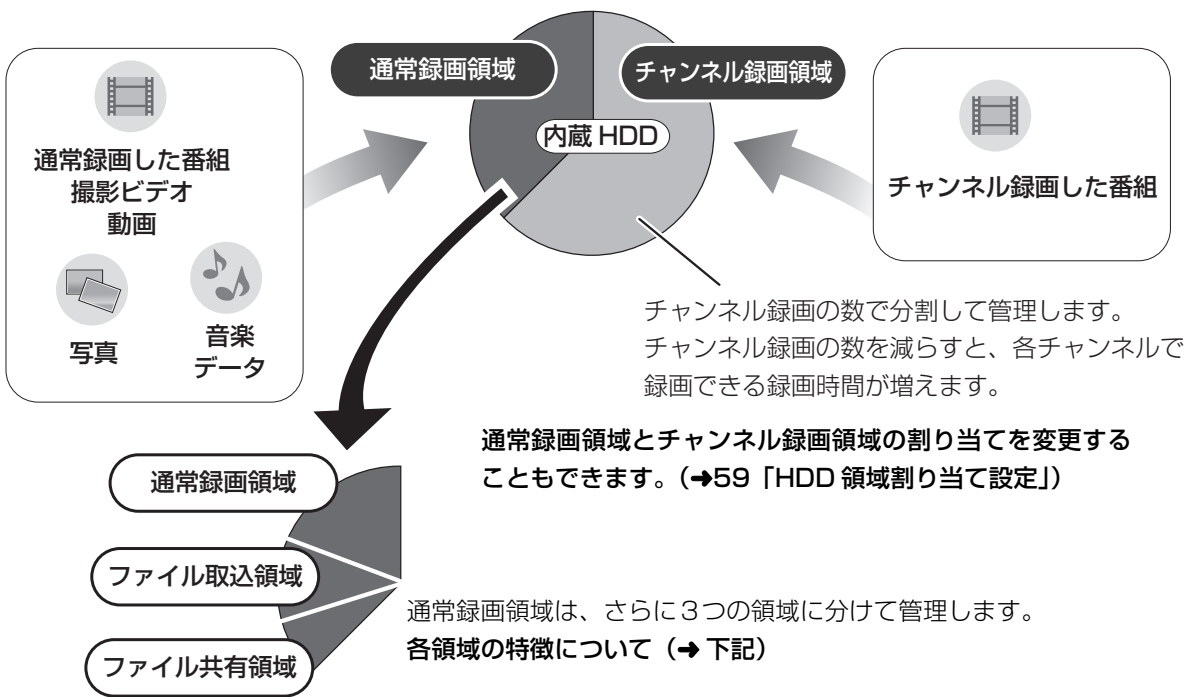
記録後にファイナライズ（➔179）が必要です。
- デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRM に対応している必要があります。

お知らせ

- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

HDD の領域について

本機の HDD は、記録するコンテンツによって別々の領域に分けて管理します。



通常録画領域の各領域の特徴について

	通常録画領域	ファイル取込領域	ファイル共有領域
記録できるコンテンツ	●録画番組 ●撮影ビデオ	●動画（MP4） ●写真	●データ（動画・写真・音楽など）
記録方法	●録画 ●ダビング ●SD USB から取り込み（変換取込時）	●SD USB から取り込み（動画はファイル取込時）	●パソコンから保存 ●音楽ファイルのダウンロード
本機での再生方法	●「録画一覧」（→90）	●「動画ファイル（MP4）を再生する」*1（→92） ●「写真を見る」（→141）	●「動画ファイル（MP4）を再生する」*2（→171） ●「写真を見る」（→172）
ディスクへの書き出し	○（→118、120）	○（→146）	○*3
USB-HDDへの書き出し	○（→120）	○（→92、146）	
SD カードへの書き出し	○（→156）	○（→92、146）	
他のファイル共有機能対応機器での再生	×	○	○
お部屋ジャンプリnk	○	○（写真のみ）	×
「アルバムを作る」の素材としての使用	○（撮影ビデオのみ）	○（写真のみ）	×

※ 1 「ファイル共有サーバー機能」（→199）が「入」の場合、「SD カード / USB 機器から取り込んだ動画」を選んでください。
※ 2 「ファイル共有サーバー機能」（→199）が「入」の場合、「パソコンなどから保存した動画」を選んでください。
※ 3 動画や写真をいったん他の領域に取り込んだあと（→172）、他のメディアに書き出すことが可能です。

操作の前に

本機の映像をテレビに映す

1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

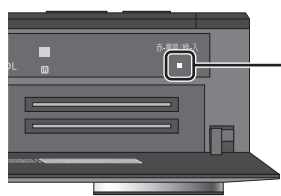
- 本機を接続した入力に切り換えてください。(HDMI など)



テレビのリモコン



3 本機のリモコンの電源のボタンを押す



緑に点灯

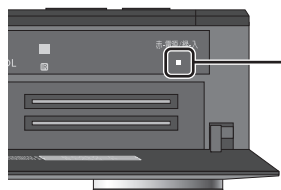
- テレビに映像が映っているか確認してください。

☞ テレビに映像が表示されない場合

- テレビの入力を確認してください。
- 接続を確認してください。(→220～235)
- 電源「入」時に新着番組画面を表示させるかどうかの設定ができます。(→194「電源起動時の画面」)

本機の電源を切る

本機のリモコンの電源のボタンを押す



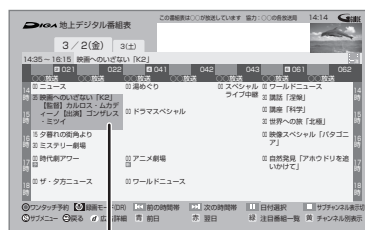
赤に点灯

画面上の基本操作について

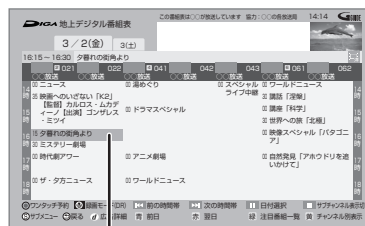
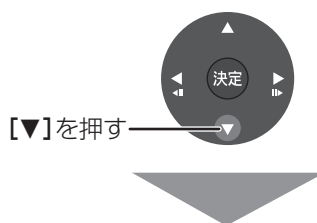
本機は画面に表示されている項目をリモコンの[▲][▼][◀][▶]で選び、[決定]を押すことで操作を行います。



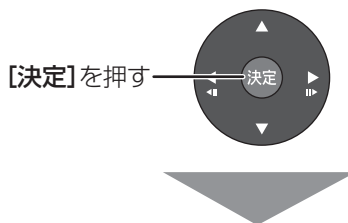
例えば、番組を選びたい場合



黄色になっている項目が、現在選ばれている項目



黄色になります。



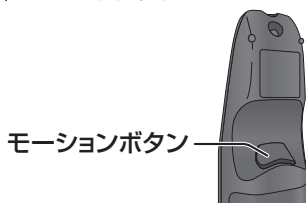
番組内容の画面が表示されます。

本書では、上記のような操作をする場合、**番組を選び、決定を押す**と記載しています。

モーション操作について **BRX6000** **BRX4000**

リモコン背面のモーションボタンを押してリモコンをテレビ画面に向けて動かすことで、再生メニューなどを表示したり、番組を選択することができます。

- モーション操作は「リモコン受信方式」(→190)が「無線方式」の場合のみできます。



モーションボタン

3 選びたい項目にポインタがある状態で、**決定**を押す



チャンネル録画一覧や番組表表示中にモーションボタンを押すと、日付表示や時間表示の箇所がモーション操作用の画面に切り換わります。



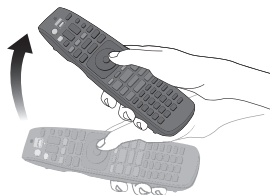
この部分にポインタを合わせて【決定】を押すと、日付や時間帯を切り換えることができます。

1 モーションボタンを押す

- 画面に青色のポインタが表示されます。
- リモコンのモーションランプが点灯します。モーションランプ点灯中に操作してください。(ランプは最大 10 分で消灯します)



2 リモコンを動かす



リモコンの動きに合わせてポインタも動きます。リモコンをテレビ画面に向け上下左右に傾けて、選びたい項目にポインタを移動させてください。

お知らせ

- モーション操作ができない画面では、モーションランプは消灯します。
- 腕を振るとポインタをうまく操作できない場合があります。手首を上下左右に傾けて、操作してください。
- モーションボタンを長押ししたときは、ポインタは緑色になります。その場合、モーションボタンを押したまま【決定】を押してください。【決定】を押さずに指をモーションボタンから離すとモーション操作は終了します。
- モーション操作を行うと、リモコンの電池の消耗が早くなります。

音声操作について **BRX6000** **BRX4000**

リモコンのマイク (→27) に発話することで、本機が言葉を認識し、以下の操作をすることができます。

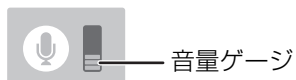
- 放送番組、録画番組の検索
- 録画番組の再生
- シーン一覧の検索 (→96)
- 文字入力 (→180)

音声操作は「リモコン受信方式」(→190) が「無線方式」の場合のみできます。また、一部の機能は本機をインターネットに接続しないと使用できません。

詳しくは音声操作で「ヘルプ」と発話してご確認ください。

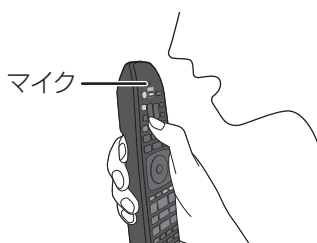
1 を押す

- マイクアイコンが表示されます。



音量ゲージ

2 リモコンのマイクに向かって発話する



例：「映画を検索」

「ドラマを番組表で検索」

「スポーツを録画一覧で検索」など

3 画面の表示内容に従って操作する

お知らせ

- マイクを口から5 cm～10 cmほどに近づけて発話してください。音量ゲージが赤色になる場合は、もう少しマイクを口から離して発話してください。
- 音声操作機能は、音声認識サーバーとインターネットを経由して通信します。発話した言葉をサーバーに送信するため、利用規約に同意していただく必要があります。「利用規約」の画面が表示されたときは、画面の表示内容に従って操作してください。
- マイクアイコン表示中、一時的にテレビのスピーカーからの音量は小さくなります。
- お使いになる人の声質や話し方、周囲の環境や状況、用語によっては、正しく動作しないことがあります。

新着番組画面について

新着番組画面では、チャンネル録画などで録画した番組の中からいつもよく見る番組やお気に入りのジャンルなどから番組を選び出して表示します。

●電源「入」時に画面表示をするかどうかの設定ができます。(➔194「電源起動時の画面」)

1 **BRX6000** **BRX4000** **新着番組** **BRX2000** **新着番組** を押す

2 見たい項目を選び、**決定** を押す

- 画面に表示されている番組の再生が始まります。
- 画面の左側に選択した項目に関連する番組が一覧表示されます。(➔44 手順4へ)
- BRX6000** **BRX4000** モーションボタン (➔36) でも項目を選ぶことができます。



新着番組画面は 3 つのページに分かれています。

左右のページを表示するには

スキップ **スキップ** を押す (または [◀][▶] を数回押す)

新着番組 情報 ページ

お気に入りで表示する項目は、変更することができます。(➔39)



選 択 可 能 な 項 目	
よくみる番組	チャンネル録画した番組の再生履歴を基に、過去に再生したことのある番組と同じ名前で未視聴の番組を表示 (すべて、ドラマ、アニメ、バラエティに分類)
あなたへのおすすめ*	お客様の再生履歴を基に、お好みの番組をお勧めします。
録画数ランキング*	ディモラやミモラのサービスに登録されたディーガで、多く録画されている番組を表示
盛り上がりランキング*	インターネット上で多く話題になった番組を表示
話題のニュース一覧*	ディモラやミモラのサービスに登録されたディーガで、多く録画されたニュース番組をランキング表示
ジャンル/お気に入り	普段よく見るジャンルなどお好みの項目を表示することができます。(最大で 16 項目) お気に入りの項目を変更するには (➔39)

*本機をインターネットに接続し、ディモラやミモラのサービスに登録する必要があります。

ディモラやミモラのサービス登録について (➔244)

お気に入りの項目を変更する

お気に入り画面に表示する項目をお好みに合わせて変更することができます。

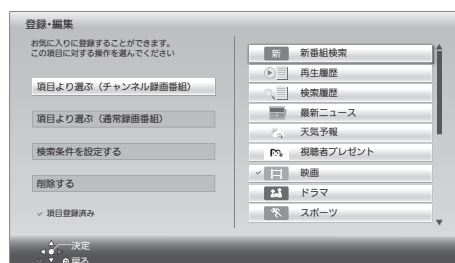
1 **BRX6000** **新着番組** **BRX2000** **新着番組** を押す

2 変更したい項目を選び、

BRX6000 **BRX4000** サブメニュー **BRX2000** サブメニュー **S** を押す

3 登録したい項目を選び、**決定** を押す

●選択できる項目 (→ 右記)



●「検索条件を設定する」の場合、52 ページと同様の操作で検索条件を設定してください。

4 「はい」を選び、**決定** を押す

選択できる項目

新番組検索*	番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれる番組を表示
再生履歴*	過去に再生した番組を表示 ●番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組のみ
検索履歴*	過去に検索機能 (→52) を使って番組検索したときに設定した検索条件の履歴から、チャンネル録画一覧の番組を検索
最新ニュース*	録画番組中の最新ニュース番組を再生
天気予報*	録画番組中の最新天気予報番組を再生
ミモラからのみどころ*	「視聴者プレゼント」などインターネットからキーワードを取得して表示 (表示される項目は変更されます)
映画 ドラマ スポーツ 音楽 バラエティ 情報／ワイドショー アニメ／特撮 ドキュメンタリー／教養 劇場／公演 趣味／教育 福祉	各ジャンルの番組を表示

※「項目より選ぶ (通常録画番組)」の場合、選択できません。

スタート画面について

スタート画面から本機的主要な機能を利用することができます。

1 スタートを押す

2 項目を選び、決定を押す



表示する主な機能は、お好みに合わせて変更することができます。(→43)

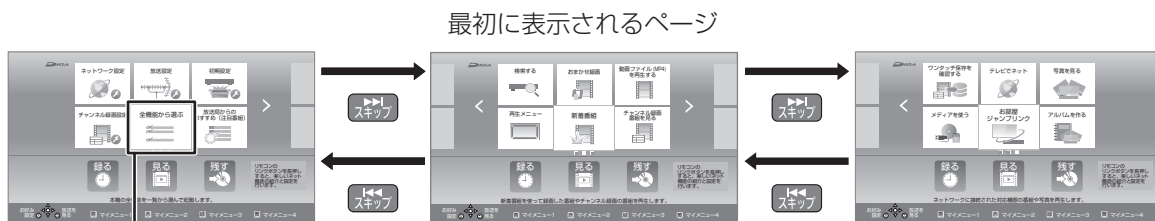
現在表示しているページの位置
スタート画面は3つのページに分かれています。

- 録る：番組表 (→63)
- 見る：録画一覧 (→90)
- 残す：ダビング (→118、120)

青 赤 緑 黄 を押すと、
マイメニューを表示します。(→174)

左右のページを表示するには

スキップを押す (または [◀][▶] を数回押す)



全機能から選ぶ

スタート画面に表示されていない機能を選びたいときに選んでください。

お知らせ

●新着お知らせアイコンについて

以下の機能で新着情報があるときに表示します。

- ・新番組おまかせ録画番組を見る*
- ・最新録画番組を見る*
- ・受信した写真 / 動画を見る*
- ・ディモラからのおすすめ
- ・メール / 情報・診断コード
- ・ドアホン・センサーカメラ映像を見る

※ 電源「切」時にのみ新着情報の更新を行います。新着情報があるときは、番組や写真のサムネイルを表示します。

スタート画面で表示できる機能

以下の機能を表示することができます。表示する機能は、お好みに合わせて変更することができます。(→43)

分類	表示できる機能	備考
見る	新着番組	(→38)
	チャンネル録画番組を見る	(→50)
	再生メニュー	(→44)
	最新録画番組を見る	(→94)
	新番組おまかせ録画番組を見る	「新番組おまかせ録画」(→77)で録画した番組を視聴します。
	写真を見る	(→141)
	撮影ビデオを見る	(→92)
	動画ファイル(MP4)を再生する	(→92)
	ドアホン・センサーカメラ映像を見る	(→166)
番組を探す・ 予約する	おまかせ録画	(→71)
	予約確認する	(→80)
	検索する	(→107)
	放送局からのおすすめ(注目番組)	(→69)
	カテゴリーまとめて検索	(→75)
	新番組おまかせ録画	(→77)
	ジャンル検索	(→78)
	お好み番組表	お好みチャンネル(→47)で登録された放送局のみを番組表に表示します。

スタート画面について (続き)

分類	表示できる機能	備考
残す	ワンタッチ保存を確認する	(→57)
	アルバムを作る	(→151)
	持ち出し番組を転送する	(→156、157)
ネットワーク機能を使う	お部屋ジャンプリンク (DLNA)	(→169)
	テレビでネット	(→162)
	アクトビラ	(→162)
	ディモラからのおすすめ	ディモラのサービスに登録すると、おすすめ番組が配信されます。 🔗 サービスの登録について (→244)
	ミモラ検索	ミモラのサービスに登録すると、録画した番組の中から、見たいシーンなどをキーワードで検索することができます。 🔗 サービスの登録について (→244)
	お引越しダビング	(→132)
	受信した写真／動画を見る	(→94、141)
設定する・その他の機能	放送設定	(→184)
	初期設定	(→190)
	チャンネル録画設定	(→58)
	ネットワーク設定	(→197、242)
	メール／情報・診断コード	(→183、249)
	壁紙設定	(→43)
	操作ガイド	操作ガイドを表示します。 困ったときの解決方法や、調べたい用語を確認できます。
	お好み設定リセット	(→43)
メディアを使う	メディアを使う	ディスク、SD カード、USB 機器、USB-HDD 内のデータを表示します。

お好みの表示に変更する

スタート画面に表示する機能や背景の壁紙をお好みに合わせて変更することができます。

(「全機能から選ぶ」の表示を変更することはできません)

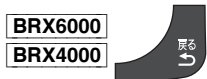
表示する機能を変更する

- 1 **スタート** を押す
- 2 変更したい機能を選び、
 **BRX2000** **サブメニュー** を押す
- 3 「機能を登録する」を選び、**決定** を押す
- 4 メニューを選び、**決定** を押す
- 5 表示したい機能を選び、**決定** を押す
 •登録できる機能については (→41)
- 6 「はい」を選び、**決定** を押す

☞ スタート画面の表示をお買い上げ時の設定に戻すには

- ① [スタート] を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す
- ③ 「設定する・その他の機能」を選び、[決定] を押す
- ④ 「お好み設定リセット」を選び、[決定] を押す
- ⑤ 「はい」を選び、[決定] を押す

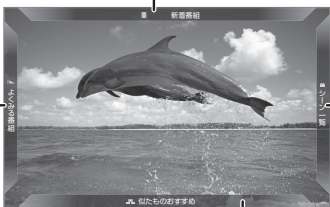
壁紙を変更する

- 1 **スタート** を押す
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す
 •表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。
- 3 「設定する・その他の機能」を選び、**決定** を押す
- 4 「壁紙設定」を選び、**決定** を押す
- 5 壁紙を選び、**決定** を押す
 •「写真」を選ぶ場合は、あらかじめ「壁紙登録」(→143)を行ってください。
- 6  **BRX2000** **戻る** を押す
 •壁紙設定を終了します。

再生メニューについて

番組を視聴または再生中に、再生メニューを使用すると、選んだ項目に従って録画した番組を表示することができます。

- 1 **BRX6000** **BRX4000** **再生メニュー** **BRX2000** **再生メニュー** ● を押す
● **BRX6000** **BRX4000** モーションボタン (→36) を押して操作することもできます。

- 2 **項目を選び、決定** を押す
新着番組やチャンネル録画、通常録画のメニューを表示 (→右記)
 シーン一覧 (→45) を表示
似たものおすすめ (→45) を表示

画面上部で選んだ項目に関連した番組を一覧表示



- 再生メニューを消すには
[再生メニュー] を押す

画面上側を選んだ場合 (新着番組、チャンネル録画・通常録画一覧)

左記手順 2 のあと

- 3 **項目を選び、決定** を押す
新着番組メニューでは、新着番組画面 (→38) で登録された項目が表示されます。

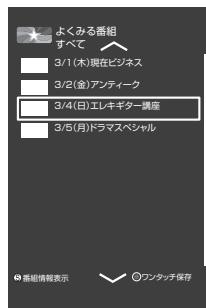


チャンネル録画
メニューへ

通常録画
メニューへ

- 選んだ項目に関連した番組一覧が画面左側に表示されます。

- 4 **番組を選び、決定** を押す
●再生を開始します。



- [サブメニュー] を押すと、番組内容を確認できます。
- チャンネル録画した番組の場合、**[ワンタッチ予約 / 録画 ●]** を押すとワンタッチ保存をします。(→55)

- 再生が終了すると、次の番組が引き続き再生されます。
- 再生中に[▲][▼]を押すと、下記の画面が表示され、前後の番組に切り換えることができます。
[決定] を押すと再生します。



画面下側を選んだ場合 (似たものおすすめ)

再生中の番組とよく似たジャンルの番組をチャンネル録画した番組から検索して、あなたにお勧めします。また、インターネットに接続してミモラの会員登録(→244)を行うと、以下の検索も行うことができるようになります。

- チャンネル録画番組では、ジャンルに加えてキーワードや出演者の情報を基によく似た番組を検索
- 動画共有サイトやアクトビラでは、番組のジャンルやシーン情報(キーワードや出演者など)を基によく似た動画を検索

44 ページ手順2のあと

3 [◀][▶]を押して、番組やシーン(場面)、または動画を選び、決定を押す 再生が始まります。



[▲][▼]で、検索対象を本機のHDD(チャンネル録画、通常録画)または動画共有サイトやアクトビラに切り換えることができます。

次のおすすめ一覧を選ぶには
[◀◀][▶▶]を押す

お知らせ

- シーン情報は地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2015年3月現在)
対応番組については、ミモラのホームページ(→244)をご覧ください。
- 地域によって全国放送と異なる番組が放送された場合や、シーン情報を付与するサービスが予告なく終了した場合、検索機能が正常に働かないときがあります。
- 以下の番組は検索されません。
 - ・録画中の番組
 - ・3D番組
 - ・視聴制限のある番組
 - ・番組の画像(サムネイル)が作成されていない番組
 - ・シーン情報が付与されていない番組 など
- 録画時間の長い番組やインターネットに接続している場合、検索結果の表示に時間がかかるときがあります。

画面右側を選んだ場合 (シーソー覧)

再生中の番組のシーソー覧を表示します。

(インターネット接続時のみ)

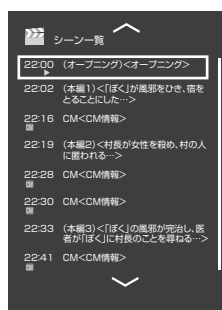
シーソー覧では、録画した番組の流れを確認することができます。

ミモラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

サービスの登録について(→244)

44 ページ手順2のあと

3 ミモラ会員登録している場合： 見たいシーンを選び、決定を押す



- 再生が終了すると引き続き次のシーンが再生されます。

お知らせ

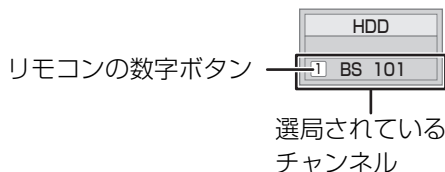
- シーソー覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2015年3月現在)
また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。
詳しくは、ミモラのホームページ(→244)をご覧ください。
- 以下の番組ではシーソー覧は表示できません。
 - ・番組結合した番組
 - ・BDからダビングした番組
 - ・シーン情報のない番組
- 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

テレビ放送を見る

1 地上 BS CS を押す

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 1あ ~ 12新 または チャンネル を押して、チャンネルを選ぶ



お知らせ

- 本機でワンセグ放送を視聴することはできません。
- 追加チャンネル (→ 60) 登録時は、通常録画中に放送やチャンネルを切り換えることはできません。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- 本機では、データ放送を録画できません。
録画が始まるとデータ画面が消えます。
- 情報サービスを利用するには、ネットワークの接続と設定が必要な場合があります。(→230、242)

1 データ放送のある番組を選局し、データ を押す

2 見たい項目を選び、決定 を押す

例)



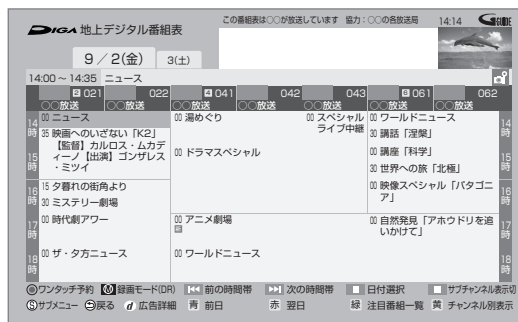
- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄]や数字ボタンで操作してください。

- ☞ データ画面を消すには
[データ] を押す

その他の選局方法

番組表から選局

- 1 BRX6000 BRX4000 を押す
- 2 放送中の番組を選び、決定 を押す



- ☞ 別の放送の番組表を見るには
[地上][BS][CS] を押す

- 3 「今すぐ見る」を選び、決定 を押す

3桁チャンネル番号を入力して選局

- 1 テレビ視聴中に、3桁入力 を押す
●押すごとに放送が切り換わります。
- 2 1あ ~ 10 を押して、チャンネルを入力する
例) 101 の場合…[1] → [10] → [1]
●画面が表示されている間に入力してください。

- ☞ 枝番号の異なる放送を選局するには
(地上デジタル) (→48「枝番選局」)

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。放送に関係なく1つのリストに表示することができます。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

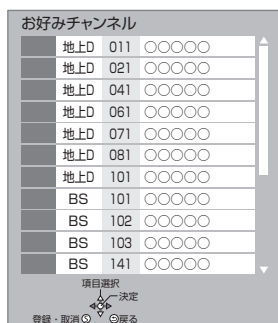
① テレビ視聴中に、



- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度[サブメニュー]を押してください。

② 「お好みチャンネル」を選び、[決定] を押す

③ 放送局を選び、[決定] を押す



■チャンネルの登録

- ① 登録したい放送局を視聴中に、[サブメニュー]を押す
- ② 「お好みチャンネル」を選び、[決定]を押す
- ③ [サブメニュー]を押す
- ④ 「登録」を選び、[決定]を押す
- ⑤ 「はい」を選び、[決定]を押す
 - リストの一番下に登録されます。
(最大 48 チャンネル)

■チャンネルの取り消し

- ① [サブメニュー]を押す
- ② 「お好みチャンネル」を選び、[決定]を押す
- ③ 取り消す放送局を選び、[サブメニュー]を押す
- ④ 「取消」を選び、[決定]を押す
- ⑤ 「はい」を選び、[決定]を押す

●お知らせ

- お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

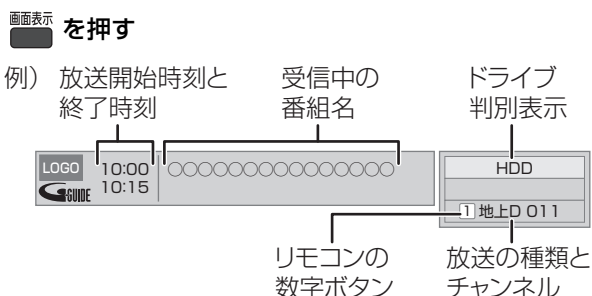
番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

(詳しくは → 104 「画面モード切換」)

見ている番組の情報を表示



表示を消すには
[画面表示] を数回押す

音声を切り換える



- 押すごとに、放送の内容によって音声切り換わります。

●お知らせ

- 多重音声の記録について (→ 85)
- 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

字幕を表示する

視聴している番組が字幕付きの番組の場合、字幕を表示できます。



- 押すごとに、字幕の表示の入 / 切を切り換えます。

テレビ放送を見る (続き)

放送中の番組の 3D 設定をする

●3D 対応テレビと接続時

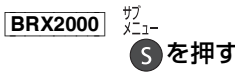
サイドバイサイド (2 画面構成) などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。
(詳しくは →106 「出力方式」)

はじめから再生

視聴中の番組の放送開始時点から再生を開始することができます。
(チャンネル録画を設定しているチャンネルでチャンネル録画実行中のみ有効)

テレビ視聴中に、 を 1 秒以上押す

放送内容などの設定

- ① テレビ視聴中に、
  を押す
●サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。
- ② 「デジタル放送メニュー」を選び、 を押す
- ③ 設定項目を選び、 を押す (→ 右記へ)
-  **お知らせ**
●視聴中の番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号 (→185) を入力して視聴制限を一時解除します。																
データ放送表示切	データ放送の表示を終了します。																
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 <table><tr><th colspan="2">信号切換</th></tr><tr><td>マルチビュー</td><td>主番組</td></tr><tr><td>映像</td><td>映像1</td></tr><tr><td>音声</td><td>日本語</td></tr><tr><td>二重音声</td><td>主</td></tr><tr><td>データ</td><td>データ1</td></tr><tr><td>字幕</td><td>入切</td></tr><tr><td>字幕言語</td><td>日本語 英語</td></tr></table> 設定する項目を選び、設定する  お知らせ ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 (詳しくは →86)	信号切換		マルチビュー	主番組	映像	映像1	音声	日本語	二重音声	主	データ	データ1	字幕	入切	字幕言語	日本語 英語
信号切換																	
マルチビュー	主番組																
映像	映像1																
音声	日本語																
二重音声	主																
データ	データ1																
字幕	入切																
字幕言語	日本語 英語																
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。																
枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 (例: 「011-0」、「011-1」) 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 放送局を選び、[決定]を押す  主選局を変更するには 主選局にしたい放送局を選び、[緑]を押す																

チャンネル録画について

チャンネル録画は、指定したチャンネルを本機の HDD または USB-HDD に自動で録画し、一時的に保存する機能です。

●指定できる最大チャンネル数

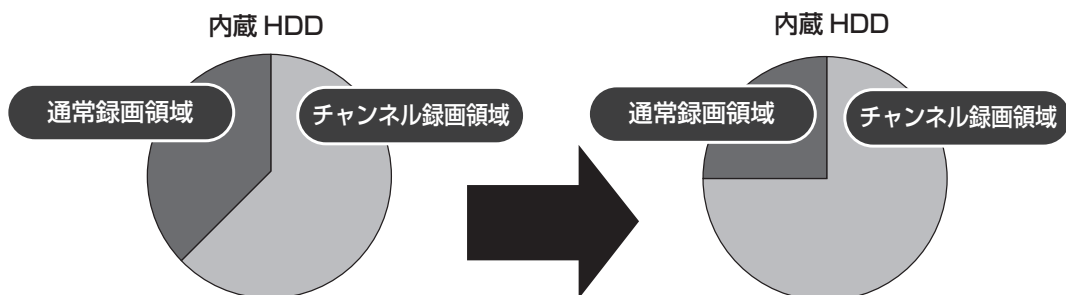
BRX6000 : 10 チャンネル (追加チャンネルを登録していないときは 8 チャンネル)

BRX4000 **BRX2000** : 6 チャンネル (追加チャンネルを登録していないときは 4 チャンネル)

(BS・CS 放送は追加チャンネル登録時は 5 チャンネルまで、追加チャンネル未登録時は 3 チャンネルまでしか録画できません)

🔗 B-CAS カードの契約について (→221)

チャンネル録画できる時間を増やすには



- 通常録画用 HDD の領域の一部をチャンネル録画用に割り当てると、チャンネル録画できる時間を増やすことができます。(→59「HDD 領域割り当て設定」)

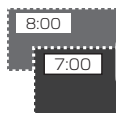
チャンネル録画できるチャンネル数を増やすには

- 追加チャンネル (→60) を登録すると、地上デジタル放送や BS/CS 放送の番組を 2 チャンネル追加して録画できます。
(ただし通常の予約録画は 1 番組のみとなり同時録画はできなくなります)

USB-HDDにチャンネル録画するには

- USB3.0 対応の USB-HDD が必要です。
- BRX6000** : 本機背面の「チャンネル録画用」の USB 端子に接続してください。
- BRX4000** **BRX2000** : 本機背面の「通常録画用またはチャンネル録画用」の USB 端子に接続してください。
- チャンネル録画用フォーマットを行ってください。(→211)

チャンネル録画できるHDD容量が不足した場合



古い番組から
自動的に消去

- 残しておきたい番組は、ワンタッチ保存 (→55) してください。

🔔お知らせ

- 有料の BS・CS 放送をチャンネル録画する場合は、有料放送事業者との視聴契約が必要です。(→221)
- データ放送は録画できません。
- 本機の安定性維持のために行われるメンテナンス中は、チャンネル録画や再生、ダビングなどの一部機能が使えません。(→59)
(メンテナンス時間は 1 日 5 分～最長 60 分です)
- メンテナンスやチャンネル録画設定などチャンネル録画を一時中断する動作が行われると、中断された番組はチャンネル録画一覧では分割して表示されます。

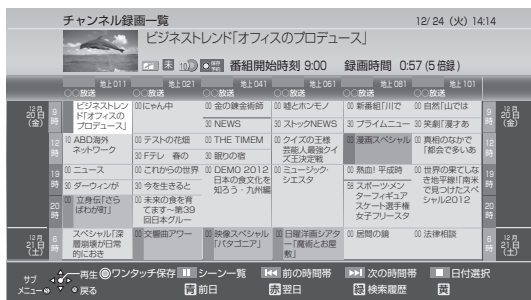
チャンネル録画した番組を再生する

1 **BRX6000** **BRX4000** **チャンネル録画** **BRX2000** **チャンネル録画** **を押す**

番組を検索するには (→52)

2 **番組を選び、決定** **を押す**

● **BRX6000** **BRX4000** モーションボタン (→36) でも番組を選ぶことができます。



●再生が終了すると、次の番組が引き続き再生されます。

●ザッピング操作について

再生中に **[▲]****[▼]****[◀]****[▶]** を押すと、下記の画面が表示されます。

[▲]**[▼]** を押すとその時間の前後の番組に、**[◀]****[▶]** を押すと別のチャンネルの同時時間帯の番組に切り換えることができます。**[決定]** を押すと再生します。



☞再生中のいろいろな操作 (→98)

☞再生設定をする (→103)

●お知らせ

- チャンネル録画番組の再生中に、NHKのBS設置の青ボタン操作メッセージが表示されても、リモコンの青ボタンで操作することはできません。放送中のNHK-BSの視聴に切り換えた状態で青ボタンを操作し、受信契約をしてください。
- ザッピングとは、チャンネルを頻繁に切り換えながら視聴することを意味します。

日付選択

チャンネル録画一覧の表示中に

1 **■停止** **を押す**

2 **日付を選び、決定** **を押す**

チャンネル録画一覧の便利な機能

チャンネル録画一覧の表示中に

1 **BRX6000** **BRX4000** **サブメニュー** **BRX2000** **サブメニュー** **S** **を押す**

2 **項目を選び、決定** **を押す**

先頭から再生	番組の先頭から再生します。
内容確認	番組の内容が確認できます。 ☞画面を消すには [決定]を押す
表示チャンネル数	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
視聴制限一時解除	暗証番号 (→185) を入力して視聴制限を一時解除します。 [決定]を押す
ワンタッチ保存設定	保存先や持ち出し番組の作成など保存機能の設定を行います。(→56)

見たいシーンから再生する (シーナー一覧)

インターネットに接続すると、チャンネル録画した番組のシーナー一覧を表示することができます。シーナー一覧では録画した番組の流れが確認でき、ミモラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることもできます。

☞サービスの登録について (→244)

チャンネル録画一覧の表示中に

1 **番組を選び、一時停止** **を押す**

●シーナー一覧が表示されます。

ミモラ会員登録している場合：

2 **見たいシーンを選び、決定** **を押す**

●選んだシーンから再生が始まります。

☞見どころ一覧を表示するには

上記手順 **1** のあと、**[一時停止]** を押す

●見どころ一覧で、項目を選び、**[決定]** を押すと、その場面の再生が始まります。

●お知らせ

- シーナー一覧は、地上デジタル放送の一部の番組にのみ対応しています。(2015年3月現在) 対応番組については、ミモラのホームページ (→244) をご覧ください。
- シーン情報のない番組ではシーナー一覧は表示できません。
- 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

チャンネル録画一覧の見方

表示マークについては → 操作ガイド (→2)

チャンネル録画を設定したチャンネルのみ表示されます

現在の日時
12/24 (火) 14:14

選択中の番組紹介
ビジネスランド「オフィスのプロデュース」

番組の画像(サムネイル)を表示

番組開始時刻 9:00 録画時間 0:57 (5倍録)

選択中の番組

開始時刻から記録できていない番組には「00」などの分表示が付きません

リモコンのボタンの働き

ワンタッチ保存 (→56)

シーナー覧 (→50)

検索履歴 (→54)

日付選択 (→50)

短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。

00 熱血! 平成時	00 熱血! 平成時
58 スポーツ・メン	58 番組情報

お知らせ

●番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。

- 30 秒未満の番組タイトルは表示されません。
- ワンタッチ保存で移動された番組はグレー表示になり、番組を選んで再生することはできません。
- 番組の画像（サムネイル）は、通常録画中には作成されません（「録画中」または「録画済」と表示）。通常録画終了後に随時画像を作成します。
- 1 番組として扱える録画時間は最大約 8 時間です。8 時間を超える長時間番組は、自動的に分割して別番組として録画します。
- 番組タイトルが表示されていても、チャンネル録画の指定時間内に放送が開始または終了しない場合は、指定時間外の部分は録画されません。

チャンネル録画した番組を検索する

検索機能を使って番組を探す

複数の検索条件を組み合わせることでチャンネル録画した番組を検索することができます。

1 [検索] を押す

- チャンネル録画一覧表示中に[検索]を押した場合は、手順3に進んでください。

2 「チャンネル録画一覧」を選び、[▶] を押す



3 検索条件を設定する(→ 右記)

- 検索条件を指定しない項目は、「指定しない」を選んでください。
([赤]を押して「指定しない」にすることもできます)
- チャンネル録画一覧(→51)から検索する場合、その番組に関連したキーワードが「フリーワード」に黄色表示されます。関連した番組を探すのに便利です。

☞ 設定した検索条件をリセットするには
[青]を押す

4 すべての設定が終了したら、[決定] を押す

☞ 再検索するには
[検索]を押す

5 検索した番組を操作する

☞ 番組を再生するには
番組を選び、[決定]を押す

☞ 保存するには
番組を選び、[ワンタッチ予約/録画 ●]を押す
●ワンタッチ保存の便利な機能について
(→56)

検索条件について

検索単位	「番組」または「シーン」単位で検索
チャンネル	チャンネル録画設定で登録されている放送の種類や放送局名
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル	「ジャンル」の詳細
フリーワード	登録したワード ☞ フリーワードを登録する(→53) ●番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容(→63 手順4)の文字情報から検索します。 ●インターネットに接続すると、句のキーワード(青色表示)を取得することができます。
期間	番組を録画した期間

☞ お知らせ

- 検索結果が500件を超える場合、結果を表示できません。検索条件を見直し、再検索してください。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
- インターネットから取得したキーワード(青色表示)は、ディモラサービスから取得しています。
(ネットワークの接続状態によっては、取得できない場合があります)

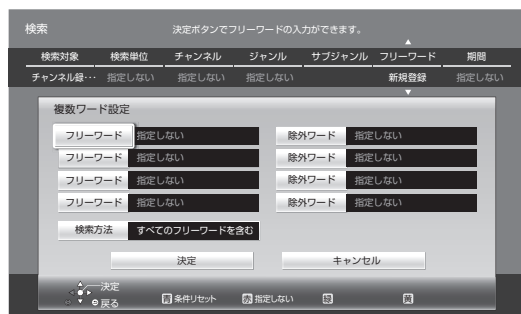
フリーワードを登録する

フリーワードは 20 件まで登録することができます。

① 「新規登録」を選び、**決定** を押す

② 項目を選び、設定する

☞ 文字入力 (→180)



フリーワード：

入力した文字に関連した番組を検索します。

除外ワード：

入力した文字に関連した番組を検索の対象から除外します。

検索方法：

検索時のフリーワードの組み合わせ方を設定します。

- 「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を検索します。
- 「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれか 1 つでも一致した番組があった場合、その番組を検索します。

③ 設定が完了したら、「決定」を選び、**決定** を押す

☞ インターネットから取得したキーワード（青色表示）を登録するには

キーワード（青色表示）を選び、**[緑]** を押す

☞ 登録したフリーワードを変更するには

① 変更したいフリーワードを選び、**[緑]** を押す

② 項目を選び、設定する

☞ 文字入力 (→180)

☞ 登録したフリーワードを削除するには

削除したいフリーワードを選び、**[黄]** を押す

チャンネル録画した番組を検索する (続き)

番組検索したキーワードの履歴から番組を探す

過去に検索機能 (→52) を使って番組検索したときに設定した検索条件の履歴から、チャンネル録画一覧の番組を検索します。

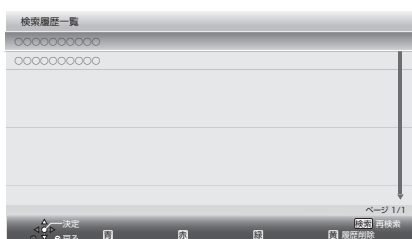
チャンネル録画一覧の表示中 (→50 手順2) に

3 を押す

- 過去に検索したキーワードが表示されます。

4 検索に使用するキーワードを選び、

 を押す



5 検索した番組を操作する

 番組を再生するには

番組を選び、[決定] を押す

 保存するには

番組を選び、[ワンタッチ予約/録画 ●] を押す

- ワンタッチ保存の便利な機能について (→56)

検索履歴を削除する

左記手順3のあと

4 削除したい項目を選び、 を押す

5 「はい」を選び、 を押す

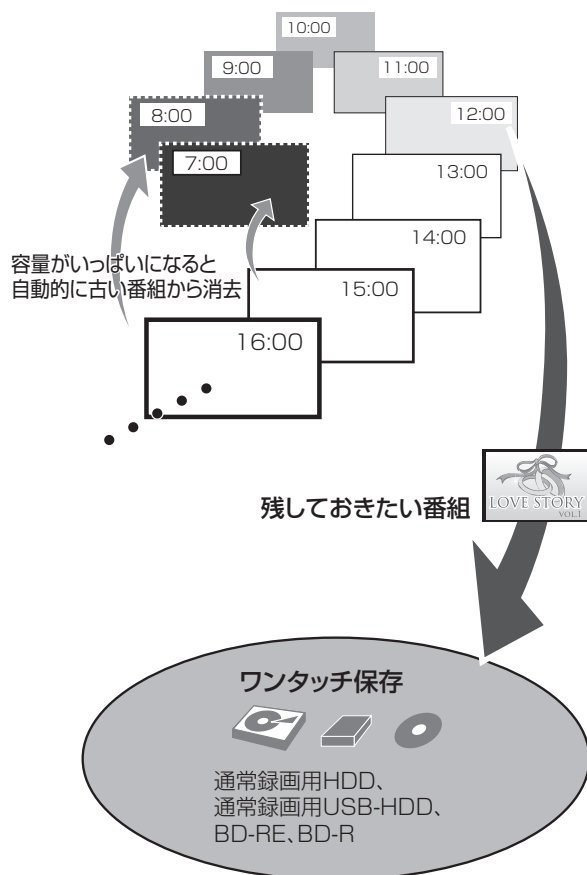
お知らせ

- 「検索履歴」は50個まで記録されます。50個を超えると、古い項目から順番に削除されます。

チャンネル録画した番組を保存する（ワンタッチ保存）

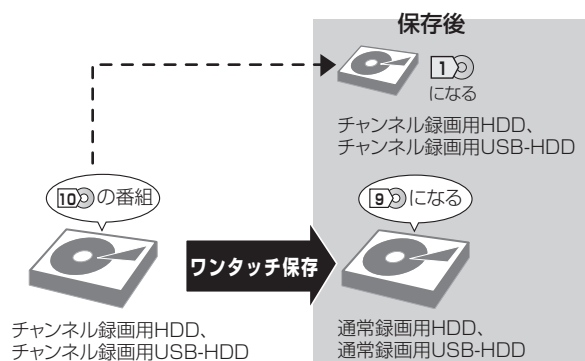
チャンネル録画では、チャンネル録画用 HDD、チャンネル録画用 USB-HDD の容量が不足すると、自動的に古い番組から上書き消去します。残しておきたい番組は、通常録画用 HDD、USB-HDD またはブルーレイディスクにワンタッチ保存してください。

チャンネル録画した番組

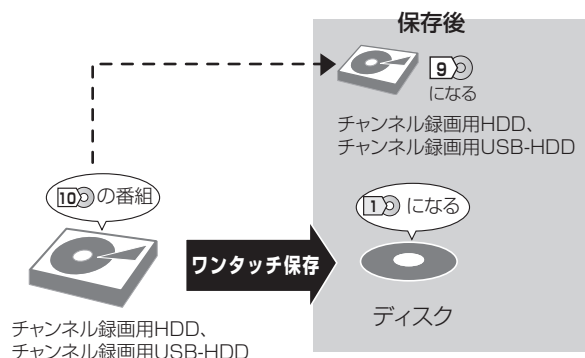


■ コピー制限のある番組のワンタッチ保存について
チャンネル録画番組では、ダビングの残り回数が通常録画した番組と違って以下ようになります。

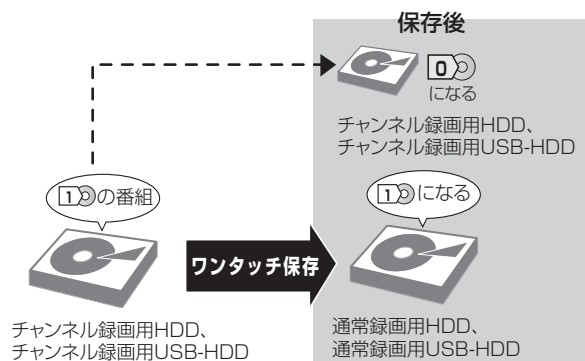
● 通常録画用 HDD、USB-HDD に保存する場合：
チャンネル録画用 HDD は ① になり、残りの回数は保存先の番組に移動します。



● BD-RE、BD-R に保存する場合：
チャンネル録画用 HDD の残りの回数は 1 回減り、ディスク側では ① になります。



● ⑩の番組を保存する場合：
保存先の種類に関係なく、チャンネル録画用 HDD は ⑩ になり、チャンネル録画一覧では再生できなくなります。



チャンネル録画した番組を保存する（ワンタッチ保存）（続き）

チャンネル録画した番組のワンタッチ保存は、本機の動作状況に合わせて実行するため、ワンタッチ保存の予約状態となります。

保存方向：

HDD **USB-HDD** → **HDD** **BD-RE** **BD-R** **USB-HDD**

SeeQVault フォーマットの USB-HDD には保存できません。

●新品のディスクに保存する場合は、フォーマットをしてください。（→176）

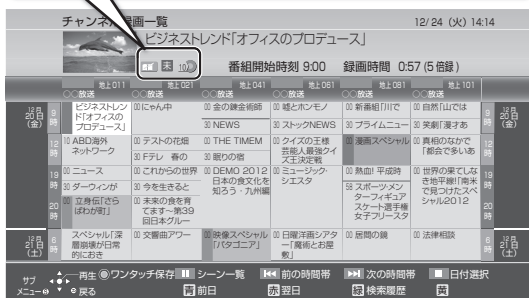
1 **BRX6000** **BRX4000** **BRX2000** を押す

2 **番組を選び、ワンタッチ予約/録画** **ワンタッチ予約/録画** を押す

ワンタッチ保存が予約され、通常録画用 HDD に保存されます。

☞ 保存先などを変更するには（→ 右記）

●表示マークについては → 操作ガイド（→2）



☞ ワンタッチ保存の状況を確認するには（→57）

ワンタッチ保存の便利な機能

チャンネル録画一覧の表示中に

- ① **BRX6000** **BRX4000** **BRX2000** **S** を押す
- ② 「ワンタッチ保存設定」を選び、**決定** を押す
- ③ 項目を選び、設定する（→ 下記）
- ④ 「設定完了」を選び、**決定** を押す

保存先	保存先を選びます。
持ち出し番組の作成	保存実行時に持ち出し番組も作成するように設定します。 HDD
持ち出し番組の設定	保存実行時に作成する持ち出し番組の詳細な設定をします。 （→155） ☞ 持ち出し方法と画質について（→154）

お知らせ

- 以下の場合にはワンタッチ保存は実行されません。
 - ・通常録画した番組のダビング中
 - ・USB-HDD や ディスクへのワンタッチ保存の予約と、録画先が USB-HDD や ディスクの通常録画の予約が重複した場合
- チャンネル録画の録画モードに DR～1.8 倍録を 1 つでも設定している場合、以下の制限があります。
 - ・ディスクへのワンタッチ保存中は、チャンネル録画の再生はできません。
 - ・HDD や USB-HDD へのワンタッチ保存中にチャンネル録画の再生を行うと、ワンタッチ保存は一時的に中断します。
 - ・ワンタッチ保存中は、お部屋ジャンプリンク (DLNA) の再生はできません。
- ワンタッチ保存を予約したあと、HDD の容量不足のために番組が上書き消去されることがあります。消去を防止するには「ワンタッチ保存の優先モード」を「保存優先」に設定してください。（→193）
- ワンタッチ保存を予約できる最大番組数は 99 です。
- 保存先の残量不足などで保存が実行できない場合は、通常録画用 HDD、または USB-HDD に代替で保存します。

ワンタッチ保存の確認、取り消し、修正など

1 **スタート** を押す

2 「ワンタッチ保存を確認する」を選び、

決定 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 番組を選び、右記の操作を行う

表示マークについては → 操作ガイド (→2)

ワンタッチ保存				登録数	99
保存一覧	履歴一覧				
12/25 (日) 12:45 ~ 14:30 地上 001 ○○○	HDD	○○○○○○○○○○○○○○○○○○			
12/26 (月) 21:30 ~ 22:54 地上 003 ○○○	HDD	○○○○○○○○○○○○			
2/4 (水) 9:55 ~ 10:50 地上 002 ○○○	HDD	○○○○○○○○○○○○○○			
2/12 (木) 14:25 ~ 15:00 地上 006 ○○○	HDD	○○○○○○○○○○○○○○○○			
3/8 (日) 20:00 ~ 21:30 地上 001 ○○○	HDD	○○○○			
3/10 (火) 12:50 ~ 14:30 地上 003 ○○○	BD	○○○○○○○○○○○○○○○○○○			

④ 「保存一覧」と「履歴一覧」を切り換えるには
[◀][▶] を押す

予約の取り消し

- 1 **黄** を押す
- 2 「はい」を選び、**決定** を押す

予約内容の修正

- 1 **決定** を押す
- 2 「設定変更」を選び、**決定** を押す
 - 「ワンタッチ保存設定」(→56) が変更できます。

視聴制限の一時解除

暗証番号 (→185) を入力して視聴制限を一時解除します。

- 1 **BRX6000** **BRX4000** **サブメニュー S** **BRX2000** **サブメニュー S** を押す
- 2 「視聴制限一時解除」を選び、**決定** を押す
- 3 **1** ~ **10** で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

容量不足などの理由により失敗したワンタッチ保存の履歴を一覧表示します。

- 1 **BRX6000** **BRX4000** **サブメニュー S** **BRX2000** **サブメニュー S** を押す
- 2 「履歴一覧表示」を選び、**決定** を押す
 - 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

保存に失敗した番組などの履歴を削除します。

- 1 **BRX6000** **BRX4000** **サブメニュー S** **BRX2000** **サブメニュー S** を押す
- 2 「履歴削除」を選び、**決定** を押す
- 3 「はい」を選び、**決定** を押す



チャンネル録画

チャンネル録画設定を変更する

放送、チャンネル、録画モードや録画時間を変更したい場合に行います。

チャンネルの設定を変更すると

変更前のチャンネルで録画された番組がすべて消去されます。

また、ワンタッチ保存の予約も取り消されます。

1 **BRX6000** チャンネル録画設定 **BRX2000** チャンネル録画設定 **BRX4000** を押す

2 「設定変更」を選び、**決定** を押す

例)

☞「受信状態」の表示について

- 契約が必要：チャンネルが未契約のため録画できない
- B-CAS 未認識：B-CAS カードを認識できない
- 受信不可：アンテナ抜け、放送電波が弱いため録画できない

☞「録画状態」の表示について

- 停止中：チャンネル録画の停止を設定したため、録画が停止している
- 一時停止中：アンテナ抜け、チャンネルが未契約、B-CAS カードが誤挿入されているため、録画が一時停止している
- 時間外：現在の時間が録画時間外のため、録画が停止している
- 中断中：ワンタッチ保存実行中などで録画を中断している

☞「開始・停止」について

本機を移動させるときなど電源コードを抜く場合は、「開始・停止」を設定してから電源を切ってください。

- チャンネル録画を再開するときは、もう一度「開始・停止」を選んでください。

3 「はい」を選び、**決定** を押す

- 「はい」を選ぶと、実行中のチャンネル録画は中断されます。

4 変更したいチャンネルを選び、**決定** を押す

例)

- 「設定やり直し」を選ぶと、チャンネル録画設定を最初からやり直すことができます。(→241)
- 各色ボタンでの操作は59～60ページをご覧ください。
- BRX6000** ケーブルテレビ自主放送チャンネルを「地上D専用」に設定すると録画できない場合があります。

5 録画するチャンネルの設定を変更する

- 録画先を「USB-HDD」に設定するには、あらかじめUSB-HDD をチャンネル録画用に接続・登録(→211)しておく必要があります。
[追加チャンネル(→60)の録画先は「USB-HDD」に設定できません]
- 録画先を「USB-HDD」に設定できるチャンネル数は最大4チャンネルです。
- チャンネル録画で選べる録画モードは以下の通りです。
- BRX6000**：DR～15倍録
- BRX4000** **BRX2000**：2倍録～15倍録
(追加チャンネルの場合、DR～15倍録)
録画モードを高画質に変更すると、番組が消去されるまでの日数が短くなります。

6 「設定完了」を選び、**決定** を押す

- 設定を変更した場合は、確認画面上で「はい」を選んでください。

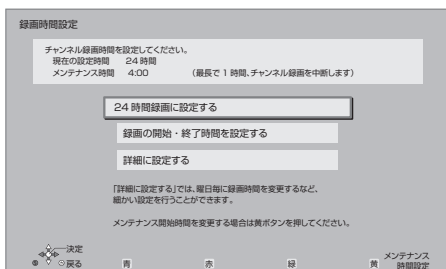
録画時間を変更する

チャンネル録画を行う曜日・時間帯を変更します。
(チャンネルごとの設定はできません)

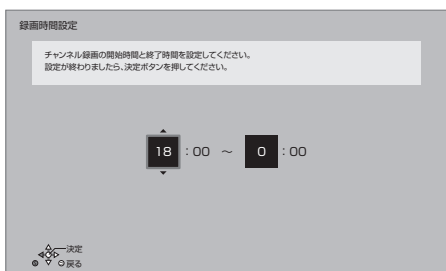
チャンネル録画設定画面の表示中(→58 手順 4)に

①  を押す

② 変更する時間帯を選び、 を押す



☞「録画の開始・終了時間を設定する」の場合
“時間”を変更し、[決定]を押す

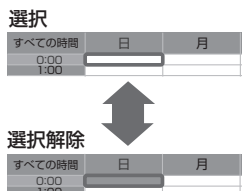


☞「詳細に設定する」の場合

① 録画時間を選び、[青]を押す



●[青]を押すたびに、選択と選択解除が切り換わります。



- 「すべての時間」を選ぶと、全時間を選択できます。
- 「曜日」や「時間」を選ぶと、列や行をまとめて選択できます。

② 設定終了後、[黄]を押す

メンテナンス時間を変更する

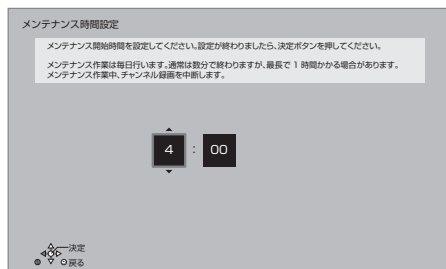
本機の安定性維持のため毎日メンテナンスを行います。メンテナンスは、通常は数分で終わりますが、最長で1時間かかる場合があります。

メンテナンス中はチャンネル録画や再生、ダビングなどの一部機能が使えません。(通常の予約録画は行います)

チャンネル録画設定画面の表示中(→58 手順 4)に

①  を押す

② “時” “分”を変更し、 を押す



HDD 領域割り当て設定

通常録画用 HDD の領域の一部をチャンネル録画用に割り当てることで、チャンネル録画できる時間を増やすことができます。(チャンネル録画用 HDD の領域を増やすと、通常録画用 HDD の領域が減ります)

●[BRX6000] 追加チャンネル(→60)登録時のみできます。

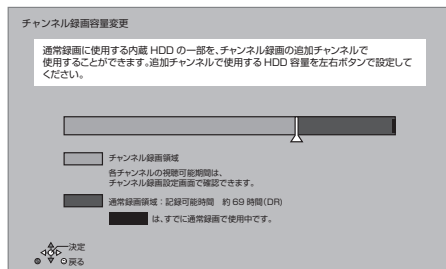
チャンネル録画設定画面の表示中(→58 手順 4)に

①  を押す

② [◀][▶] でチャンネル録画に使用する HDD の容量を設定する

☞ 録画モードと記録時間や記録日数の目安(→255、258)

例)



チャンネル録画設定を変更する (続き)

録画できるチャンネル数や録画容量を増やす (追加チャンネル)

追加チャンネルを登録すると、チャンネル録画できるチャンネル数を以下のように増やすことができます。

BRX6000 :

最大 8 チャンネル → 最大 10 チャンネル

BRX4000 **BRX2000** :

最大 4 チャンネル → 最大 6 チャンネル

チャンネル録画設定画面の表示中 (→58 手順 4) に

5  を押す

6 「はい」を選び、 を押す

7 チャンネル録画容量を設定し、 を押す

- [◀][▶] でチャンネル録画に使用する HDD の容量を設定してください。

(詳しくは →59 「HDD 領域割り当て設定」)

8 チャンネル録画を設定する

チャンネル録画設定 (チャンネル録画状態表示)
録画設定を変更する場合は、「設定変更」を選び、決定ボタンを押してください。

チャンネル	チャンネル名	アンテナレベル	受信状態	録画モード	視聴可能期間	録画状態	録画先	
BS 101	〇〇〇〇〇	■	高	OK	5 倍録	約 7 日間	実行中	HDD
BS 141	〇〇〇〇〇	■	高	OK	5 倍録	約 7 日間	実行中	HDD
BS 151	〇〇〇〇〇	■	高	OK	5 倍録	約 7 日間	実行中	HDD
地上 D 011	〇〇〇〇〇	■	高	OK	5 倍録	約 7 日間	実行中	HDD
地上 D 021	〇〇〇〇〇	■	高	OK	5 倍録	約 7 日間	実行中	HDD
地上 D 041	〇〇〇〇〇	■	高	OK	5 倍録	約 7 日間	実行中	HDD
地上 D 061	〇〇〇〇〇	■	高	OK	5 倍録	約 7 日間	実行中	HDD
地上 D 071	〇〇〇〇〇	■	高	OK	5 倍録	約 7 日間	実行中	HDD

視聴 - 録画用カードID: 0000-0000-0000-0000

チャンネル	チャンネル名	アンテナレベル	受信状態	録画モード	視聴可能期間	録画状態	録画先	
BS 161	〇〇〇〇〇	■	高	OK	5 倍録	約 7 日間	実行中	HDD のみ
BS 171	〇〇〇〇〇	■	高	OK	5 倍録	約 7 日間	実行中	HDD のみ

録画時間: 24 時間 メンテナンス時間: 4:00

追加した 2 チャンネルが表示されます。

- 録画先は「USB-HDD」に設定できません。

追加チャンネル登録時の制限について

- 通常録画は 1 番組のみに なります。同時録画はできません。
- ディスクに予約した場合、HDD に代替録画されます。ディスクにダビングしてください。(→118、120)
- 以下の操作をすると、追加した 2 チャンネルの録画は停止します。(操作を終了すると、再びチャンネル録画を再開します)
 - ・市販の BD ビデオの再生
 - ・ディスクや SD カードに記録された撮影ビデオの再生
 - ・「1080/60p」の表示がある番組の再生
 - ・「AVCHD 3D」の表示がある番組の 3D 再生
 - ・「1080/60p」、「AVCHD 3D」の表示がある番組の編集 (→109 ~ 115)
 - ・動画や写真の取り込み (→136、145)
 - ・写真の再生 (→141)
 - ・「動くアルバムメーカー」(→151) の作成
 - ・インターネットを使用するサービスの利用 (→162)
 - ・音楽 CD を HDD に録音 (→152)
- お部屋ジャンプリnk (DLNA) (→168) で本機をサーバーとして使用する場合は、以下の操作はできません。
 - ・本機の電源「入」時に「放送を見る」
 - ・複数の機器から「チャンネル録画を見る」「ビデオを見る」
- 写真のスライドショー (→143) 再生時、表示効果は「フェード」、BGM は「BGM なし」になります。
- 通常録画と追加チャンネルの録画は同じ B-CAS カードを使用します。1 枚の B-CAS カードでは、同じ有料放送の番組を同時に録画することができません。追加チャンネルに登録している有料放送の番組を通常録画する場合は、チャンネル録画は一時停止し、通常録画が優先されます。

放送中の番組を録画する

HDD

この操作では通常録画用 HDD にのみ録画できます。

1 地上 BS 1/2 CS を押す

- [CS] を押すごとに、CS 1 または CS 2 に切り換わります。

2 1 あ 12 新 または 録 を押して、チャンネルを選ぶ

3 録画モード を押して、録画モードを選ぶ

- 押すごとに、切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

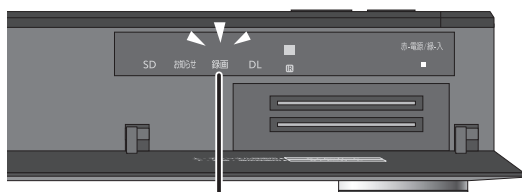
例)

録画モード	
記録可能時間 270時間00分	
放送画質	DR
ハイビジョン画質	3 倍録
	5 倍録
	15 倍録
選択している録画モードの倍率を変更できます。変更する場合は、サブメニューボタンを押してください。	
サブメニュー	決定 戻る

- ハイビジョン画質を選択時に【サブメニュー】を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(→ 87)

4 BRX6000 ワンタッチ予約/録画 BRX2000 録画 BRX4000 を押す

本体前面



“録画”が点灯

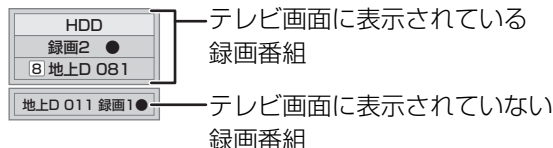
5 録画の終了方法を選び、決定 を押す

録画	
● 3 / 2 (金) 14:35 ~ 16:15 映画へのいざない [K2]	
録画を開始しました。終了の方法を選んでください。	
停止ボタンを押す / 電源を切る まで	
見ている番組が終わるまで	
30分後	
1時間後	
2時間後	

録画中の番組の確認

画面表示 を押す

例) 複数の番組を録画中



録画を止める

■ 停止 を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組を放送切換やチャンネル切換を行ってテレビ画面に表示させてください。

|| 一時停止 を押す

- もう一度押す、または【ワンタッチ予約/録画 ●】を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

お知らせ

- 録画モードと記録時間の目安 (通常録画) (→ 255 ~ 257)
- 録画モードと記録時間の倍率について (→ 87)
- CATV から録画する (→ 127)
- ディスクや USB-HDD へは録画できません。
 - ・予約録画はできます。(ビデオ方式は除く)
- 予約録画が始まり、複数の番組を録画 (→ 88) できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- デジタル放送の番組でも、DVD 画質相当 (従来のアナログ放送と同様の画質) の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、画質は DVD 画質相当です。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

●複数の番組を録画するには

手順 1 ~ 5 で別の番組を録画してください。

- ・3 番組録画中のチャンネル / 放送 / 入力切換は、録画中の番組間でのみ行えます。
- ・番組の同時録画について (→ 88)

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

例) 全チャンネル表示

放送の種類

放送局からののお知らせ

パネル広告: データ

を押すと詳細表示

放送局から送られてくる情報によって番組のジャンルをマークで表示

放送局の3桁チャンネル番号

リモコンのチャンネルボタン番号

短い番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。

現在の録画モード(→86)

予(赤): 録画予約している番組

新: 新番組おまかせ録画(→77)で予約された番組

予(緑): おまかせ録画(→71)、カテゴリまとめて予約(→75)で録画予約している番組

リモコンのボタンの働き

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ/特撮)を色分け表示しています。

お知らせ

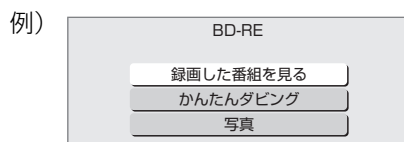
- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに1日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。
- パネル広告について

インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→184)を「入」にすると、インターネット専用のパネル広告を表示することができます。

番組表（Gガイド）を使って通常の予約録画をする

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR
USB-HDD

ディスクに予約録画する場合、ディスクを入れると下記のような画面が表示されますので、**【戻る】**を押して画面を消してください。



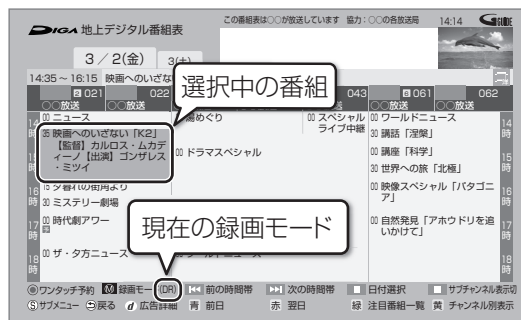
ディスクへは、1 番組のみ予約できます。

●追加チャンネル(→60)が登録されている場合、ディスクへは録画されず、HDD へ代替録画されます。

1 **BRX6000** **BRX4000** **番組表** **BRX2000** **番組表** を押す

2 **決定** で番組を選ぶ

●**BRX6000** **BRX4000** モーションボタン (→36) でも番組を選ぶことができます。



別の放送の番組表を見るには

[地上][BS][CS] を押す

現在の録画モードを変更するには

[録画モード] を押す

番組を検索するには

(→78、107)

3 **決定** を押す

決定 の代わりに

BRX6000 **BRX4000** **ワンタッチ予約/録画** **BRX2000** **ワンタッチ予約録画**

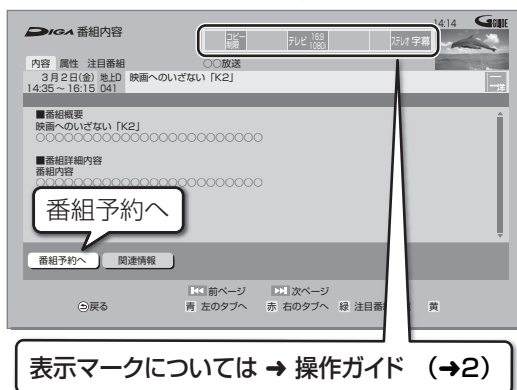
を押すと、

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。(予が表示されます)

- HDD に予約します。
- 手順 4～5 の操作は不要です。



4 「番組予約へ」を選び、**決定** を押す



(→ 次ページに続く)

通常録画

番組表（G ガイド）を使って通常の予約録画をする（続き）

5 項目を選び、**決定**を押す

予約内容を確認してください。

番組予約
録画先 : HDD
録画モード : DR
持ち出し番組の作成 : しない

この設定内容で番組予約しますか？
この番組だけを予約する

毎週予約する
カテゴリでまとめて予約する
録画モードを変更する
持ち出し番組を設定する
詳細設定へ

項目選択 決定 戻る

- ディスクやUSB-HDDに予約録画する場合は、「詳細設定へ」を選び「録画先」を「BD」または「USB-HDD」に変更してください。

この番組だけを予約する：

この番組のみ予約を登録

毎週予約する：

毎週同じ曜日に予約を登録

カテゴリでまとめて予約する：

お好みの番組を自動で登録（→75）

録画モードを変更する：

録画モードを変更（変更後、「この番組だけを予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください）

持ち出し番組を設定する：

モバイル機器へ持ち出すための番組を作成（→155）

詳細設定へ：

録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更（→67）

詳細設定
予約を登録する

録画先 : BD
録画モード : DR
毎週予約設定 : しない
持ち出し番組の設定
イベントリレー : する しない
信号設定
マイラベル設定 : しない
時間指定予約へ

●番組の時間変更に従って録画されます。追従したくない場合は「時間指定予約へ」を選んでください。

項目選択
設定変更 決定 戻る

DVD にデジタル放送を録画する場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。



DVD に予約録画できる記録方式



ハイビジョン画質で記録できます。
（1.5 ～ 15 倍録モードで記録）

- RW** ではできません。



DVD 画質で記録します。
（XP、SP、LP、EP、FR モードで記録）



予約録画できません。

お知らせ

- 複数の番組を予約する場合は、手順 1 ～ 5 の操作を繰り返してください。予約済みの番組をさらにもう 1 番組予約することはできません。
- 番組表はお買い上げ後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。
- 電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
- 本機では 128 番組まで予約できます。（毎日・毎週予約は、1 番組として数えます）
- USB-HDDに複数の番組を同時に録画したい場合は、USB3.0対応の USB-HDD を使用してください。（→209）
- 本機で録画した USB-HDD の番組は、他の機器に接続しても再生することはできません。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD には予約録画できません。

番組表の表示設定

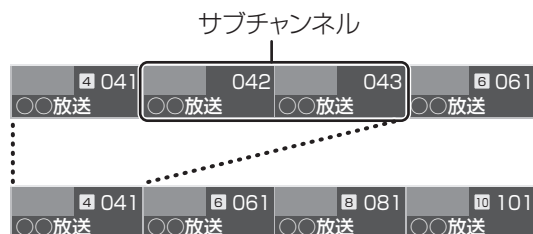
放送の切り換え

地上 ^{1/2} BS CS を押す

サブチャンネルの表示切り換え

番組表のサブチャンネルを表示するかどうかを切り換えることができます。

■ 停止 を押す



お知らせ

- 表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

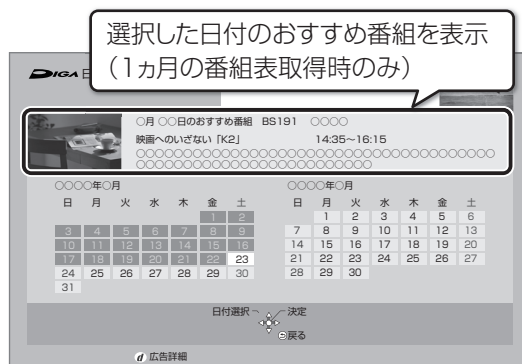
日付の切り換え

- 全チャンネル表示時のみ

青 (前日) 赤 (翌日) を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

- ① [一時停止] を押す
- ② 日付を選び、[決定] を押す



お知らせ

- 本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。
- さらに、本機をインターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→184)を「入」にすると、1カ月の番組情報を取得することができます。(2015年3月現在、インターネットから1カ月の番組情報を取得できる放送局はWOWOW、スター・チャンネルのみです)

時間帯の切り換え

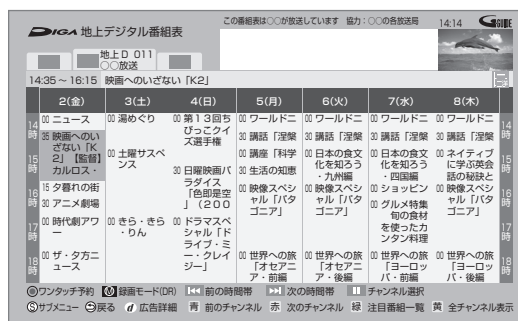
スキップ または スキップ を押す

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

- ① 表示したいチャンネルの番組を選ぶ

- ② 黄 を押す



- ③ 全チャンネル表示に切り換えるには

[黄] を押す

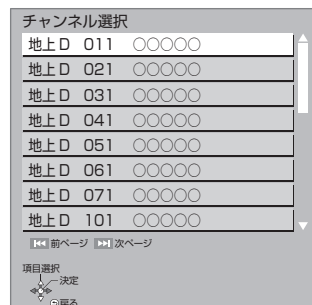
- ④ 別のチャンネルを表示するには

チャンネル別表示中に

[青][赤] を押す

以下の操作でも切り換えることができます。

- ① [一時停止] を押す
- ② チャンネルを選び、[決定] を押す



お知らせ

- 1カ月の番組表を取得している場合、9日目以降の番組情報を取得するには時間がかかります。

通常録画

番組表（G ガイド）を使って通常の予約録画をする（続き）

その他の表示設定

1

番組表表示中に

BRX6000

BRX4000

サブメニュー

S

BRX2000

サブメニュー

S

押す

2

項目を選び、設定する

番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。 (→78)
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好みチャンネル」(→47)で登録されている放送局が表示されます。
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを表示します。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。

ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① メインジャンルを選び、 [決定]を押す ② サブジャンルを選び、 [決定]を押す 🔍 ジャンル別の表示をやめるには ① [サブメニュー]を押す ② 「全ジャンル表示」を選び、[決定]を押す ●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	暗証番号 (→185) を入力して視聴制限を一時解除します。 [決定]を押す
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 [決定]を押す

詳細設定をする

64 ページ手順 5 などで「詳細設定へ」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する (→ 下記へ)

- 「録画モード」「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、**[決定]**を押してください。

2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、**[決定]**を押す

録画先	録画先を選びます。 ●DVD に予約録画する場合は、「BD」を選んでください。
録画モード	録画モード(→86)を設定します。
毎週予約設定	「毎週予約」(→82)を設定する ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。

持ち出し番組の設定

HDD

録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。(→155)

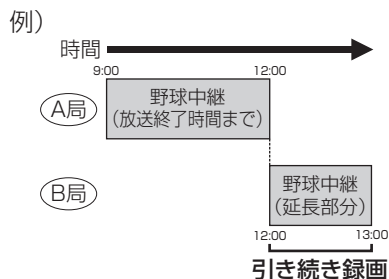
「持ち出し番組の作成」を選び、「する」を選ぶ

- 「かんたん転送の登録」を「する」に設定すると、「かんたん転送」(→156)で転送することができます。
- 持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。(→155)

[決定] 持ち出し方法と画質について (→154)

イベントリレー

「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます)



お知らせ

- 毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。
- 録画先が“BD”の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。
- 他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

番組表（G ガイド）を使って通常の予約録画をする（続き）

信号設定

複数の音声や映像の信号があるときに設定します。
DVD に録画する場合などに設定してください。

信号設定

マルチビュー	主番組
映像	映像1
音声	日本語
字幕	入 切
字幕言語	日本語 英語

項目選択
決定 戻る

① 項目を選び、設定する

② [戻る] を押す

お知らせ

- 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。
(詳しくは →86)
- 選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。

マイラベル設定

HDD

録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。
設定すると、録画一覧(→93)で番組を探すのに便利です。
設定は録画後に変更することもできます。(→111)

マイラベル設定
マイラベルを設定すると、録画一覧で分類ラベルとして表示できます。

しない
ラベル1
ラベル2
ラベル3
ラベル4
ラベル5
ラベル6

項目選択
決定 戻る

ラベルを選び、[決定] を押す

- 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
- マイラベル名は変更することができます。(→95「分類ラベル設定」)
- 一度に録画一覧に設定できるマイラベルは3つまでです。

時間指定予約へ

録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。
(→70「時間指定予約」)

番組表での予約の取り消し / 修正

① 「予」が表示されている番組を選び、

BRX6000 ワンタッチ予約/録画
BRX2000 ワンタッチ予約/録画

を押す

② 項目を選び、決定 を押す

予約修正
3月9日(金) 20:00 ~ 21:00 の予約です。
予約を取り消すか修正方法を選んでください。

予約を取り消す

1回のみの予約に修正する
毎週予約に修正する
月～金の予約に修正する
月～土の予約に修正する
毎日予約に修正する
詳細設定する
カテゴリーでまとめて予約する

項目選択
決定 戻る

☞「詳細設定する」を選んだ場合

「番組予約」のときは(→67「詳細設定」)

「時間指定予約」のときは(→70「時間指定予約」)

☞「カテゴリーでまとめて予約する」を選んだ場合(→75)

録画中の予約録画を止める

1

■停止 を押す

- 複数の番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2

「はい」を選び、決定 を押す

例)

録画停止
録画中 [地上D 041]
現在、ご覧のチャンネルを録画中です。
この録画を停止してもよろしいですか？

はい いいえ

サブメニュー 決定 戻る

- 上記画面が表示されない場合は、本機の映像をテレビに映してください。(→35)

注目番組一覧から予約録画する

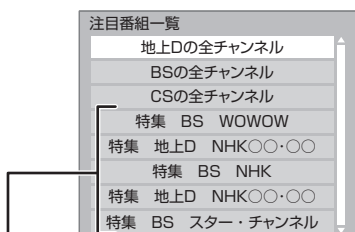
放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に

緑 を押す

2 放送を選び、**決定** を押す

- 地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順4へ進んでください。

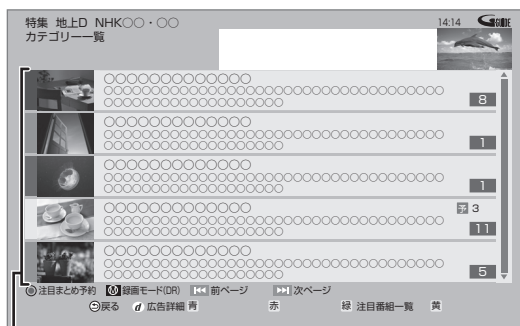


インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→184)を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。

(2015年3月現在、インターネットから注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです)

3 (インターネットから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)

カテゴリーを選び、決定 を押す



カテゴリー

☞ カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには

[ワンタッチ予約 / 録画 ●] を押す

- 予**が表示され、予約は完了します。
- 録画された番組は、**まとめ** 番組になります。

☞ 放送を変更するには

[緑] を押す (→手順2へ)

4 番組を選び、**決定** を押す



カテゴリー

☞ 前後のページを見るには

[◀][▶] を押す

☞ 他のカテゴリーを表示するには

[青][赤] を押す

([||一時停止] を押してカテゴリーを選択することもできます)

☞ 放送を変更するには

[緑] を押す (→手順2へ)

☞ 録画モードを変更するには

- ① [録画モード] を押す
- ② 録画モードを選び、[決定] を押す

5 「番組予約へ」を選び、**決定** を押す

(「番組予約」のときは→64手順5)

(「時間指定予約」のときは→70手順3)

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR
USB-HDD

予約内容の設定

時間指定予約

1 予約確認 を押す

2 BRX6000 ワンタッチ予約/録画 BRX2000 ワンタッチ予約
BRX4000 を押す

3 予約内容を設定する
(→ 右記「時間指定予約」へ)

CATVセットトップボックスなどの外部入力から録画するときは「外部入力L1」を選んでください。

4 「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 暗証番号に関する表示が出たとき
デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号 (→185) の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る]を押すと予約できます。
- 本機の日時が間違っている場合は、日時設定を行ってください。(→190「日時設定」)
- 番組追従機能 (→82) は動きません。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD には予約録画できません。

① 項目を選び、設定する (→ 下記へ)

- 「毎週予約設定」「録画モード」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、[決定]を押してください。

② 設定が終了したら、
左記手順4へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日・毎週予約を設定します。 (→67「毎週予約設定」)
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ● [◀] または [▶] を押したままにすると 15 分単位で変更できます。
録画先	録画先を選びます。
録画モード	録画モード (→86) を設定します。
持ち出し番組の設定	持ち出し番組作成の設定をします。 (→67)
HDD	
番組名入力	● 文字入力について (→180) ● 入力なくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。(→68)
HDD	

自動予約機能を使う

おまかせ録画する

設定した録画条件から番組を毎日検索し、自動で予約録画します。

- **[HDD]** に 5 倍録モードで予約録画されます。
録画モードを変更したい場合は、「録画モードを設定する」(→72) で設定してください。
- おまかせ録画は最大 12 個まで登録できます。
🔍 自動予約機能で予約可能な番組数について (→84)

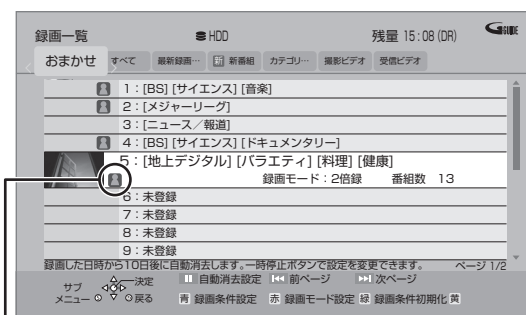
1 スタート を押す

2 「おまかせ録画」を選び、決定を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 「未登録」を選び、青を押す

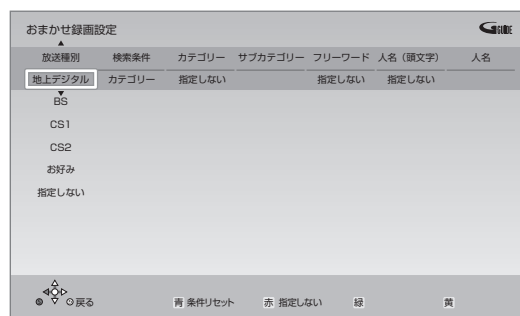
- 登録済みのおまかせ録画を変更するには、項目を選び、[青] を押してください。



マイメニューの利用者アイコン

- 設定したおまかせ録画はマイメニューにも登録できます。(→174)
マイメニューで登録した場合は、登録したボタンに対応した色のアイコンが表示されます。

4 録画条件を設定する (→72)



5 すべての設定が終了したら、決定を押す

🔍お知らせ

- おまかせ録画の自動予約を取り消す場合は、登録済みのおまかせ録画を取り消してください。(録画条件の初期化) (→76)
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。(→84「自動予約する番組の優先順位について」)

自動予約機能を使う (続き)

■ 録画条件について

放送種別	放送の種類 ●「お好み」は、「お好みチャンネル」(→47)で登録されている放送局です。
検索条件※1	「ジャンル」、「カテゴリー」、「ディモラおまかせ」の切り換え ●「ディモラおまかせ」に設定すると、録画履歴の傾向からお客様の興味がありそうな番組や、ディモラのサービスに登録されたディーガで多く録画された番組または話題になった番組を自動で録画予約します。 🔍 サービスの登録について (→244)
ジャンル	ドラマ、スポーツ、音楽などのキーワード
カテゴリー※2	放送番組に関連したキーワード
サブジャンル	「ジャンル」の詳細
サブカテゴリー	「カテゴリー」の詳細
フリーワード	登録したワード 🔍 フリーワードの登録について (→73) ●インターネットに接続すると、旬のキーワード(青色表示)を取得することができます。
人名(頭文字)	人名の頭文字
人名	「人名(頭文字)」で指定した頭文字の人名

※1 放送データが未取得の場合は、「カテゴリー」への切り換えはできません。

※2 選択項目は放送データの取得状況によって変わります。

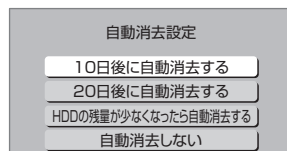
自動消去設定

おまかせ録画で予約録画された番組は、自動的に消去することができます。(10 日後、または 20 日後)

71 ページ手順 2 のあと

③  を押す

④ 項目を選び、 を押す



- 自動消去の対象から外したい番組は、「プロテクト設定」(→74)または「おまかせ録画から除外」(→74)を設定してください。
- 「HDD の残量が少なくなったら自動消去する」の場合、録画日時が古い順に最大 20 番組を自動消去します。

録画モードを設定する

おまかせ録画ごとに録画モードを設定できます。

71 ページ手順 2 のあと

③ 登録したおまかせ録画を選び、 を押す

④ 録画モード (→86) を設定する

フリーワードを登録する

フリーワードは 20 件まで登録することができます。

71 ページ手順 4 の画面で

① 「新規登録」を選び、**決定**を押す

② 項目を選び、設定する

🔍 文字入力 (→180)

フリーワード：

入力した文字に関連した番組を、録画予約します。

除外ワード：

入力した文字に関連した番組を、録画予約の対象から除外します。

検索方法：

検索時のフリーワードの組み合わせ方を設定します。

- 「すべてのフリーワードを含む」：登録したすべてのフリーワードを含む番組を録画予約します。
- 「いずれかのフリーワードを含む」：登録したフリーワードのうち、いずれか 1 つでも一致した番組があった場合、その番組を録画予約します。

③ 設定が完了したら、「決定」を選び、**決定**を押す

🔍 インターネットから取得したキーワード（青色表示）を登録するには

キーワード（青色表示）を選び、**[緑]**を押す

🔍 登録したフリーワードを変更するには

① 変更したいフリーワードを選び、**[緑]**を押す

② 項目を選び、設定する

🔍 文字入力 (→180)

🔍 登録したフリーワードを削除するには

削除したいフリーワードを選び、**[黄]**を押す

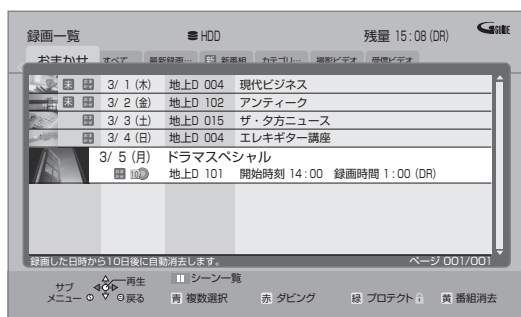
🔍お知らせ

- 英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、録画条件が一致していても、おまかせ録画されない場合があります。
- インターネットから取得したキーワード（青色表示）は、ディモラサービスから取得しています。
(ネットワークの接続状態によっては、取得できない場合があります)

自動予約機能を使う (続き)

おまかせ録画した番組を再生する

- 1 **スタート** を押す
- 2 「おまかせ録画」を選び、**決定** を押す
 - 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。
- 3 項目を選び、**決定** を押す
- 4 番組を選び、**決定** を押す



おまかせ録画一覧の便利な機能

左記手順 3 のあと

- 4 番組を選び、**サブメニュー** を押す
 - BRX6000
 - BRX4000
 - BRX2000
 - S** を押す
- 5 項目を選び、**決定** を押す (→ 下記へ)

(→95)	先頭から再生
(→ 左記)	番組消去
	内容確認
(→109)	番組編集
(→114)	チャプター一覧へ
	おまかせ録画から除外
	登録済み予約

内容確認	番組の内容が確認できます。 画面を消すには [決定] を押す
おまかせ録画から除外	おまかせ録画一覧で表示させなくします。 「すべて」ラベル (→94) からは番組を見ることができます。
登録済み予約	おまかせ録画で録画予約した番組を表示します。

おまかせ録画の一覧から番組を消去する

上記手順 3 のあと

- 4 消去したい番組を選び、**黄** を押す
- 5 「消去」を選び、**決定** を押す
 - 他のおまかせ録画一覧に同じ番組がある場合は、本機から消去されません。(HDDの残量は増えません) 再生中に [消去] を押して番組消去を行うと、その番組は本機から消去されます。

プロテクト設定 / 解除

自動消去などで記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに保護する設定ができます。

上記手順 3 のあと

- 4 番組を選び、**緑** を押す
- 5 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**決定** を押す
 - プロテクト設定すると「**プロテクト**」が表示されます。
 - 他のおまかせ録画一覧に同じ番組がある場合は、その番組もプロテクト設定 / 解除されます。

お知らせ

- おまかせ録画により、自動で録画された番組には「**おまかせ**」が表示されます。
- 「おまかせ」ラベルでは、新しく録画された番組がある場合には、「**おまかせ**」が表示されます。
- 録画一覧 (→93) の「すべて」ラベルでは「**おまかせ**」番組として、まとめ表示されます。
- 「**おまかせ**」の番組を消去した場合、おまかせ録画一覧でも番組は表示されなくなります。

関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリまとめて予約)

お好みの番組に関連するカテゴリの番組を毎日検索して自動で予約録画します。

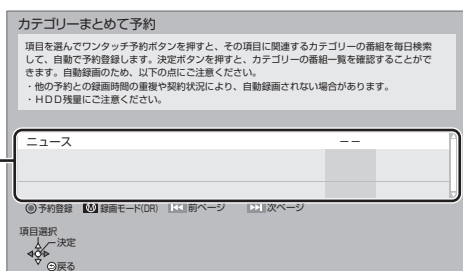
- [HDD] に予約します。
- 登録できる項目数は 32 個までです。
- ☞自動予約機能で予約可能な番組数について (→84)

選択した番組から探す

選択している番組に関連した項目から番組を自動で予約録画します。

- 1 番組予約画面 (→64 手順 5) 表示中に「カテゴリでまとめて予約する」を選び、**決定** を押す
 - 選択している番組に関連するカテゴリの番組の情報が無い場合、選択できません。

- 2 表示されている項目を選び、**決定** を押す



選択している番組に関連した項目が表示されます。

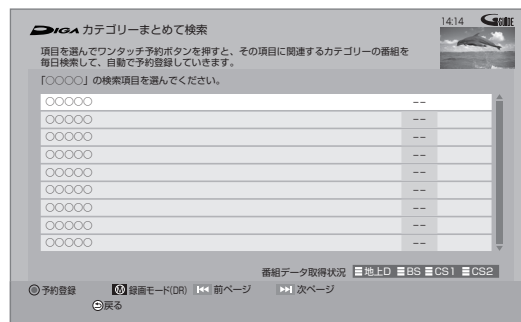
- 録画モードを変更する場合は、[録画モード] を押して、録画モードを選んでください。

- 3 「予約する」を選び、**決定** を押す

カテゴリから探す

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連したカテゴリの番組を自動で予約録画します。

- 1 **スタート** を押す
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す
 - 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「番組を探す・予約する」を選び、**決定** を押す
- 4 「カテゴリまとめて検索」を選び、**決定** を押す
- 5 「検索する」を選び、**決定** を押す
- 6 検索対象から項目を選び、**決定** を押す
- 7 項目を選び、



- 録画モードを変更する場合は、[録画モード] を押して、録画モードを選んでください。

- ☞カテゴリの番組一覧を表示する場合
手順 7 で [決定] を押す

自動予約機能を使う (続き)

自動予約の確認、修正、登録の取り消し

おまかせ録画予約の確認、修正、登録の取り消し

- 1 **スタート** を押す
- 2 「おまかせ録画」を選び、**決定** を押す
 - 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

■ 予約済み番組を確認する

- ③ 確認したい項目を選び、**決定** を押す
- ④  **S** を押す
- ⑤ 「登録済み予約」を選び、**決定** を押す
 - 予約番組を修正したい場合：
「登録済み予約」では確認のみできます。
予約された番組を修正したい場合は、
予約一覧 (→80) で修正してください。

■ 登録済みのおまかせ録画を取り消す

選択したおまかせ録画のみを取り消し、自動予約されなくします。(録画条件の初期化)

- ③ 登録した項目を選び、**緑** を押す
- ④ 「はい」を選び、**決定** を押す
 - すでに予約済みの予約は取り消されません。
予約一覧 (→80) で取り消してください。

カテゴリまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し

- 1 **スタート** を押す
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す
 - 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「番組を探す・予約する」を選び、**決定** を押す
- 4 「カテゴリまとめて検索」を選び、**決定** を押す
- 5 「登録した予約を確認する」を選び、**決定** を押す

■ 予約済み番組を確認する

- ⑥ 確認したい項目を選び、**決定** を押す
 - 予約番組を修正したい場合：
 - ① 修正したい番組を選び、
[ワンタッチ予約/録画 ●]を押す
 - ② 項目を選び、[決定]を押す
詳細設定について (→67)
(予約番組を修正すると、カテゴリまとめて予約の番組ではなくなります)

■ 登録済みの項目を取り消す

- ⑥ 登録した項目を選び、
 **録画** を押す
- ⑦ 「はい」を選び、**決定** を押す
 - すでに予約済みの予約は取り消されません。
予約一覧 (→80) で取り消してください。

🔔お知らせ

- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。
(→84「自動予約する番組の優先順位について」)
- 契約が必要なチャンネルの番組は、契約していない場合、自動登録されません。

新番組を自動で予約録画する

地上デジタル BS デジタル

番組名に「新」、＜新＞、＜新番組＞、＜新シリーズ＞が含まれるドラマまたはアニメを最大 16 番組まで自動で予約することができます。

- 「夜ドラマ」は 18 時～23 時 59 分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- 「HDD」に DR モードで予約します。

1 スタート を押す

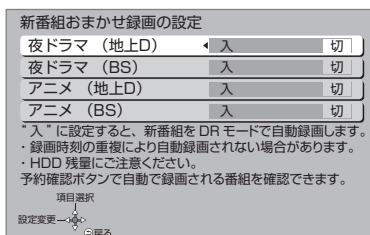
2 「全機能から選ぶ」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「番組を探す・予約する」を選び、決定 を押す

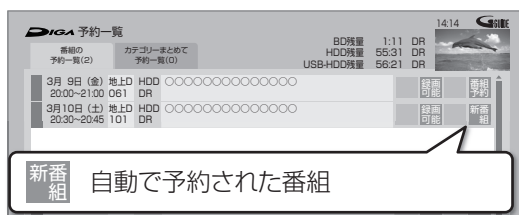
4 「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す

5 設定したい項目を選び、「入」にする



予約された新番組の確認

予約確認 を押す



予約内容を修正するには(→80)

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

お知らせ

- 再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 予約録画が重なった場合、優先順位の高い予約録画を優先して予約します。優先順位は予約録画の種類によって異なります。(→84「自動予約する番組の優先順位について」)
- 契約が必要なチャンネルの新番組は、契約していない場合、自動登録されません。

検索機能を使う

ジャンルや人名、ワードで検索する

1 番組表表示中に

BRX6000
BRX4000



BRX2000

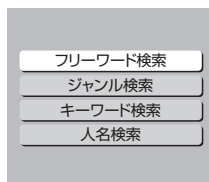
サブメニュー

Sを押す

[サブメニュー]の代わりに[検索]を押すと、複数の検索条件を組み合わせ、番組を検索することができます。(→107)

2 「番組表の検索」を選び、決定を押す

3 検索方法を選び、決定を押す



ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

4 検索条件を選び、決定を押す

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには

[地上][BS][CS]を押す

別の日の検索結果を表示するには

[青](前日)[赤](翌日)を押す

(検索結果画面表示中に、[■一時停止]を押して日付を選択することもできます)

5 番組を選び、決定を押す

6 「番組予約へ」を選び、決定を押す (→64 手順 5)

フリーワード検索

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の検索条件(5件まで)を登録し、1つでも条件を満たす番組を検索することができます。

- 番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容(→63 手順 4)の文字情報から検索します。

■ 検索条件を登録する

4 緑を押す

5 検索方法を選び、決定を押す

- 「フリーワード」は、文字を入力し(→180)、登録してください。

上記手順 4 ~ 5 を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録したフリーワードを変更するには

- ① 検索条件を選び、[決定]を押す
- ② 「フリーワード編集」を選び、[決定]を押す
- ③ 文字を入力する(→180)

登録した検索条件を削除するには

- ① 検索条件を選び、[黄]を押す
- ② 「はい」を選び、[決定]を押す

■ 検索する

4 検索する放送種別を変更する場合:

1 赤を押す

2 検索したい放送を「入」に設定し、決定を押す

5 青を押す

別の日の検索結果を表示するには

[青](前日)[赤](翌日)を押す

(検索結果画面表示中に、[■一時停止]を押して日付を選択することもできます)

6 番組を選び、決定を押す

7 「番組予約へ」を選び、決定を押す (→64 手順 5)

お知らせ

- フリーワード検索結果は、40 件まで表示します。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどの検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→184)を「入」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。
- 「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

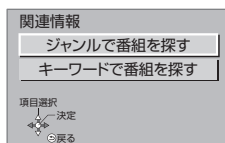
選択した番組から検索する

選択している番組に関連した情報（ジャンル、出演者など）から番組を検索します。

1 番組内容画面（→63 手順 4）表示中に
「関連情報」を選び、**決定** を押す

2 項目を選び、**決定** を押す

例)



- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには

[地上][BS][CS] を押す

別の日の検索結果を表示するには

[青] (前日) [赤] (翌日) を押す

(検索結果画面表示中に、[■ 一時停止] を
押して日付を選択することもできます)

3 番組を選び、**決定** を押す

4 「番組予約へ」を選び、**決定** を押す
(→64 手順 5)



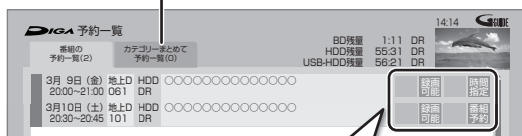
通常録画

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 を押す

2 番組を選び、以下の操作を行う

- [◀][▶]を押して、「カテゴリーまとめて予約一覧」を選ぶと、カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消しができます。(→76 手順 5)



予約状況がマークで表示されます。

- 「❗」が表示されたときは、予約内容を確認してください。
- 毎日・毎週予約で HDD の残量が少ないため数週間後の予約ができない場合、「❗」が表示されます。「毎週一覧」で確認してください。
- 表示マークについては → 操作ガイド (→2)

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。
(消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます →81)

予約の取り消し

を押す

- 「探して毎回予約」の場合、テレビ側の予約も取り消してください。

予約内容の修正

- 1 を押す
- 2 「修正」を選び、を押す
(「番組予約」のときは →67「詳細設定」)
(「時間指定予約」のときは →70「時間指定予約」)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

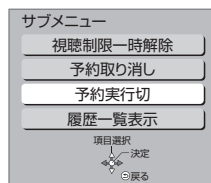
予約の重複などを確認できます。

- 1 を押す
 - 2 「毎週一覧」を選び、を押す
- 予約の「重複」がある場合に[決定]を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。(→83)
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める(一時解除)

- 1 
    を押す

例)



- 2 「予約実行切」を選び、を押す

- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
- [サブメニュー]を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。[LAN 経由(スカパー!プレミアムサービスやCATV)で録画中の番組を除く]

視聴制限の一時解除

暗証番号 (→185) を入力して視聴制限を一時解除します。

- ①   を押す
- ② 「視聴制限一時解除」を選び、 を押す
- ③  1  8  5 で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

「一部未実行」など、録画ができなかった予約の履歴を一覧表示します。

- ①   を押す
 - ② 「履歴一覧表示」を選び、 を押す
- 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

- ①   を押す
 - ② 「履歴削除」を選び、 を押す
 - ③ 「はい」を選び、 を押す
- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを毎日・毎週予約すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。



- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(→80)

■まとめ表示について **まとめ** **HDD** **USB-HDD**

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。(→97)
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

■前回の番組を消去して録画するには

(自動更新) **HDD**

「自動更新」(→67)を設定しておく、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

- 未視聴の場合でも自動更新されます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)
- 録画先を HDD 以外に変更すると、「自動更新」は「切」に設定されます。

ディスクや USB-HDD の残量不足などに対応 (代替録画)

以下の理由などでディスクなどに予約録画できない場合は、録画の失敗を防ぐために、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の開始から HDD に録画します。

- ディスクや USB-HDD の残量不足
- ディスクの入れ忘れ
- USB-HDD が接続されていない
- USB-HDD の電源が入っていない
- USB3.0 非対応の USB-HDD への予約録画の重複
- SeeQVault 対応の USB-HDD が接続されている

🔍お知らせ

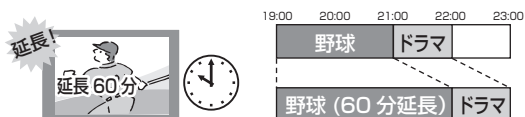
- HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。
- DVD 画質の予約を代替録画すると、HDD には 3 倍録モードで録画します。

番組追従機能

- 番組表から予約した番組にのみ働きます

■野球中継などの番組延長に対応

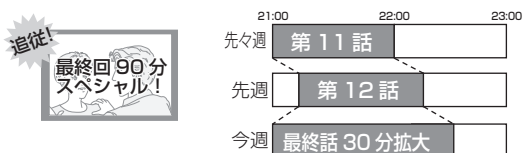
予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)



- 「イベントリレー」(→67)を設定しておく、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。
- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)



- 次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。
- 番組表の更新を基に働くため、更新状態 (番組名の変更など) によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

🔍番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。(→70)

🔍お知らせ

- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

予約録画に関するお知らせ

予約録画待機中の録画や再生

以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。

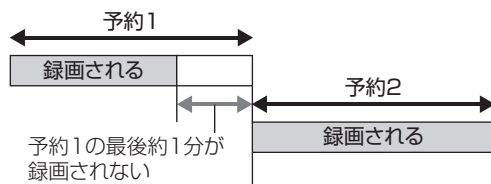
- 録画中：
複数の番組を録画できない状態のとき
- ディスク再生中：
ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき
- ファイル取り込みしたMP4(→92、171)を再生中：
予約録画の開始時刻になったとき

予約時の電源の切 / 入について

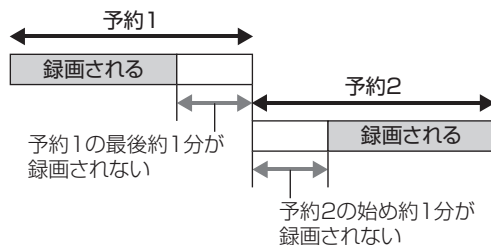
電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。
予約録画中に電源を切ることはできます。(録画に影響はありません)

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

複数の番組を録画できない状態のときや、USB3.0 非対応の USB-HDD に予約している場合は、前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。



次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。

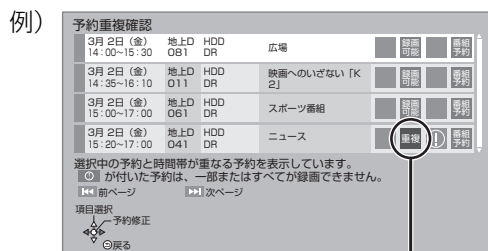
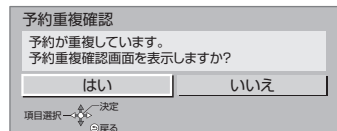


- 前の予約の録画終了時刻に近づく、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき (64 ページ手順 5 などのあと)

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。

画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。



「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定]を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。



開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。
開始時刻が同じ場合、後から予約した番組を優先して録画します。

- LAN 経由(スカパー! プレミアムサービスや CATV)の番組に「重複」マークが表示されている場合、途中からの録画は実行されません。

予約録画に関するお知らせ (続き)

自動予約機能で予約可能な番組数について

- 新番組おまかせ録画は 16 番組まで可能です。
- 以下の録画予約は合計 128 番組まで可能です。
 - ・おまかせ録画 (→71)
 - ・カテゴリーまとめて予約 (→75)

自動予約する番組の優先順位について

本機は、以下の優先順位で予約します。

予約の重複が起こった場合は、優先順位の低い自動予約は登録されません。

- ① 検索条件が「ジャンル」または「カテゴリー」のおまかせ録画 (→72)
- ② カテゴリーまとめて予約 (→75)
- ③ 新番組おまかせ録画 (→77)
- ④ 検索条件が「ディモークおまかせ」のおまかせ録画 (→72)

同じ種類の予約録画が重なった場合、複数の番組を録画 (→88) できないときは、以下の優先順位で予約します。

- ① 開始時刻の早い番組を優先
- ② 開始時刻が同じときは、地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタル放送の番組を優先
- ③ 放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先

再放送の録画について

「おまかせ録画」や「カテゴリーまとめて予約」では、同じ番組を二度録画するのを防ぐために、番組名に「第 2 話」や「#2」などの話数を含む番組（連続ドラマやアニメなど）を録画したことがある場合、その再放送は約 180 日間録画予約しません。

（ただし、途中で録画を中断した番組の再放送は録画予約します）

- 一度録画した番組の再放送も録画予約するには、「再放送の録画」(→193) を「録画する」に変更してください。

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ二重音声の番組や複数の音声を含んだマルチ音声の番組があります。このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声異なります。

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。



信号 : マルチ音声
主+副 : 二重音声

番組を視聴中のときは、**[音声]**を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の2か国語放送を記録する場合

記録する操作	記録音声	記録先	記録できる音声
デジタル放送 などの録画	マルチ音声	HDD BD-RE BD-R RAM AVCREC -R AVCREC USB-HDD	両方の音声を記録
	二重音声	RAM VR -R VR -RW VR	●マルチ音声：片方の音声のみ記録 予約時に「信号設定」(→68)の「音声」で選択する ●二重音声：両方の音声を記録
外部入力からの 録画	マルチ音声	HDD BD-RE BD-R RAM AVCREC -R AVCREC	片方の音声のみ記録 外部機器側で、記録したい音声にする
	二重音声	HDD BD-RE BD-R RAM AVCREC -R AVCREC	以下の設定に従って記録 「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(→192)の「外部入力音声設定」を「二重音声」、「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする (外部機器側で「主音声」と「副音声」の両方を出力してください)

お知らせ

- チャンネル録画の場合、マルチ音声と二重音声の両方の音声を記録します。

録画モードについて

録画モード	DR	1.5 ～ 15 倍録	XP・SP・LP・EP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮 ^{※1} して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにもハイビジョン画質で記録	DVD画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	DVD画質 ディスクの残量に合わせてXP～EPの中で画質を自動調整して記録 ●番組の時間がなくても、ディスク残量がなくなる場合があります。
	—	高画質 長時間	高画質 長時間	—
記録できる放送 / 入力	地上・BS・CS デジタル放送 i.LINK (TS)	地上・BS・CS デジタル放送 外部入力	地上・BS・CS デジタル放送 外部入力	
記録できるディスク	HDD HDD ^{※2} BD-RE BD-R USB-HDD USB-HDD ^{※2}	HDD HDD ^{※2} BD-RE BD-R RAM AVCREC -R AVCREC USB-HDD USB-HDD ^{※2}	RAM VR -R VR -R V ^{※3} -RW VR -RW V ^{※3}	
サラウンドの音声	サラウンド音声		ステレオ音声 (ダウンミックス 2 チャンネル)	
複数の音声 (マルチ音声 → 85)	複数の音声をすべて記録	音声は 2 つ記録 ^{※4 ※5}		音声は 1 つだけ記録 ^{※4}
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は 1 つだけ記録 ^{※4}		
字幕情報	字幕の入 / 切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入 / 切ができる)		字幕の入 / 切情報は記録しない (再生時、字幕表示の入 / 切はできない) ^{※4}	

- ※ 1 映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264
- ※ 2 **BRX4000** **BRX2000** チャンネル録画では、DR モードや 1.5 ～ 1.8 倍録モードは設定できません。(追加チャンネルを除く) 外部入力から録画することはできません。
- ※ 3 **-R V** **-RW V** デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。
- ※ 4 記録したい映像や音声、字幕表示の入 / 切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。
- ・録画時 : 「信号切換」(→48) で選ぶ
 - ・予約録画時 : 「信号設定」(→68) で選ぶ
 - ・ダビング時 : 「信号切換」(→103) で選んだあと、ダビングを行う (→125)
- ※ 5 15 倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなることがあります。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（4 倍録～ 15 倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や 1.5 倍録 など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

DR モード切り換えについて

1.5 ～ 15 倍録モードでの録画中に、再生やダビング、お部屋ジャンプリンク（DLNA）などを行うと、以下のような画面が表示される場合があります。

例) **BD-V** 再生時

再生を開始します。

ハイビジョン画質で録画中の番組を
DR モードに切り換え、録画を継続します。

その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。
（電源「切」時に通常の予約録画など本機が動作中の場合、動作終了後に変換を行います）

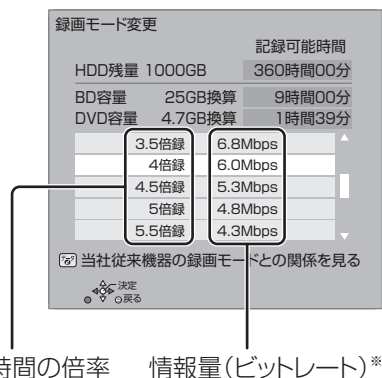
☞ 変換が終了しているか確認するには（➔112）

また、1.5 ～ 15 倍録モードで複数の番組を録画中は、以下の操作ができない場合があります。

- HDD 残量不足時の再生やダビング、番組キープ
- ドアホン・センサーカメラ映像の再生
- 持ち出し番組やダビングリスト作成画面のプレビュー

録画モードと記録時間の倍率について

例)



※ 数値が大きいくほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像（24 Mbps）を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

☞ 録画モードと記録時間の目安（通常録画）
（➔255 ～ 257）

番組の同時録画について

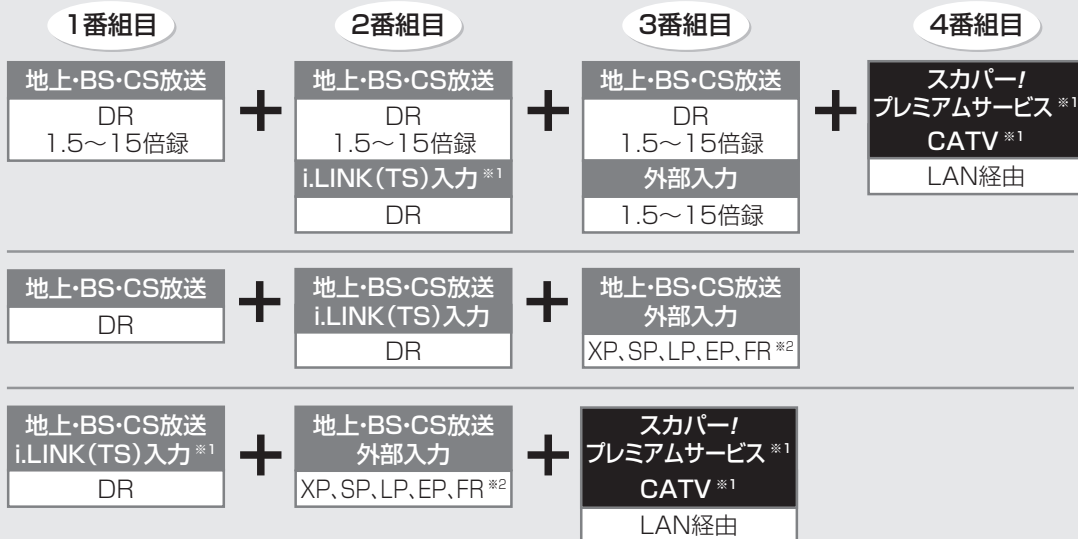
本機ではチャンネル録画と併せて、以下の組み合わせまで番組を同時に録画できます。

- 1 ～ 4 番組目の録画順は自由です。
- 同時に録画できる番組は追加チャンネル (→60) の登録によって変わります。

表の見方

地上・BS・CS放送	録画する放送/入力
DR	録画モード/接続

追加チャンネル未登録時



追加チャンネル登録時



- ※ 1 i.LINK (TS) 入力、LAN 経由 (スカパー！プレミアムサービスや CATV) の番組は、HDD にのみ録画できます。
- ※ 2 XP、SP、LP、EP、FR モードでの録画は DVD にのみできます。
- ※ 3 ディスクに予約した場合、HDD に代替録画されます。ディスクにダビングしてください。
(→118、120)



ディスクに複数の番組を同時に録画することはできません。

お知らせ

- 以下の場合、番組の複数同時録画はできません。
 - ・ディスクから HDD へダビング中
 - ・HDD から HDD へダビング (複製) 中
 - ・LAN 経由 (スカパー！プレミアムサービスや CATV) の 2 番組の場合
 - ・ディスクに 1.5 ～ 15 倍録モードで 1 番組、HDD に 2 番組、スカパー！プレミアムサービスの 1 番組の同時録画
 - ・ピエラリンク (HDMI) を利用して「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
 - ・USB3.0 非対応の USB-HDD に同時録画する場合
 - ・追加チャンネルの登録をしている場合
- 同じ時間帯の番組を複数予約したい場合は、63 ～ 64 ページの操作を繰り返してください。

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。



ブルーレイディスク

市販されているディスクはそのまま使用できます。



DVD

著作権保護技術を持った CPRM に対応している必要があります。

パッケージに **CPRM対応** の記載のある DVD を準備してください。

(デジタル放送録画用と記載されている場合もあります)

■ コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先が通常録画用の HDD や USB-HDD の場合は **100** または **10** を、ブルーレイディスクの場合は **10** を表示します。**100** ~ **10** はダビングの残り可能回数を表します。DVD の場合は **0** を表示し、ダビングや移動はできません。

10 の番組をダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。(複製はできません)

- 通常の番組・持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。(**BD-R** 番組が消去されてもディスク残量は増えません)

録画内容が
消える



ダビング元

移動



ダビング先

- プロテクト設定 (→109) されている **10** の番組はダビングできません。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

一般社団法人 デジタル放送推進協会

<http://www.dpa.or.jp>

ビデオ方式のディスクの記録アスペクト

「DVD-Video 記録の設定」の「記録アスペクト設定」(→192)に従って記録します。**-R V** **-RW V** へ記録するときに有効です。

- 「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。

ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録アスペクト

「ハイビジョン画質/持ち出し番組の記録設定」の「記録アスペクト設定」(→192)に従って記録します。480i の映像を 1.5 ~ 15 倍録モードで記録するときに有効です。

- 以下の場合、「オート」に設定していると、番組のアスペクト変化に追従して記録します。
 - ・ 外部入力から録画
 - ・ ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) から HDD にダビング
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

従来のアナログ放送と同様の画質で放送されている番組の記録

放送によっては、DR モードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。



通常録画

通常録画した番組を再生する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD**

ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

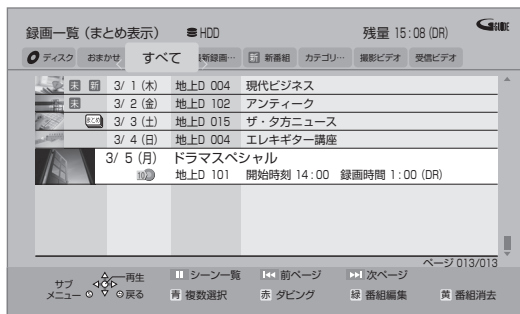
例) **BD-RE**



上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、**[決定]**を押すと、下記の手順**2**に進むことができます。

1 **ポップアップメニュー** **録画一覧** を押す

2 番組を選び、**決定**を押す



●毎日・毎週予約した番組は、**まとめ**番組内に録画されます。

まとめ番組を選んで、**[決定]**を押すと、**まとめ**番組内の番組を表示できます。

🔍 番組を検索するには (→107)

BRX6000 **BRX4000** 音声操作 (→37) で番組を再生することもできます。

🔍 お知らせ

- 表示マークについては → 操作ガイド (→2)
- 録画中番組の再生について
 - ・HDD や USB-HDD に録画中の番組を再生できます。(追っかけ再生)
 - ・録画中に録画済みの番組を再生できます。(同時録画再生)ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。
- 録画一覧は録画した日付順に表示されます。(**まとめ** 番組は、最初に録画した番組の日付で表示します)
- 有料放送を録画した番組では、再生時点での契約状況により、放送局からのメッセージが表示されます。
- 録画一覧表示中に **[赤]** を押すと、かんたんダビング (→118) を行うことができます。

市販またはレンタルのBDビデオやDVDビデオを再生する

BD-V **DVD-V**

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 ディスクを入れる

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、**[▶ 再生]**を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合 項目を選び、**決定**を押す



🔍 メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中： **[サブメニュー]**を押して、「**トップメニュー**」を選ぶ
停止中： **[録画一覧]**を押す

DVD-V **[録画一覧]**を押す
(**[サブメニュー]**を押して、「**トップメニュー**」を選ぶ)

🔍 ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中： **[録画一覧]**を押す

●停止中に **[1]** ~ **[10]** を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。

DVD-V：2桁入力 **BD-V**：3桁入力

🔍 お知らせ

- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは **[■ 停止]** を押して停止させてください。

撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を再生する

AVCHD

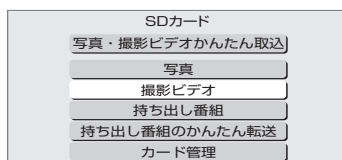
MP4 (SDカードやSeeQVaultフォーマットのUSB-HDD)

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を再生することができます。

- 以下の動画の再生にも対応しています。
 - ・1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録
 - ・MP4(ビットレート:100 Mbps 以下、解像度:3840×2160/30p、4096×2160/24p まで)記録
 - ・AVCHD 3D

ディスクやSDカードを入れる、またはUSB-HDDを接続(→209)すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) **SD**



SD :

下記の手順 4 に進みます。

ディスク、**USB-HDD** :

右記の手順 5 に進みます。

1 **スタート** を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 ディスク : 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、

決定 を押す (→手順 5 へ)

SD :

「SD カード」を選び、**決定** を押す

USB-HDD :

「USB-HDD」を選び、**決定** を押す(→手順5へ)

4 「撮影ビデオ」を選び、**決定** を押す

5 「撮影ビデオを見る」または「撮影ビデオ (AVCHD) を見る」、「動画ファイル (MP4) を見る」を選び、**決定** を押す

- 複数種類の撮影ビデオがSDカードに存在している場合、メッセージが表示されます。再生したい撮影ビデオを選び、**決定** を押してください。

6 動画を選び、**決定** を押す

- フォルダがある場合は、フォルダを選んで動画を探してください。

メニューが表示されないときは

[1] ~ [10] で3桁入力して動画を再生してください。

- MP4** 動画を選んで**[赤]**を押すと、HDDに動画を取り込むことができます。
- MP4** 動画を選んで**[黄]**を押すと、動画を消去します。

お知らせ

- MP4** 撮影形式やファイル構成によっては、正しく再生できない場合があります。

HDD に取り込んだ撮影ビデオを再生する

HDD

SD カードや USB 機器などから本機に取り込んだ動画を再生します。

- 動画の種類や初期設定によって、取り込んだ動画の再生方法が異なります。(→136)

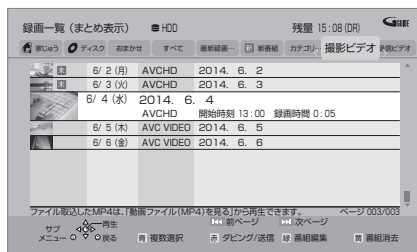
AVCHD または変換取り込みした MP4(4K 以外) を再生する

本機に取り込んだ AVCHD、AVCHD 3D、1080/60p、MP4 (4K 以外) の動画を再生します。MP4 (4K 以外) は「変換取込」(→136) した動画のみ再生できます。

1 ホップアップメニューの「録画一覧」を押す

2 [◀][▶] で「撮影ビデオ」を選ぶ

3 動画を選び、決定を押す



取り込んだ動画は、録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD : 「AVCHD」
(サイドバイサイド方式で記録した 3D 映像も含む)
- AVCHD 3D : 「AVCHD 3D」
- 1080/60p の番組 : 「AVCHD PRO」
- MP4 (4K 以外) : 「AVC VIDEO」

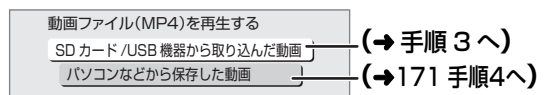
ファイル取り込みした MP4 を再生する

本機に「ファイル取込」(→136) した MP4 を再生します。

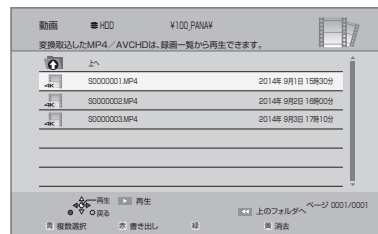
1 スタートを押す

2 「動画ファイル (MP4) を再生する」を選び、決定を押す

- 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。
- 「ファイル共有サーバー機能」(→199) が「入」の場合、下記の画面が表示されます。項目を選び、[決定] を押してください。



3 動画を選び、決定を押す



- 動画を選んで [赤] を押すと、SD カードや SeeQVault フォーマットした USB-HDD に、動画を書き出すことができます。
- 動画を選んで [黄] を押すと、動画を消去します。
- 再生中に予約録画が始まると、再生を中断します。

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1 スタートを押す

2 「メディアを使う」を選び、決定を押す

- 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、決定を押す

4 「プレイリストを見る」を選び、決定を押す

5 プレイリストを選び、決定を押す

録画一覧について

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

例)

ラベル

- [◀][▶] を押すと、ラベルを切り換えることができます。

表示状態

- 表示を変えるには (→95)

選択中のメディア

残量 / 録画モード

- 変更するには (→61)

表示変更ができるラベル

- お好みに合わせて表示するラベルを変更することができます。
(→95「分類ラベル設定」)

選択中の番組

表示マークについては →操作ガイド (→2)

ページ数

- [◀◀][▶▶] を押すと、前後のページに
表示を切り換えることができます。
押したままにすると、素早く切り換わります。

(→96) (→118) (→109) (→115)

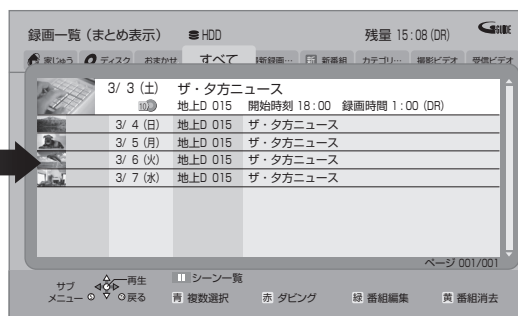
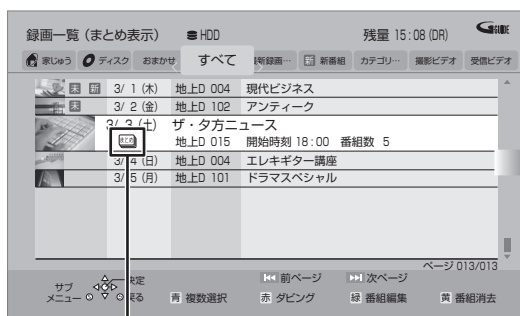
HDD USB-HDD 録画後すぐは「録画済」と表示

(画像は電源「切」時に作成されます)

- 表示される画像を変更するには (→111「サムネイル変更」)
- 「家じゅう」「ディスク」「USB-HDD」(SeeQVault フォーマット) の場合、画像は表示されません。

まとめ 番組について

毎日・毎週予約やカテゴリまとめて予約で録画した番組は、録画一覧では **まとめ** 番組として表示されます。



まとめ 番組を選び、**決定** を押すと、**まとめ** 番組内の番組を一覧表示します。

お知らせ

- 録画一覧に表示される DR モードの残量は、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。(→255)
- 録画一覧は録画やダビングまたは本機に取り込んだ日付順に表示されます。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

 家じゅう		「お部屋ジャンプリnk」(→169) で接続された機器の録画番組をまとめて表示します。 ●「家じゅうラベルの表示」(→199) を「入」にすると、表示されます。 ●「家じゅう」ラベルに表示できる機器は最大 10 台まで、番組数は 1 台当たり最大 4000 番組までです。 ●「家じゅう」ラベルから他のディーガの番組を再生した場合、接続機器側の「レート変換モード」は働きません。映像が途切れたり停止する場合は、スタート画面の「お部屋ジャンプリnk」から再生してください。
 ディスク		ディスク内の番組 (ディスクが入っている場合のみ表示) ●BD-V DVD-V では表示されません。
 USB-HDD		USB-HDD 内の番組 (USB-HDD が接続されている場合に表示)
 HDD	おまかせ	おまかせ録画 (→71) で録画された番組
	すべて	すべての番組
	最新録画番組*	最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	 未視聴*	録画してまだ見ていない番組 ●番組の先頭から 30 秒以上または番組の録画時間の半分以上の位置で再生を停止した番組は、「 未視聴」から除外されます。
	 新番組*	新番組おまかせ録画 (→77) で録画された番組 ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「 新番組」から除外されます。
	カテゴリー まとめて番組*	●カテゴリーまとめて予約 (→75) で録画された番組
	ダウンロード*	●ダウンロードした番組 (→163)
	ドラマ、映画などの 「ジャンル」*	録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル*	「マイラベル設定」(→68、111) で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。(→95「分類ラベル設定」)
	撮影ビデオ	ディスクや SD カード、USB 機器から取り込まれた動画 [AVCHD、MP4 (4K 以外)] (→136)、動くアルバム (→151)
	受信ビデオ	ネット経由でディーガなどの対応機器から受信した動画 (→150)

*分類ラベル設定 (→95) で録画一覧に表示するラベルを変更できます。

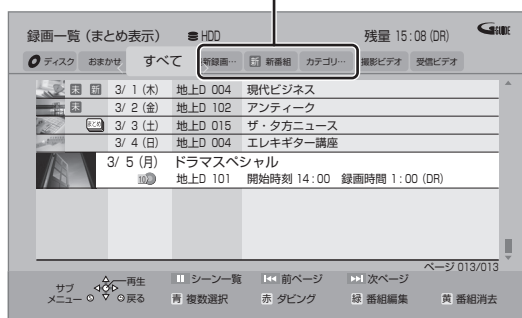
録画一覧上での便利な機能

録画一覧画面上で

① 番組を選び、

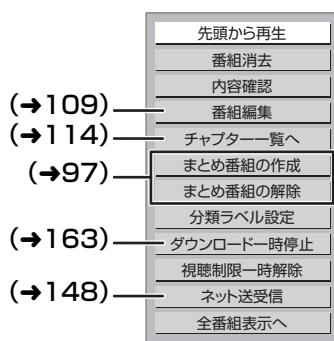


- 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベルを選んでから【サブメニュー】を押してください。



② 項目を選び、決定を押す（→下記へ）

例）

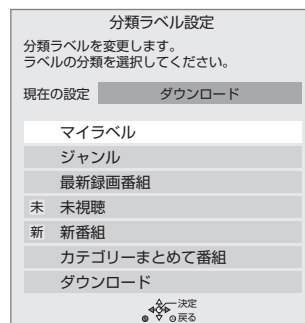


先頭から再生	番組を最初から再生します。
HDD USB-HDD	
番組消去	番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。（ダウンロードした番組を除く） 「消去」を選び、【決定】を押す
内容確認	番組の内容が確認できます。 画面を消すには 【決定】を押す

分類ラベル設定

HDD

録画一覧に表示するラベルを変更します。



表示させたいラベルを選び、
【決定】を押す

- 「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。
- 「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。
 - ① 設定するマイラベルを選び、【決定】を押す
 - ② 「名称変更」を選び、【決定】を押す
（ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください）
 - ③ ラベル名を入力する（→180）

視聴制限一時解除

HDD

USB-HDD

「HDD 番組の視聴制限」
（→193）で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

全番組表示へ

HDD

USB-HDD

表示を切り換えます。
●SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。

一覧を更新

更新を中止

●「家じゅう」ラベル選択時のみ

「家じゅう」ラベルに表示される番組をすぐに更新します。

再生する (続き)

見たいシーンから再生する (シーソー一覧)

HDD

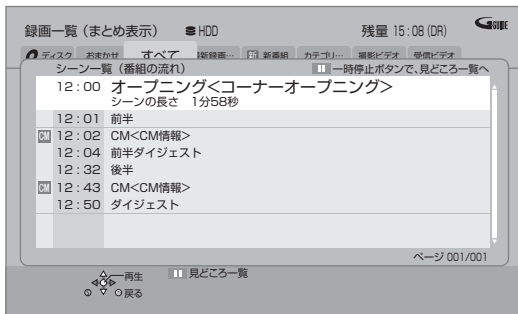
インターネットに接続すると、HDD に録画した番組のシーソー一覧を表示することができます。シーソー一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。ミモラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

🔗 サービスの登録について (→244)

録画一覧画面上で

① 番組を選び、[一時停止] を押す

- シーソー一覧が表示されます。



ミモラ会員登録している場合：

② 見たいシーンを選び、[決定] を押す

- 選んだシーンから再生が始まります。

🔗 見どころ一覧を表示するには

上記手順 ① のあと、[一時停止] を押す

- 見どころ一覧で、項目を選び、[決定] を押すと、その場面の再生が始まります。

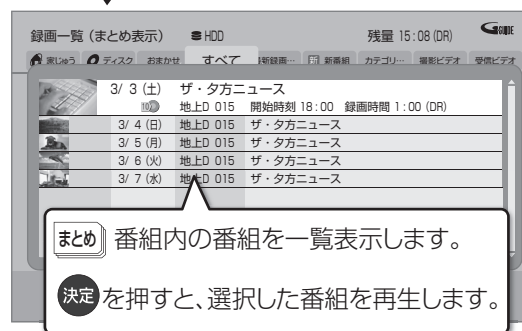
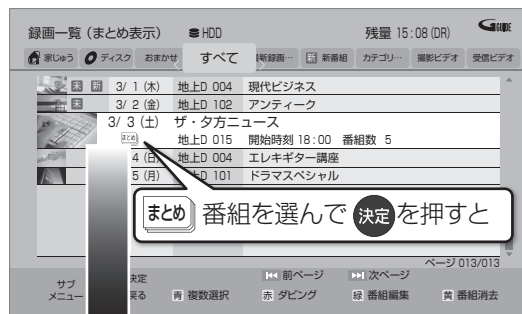
🔗 お知らせ

- シーソー一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2015年3月現在)
また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。
詳しくは、ミモラのホームページ (→244) をご覧ください。
- 以下の番組ではシーソー一覧は表示できません。
 - ・番組結合した番組
 - ・BD からダビングした番組
 - ・シーン情報のない番組
- 番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

まとめ 番組について

HDD **USB-HDD**

毎日・毎週予約や、カテゴリーまとめて予約で録画した番組、動くアルバム (→151) は、録画一覧画面で **まとめ** 番組として表示されます。



まとめ 番組の録画一覧での表示は、**まとめ** 番組内で一番最初に録画や記録された番組の日付で表示されます。

まとめ 番組内の番組を連続して再生する (まとめ再生)

まとめ 番組を選び、再生 1.3倍速 を押す

- **まとめ** 番組にダウンロードした番組が含まれる場合、まとめ再生はできません。

まとめ 番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、**まとめ** 番組内の最初の番組名が付きます。

④「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい **まとめ** 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。(→109)

- **まとめ** 番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集

① 番組を選び、青 を押す

- ☒ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

② すべて選んだあと、

BRX6000 BRX4000 BRX2000 サブメニュー S を押す

③ 項目を選び、決定 を押す (→ 下記へ)

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 「まとめ番組の作成」を選び、[決定]を押す
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 「まとめ番組の解除」を選び、[決定]を押す
まとめ番組から除外	選んだ番組を、 まとめ 番組から外します。 (まとめ番組一覧表示のとき) 「まとめ番組から除外」を選び、[決定]を押す

お知らせ

- 動くアルバム (→151) は、まとめ番組の編集はできません。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、まとめ番組の編集はできません。

再生中のいろいろな操作

停止

 **を押す**

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

(お部屋ジャンプリンクで再生した場合も含む)

- **[HDD]** **[USB-HDD]** : 番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク、**[SD]** : 前回止めた位置のみを記憶
 - ・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
 - ・**[BD-V]** **[DVD-V]** ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

 **を押す**

- もう一度押す、または **[▶ 再生]** を押すと、再生を再開します。

早送り / 早戻し (サーチ)

 **または**  **を押す**

押すごとに、または押したままにすると速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** を押すと、通常再生に戻ります。
- 早送り 1 速時のみ音声が出ます。
(マスターグレードビデオコーディング (→102) 再生中は除く)

スキップ

再生中または一時停止中に

 **または**  **を押す**

押した回数だけ番組や場면을飛び越します。

- チャプターマーク (→113) がある場合は、その場面に飛びます。
- **[HDD]** **[USB-HDD]** まとめ再生中 (→97) は、前後の番組も含めて飛び越します。
- **[MP4]** (「ファイル取込」した動画も含む) できません。

30 秒先へ飛び越す / 10 秒前へ戻す

 **または**  **を押す**

押すごとに、約30秒先へ飛び越して、または約10秒前に戻して再生します。

- **[DVD-V]** 正しく働かない場合があります。

早見再生 (1.3 倍速)

 **を約 1 秒以上押す**

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度 **[▶ 再生 / 1.3 倍速]** を押すと、通常再生に戻ります。
- 以下の場合にはできません。
 - ・市販の BD ビデオや「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中
 - ・「1080/60p」の表示がある番組
 - ・**[RW]** (ファイナライズ後も含む)
 - ・**[MP4]** (「ファイル取込」した動画も含む)
- ディスクによっては音声が出ない場合があります。

スロー再生

一時停止中に

 または  を押す

押すごとに速度が速くなります。(5段階)

- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、送り方向のみ働きます。
- **[MP4]** (「ファイル取込」した動画も含む) できません。
- 音声は出ません。

はじめから再生

番組の最初から再生を開始します。

 を 1 秒以上押す

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

 (左または右) を押す

押すごとに 1 コマずつ送り(戻し)ます。

- 押したままにすると、連続してコマ送り(戻し)します。
- **[▶ 再生]** で通常再生に戻ります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組を 3D 再生中、または **[BD-V]**、**[AVCHD]** では、コマ戻しはできません。
- **[MP4]** (「ファイル取込」した動画も含む) できません。

音声や字幕の切り換え

[BRX6000] **[BRX4000]**  **[BRX2000]**  または

[BRX6000] **[BRX4000]**  **[BRX2000]**  を押す

表示された再生設定画面で、音声や字幕を切り換えることができます。

(詳しくは →103)

- **[BD-V]** **[DVD-V]** ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。
- **[MP4]** (「ファイル取込」した動画も含む) できません。

再生する (続き)

操作の状態の表示

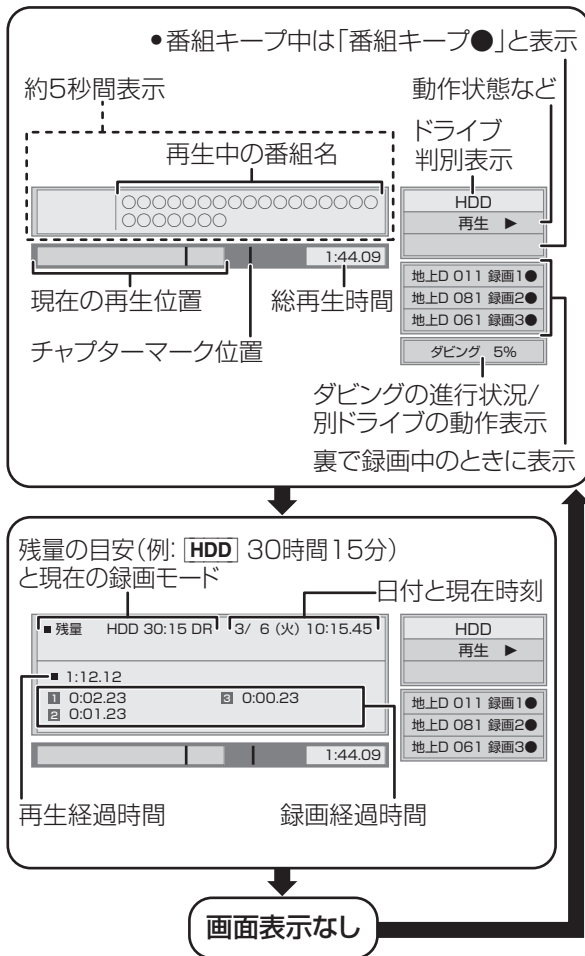
テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示

 を押す

- 押すごとに切り換わります。

例) **HDD**



残量表示について

放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおよその時間を表示しています。
(DR モードは、特にそのばらつきが大きくなります)

お知らせ

- ディスクや再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

3D 映像を楽しむ

3D 対応テレビと接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

- テレビ側で必要な準備を行ってください。



※ イラストはイメージ図です。

- 表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D 方式設定	3D 映像が正しく 3D 再生できない場合に、接続しているテレビの方式に合わせて設定してください。 (→195)
3D 再生時の 注意表示	3D 視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。 (→195)
BD-Video の 2D→3D変換 モード	2D ディスクを 3D 再生する場合の、字幕やメニューの表示方法を設定できます。(→192)
画面表示の 飛び出し量	再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。 (→106)

3D 映像を 2D（従来の映像）再生したい場合、以下の設定をしてください。

- [BD-V]**：「3D ディスクの再生方法」(→192)
- 録画した 3D 番組：「3D 番組の出力方法」(→195)

再生中の番組の 3D 設定をする

サイドバイサイド（2 画面構成）などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

(詳しくは →106 「出力方式」)

3D 映像を再生するための便利な機能

3D 映像の奥行きなどを設定して再生することや、2D 映像を擬似的に 3D 映像に変換して再生することなどができます。

(詳しくは →106 「3D 設定」)

お知らせ

- 「3D 方式設定」(→195) が「サイドバイサイド」の場合は、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。
- 接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
- 3D 映像は、「HDMI 出力解像度」や「24p 出力」(→196) の設定どおりに出力されない場合があります。
- 3D 映像の再生開始時に、サイドバイサイド（2 画面構成）で見えることがあります。
- 3D 映像と 2D 映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、接続したテレビによっては、サイドバイサイド（2 画面構成）で再生することがあります。

BD-Live 対応の BD ビデオや 副映像のある BD ビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や操作方法などはディスクによって決められており、さまざまです。

ディスクに添付の説明やホームページをご覧ください。お楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスク を楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。

ほとんどの BD-Live 対応ディスクでは、BD-Live 機能を利用して再生するために、外部メモリー（ローカルストレージ）に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live 機能を利用できません。

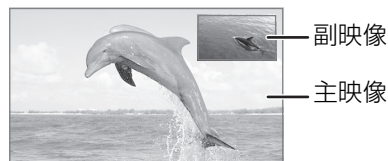
- ① ネットワーク接続と設定をする (→230、242)
- ② 「BD-Live インターネット接続」(→192) を「有効」または「有効 (制限付き)」に設定する
- ③ 1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる
- ④ ディスクを入れる

- SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。(→177、手順 5 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください)

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例)



- 副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声・操作音」(→194) を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは

- 「副映像設定」の「映像情報」と「音声情報」を設定してください。(→104)
- 「BD-Video の 2D → 3D 変換モード」を「モード 2」に設定してください。(→192)

マスターグレードビデオコーディング対応 のディスクを楽しむ

マスターグレードビデオコーディング (MGVC) に対応した市販のブルーレイディスクを再生すると、これまでご家庭では観ることのできなかったスタジオマスターと同等の滑らかで質感豊かな高画質映像をお楽しみいただけます。

- 「MASTER GRADE VIDEO CODING」(→192) を「入」に設定してください。
- 再生すると、自動的にマスターグレードビデオコーディングとして再生されます。

[画面表示] を押すと、以下の表示が出ます。



お知らせ

- インターネットに接続して BD-Live コンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

お知らせ

- マスターグレードビデオコーディングとしての再生中は、以下の動作制限があります。
 - ・早見再生 (1.3 倍速) はできません。
 - ・早送り 1 速時の音声は出力されません。

音声や字幕などの設定をする（再生設定）



- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度「サブメニュー」を押してください。

2 「再生設定」を選び、決定を押す

3 メニューを選び、決定を押す

例) **BD-V**



4 設定項目を選び、決定を押す

- ディスクにより設定項目は異なります。

5 設定を変更する

お知らせ

- 映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。
- 収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

基本設定

音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

信号切換

DR モードまたは 1.5 ～ 15 倍録モードの番組は音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

- ▶ マルチビュー
- ▶ 映像
- ▶ 音声
- ▶ 二重音声
- ▶ 字幕（入 / 切）
- ▶ 字幕言語

音声チャンネル

音声（L/R）を切り換えます。

字幕設定

字幕の表示位置やスタイルの設定を行います。

- ▶ **字幕設定**：字幕表示の入 / 切や、言語の選択
- ▶ **字幕スタイル**：ディスクに記録された字幕スタイルの選択
- ▶ **字幕位置** **BD-V** **DVD-V**：字幕の表示位置を変更
- ▶ **字幕輝度** **BD-V** **DVD-V**：字幕表示の明るさを調整

アングル

アングルを選びます。

リピート

繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。

- ▶ **番組**：録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **タイトル**：**BD-V** **DVD-V** **AVCHD**
タイトル全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター**：再生中のチャプターを繰り返し再生
- ▶ **プレイリスト**：プレイリスト
- ▶ **全曲**：ディスクの全曲
- ▶ **1 曲**：選んだ曲のみ

ランダム（音楽再生時のみ）

- 「入」にすると、順不同に再生します。

映像情報 **AVCHD**

情報の表示のみ

主映像情報 **BD-V**

副映像設定 **BD-V**

- ▶ 映像情報
- ▶ 音声情報

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

- ▶ **ノーマル** : 元の映像で表示
- ▶ **サイドカット**: 16:9 映像の左右の黒帯を消して拡大表示
- ▶ **ズーム** : 4:3 映像の上下の黒帯を消して拡大表示

- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
 - ・他のチャンネルを選局
 - ・番組の再生を始める、または終了する
 - ・電源を切/入
- 番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。
- テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

映像詳細設定

設定した内容は保持されます。

ディスプレイ

- ▶ 標準
- ▶ プロジェクター

映像素材

再生時の画質を選びます。

- ▶ 標準
- ▶ シネマ
- ▶ アニメ
- ▶ ライブ
- ▶ オート

番組のジャンル情報に応じて適した画質にします。また、製作時期が古く画質が良好ではない場合にノイズを抑えてはっきりとした画質にします。

解像感調整

映像の鮮明さを調整します。

数値が大きい方が、より鮮明になります。

- ▶ 解像感
- ▶ 輪郭補正

ノイズ低減

動画に発生する不要なノイズを補正します。

数値が大きい方が、より低減されます。

- ▶ ブロックノイズ低減
- ▶ ランダムノイズ低減
- ▶ モスキートノイズ低減
- ▶ ドット妨害・クロスカラー低減

輝度・色調整

映像の明るさ、黒レベル、白/黒階調、色の濃さ、色あい、を調整します。

- ▶ 明るさ
- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調
- ▶ 色の濃さ
- ▶ 色あい

24p/30p 変換出力

- ▶ 切
- ▶ **24p** [24p 対応のテレビと接続時のみ]
映画らしい動きで再生することができます。
 - 4K/24p 対応テレビと接続している場合
「HDMI 出力解像度」(→196) を「オート」に設定時に 4K/24p で出力されます。
 - 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
「HDMI 出力解像度」(→196) を「オート」または「1080i」「1080p」に設定時に 1080/24p で出力されます。
- ▶ **30p** [4K/30p 対応テレビと接続時のみ]
「HDMI 出力解像度」(→196) を「オート」に設定時に 4K/30p で出力されます。

設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。
この設定は再生中のみ有効です。

詳細設定

- ▶ 輝度垂直帯域制限
- ▶ 輝度水平帯域制限
- ▶ 色垂直帯域制限
- ▶ 色水平帯域制限
- ▶ 原画解像度変換^{※1}

[[BD-V] またはハイビジョン放送 (1080i) を DR モードまたは 1.5 ～ 15 倍録 モードで記録した番組に有効]

低解像度 (720i/p、480i/p) の原画をハイビジョン (1080i) に変換したアニメ番組などの場合、「切」以外を選ぶと再生する画質が改善することがあります。

- ▶ 切
- ▶ 720i/p
- ▶ 480i/p
- 設定によっては、再生する画質が劣化します。
- この設定は再生中のみ有効です。
- ▶ **プログレッシブ処理**
プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
- 「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。
- ▶ Auto
- ▶ Video

映像詳細設定を標準に戻す

映像詳細設定を初期化します。

音声詳細設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

- ▶ 切
- ▶ **ナイトサラウンド**^{※2}
夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。
- ▶ **リ. マスター (弱 / 標準 / 強)**^{※2}
デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。
(サンプリング周波数が 96 kHz 以下で記録された音声に有効)

- 音声が入りすぎの場合、「切」にしてください。
- リ. マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整^{※2}

番組と CM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

- 音声が入りすぎの場合、「切」にしてください。

シネマボイス^{※2}

センターチャンネルを含む 3 チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを 2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

- ※ 1 3D 再生中は設定できません。
- ※ 2 「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(→194)
(音声は 2 チャンネルになります)



3D 設定

出力方式^{※3}

- ▶ **オリジナル** : 元の映像で表示します。
- ▶ **サイドバイサイド**:
サイドバイサイド (2 画面構成) などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に選択してください。
 - 変更しても正しく表示されない場合は、「3D 方式設定」(→195) とテレビ側の 3D 設定を確認してください。
- ▶ **2D → 3D 変換**:
再生中の 2D 映像を擬似的に 3D 映像に出力します。(録画した番組、**BD-V**、**DVD-V** の再生時に有効)
- BD-V** の 3D 再生や **3D** 表示のある番組では、「オリジナル」固定になります。

3D 画面モード (3D 奥行きコントローラー)^{※3}

(3D 再生中のみ)

- ▶ **標準** : 標準的な 3D 効果で映像を再生します。
- ▶ **弱** : 飛び出しすぎを抑えて、広がり感のある 3D 映像を楽しめます。
(「2D → 3D 変換」時は選択できません)
- ▶ **手動**

画面モード手動設定

[3D 画面モード (→ 上記) が「手動」時のみ]

3D 映像の各種効果を設定します。

- ▶ **奥行き** :
映像の飛び出し量を設定
- ▶ **スクリーンタイプ**:
画面の見え方 (平面または曲面) を選択
- ▶ **周辺ぼかし幅**:
画面の縁のぼかし量を設定
- ▶ **周辺ぼかし色**:
画面の縁のぼかしの色を設定

画面表示の飛び出し量

3D 再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

※3 以下の場合、「出力方式」は「オリジナル」、「3D 画面モード」は「標準」に戻ります。

- 他のチャンネルを選局
- 番組の再生を始める、または終了する
- 電源を切 / 入

通常録画した番組を検索する

複数の検索条件を組み合わせて、番組表や録画番組の中から番組を検索し、予約録画や再生・編集をすることができます。

1 を押す

- 番組表表示中に、[検索] を押した場合は、手順 3 に進んでください。

2 予約録画したい番組を検索する場合： 「番組表」を選び、[▶] を押す

再生・編集したい番組を検索する場合：
「録画一覧」を選び、[▶] を押す



3 検索条件を設定する (→108)

- 検索条件を指定しない項目は、「指定しない」を選んでください。
([赤] を押して「指定しない」にすることもできます)
- 最後に検索した条件が保持されます。
(放送データの取得状況によっては、人名の設定が解除される場合があります)

 設定した検索条件をリセットするには
[青] を押す

4 すべての設定が終了したら、 を押す



 再検索するには
[検索] を押す

予約する

- ⑤ 番組を選び、 を押す
- ⑥ 「番組予約へ」を選び、 を押す (→64 手順 5)

再生する

- ⑤ 番組を選び、 を押す

編集する

- ⑤ 番組を選び、 を押す (→109 手順 3)
 チャプターを編集するには
[サブメニュー] を押して「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す (→114 手順 4)

消去する

- ⑤ 番組を選び、 を押す
- ⑥ 「消去」を選び、 を押す

通常録画した番組を検索する (続き)

検索条件について

録画先 ^{※1※2}	録画番組のある録画先 ●「家じゅう」は、お部屋ジャンプリンク (DLNA) で接続された機器の中から番組を検索することができます。
検索単位 ^{※2※3}	「番組」または「シーン」単位で検索
放送種別	放送の種類 ●「お好み」 ^{※4} は、「お好みチャンネル」(→47) で登録されている放送局です。
ジャンル	番組のジャンル
サブジャンル ^{※5}	「ジャンル」の詳細
フリーワード	登録したワード 🔍 フリーワードの登録について (→右記) ●番組表の番組名や番組内容にある番組概要、番組詳細内容 (→63 手順 4) の文字情報から検索します。 ●インターネットに接続すると、旬のキーワード (青色表示) ^{※4} を取得することができます。
人名(頭文字) ^{※4}	人名の頭文字
人名 ^{※4}	「人名(頭文字)」で指定した頭文字の人名
期間 ^{※2}	番組を録画した日時

※1 USB-HDD を登録している場合や「家じゅうラベル」の表示 (→199) が「入」の場合に表示されます。

※2 検索対象が「番組表」のときは表示されません。

※3 録画先が「USB-HDD」「家じゅう」のときは表示されません。

※4 検索対象が「番組表」のときのみ表示されます。

※5 録画先が「家じゅう」のときは表示されません。

フリーワードを登録する

フリーワードは 20 件まで登録することができます。

① 「新規登録」を選び、**決定** を押す

② 項目を選び、設定する

🔍 文字入力 (→180)

🔍 インターネットから取得したキーワード (青色表示) を登録するには

キーワード (青色表示) を選び、**[緑]** を押す

🔍 登録したフリーワードを変更するには

① 変更したいフリーワードを選び、**[緑]** を押す

② 項目を選び、設定する

🔍 文字入力 (→180)

🔍 登録したフリーワードを削除するには

削除したいフリーワードを選び、**[黄]** を押す

🔍お知らせ

- 録画中の番組は、検索の対象になりません。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなど検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(→184) を「入」にしている場合、番組表の検索結果の表示に時間がかかります。
- フリーワードで英数の文字入力をした場合、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。
- インターネットから取得したキーワード (青色表示) は、ディモラサービスから取得しています。
(ネットワークの接続状態によっては、取得できない場合があります)
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、番組の検索ができません。

番組を編集する

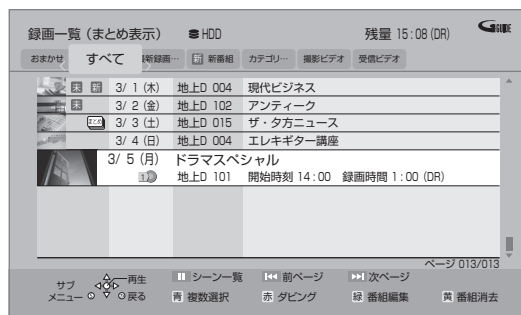
HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

(ファイナライズしたディスクや AVCHD では編集できません)

1 ホットメニューを押す

2 番組を選び、緑を押す

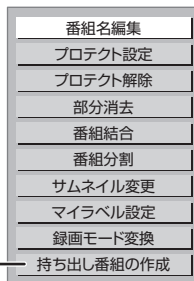
例) HDD



文字入力 (→180)

3 項目を選び、決定を押す (→右記へ)

例) HDD



お知らせ

- 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「番組結合」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」「番組結合」はできません。「持ち出し番組の作成」(→155) の設定を取り消すと実行できます。
- ダウンロードした番組は、「プロテクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。
- 編集量が多い場合、ディスクヘダビングできないことがあります。
- SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、「部分消去」「番組結合」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」ができません。

番組名編集

文字入力 (→180)

お知らせ

- 以下の番組は変更できません。
 - 新表示の番組
 - 動くアルバム (→151) のまとめ番組
- 番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。
- まとめ番組の番組名を変更しても、まとめ番組内の各番組の名前は変わりません。

プロテクト設定 / 解除

記録内容を誤って消去しないよう、番組ごと書き込み禁止 (プロテクト) の設定ができます。

- R V -RW V できません。

「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定]を押す

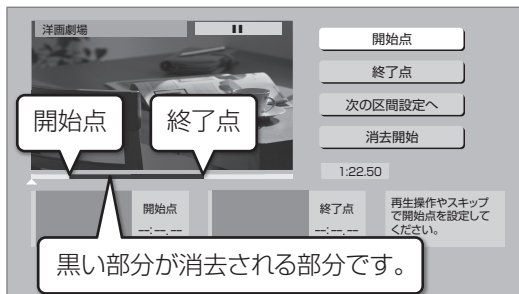
- プロテクト設定すると「」が表示されます。

番組を編集する (続き)

部分消去

番組中の不要な箇所を消去できます。

- **「R V」「RW V」** できません。



- ① **「▶ 再生」**を押して、再生を始める
- ② **「開始点」**を選び、消去する部分の開始点*で **「決定」**を押す
- ③ **「▶ 再生」**を押して、再生を始める
- ④ **「終了点」**を選び、消去する部分の終了点*で **「決定」**を押す
 - 続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**「決定」**を押す (→手順 ②へ)
 - ・20区間まで設定できます。
 - ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。
- ⑤ **「消去開始」**を選び、**「決定」**を押す
- ⑥ **「実行」**を選び、**「決定」**を押す
 - 部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。
 - 部分消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。
 - 「シームレス再生」(→194)を「入」にして再生すると、番組の消去部分の前後の映像が再生されない場合があります。

※ 編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (→98、99) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で **「|| 一時停止」** を押し、**「◀▶」** を押して場面を調整する

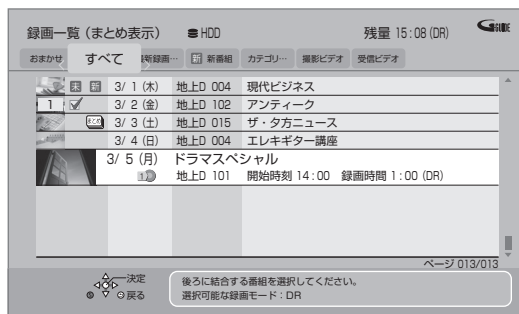
番組結合

HDD **USB-HDD**

同じ録画モードや素材の2つの番組同士を、1つの番組に結合することができます。

- 1.5 ~ 15 倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

① 結合したい番組を選び、**「決定」**を押す



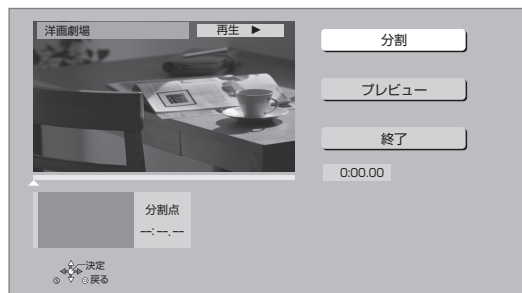
② **「結合」**を選び、**「決定」**を押す

お知らせ

- 結合した番組は以下ようになります。
 - ・ 録画モード：
画質の高いほうの録画モード (ただし、画質は向上しません)
 - ・ ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
 - ・ 番組名：最初に選択した番組名
 - ・ おまかせ録画の番組の自動消去の日時：
最初に選択したおまかせ録画の番組の録画日時を基準にして自動消去 (→72)
 - ・ チャプターマーク：
結合した位置に作成 (結合してチャプターマーク数が 999 を超える場合、超えた分は削除されます)
 - ・ 番組の結合部分：映像や音声が続けられることがあります。
 - ・ 持ち出し番組は消去されます。
- 以下の番組は結合できません。
 - ・ ダウンロードした番組
 - ・ 録画時間の合計が 8 時間を超える場合
 - ・ デジタル放送の番組とそれ以外の番組
 - ・ 本機で DR モードで録画した番組と i.LINK (TS) 入力から記録した番組
 - ・ LAN 経由 (スカパー! プレミアムサービスや CATV) で録画した番組
 - 録画モード変換 (→112) を行うと、結合できるようになります。視聴制限のある番組を結合すると、厳しいほうの視聴制限になります。
 - ・ 撮影画質が異なる「AVCHD 3D」の表示がある番組同士
 - ・ 動くアルバム (→151)

番組分割

- **-R V** **-RW V** できません。



- ① 「分割」を選び、分割する場面*で [決定] を押す
●「プレビュー」を選び、[決定] を押すと、分割する場面を確認することができます。

🔍 場面を選び直すには

- ① 「分割」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める
- ② 分割する場面で、[決定] を押す
- ③ 「終了」を選び、[決定] を押す

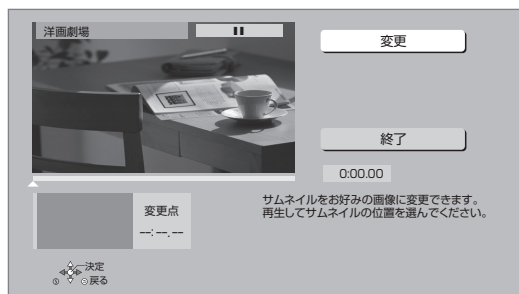
- 分割した番組は、**まとめ** 番組になります。
- 分割すると、持ち出し番組は消去されます。
- 分割すると、分割点の直前部分が一時再生されなくなります。
- **BD-RE** **BD-R** 分割した番組は、HDD にダビングできない場合があります。

サムネイル変更

HDD **-R V** **-RW V** **USB-HDD**

録画一覧やトップメニューで表示される画像（サムネイル）を変更します。

- **-R V** **-RW V** サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。



- ① [▶ 再生] を押して、再生を始める
- ② 「変更」を選び、お好みの場面*で [決定] を押す

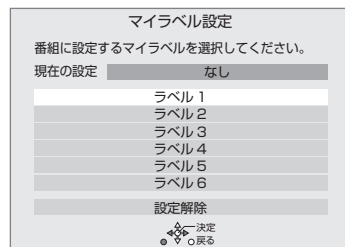
🔍 場面を選び直すには

- ① 「変更」を選び、[▶ 再生] を押して再生を始める
- ② お好みの場面で、[決定] を押す
- ③ 「終了」を選び、[決定] を押す

マイラベル設定

HDD

録画した番組をお好みのラベルに分類することができます、番組を探すのに便利です。



- ① ラベルを選び、[決定] を押す
 - ② 「マイラベル設定」を選び、[決定] を押す
- 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
 - マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、[決定] を押してください。
 - マイラベル名は変更することができます。(→95「分類ラベル設定」)

※ 編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送りやスロー再生など (→98、99) を使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で [⏏ 一時停止] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

番組を編集する (続き)

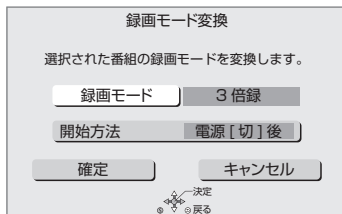
録画モード変換

HDD USB-HDD

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

●1.5 ～ 15 倍録 モードのみ選択できます。



- ①「録画モード」を選び、[決定] を押す
- ② 倍率を選び、[決定] を押す
- ③「開始方法」を選び、開始方法を設定する

●すぐに：

「決定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。

●電源 [切] 後：

電源 [切] 後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

- ④「決定」を選び、[決定] を押す
- ⑤「すぐに」開始する場合：
「開始」を選び、[決定] を押す
☞ 変換を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

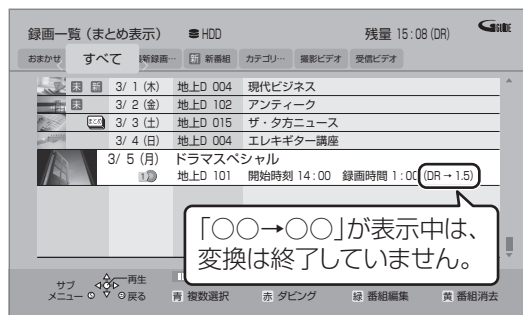
「電源 [切] 後」開始する場合：

[決定] を押す

☞ 変換の設定内容を変更・取り消しするには

- ① 109 ページ手順 3 で「録画モード変換」を選ぶ
- ②「設定変更」または「設定取消」を選び、
[決定] を押す

☞ 変換が終了しているか確認するには



お知らせ

- 15 倍録モードの番組や HDD に取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD) は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。
- XP、SP、LP、EP、FR モードの二重音声の番組を変換する場合、変換を開始する前に「二重音声記録時の音声選択」(➡192) で記録したい音声を選んでください。

チャプターの作成・再生・編集

HDD (ダウンロードした番組ではできません)

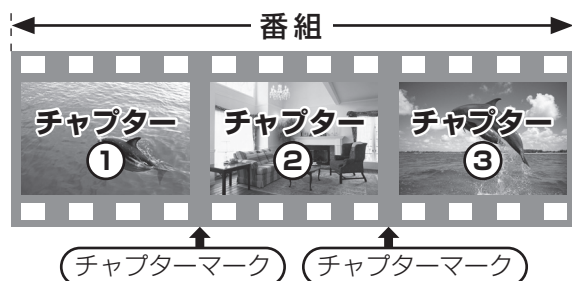
BD-RE **BD-R** **RAM** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR**

(ファイナライズしたディスクでは再生のみできます)

USB-HDD

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ (→98) すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。



チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」 (→192) を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。複数の番組を録画中でも作成します。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

- **HDD** **USB-HDD** チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能 (→98) や「サムネイル変更」 (→111) ができなくなります。

チャプターマークを作成する / 削除する

作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

黄 を押す
チャプターマーク



削除

一時停止中に

- ① または を押して、削除したい場面に飛ぶ
- ② 黄 を押す
チャプターマーク
- ③ 「はい」 を選び、 を押す



チャプターマーク 削除すると



前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

- ① [録画一覧] を押す
- ② 番組を選び、[サブメニュー] を押す
- ③ 「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す
- ④ [緑] を押す



⑤ 上記「作成」「削除」の手順を行う

チャプターを再生・編集する

1 ホットメニュー
録画一覧 を押す

2 番組を選び、



番組を検索するには (→107)

3 「チャプター一覧へ」を選び、決定 を押す

4 編集する：
チャプターを選び、



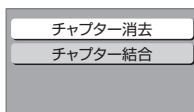
(→手順 5 へ)

再生する：
チャプターを選び、決定 を押す



5 編集する項目を選び、決定 を押す

(→ 右記へ)



チャプター 消去

指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。
(元に戻すことはできません)



番組が部分消去されます。

「消去」を選び、[決定] を押す

- チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
- 持ち出し番組も消去されます。
- チャプター消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

チャプター 結合

選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1 つにつなぎます。



前後のチャプターが結合されます。

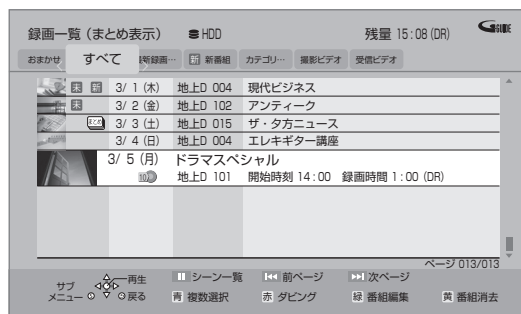
「結合」を選び、[決定] を押す

番組を消去する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW USB-HDD

1 ホップメニュー
録画一覧 を押す

2 番組を選び、黄 を押す



- 「おまかせ」ラベルの番組を消去する場合は、「おまかせ録画の一覧から番組を消去する」(→74) をご覧ください。
- **まとめ** 番組内の番組を消去する場合、**[黄]** を押す前に、**[決定]** を押して、**まとめ** 番組内の番組を表示してください。
- 複数の番組を消去する場合、番組を選んで**[青]** を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には ☒ が表示されます。
もう一度**[青]** を押すと選択を取り消します。)

🔍 番組を検索するには (→107)

3 「消去」を選び、決定 を押す

お知らせ

- **まとめ** 番組内の番組を消去して、残り1番組になった場合、**まとめ** 番組は解除されます。(残った番組は録画した日付で表示されるようになります)

●HDD の番組消去について

- ・消去すると、持ち出し番組も消去されます。
(ダウンロードした番組を除く)
- ・消去中に他の操作をしたり、番組分割した番組を消去する場合は、消去に時間がかかることがあります。
- ・消去が完了しても、HDD の残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。

●消去後のディスク残量について

- ・ **HDD** **BD-RE** **RAM** **-RW VR** **USB-HDD**
消去すると、消去した分、残量が増えます。
- ・ **-RW V**
最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

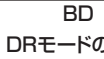
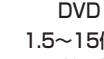
消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	...	最後に記録した番組	残量

- ・ **BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

番組のダビングについて

本機では、通常録画用の HDD や USB-HDD、ディスクの間でダビングを行うことができます。

ダビング方向と方法	ダビング速度	お知らせ
HDD ➡ ディスク - かんたんダビング - 詳細ダビング - 再生中番組の保存	DRモードの番組 LAN経由で録画した番組 高速 ➡ BD 高速 ➡ DVD (AVCREC方式) 1倍速 ➡ DVD (VR方式) 1.5～15倍録 モードの番組 高速 ➡ BD DVD (AVCREC方式) 1倍速 ➡ DVD (VR方式・ビデオ方式)	※ 画質変更ダビングになり、以下のような制限があります。 - 番組によっては、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。 - 画質変更ダビング中に視聴や再生などを行った場合、ダビング速度が遅くなります。  他機器での再生については (➔33)
USB-HDD ➡ ディスク - 詳細ダビング 以下の場合、USB-HDD からダビングできません。 - ディスクが DVD (VR 方式・ビデオ方式) - USB-HDD が SeeQVault フォーマット		
HDD ➡ USB-HDD USB-HDD ➡ HDD 詳細ダビング	高速	録画用フォーマットの USB-HDD の場合： HDD ➡ 移動のみ可能 ➡ USB-HDD - ダビング元の番組は消去されます。 - HDD の持ち出し番組は消去されます。 - ダビングの残り回数は減りません。 - 以下の番組はダビングできません。 - AVCHD や AVC VIDEO の表示がある番組 - XP、SP、LP、EP、FR モードの番組 - 動くアルバム (➔151) SeeQVaultフォーマットのUSB-HDDの場合： - コピー制限のある番組について - HDD からダビングするときは、HDD のダビング元の番組のダビング残り回数は 1 回減ります。USB-HDD の番組のダビング残り回数は 1 回になります。 - HDD へダビングするときは、USB-HDD の番組は消去されます。 - XP、SP、LP、EP、FR モードの番組はダビングできません。

ダビング方向と方法	ダビング速度	お知らせ
 ディスク →  HDD ● 詳細ダビング	 BD DRモードの番組 1.5～15倍録 モードの番組 → 高速 →  HDD  BD XP、SP、LP、EP、FR モードの番組 → 1倍速 →  HDD  DVD 1.5～15倍録 モードの番組 XP、SP、LP、EP、FR モードの番組 → 高速 →  HDD  DVDビデオ (ファイナライズ後のディスク) → 1倍速 →  HDD	デジタル放送のダビングについて (ムーブバック) ● DVD からはダビングできません。 ● BD からは移動になります。 (ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R はディスク残量は増えません)  BD → 移動のみ可能 →  HDD ● BD-RE BD-R 以下の番組は移動できません。 ・ディスク内で番組分割した番組 ・当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組 ・BD-R ファイナライズしたディスク ・録画時間が8時間を超える番組
 HDD →  HDD  USB-HDD →  USB-HDD ● 詳細ダビング ・SeeQVault フォーマットのUSB-HDDの場合はできません。	高速	番組を複製して同じ番組を2つにします。

● お知らせ

- 録画モードを変更してダビングする場合は、高速になりません。
- ディスク容量を超えてダビングしたり、他機器で作成したディスクをダビングするときは、画質変更ダビングになる場合があります。
- チャンネル録画した番組のワンタッチ保存については **55 ページ**をご覧ください。
- HDDにダビングしたXP、SP、LP、EP、FRモードの番組をディスクにダビングする場合、VR方式のDVDには高速でダビングします。それ以外のディスクには高速でダビングできません。

番組をダビングする

かんたんダビング

ダビング方向：

HDD → **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

通常録画用 HDD にある番組をディスクにダビングします。

●操作の前に記録可能なディスクを入れてください。

1 **スタート** を押す

2 「残す」を選び、**決定** を押す

3 「かんたんダビング」を選び、**決定** を押す

●**RAM** **-R** 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。

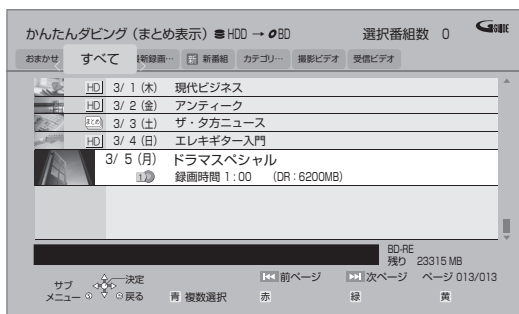
画質を選び、**[決定]** を押してください。

4 番組を選び、**決定** を押す

●複数の番組をダビングする場合、番組を選んで**[青]**を押す操作を繰り返してください。

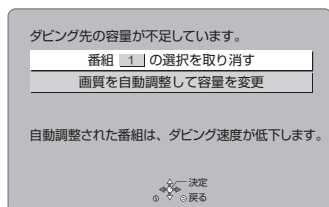
(選んだ番組には**☑**が表示されます。

もう一度**[青]**を押すと選択を取り消します。)



☞ 選んだ番組がディスク残量を超える場合
確認画面が表示されます。

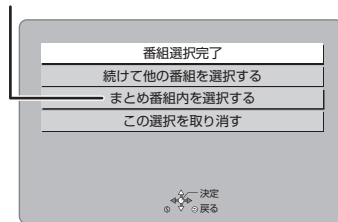
例)



「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

5 「番組選択完了」を選び、**決定** を押す

手順 4 でまとめ番組を選んだときのみ表示



他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(→ 手順 4 へ)

6 「ダビング開始」を選び、**決定** を押す

●オプション設定について (→ 119)

7 「はい」を選び、**決定** を押す

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

☞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。

●中止時の動作 (→ 125)

☞ ダビングの進行状況を表示するには

[画面表示] を押す

スタート画面の「残す」を選んでも進行状況を確認できます。

お知らせ

●「DVD 画質」で未フォーマットの **-R** **-RW** にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。

・ **100** ~ **10** の番組が含まれている場合 : VR 方式

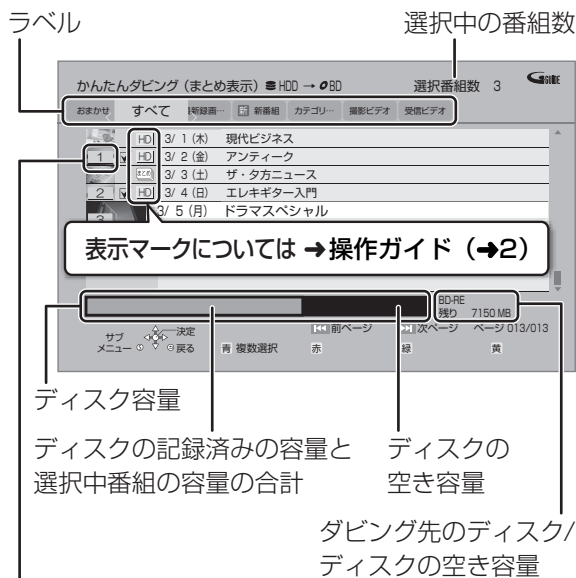
・ **100** ~ **10** の番組が含まれていない場合 : ビデオ方式

●1 回にダビングできる番組は 99 番組までです。(まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が 99 番組を超えると、ダビングできません)

●プロテクト設定 (→ 109) されている **10** の番組はダビングできません。

●**まとめ** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、**[サブメニュー]** を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。

かんたんダビングの画面の見方



選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順にダビングされます。

- 異なるラベルの番組を複数選んでダビングすることはできません。

ダビングする画質について

HD 表示のある番組：

- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

BD-RE **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC**

- 以下のディスクはDVD画質でのダビングになります。

RAM VR **-R VR** **-R V** **-RW**

HD 表示のない番組：

- BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC** にはハイビジョン画質でダビングします。(ただし画質は向上しません)

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面 (→118 手順 4) で

① 番組を選び、

BRX6000
BRX4000

BRX2000

サブメニュー
S を押す

② 項目を選び、決定 を押す (→ 下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☒ が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ● 選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	以下の設定ができます。 ● ダビング終了後自動電源 [切] ● ダビング終了後自動ファイナライズ (-R -RW のみ)
視聴制限一時解除*	「HDD 番組の視聴制限」(→193) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え*	表示順を変更します。 (全番組表示時のみ)
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	

※ 番組に ☒ が付いているときはできません。

お知らせ

- R** **-RW**「オプション設定」(→ 上記)の「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (→179) を行います。記録や編集をすることはできなくなります。また、ダビング中は録画や再生はできません。

番組をダビングする (続き)

詳細ダビング

ダビング方向：

● **HDD** → **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **USB-HDD**

● **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR**
→ **HDD**

● **USB-HDD** → **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC**
-R AVCREC **USB-HDD**

(SeeQVault フォーマットの USB-HDD は、HDD にのみダビング可能です)

● 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(→176)

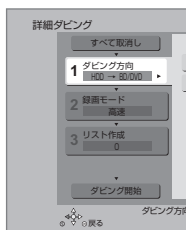
1 **スタート** を押す

2 「残す」を選び、**決定** を押す

3 「詳細ダビング」を選び、**決定** を押す

4 項目を選び、**[▶]** を押す

● 「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。



1 ダビング方向 **HDD → BD/DVD** (→ 右記)

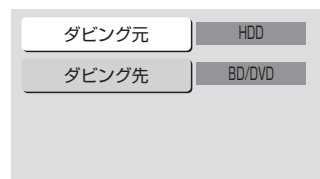
2 録画モード **高速** (→121)

3 リスト作成 **0** (→121)

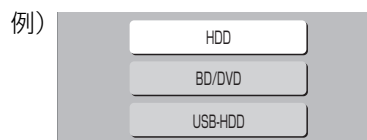
4 詳細設定 (→121)

ダビング方向

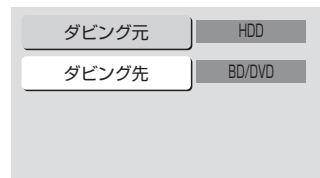
① 「ダビング元」を選び、**決定** を押す



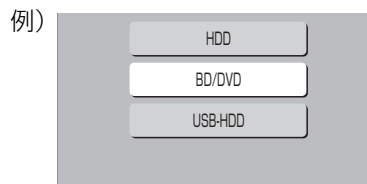
② ダビング元を選び、**決定** を押す



③ 「ダビング先」を選び、**決定** を押す



④ ダビング先を選び、**決定** を押す



⑤ **[◀]** を押す (→ 左記手順 5 へ)

5 「ダビング開始」を選び、**決定** を押す

6 「ダビングする」または
「ダビング後に電源[切]」を選び、**決定** を押す

☞ ダビングを実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

- ファイナライズ中は中止できません。
- 中止時の動作 (→125)

お知らせ

- **HDD** **USB-HDD** ダビング先とダビング元を同じにすると、番組を複製することができます。(複製後は**まとめ**番組になります)
 - ・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は1回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は1回になります)
 - ・**12** 表示のある番組、ダウンロードした番組の複製はできません。
- ディスクから **HDD** へのダビング開始時のコピー禁止信号を確認中は、予約録画は実行できません。

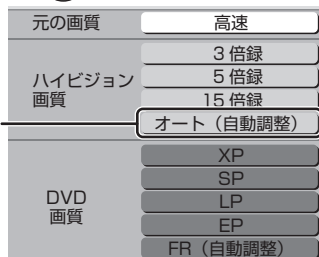
録画モード

① 「録画モード」を選び、**決定** を押す



② 録画するモードを選び、**決定** を押す

記録先の空き容量に合わせて、1.5～15倍録モードの中から自動で選択してダビングします。



- ハイビジョン画質を選択時に【サブメニュー】を押すと、録画モードの倍率を変更することができます。(→ 87)

③ [◀] を押す (→120 手順 5 へ)

お知らせ

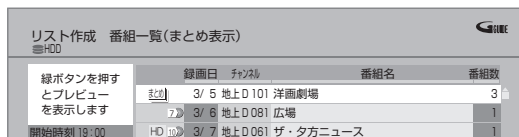
- 録画モードと記録時間の目安(ディスク) (→261)
- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードでダビングしても、画質は向上しません。
- アニメなど録画番組の内容によっては、オート(自動調整)を選択しても、空き容量が大幅に残ることがあります。

リスト作成(番組を選択する)

① 「新規登録」を選び、**決定** を押す



② 番組を選び、**青** を押す



- ☒ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- ダビング先にダビングできる番組のみ明るく表示します。

☑ 選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

③ 選び終わったあと、**決定** を押す

④ [◀] を押す (→120 手順 5 へ)

お知らせ

- 【USB-HDD】にダビングする場合や高速モードで【BD-RE】【BD-R】にダビングする場合、【HD】表示のある番組のみ登録できます。(録画用フォーマットの USB-HDD には、「AVCHD」や「AVC VIDEO」の表示がある番組はダビングできません)
- ダビングリスト容量について(ダビング先に記録される容量)
 - 管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。

詳細設定

(【-R】 【-RW】 へダビングするときのみ)

① 「ファイナライズ」を選び、**決定** を押す

② 「入」または「切」を選び、**決定** を押す

③ [◀] を押す (→120 手順 5 へ)

(【BD-RE】【BD-R】【RAM AVCREC】【-R AVCREC】へ 1.5 ~ 15 倍録 モードを選んでダビングするときのみ)

複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

① 「音声・字幕の記録」を選び、**決定** を押す

② 「モード 1」または「モード 2」を選び、**決定** を押す

- モード 1 : 再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード 2 : 再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(→103) で記録する内容を設定してください。

③ [◀] を押す (→120 手順 5 へ)

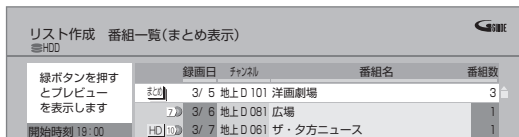
お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ (→179) を行います。記録や編集をすることはできません。また、ダビング中は録画や再生はできません。

番組をダビングする (続き)

ダビングの便利な機能

リスト作成画面 (→121「リスト作成」手順②) で



① 番組を選び、

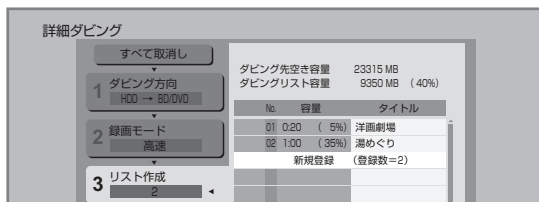


② 項目を選び、決定を押す (→下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除	「HDD 番組の視聴制限」(→193) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。
並び替え	表示順を変更します。 (全番組表示時のみ)
まとめ表示へ 全番組表示へ	表示を切り換えます。 ●SeeQVault フォーマットの USB-HDD の場合はできません。

番組に ☒ が付いているときはできません。

リスト作成画面 (→121「リスト作成」手順①) で



- 登録されたリストや設定を取り消す：
「すべて取消し」を選び、[決定] を押す
- リスト項目を入れ替える：
番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ
- リストの追加や消去、移動などの編集をする：
[サブメニュー] を押したあと、項目を選ぶ
 - リスト全消去
 - 追加
 - 消去
 - 移動

ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ) をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

ダビング方向：

[DVD-V] (ファイナライズ後の [R V] [RW V]、+R、+R DL、+RW) → [HDD]

1

スタート を押す

2

「残す」を選び、決定 を押す

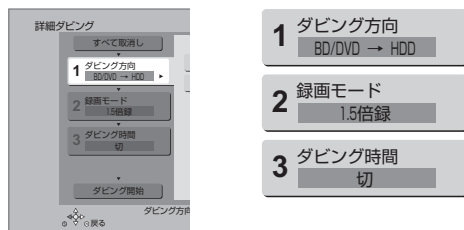
3

「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4

項目を選び、[▶] を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」(→120) をご覧ください。



以下のように設定してください。

- 「ダビング方向」：「ダビング元」→「BD/DVD」
- 「録画モード」：「録画モード」を選ぶ
(1.5 ~ 15 倍録のみ選べます)
- 「ダビング時間」：ダビング時間を設定する
(→123)

5 「ダビング開始」を選び、**決定**を押す

6 「ダビングする」または「ダビング後に電源[切]」を選び、**決定**を押す

- 最初に右記の画面がダビングされます。
- 番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。



7 ダビングしたい番組の再生を始める

- ☞ トップメニューが表示された場合は番組を選び、**[決定]**を押す



- ☞ 好みの番組を再生するには

- ① **[録画一覧]**を押す
- ② 番組を選び、**[決定]**を押す

- ☞ ディスクの再生が始まらない場合は

- ① **[▶ 再生]**を押す
- ② (トップメニューが表示されたら)番組を選び、**[決定]**を押す

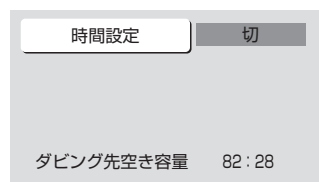
- ☞ ダビングを実行中に中止 / 終了するには**[戻る]**を3秒以上押す

お知らせ

- 市販のDVDビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ(→98)で飛び越すことができます。
- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(→192)の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

ダビング時間

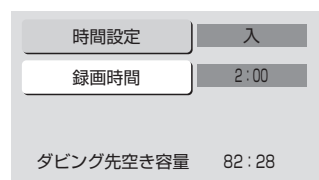
- ① 「時間設定」を選び、**決定**を押す



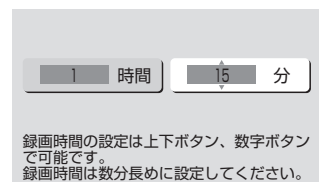
- ② 「入」または「切」を選び、**決定**を押す

- 「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

- ③ 「録画時間」を選び、**決定**を押す



- ④ “時間” または “分” を選び **[▲]****[▼]** で設定し、**決定**を押す



番組をダビングする (続き)

複数の音声や字幕情報の番組を DVD 画質でディスクにダビングする

通常録画用 HDDに録画した番組を再生中にダビング
することができます。(1 番組のみダビング)

- 記録する音声や字幕情報を設定できます。
- 再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向: **HDD** ➡ **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

- 新品のディスクにダビングする場合は、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➡176)

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合:

- RAM VR** **-R VR** **-RW VR** **【音声】** または **【字幕】** を押して、表示された再生設定画面 (➡103) で、記録したい音声や字幕を設定する

2 **BRX6000** **BRX4000** **BRX2000** サブメニュー **S** を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 **【サブメニュー】** を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、**決定** を押す

4 「保存開始」を選び、**決定** を押す

 ダビングを実行中に中止するには

【戻る】 を 3 秒以上押す

- 中止時の動作 (➡125)

お知らせ

- RAM VR** **-R VR** **-RW VR** 複数の音声を含んだ番組を 2 番組以上同時にダビングしたい場合、ダビング前に記録したい音声や字幕の設定を行ってください。

① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする

- ・ **【音声】** または **【字幕】** を押して、表示された再生設定画面 (➡103) で、記録したい音声や字幕を設定する

② かんたんダビング(➡118)、詳細ダビング(➡120)

字幕設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。

1 番組ずつダビングしてください。

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例) デジタル放送の番組 A・B・C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合



番組 A・B のみダビングされます。

番組 C はダビングされず、ダビング元に残ります。

ただし、コピー制限のない番組を画質変更ダビング中に中止した場合、途中までがダビングされます。

[BD-R] [R] 番組 C の中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

[R V] [RW V] に画質変更ダビングするときの動作

番組を 通常録画用 HDD に一時的に複製したあと、ディスクにダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。

HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。

HDD の不要な番組を消去 (→115) してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数 (→262) を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

以下の場合、画質変更ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

- ダビング先の **[BD-RE] [BD-R]** の残量が少ない
- [BD-RE] [BD-R]** 以外のディスクへのダビング

部分消去やチャプター消去した番組の画質変更ダビングについて

部分消去やチャプター消去した番組をディスクに画質変更ダビングすると、番組の最後の部分がダビングされない場合があります。

3D 対応の番組のダビングについて

- [3D]** 表示のある番組を **[RAM VR] [R VR] [RW VR]** に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビングすると、番組から 3D 情報がなくなります。
- 「AVCHD 3D」の表示がある番組は、以下の場合、画質変更ダビングになり、2D 映像として記録されます。
 - ・ダビング先の **[BD-RE] [BD-R]** の残量が少ない
 - ・**[BD-RE] [BD-R]** 以外のディスクへのダビング

複数の音声 (マルチ音声) や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

録画した番組をディスクにダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。

- [BD-RE] [BD-R] [RAM AVCREC] [R AVCREC]** (高速、1.5 ~ 15 倍録 モードでダビング時)
複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
- [RAM VR] [R VR] [RW VR]** (通常録画用 HDD からダビング時)
複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
再生中番組の保存 (→124) でダビングしてください。

お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。

[BD-RE] [BD-R] [RAM AVCREC] [R AVCREC] 詳細ダビングの詳細設定 (→121) で、「音声・字幕の記録」を「モード2」にしてディスクに画質変更ダビングすると、「信号切換」(→103) で設定した内容で記録することができます。(ただし、音声の切り換えや字幕表示の入/切はできなくなります)

二重音声の番組のダビングについて

録画した番組をダビングする場合、音声は以下のようになります。

- [BD-RE] [BD-R] [RAM AVCREC] [R AVCREC]**
[USB-HDD] [RAM VR] [R VR] [RW VR]
両方の音声を記録

- [R V] [RW V]** 以下の設定に従って記録：
「DVD-Video 記録の設定」(→192) の「二重音声記録時の音声選択」を記録したい音声にする

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーから録画する



ネットワークで接続すると、スカパー！プレミアムサービス対応チューナーからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

※ 外部入力から録画する場合は、「見ている番組を録画する」(→129)の手順で録画してください。

- サービスについては、当社ホームページをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/bd/network/hd_rec/

- 「スカパー！HD」は2012年9月29日より「スカパー！プレミアムサービス」に名称変更しました。

接続と設定

- ネットワーク接続と設定をする
(安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください)
(→231、232、242)
- 設定を変更する場合 (→203)

HDD

スカパー！プレミアムサービス対応チューナーでネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体前面の“録画”ランプが点灯します。



- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくはスカパー！プレミアムサービス対応チューナーの説明書をご覧ください。
- 本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されますので、予約内容を確認してください。(→80)
 - ・録画モードを変更することはできません。
 - ・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。
 - ・視聴制限のある番組や接続しているチューナーによっては、番組名が表示されないことがあります。

録画を止めるには

【■ 停止】を押す

- スカパー！プレミアムサービス以外の番組も録画中のときは、“LAN”の表示のあるチャンネルを選んでください。

チューナーから本機にダビングするときは

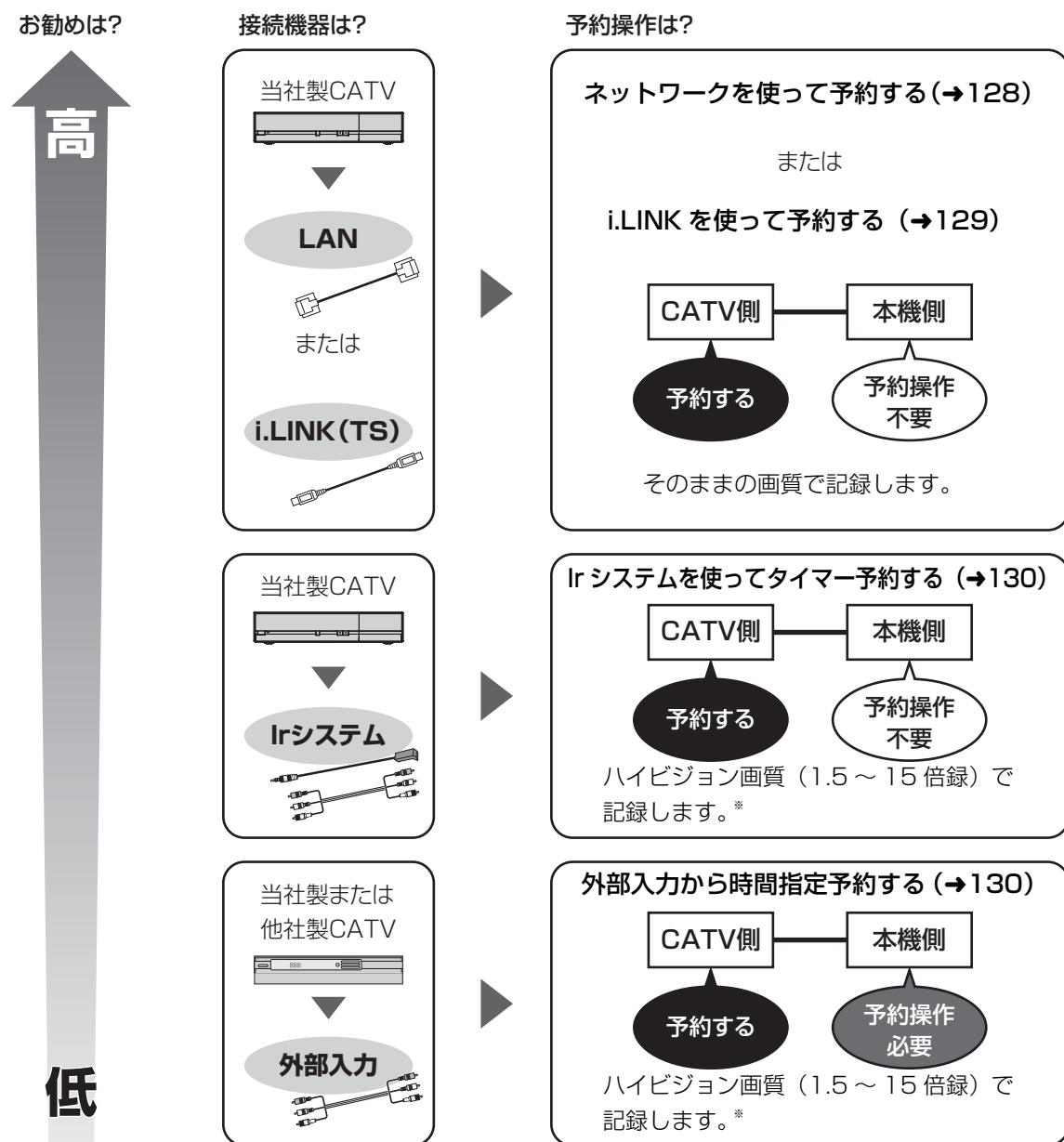
- 「ビエラなどからダビングする」(→131)をご覧ください。

お知らせ

- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- スカパー！プレミアムサービスの番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。
 - ・本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつないでいない場合は、日時設定を行ってください。
(→190「日時設定」)
 - ・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。
- スカパー！プレミアムサービスの番組を録画中は、市販のBDビデオやAVCHDのディスクを再生することはできません。
- 予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」(→67)、「番組名入力」(→70)、「マイラベル設定」(→68)の設定ができます。ただし、チューナー側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。
- 録画中のスカパー！プレミアムサービスの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。
- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。
- スカパー！プレミアムサービスの番組は、録画モードが表示されません。
- 視聴制限のある番組は、録画一覧画面(→93)やダビング画面(→118、121)などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。
- 以下の場合、記録したスカパー！プレミアムサービスの番組は字幕表示の入/切ができません。
 - ・接続しているチューナーが字幕データの出力に対応していない場合
 - ・画質変更ダビングした場合
 - ・他社製機器で記録した場合

CATV (ケーブルテレビ) から録画する

接続の詳細については (→226)



※ RAM VR R VR RW VR には DVD 画質で記録します。

i.LINK (TS) 端子や Ir システムを使っでの録画は、当社製 CATV セットトップボックスでの動作のみ保証しています。他社製品と接続する場合は外部入力を使って録画してください。

ネットワークを使って録画できる CATV セットトップボックスについては、当社ホームページ (→3) をご覧ください。

上記の接続 [i.LINK (TS)、外部入力] で、見ている番組を録画するときは (→129)

CATVから本機にダビングするときは (→131)

お知らせ

- CATVからコピー制限のある番組を録画する場合、「ダビング 10」の番組でも「1 回だけ録画可能」な番組として録画されます。

CATV (ケーブルテレビ) から録画する (続き)

ネットワークを使って予約する

ネットワークで接続すると、CATV セットトップボックスからの番組をそのままの画質で本機に録画することができます。

●ネットワーク接続と設定をする

(安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください)

(→231、232、242)

お部屋ジャンプリンク (DLNA) / スカパー! Link (録画) 設定 (→203)

録画を止めるには

[■ 停止] を押す

- ネットワーク経由以外の番組も録画中のときは、“LAN” の表示のあるチャンネルを選んでください。

HDD

CATV側でネットワーク設定と予約の設定をする

録画中は、本体前面の“録画”ランプが点灯します。



- 本機が録画先になるように設定してください。詳しくはCATV セットトップボックスの説明書をご覧ください。

- 本機の予約一覧に「LAN 予約」マークが表示されますので、予約内容を確認してください。(→80)

・「重複」マークが表示されている場合、録画は実行されません。

・視聴制限のある番組や接続している CATV セットトップボックスによっては、番組名が表示されないことがあります。

お知らせ

- 本機が動作中のときは、予約の設定ができない場合があります。
- CATV の番組の録画が正しく実行されない場合がありますので、以下のようにしてください。

・本機の日時が間違っている場合、もしくは本機をアンテナにつないでいない場合は、日時設定を行ってください。

(→190「日時設定」)

・予約登録後、ネットワーク設定をやり直す場合、設定前に登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。

- CATV の番組を録画中は、市販のBDビデオやAVCHDのディスクを再生することはできません。

- 予約登録後、本機側で「持ち出し番組の設定」(→67)、「番組名入力」(→70)、「マイラベル設定」(→68) の設定ができます。ただし、CATV 側で予約を修正すると、本機側の予約を取り消し、再登録するため、本機側で設定した内容は無効になります。

- 録画中のCATVの番組を、本機で「予約実行切」にすると、再び「予約実行入」にすることはできません。

- 予約した番組の直前の放送が視聴制限のある番組や「録画禁止」の番組の場合、始めの数秒間、録画されないことがあります。

- CATV の番組は、録画モードが表示されません。

- 視聴制限のある番組は、録画一覧画面(→93)やダビング画面(→118、121)などで表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

見ている番組を録画する

HDD

- 1 **入力切換** を押して、CATV を接続した端子（「L1」など）を選び、CATV でチャンネルを選ぶ
- 2 **録画モード** を押して、録画モード（→86）を選ぶ
 - i.LINK（TS）入力の場合、DRモードのみ選べます。
- 3 **BRX6000** ワンタッチ予約/録画 **BRX2000** ワンタッチ予約 **BRX4000** 録画 を押す
- 4 録画の終了方法を選び、**決定** を押す

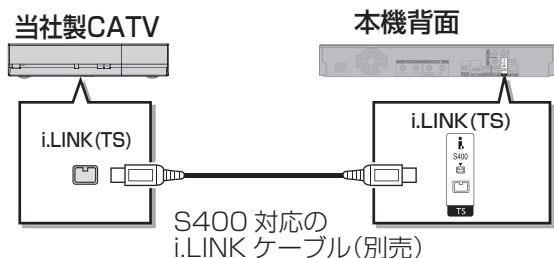
録画を止めるには
[■ 停止] を押す

お知らせ

- 外部入力（L1）から録画中、XP、SP、LP、EP、FRモードの予約録画が始まると、録画が中断します。
- i.LINK（TS）入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画（→88）できない場合は、録画が中断します。

i.LINK を使って予約する

HDD



- 初期設定で以下の設定をする
 - ・「i.LINK 機器モード設定」：「TSモード2」（→196）

- 1 CATV 側の i.LINK 設定で本機を設定する
- 2 CATV 側で予約をする

- 「録画機器」の設定は、「D-VHS」にしてください。

例) CATV 側の予約画面

詳細設定	
予約を登録する	
予約方式	見るだけ ☐ 録画 ☒
録画機器	D-VHS
録画モード	—
信号設定	
その他の設定	

予約方法は機器により異なります。詳しくはCATV側の取扱説明書をご覧ください。

- 3 本機の電源を切る

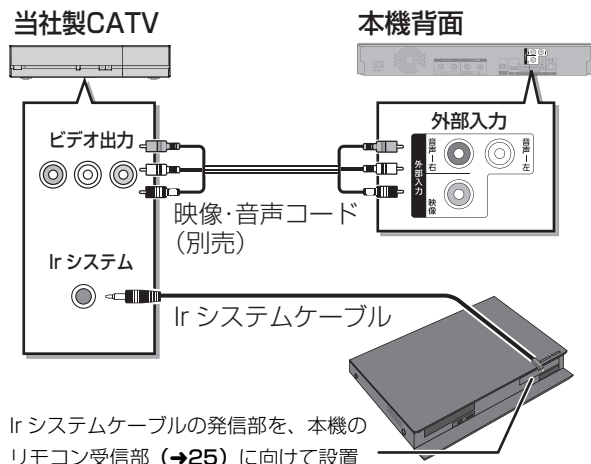
お知らせ

- 本機にはDRモードで録画されます。
- 本機の予約一覧には登録されません。
- i.LINK（TS）入力から録画中、本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画（→88）できない場合は、録画が中断します。
- 他の操作を実行していると、予約録画が開始されない場合があります。予約の開始前には本機の電源を切ってください。
- 録画中に本機の電源を切らないでください。
- 番組の先頭部分が録画されないときがあります。

CATV (ケーブルテレビ) から録画する (続き)

Ir システムを使ってタイマー予約する

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR



Ir システムケーブルの発信部を、本機のリモコン受信部 (→25) に向けて設置

- 初期設定で以下の設定をする
・「他機器連携 (Ir システム)」 (→200) または「リモコンモード」 (→201、202) :
CATV 側の Ir システムのリモコン種別の番号と合わせる

1 CATV 側の Ir システムを設定する

2 CATV 側で予約をする

- 「録画機器」の設定は、「Ir (タイマー)」にしてください。
- 録画モードの設定やディスクに予約する場合は、予約後に本機の予約一覧 (→80) で、予約内容の修正を行ってください。

例) CATV 側の予約画面

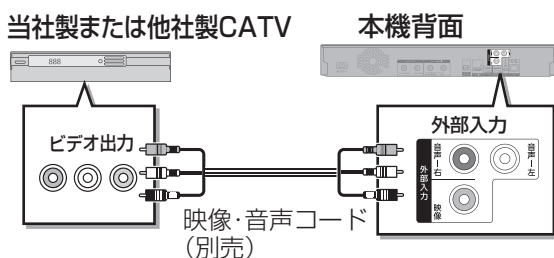
詳細設定	
予約を登録する	
予約方式	見るだけ ☐ 録画 ☒
録画機器	Ir (タイマー)
録画モード	—
信号設定	—
その他の設定	—

予約方法は機器により異なります。詳しくは CATV 側の取扱説明書をご覧ください。

- 本機の予約一覧に登録されますので、予約内容を確認してください。(→80)

外部入力から時間指定予約する

HDD BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR



1 入力切替を押して、「L1」を選ぶ

2 CATV 側で予約をする

- 「録画機器」の設定は、「—」にしてください。

例) CATV 側の予約画面

詳細設定	
予約を登録する	
予約方式	見るだけ ☐ 録画 ☒
録画機器	—
録画モード	—
信号設定	—
その他の設定	—

予約方法は機器により異なります。
詳しくはCATV側の取扱説明書をご覧ください。

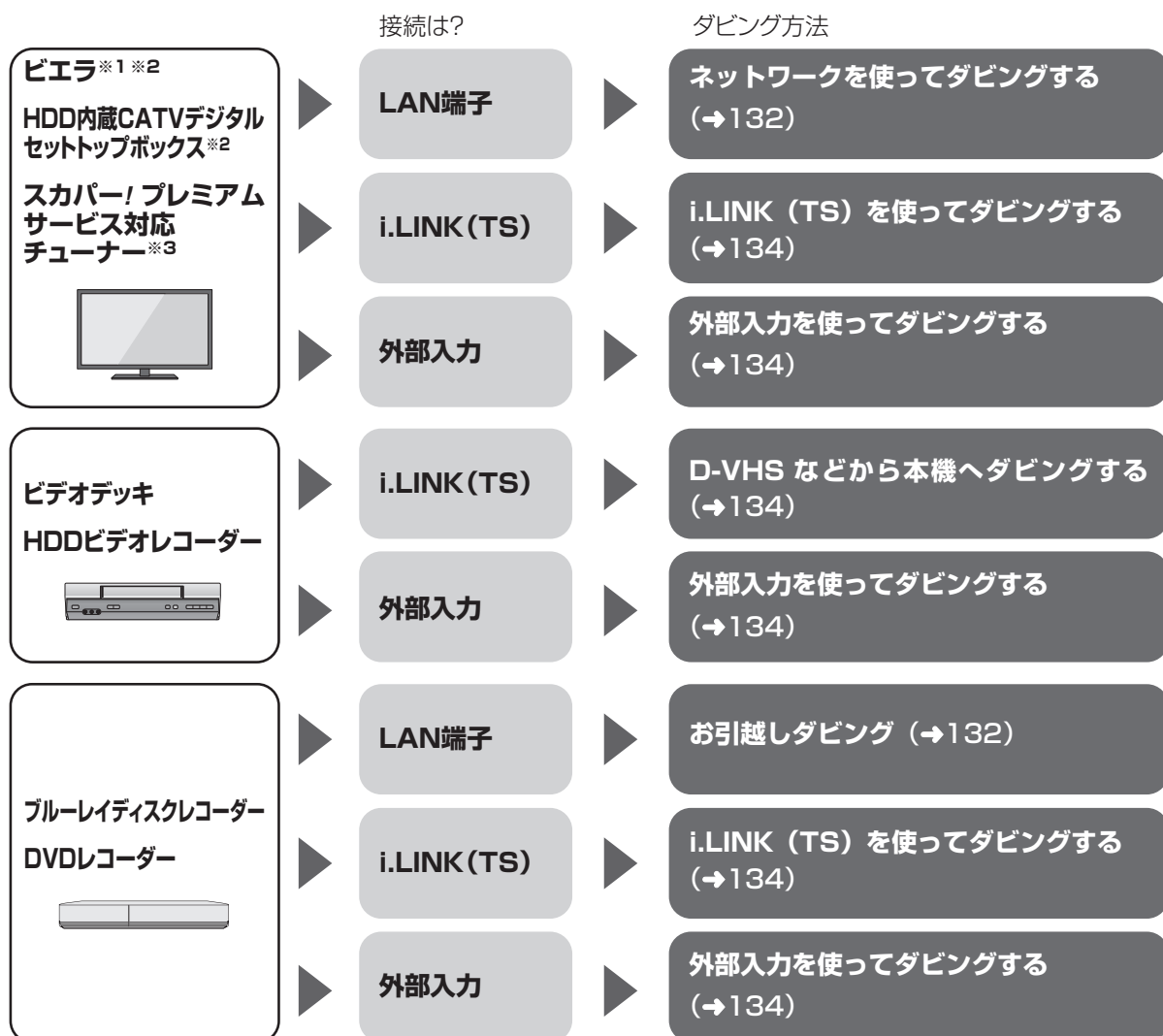
3 本機の「時間指定予約」で予約する (→70)

- 「放送種別/チャンネル」は「外部入力 L1」に設定してください。
- ディスクに予約する場合は、「録画先」を「BD」に設定してください。

お知らせ

- Ir システムを使ったタイマー予約について
 - ・本機動作中に予約を行うと正しく登録されない場合があります。
 - ・お使いの機器によっては、タイマー予約ができない場合があります。
- HDD Ir システムを使った連動予約について
 - Ir システム連動予約対応機器の場合、Ir システムを使うと、本機の予約操作は不要になりますが、録画の開始時刻に本機側が以下の状態になっている必要があります。
 - ・入力切替が「外部入力 (L1)」
 - ・電源「切」上記状態になっておらず予約が失敗することを防ぐため、当社製 CATV で Ir システムを使って予約をする場合は、タイマー予約 (→左記) での予約をお勧めします。
- 外部入力からの録画について
 - ・ハイビジョン画質で録画されますが、画質は向上しません。

ビエラなどからダビングする



※ 1 USB-HDD 録画対応ビエラや HDD 内蔵ビエラからダビングできます。

※ 2 i.LINK (TS)、LAN 端子でダビングするかは機器によって異なります。

※ 3 LAN 端子を使ってダビングします。

接続と設定

LAN 端子

- ネットワーク接続と設定をする (→230、242)
お部屋ジャンプリnk (DLNA) の設定を変更する場合 (→203)

i.LINK (TS)

- i.LINK ケーブルで接続する (→226)
- 「i.LINK 機器モード設定」を設定する (→196)
 - ・HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスと接続：「TS モード 2」
(当社製 CATV デジタルセットトップボックスの中には、「TS モード 1」に設定する機器もあります。
詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください)
 - ・それ以外と接続：「TS モード 1」
- 接続機器側の i.LINK (TS) の設定をする

外部入力

- ビデオと接続する (→227)

ビエラなどからダビングする (続き)

ネットワークを使ってダビングする

HDD

ビエラなどの機器とネットワーク接続すると、接続した機器から本機の通常録画用 HDD にダビングすることができます。

ダビングできる機器：

- ・USB-HDD 録画対応ビエラ
- ・HDD 内蔵ビエラ
- ・当社製 CATV デジタルセットトップボックス
- ・スカパー！プレミアムサービス対応チューナー
- 対応機器については、当社ホームページ (→3) をご覧ください。

- ネットワーク接続と設定をする (→231 ~ 233、242)
お部屋ジャンプリnk (DLNA) の設定を変更する場合 (→203)

ビエラなどの接続機器側でダビングの操作をする

- ダビングの操作方法是接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

お引越しダビング

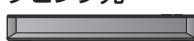
お引越しダビングに対応したディーガや他社製レコーダーなどとネットワーク接続すると、番組や写真をダビングすることができます。他のディーガや他社製レコーダーなどから本機にまとめて移動するときに便利です。

- 対応機器については、当社ホームページ (→3) をご覧ください。
- ネットワーク接続と設定をする (→231 ~ 233、242)
お部屋ジャンプリnk (DLNA) の設定を変更する場合 (→203)

ダビング元



ダビング先



ダビング先で操作する

番組ダビングの設定をする

- 1 **スタート** を押す
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す
●表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。
- 3 「ネットワーク機能を使う」を選び、**決定** を押す
- 4 「お引越しダビング」を選び、**決定** を押す
- 5 「番組をダビングする」を選び、**決定** を押す
- 6 接続する機器を選び、**決定** を押す
●番組が表示されます。
他社製機器の場合、番組が表示されない場合があります。その場合は、フォルダから番組を探して、表示してください。
- 7 番組を選び、**決定** を押す
●複数の番組をダビングする場合、番組を選んで [青] を押す操作を繰り返してください。
(選んだ番組には「☒」が表示されます。
もう一度 [青] を押すと選択を取り消します。)

例)

番組お引越しダビング 番組一覧(全番組表示)					
ダビングしたい番組を選択し、決定ボタンを押してください。					
ページ 013/013					
☒	現代ビジネス	2/8 (金)	地上D 101	開始時刻 22:00	録画時間 1:00
☐	エレンギター入門	2/8 (金)	地上D 101	開始時刻 9:07	録画時間 0:28
☐	夕方ニュース	2/8 (金)	地上D 101	開始時刻 17:03	録画時間 1:00

- ☞ **まとめ** 番組を選んだ場合は
まとめ番組内や他の番組も選択したい場合は、表示された項目を選んで操作してください。
- ☞ すべての番組をダビングしたい場合は
「一括ダビング」 (→133) してください。

8 接続機器がディーガの場合： 「ダビング元機器の番組」を 「残す」または「残さない」に設定する

接続機器が他社製レコーダーの場合：手順 9 へ

9 「設定する」を選び、**決定**を押す (→ 右記「ダビングを実行する」へ)

■ 番組ダビング時の便利な機能

番組お引越しダビング画面 (→ 132 手順 7) で

① 番組を選び、



② 項目を選び、**決定**を押す (→ 下記へ)

内容確認	番組の内容が確認できます。
一括ダビング*	通常録画用 HDD 内のすべての番組をダビングします。 (「はい」を選んで [決定] を押したあと → 上記手順 8 へ)
まとめ表示へ*	表示を切り換えます。
全番組表示へ*	

※番組に「☒」が付いているときはできません。

● お知らせ

- 1 回に複数選択できる番組は 99 番組までです。
- **まとめ** 番組内の番組とそれ以外の番組を複数選んでダビングするには、[サブメニュー] を押して、「全番組表示へ」に切り換えてください。
- 以下の番組はダビングできません。
 - ・プロテクト設定 (→ 109) されている **1D** の番組
 - ・ダウンロードした番組
 - ・ダビングする番組を選択したあと、ダビングが実行される前に「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」「録画モード変換」「チャプター消去」「チャプター結合」の編集や、番組の複製をした番組
 - ・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組
- **1D** の表示がある番組は以下のようになります。
 - ・手順 8 の「残す」「残さない」の設定にかかわらず、ダビング元からは消去されます。
- **10D** ~ **12D** の表示がある番組は以下のようになります。
 - ・ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
- 一括ダビングの場合、ダビング元の番組のデータ容量によっては、ダビング完了までに時間がかかる場合があります。
- 他社製レコーダーの場合、「まとめ表示へ」「全番組表示へ」の切り換えはできません。また、ダビングの残り回数 (**10D** ~ **1D**) は表示されません。

写真ダビングの設定をする

HDD 内のすべての写真をダビングします。
写真を選んでダビングすることはできません。

132 ページ手順 4 のあと

5 「写真をダビングする」を選び、**決定**を押す

6 接続する機器を選び、**決定**を押す

7 「ダビングする」を選び、**決定**を押す (→ 下記「ダビングを実行する」へ)

● お知らせ

- 1 回にダビングできる写真は 20000 枚までです。
- ダビング元の写真は削除しません。
- ダビング完了までは、写真の取り込みはできません。

ダビングを実行する

本機と接続機器の電源を切る

- 写真をダビングする場合は、接続機器の電源を切る必要はありません。

電源「切」時にダビングが実行されます。予約録画の設定がされていない時間帯にダビングを行います。

- ダビング中に電源を入れると、ダビングを中断し、次に電源を切ると、ダビングを再開します。

🔍 ダビングの状況を確認するには

- ① [スタート] を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す
- ③ 「ネットワーク機能を使う」を選び、[決定] を押す
- ④ 「お引越しダビング」を選び、[決定] を押す
- ⑤ 「番組をダビングする」または「写真をダビングする」を選び、[決定] を押す

🔍 ダビングを中止するには

上記手順 ⑤ のあとに、[黄] を押す

ビエラなどからダビングする (続き)

i.LINK (TS) を使ってダビングする

接続した機器から、本機の通常録画用 HDD にダビングすることができます。

- 本機は、i.LINK (TS) 出力に対応した当社製のブルーレイディスクレコーダー、DVD レコーダー、D-VHS ビデオカセットレコーダー、HDD ビデオレコーダー、HDD 内蔵ビエラ、HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスとの動作のみ保証しています。(2015 年 3 月現在)

お知らせ

- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
- 本機から i.LINK 対応機器へのダビング、または再生などの操作はできません。
- i.LINK (TS) 経由で本機に接続できる i.LINK (TS) 機器は、1 台のみです。

レコーダーなどから本機へダビングする

ダビングできる当社製機器：

ブルーレイディスクレコーダー

DVD レコーダー

HDD 内蔵 CATV デジタルセットトップボックスなど

レコーダーなどの接続機器側でダビングの操作をする

- ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。
- ・接続した機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
- ・DR モードでダビングします。
- ・本機で複数の予約録画が始まり、番組の録画ができない状態 (→88) になると、ダビングは中止されます。

D-VHS などから本機へダビングする

- [HDD]** にダビングできます。

ダビングできる機器：

D-VHS ビデオ

HDD ビデオレコーダーなど

1  を押して、「i.LINK (TS)」を選ぶ

2 接続した機器で再生を始め、
録画を始めたい場面で、

 ワンタッチ予約/録画  ワンタッチ予約
   を押す

3 録画の終了方法を選び、 を押す

 ダビングを実行中に中止するには

[■ 停止] を押す

- 接続した機器の再生も停止してください。

お知らせ

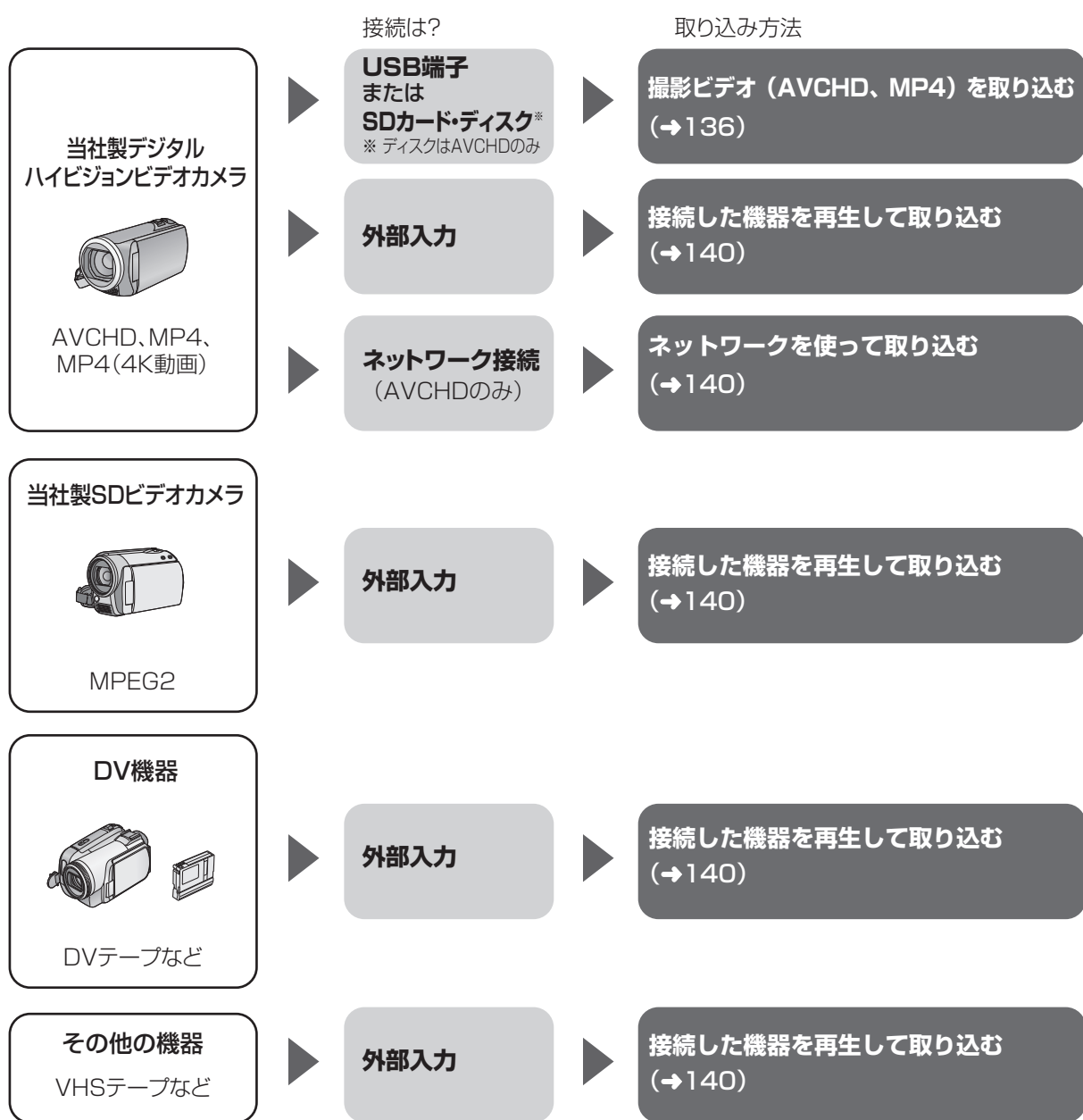
- コピー制限のある番組はダビングできません。
- 本機の予約録画が始まり、複数の番組を録画 (→88) できない場合は、ダビングは中止されます。

外部入力を使ってダビングする

[HDD]

「接続した機器を再生して取り込む」 (→140)

ビデオカメラから取り込む



●対応する機器については、当社ホームページ (→3) をご覧ください。

接続と設定

USB 端子

- 接続する (→214)

SD カード・ディスク

- 挿入する (→29)

外部入力

- ビデオと接続する (→227)

ネットワーク接続

- ネットワーク接続と設定をする (→230、242)
お部屋ジャンプリnk (DLNA) の設定を変更する場合 (→203)

ビデオカメラから取り込む (続き)

撮影ビデオ (AVCHD、MP4) を取り込む

USB

SDカード

ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラなどで撮影した動画を取り込むことができます。

- 「1080/60p」*や「AVCHD 3D」の表示がある番組は **HDD** **BD-RE** **BD-R** にのみ取り込むことができます。

※ 1080/60p(1920×1080/60プログレッシブ)記録の番組

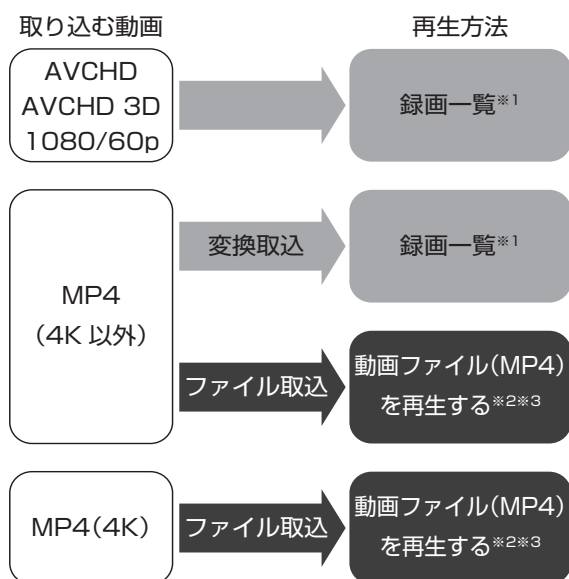
- MP4 の番組は **HDD** にのみ取り込むことができます。(変換取込の場合、高速で取り込みはできません)
- HDD** に取り込む場合、動画の種類や初期設定によって、取り込んだ動画の再生方法が異なります。
(→92)

MP4 の変換取込とファイル取込について

MP4(4K 以外)は、「MP4 の取り込み設定」(→193)によって取り込み後の再生方法が異なります。

[ただし、MP4 (4K) は設定にかかわらず、「ファイル取込」されます]

- 「変換取込」すると、本機の録画一覧で再生できます。取り込むときの画質は、「MP4 取込 / アルバムの作成画質」(→193)で選ぶことができます。「高画質モード」は2倍録相当、「標準モード」は5倍録相当の画質になります。
- 「ファイル取込」すると「動画ファイル (MP4) を再生する」で再生できます。(録画一覧には表示されません)



※ 1 取り込んだ動画は、録画一覧のチャンネル欄では以下のように表示されます。

- AVCHD : 「AVCHD」
(サイドバイサイド方式で記録した 3D 映像も含む)
- AVCHD 3D : 「AVCHD 3D」
- 1080/60p の番組 : 「AVCHD PRO」
- MP4 (4K 以外) : 「AVC VIDEO」

※ 2 本機に「ファイル取込」した MP4 は、ネットワーク接続したファイル共有機能対応機器で見ることができます。
(→170)

※ 3 「ファイル取込」した MP4 でも本機では再生できない場合があります。

お知らせ

DVDに取り込んだ動画を他のAVCREC非対応機器で再生したい場合

- 一度HDDに取り込んだあと、DVD画質(XP、SP、LP、EP、FRモード)でディスクにダビングしてください。

かんたん差分取り込み

USB

SDカード

取り込んだ撮影ビデオの履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された撮影ビデオのみを取り込みます。

取り込み方向：

USB SD → HDD

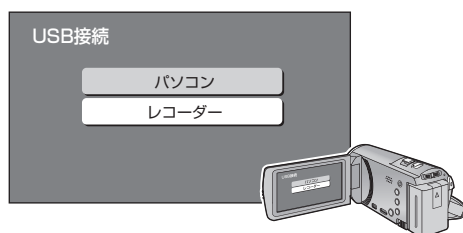
■ USB 機器から取り込む場合

1 USB 機器を接続する (→214)

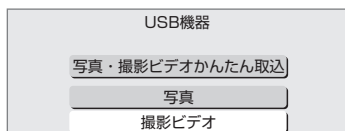
2 USB 機器側で、本機と USB 接続するための設定をする

- USB 機器の設定は、USB 機器の説明書に従って行ってください。

例)



- USB 機器側の設定をすると、以下の画面が表示されます。



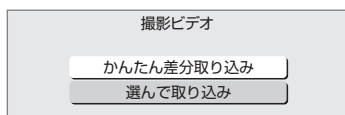
下記操作で表示することもできます。

- ① [スタート] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「USB 機器」を選び、[決定] を押す

3 「撮影ビデオ」を選び、決定を押す

- 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選ぶと、写真も同時に取り込みます。

4 「かんたん差分取り込み」を選び、決定を押す

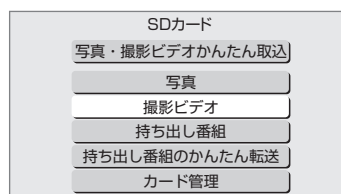


5 「取り込み開始」を選び、決定を押す

■ SD カードから取り込む場合

1 SD カードを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① [スタート] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「SD カード」を選び、[決定] を押す

2 「撮影ビデオ」を選び、決定を押す

- 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選ぶと、写真も同時に取り込みます。

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定を押す

4 「かんたん差分取り込み」を選び、決定を押す

5 「取り込み開始」を選び、決定を押す

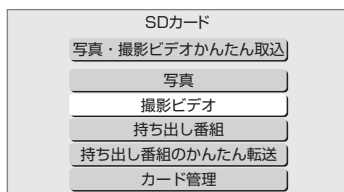
お知らせ

- 取り込んだ撮影ビデオの履歴は、SD カードは 5 枚、USB 機器は 1 台のみ保持し、それ以上になると、古い情報から削除されます。
- 取り込んだ撮影ビデオの履歴保持は、「HDD のフォーマット」(→193) や「全番組消去」(→193) を行くと、削除されます。
- 同じ撮影ビデオを取り込みたい場合や撮影ビデオ単位で取り込みたい場合は、「選んで取り込み」(→138) を行ってください。
- [MP4] 撮影形式やファイル構成によっては、取り込みができない場合があります。
- 以下の操作を行った場合、取り込み済みの動画を再度取り込んでしまうことがあります。
 - ・ビデオカメラなどで編集
 - ・取り込みを中断

■ SD カードから取り込む場合

1 SD カードを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① [スタート] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「SD カード」を選び、[決定] を押す

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

3 「撮影ビデオを取り込む」を選び、決定 を押す

4 「選んで取り込み」を選び、決定 を押す

- 複数種類の撮影ビデオがSD カードに存在している場合、メッセージが表示されます。
取り込みたい撮影ビデオを選び、[決定] を押してください。
- 「AVCHD」を取り込む場合、取り込み先を選び、[決定] を押しってください。

5 タイトルを選び、青 を押す

- ☒ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

6 選び終わったあと、決定 を押す

7 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

■ ディスクから取り込む場合

1 ディスクを入れる

- 以下の画面が表示されます。



下記操作で表示することもできます。

- ① [スタート] を押す
- ② 「メディアを使う」を選び、[決定] を押す
- ③ 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、[決定] を押す

2 「撮影ビデオ (AVCHD) を取り込む」を選び、決定 を押す

3 タイトルを選び、青 を押す

- ☒ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

4 選び終わったあと、決定 を押す

5 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 1 つのタイトルに 99 シーンを超えて記録されている場合、99 シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます (ただし 99 シーンを超えるときは分割します)。同じ日に撮影されたシーンが複数ある場合、まとめ番組となります。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。

ビデオカメラから取り込む (続き)

接続した機器を再生して取り込む

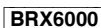
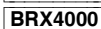
外部入力

HDD

1 を押して、外部機器を接続した端子 (L1) を選ぶ

2 を押して、録画モード (→ 86) を選ぶ
1.5 ～ 15 倍録モードのみ選べます。

3 接続した機器で再生を始め、
録画を始めたい場面で、

   を押す
 

4 録画の終了方法を選び、を押す

 録画を一時停止するには

[ 一時停止] を押す

●もう一度押すと、録画を再開します。

 録画を止めるには

[ 停止] を押す

お知らせ

- 記録した映像が横長になっているなどアスペクトが正しくない場合、「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(→192) の「記録アスペクト設定」を変更して再度取り込んでください。

ネットワークを使って取り込む(ダビング)

ネットワーク接続

HDD

本機では、「DIGA コピー」に対応した当社製デジタルビデオカメラとネットワーク接続すると、撮影ビデオ (AVCHD) と写真を本機の HDD に取り込むことができます。

- ネットワーク接続と設定をする (→231 ～ 233、242)

お部屋ジャンプリンク (DLNA) の設定を変更する場合 (→203)

カメラ側で取り込み操作を行う

お知らせ

- 本機が以下の場合には取り込めません。
 - ・複数の番組を録画中
 - ・LAN 経由 (スカパー! プレミアムサービスや CATV) の番組を録画中
 - ・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
 - ・ダビング中
 - ・お部屋ジャンプリンク (DLNA) 機能など、ネットワークを利用する機能を使用中 など
- 取り込み中に複数の番組の予約録画が始まると、取り込みを中断します。

写真を再生する

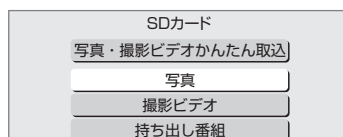
HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**

USB-HDD (SeeQVault フォーマット)、
+R、+R DL、+RW

- **CD** **USB** 写真を記録したCD-R、CD-RW や当社製デジタルカメラなどの USB 機器が再生できます。
- 本機では、フルHD 対応の 3D テレビと接続している場合、3D 対応のデジタルカメラで撮影した写真 (MPO) の 3D 再生をお楽しみいただけます。
- 本機では、4K 対応のテレビに接続している場合、再生する写真の画質にかかわらず 4K 画質で写真を再生できます。
 - ・「HDMI 出力解像度」(→196) を「オート」に設定してください。
 - ・3D 再生では、4K で出力されません。

ディスク、SD カードを入れるまたは USB 機器、USB-HDD を接続 (→209、214) すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) **SD**



ディスク、**SD**、**USB** :
右記の手順 4 に進みます。

USB-HDD :
右記の手順 5 に進みます。

1 **スタート** を押す

HDD 手順 5 へ

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

3 ディスク : 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、 **決定** を押す

SD :
「SD カード」を選び、**決定** を押す

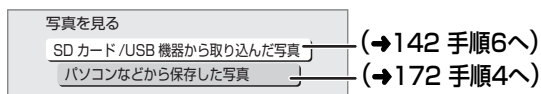
USB :
「USB 機器」を選び、**決定** を押す

USB-HDD :
「USB-HDD」を選び、**決定** を押す (→手順5へ)

4 「写真」を選び、**決定** を押す

5 「写真を見る」を選び、**決定** を押す

- **HDD** 「ファイル共有サーバー機能」(→199) が「入」の場合、下記の画面が表示されます。項目を選び、[決定] を押してください。



(→ 次ページに続く)

6 フォルダを選び、**決定**を押す

例) **HDD**

ラベル

- **3D** ラベル :

取り込んだ 3D 写真 (MPO) を 3D 再生する場合は、このラベルから選んでください。

- **受信ラベル** :

受信した写真を表示します。(→150)



フォルダ

- HDD に取り込まれた写真 (→145) は、フォルダで管理されます。
- **[サブメニュー]** を押すと、フォルダや写真を整理することができます。(→144)

7 写真を選び、**決定**を押す

再生を止めるには

[■ 停止] を押す

前後の写真を見るには

[◀][▶] を押す

写真の情報を表示するには

[画面表示] を押す

スライドショーを見るには

[▶ 再生] を押す

お知らせ

- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯 (グレー帯) が表示される場合があります。
-  の表示になっている写真は、本機では再生できません。

おもいで再生をする

HDD

本機に取り込んだ数年間の写真の中から、今の時期に撮影された写真を自動抽出してスライドショー再生します。

- 現在の前後 2 週間の日付 (例えば、再生日が 4 月 15 日の場合、今年を含む過去数年の 4 月 1 日 ~ 4 月 29 日頃) の写真を抽出して再生します。
- 写真は最大 120 枚 (1 フォルダ当たり最大 20 枚) がランダムに選ばれます。

1

BRX6000
BRX4000



BRX2000



S を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 **[サブメニュー]** を押してください。

2 「おもいで再生」を選び、**決定**を押す

再生を終了するには

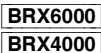
[戻る] を押す

お知らせ

- 2000 年以降の日付から写真を抽出しますが、対象期間に写真がない場合は、最新日付の写真またはサンプル写真を再生します。
- 3D 写真は 2D 再生になります。
- ディスクへの録画中、外部入力からの録画中、ダビング中、写真や動画の送信中は再生できません。
- 「リピート再生」(→143) は「切」に固定されます。

写真再生のいろいろな機能

写真再生中または写真一覧表示中に操作します。

1    を押す

- サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 [サブメニュー] を押してください。

2 項目を選び、 を押す

写真再生中

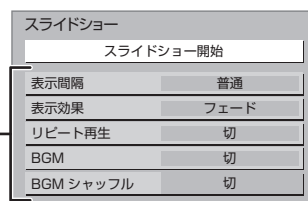
スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右90°回転 左90°回転	写真を回転します。
壁紙登録	再生中の写真をスタート画面の壁紙に登録します。
画面表示の飛び出し量	3D 写真再生中の画面表示などの飛び出し量を変更することができます。

写真一覧表示中

スライドショー

写真を連続して再生することができます。
「スライドショー開始」を選び、
[決定] を押す

例)



開始前に、スライドショーの内容を設定できます。(→ 下記)

 スライドショーを終了するには
[戻る] を押す

表示間隔

画素数大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。

表示効果

写真の表示方法を設定します。

- 「フェード」「ランダム」「モーション」「ウェーブ」が選べます。
(3D 写真再生時を除く)
・録画中は「フェード」になります。

リピート再生

再生を繰り返します。

BGM

サンプル音楽をBGMとして流すことができます。(3D 写真再生時を除く)

BGM シャッフル

BGM を順不同に再生します。
(3D 写真再生時を除く)

カレンダー



カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からフォルダを探すことができます。



写真・音楽

写真を整理する

HDD BD-RE BD-R RAM SD

USB-HDD (SeeQVault フォーマット)

(ファイナライズしたディスクでは編集できません)

1 スタート を押す

HDD 手順 5 へ

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 ディスク： 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、決定 を押す

SD：
「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

●HDD「ファイル共有サーバー機能」(→199)が「入」の場合：
「SD カード /USB 機器から取り込んだ写真」を選び、[決定]を押してください。

6 フォルダ単位で管理する場合：

フォルダを選び、

BRX6000
BRX4000 サブメニュー S を押す
(→手順 8 へ)

写真単位で管理する場合：

フォルダを選び、決定 を押す

●「フォルダをまとめる」ときは、[青]を押してフォルダを選択したあと、[サブメニュー]を押してください。

7 写真を選び、

BRX6000
BRX4000 サブメニュー S を押す

8 項目を選び、決定 を押す (→下記へ)

例) HDD

スライドショー
カレンダー
写真の書き出し
フォルダ名の編集
フォルダをまとめる
フォルダの消去
ネット送信
ネット受信
音楽再生中の表示登録

フォルダ名の編集	フォルダ名を編集します。 文字入力については (→180)
フォルダをまとめる HDD	選択した 2 つ以上のフォルダを、1 つのフォルダにまとめることができます。 「はい」を選び、[決定]を押す
フォルダの消去	フォルダを消去します。 「はい」を選び、[決定]を押す
写真の移動 HDD	選択中の写真を新規に作成したフォルダや既存のフォルダへ移動します。 「新しいフォルダへ移動」または「別のフォルダへ移動」を選び、[決定]を押す ●「別のフォルダへ移動」する場合は、移動先のフォルダを選んでください。
写真の消去	写真を消去します。 「はい」を選び、[決定]を押す
プロテクトの設定/解除 BD-RE BD-R RAM SD USB-HDD	「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定]を押す ●プロテクトの設定をすると「🔒」が表示されます。
音楽再生中の表示登録 HDD	音楽再生中のスクリーンセーバー (→147) で表示させる写真を登録します。 「登録」を選び、[決定]を押す

お知らせ

●HDD内の写真一覧に表示される、すべての写真を一度に消去する場合は、「写真一覧の全写真消去」(→193)を行ってください。

写真を取り込む / 書き出す

写真を取り込む

写真かんたん取込

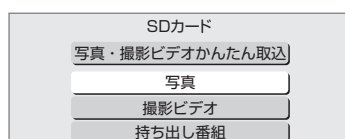
BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB

+R、+R DL、+RW ➡ HDD

取り込んだ写真の履歴を HDD に保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

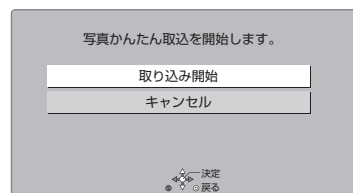
ディスクや SD カードを入れるまたは USB 機器を接続 (➡214) すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

例) SD



下記の手順 4 に進みます。

6 「取り込み開始」を選び、決定を押す



1 スタートを押す

2 「メディアを使う」を選び、決定を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合： 「ブルーレイ (BD) /DVD」を選び、

決定を押す

SD から取り込む場合：

「SD カード」を選び、決定を押す

USB から取り込む場合：

「USB 機器」を選び、決定を押す

4 「写真」を選び、決定を押す

- SD USB 「写真・撮影ビデオかんたん取込」を選ぶと、撮影ビデオも同時に取り込みます。

5 「写真を取り込む」を選び、決定を押す

お知らせ

- 写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」(➡193) や「写真一覧の全写真消去」(➡193) を行うと、削除されます。
- 同じ写真を取り込みたい場合、消去済み写真をもう一度取り込みたい場合、写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」(➡146) を行ってください。
- 取り込んだ写真は、撮影日または写真データの生成日ごとに、フォルダで管理されます。
- フォルダ名は取り込まれません。
- HDD に取り込んだ写真の累計が 20000 枚に達している場合、過去に取り込んだ写真が取り込まれることがあります。
- 本機に取り込んだ写真は、ネットワーク接続したファイル共有機 能対応機器でも見ることができます。(➡170)
- 録画中は写真の取り込みはできません。



写真・音楽

写真を取り込む / 書き出す (続き)

写真一覧から取り込む

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB

USB-HDD (SeeQVault フォーマット)、

+R、+R DL、+RW → HDD

1 スタート を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 ディスクから取り込む場合： 「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合：

「SD カード」を選び、決定 を押す

USB から取り込む場合：

「USB 機器」を選び、決定 を押す

USB-HDD から取り込む場合：

「USB-HDD」を選び、決定 を押す (→ 手順5へ)

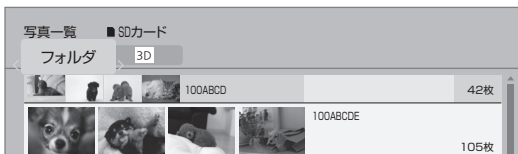
4 「写真」を選び、決定 を押す

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

6 フォルダまたは写真を選び、青 を押す

- 選んだフォルダ、写真には ☒ が表示されます。操作を繰り返します。

例) SD



7 選び終わったあと、赤 を押す

8 「HDD へ取り込む」を選び、決定 を押す

9 「取り込み開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 取り込み元と同じ名前のフォルダを新しく作成して取り込みます。

写真を書き出す

HDD → BD-RE BD-R RAM SD

USB-HDD (SeeQVault フォーマット)

BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW → SD

SD USB → BD-RE BD-R RAM

141 ページ手順 1 ~ 4 のあと

5 「写真を見る」を選び、決定 を押す

- HDD「ファイル共有サーバー機能」(→199)が「入」の場合：
「SD カード/USB 機器から取り込んだ写真」を選び、[決定]を押してください。

6 フォルダまたは写真を選び、青 を押す

- 選んだフォルダ、写真には ☒ が表示されます。操作を繰り返します。

例) HDD



7 選び終わったあと、赤 を押す

8 ディスクに書き出す場合： 「ブルーレイ (BD) /DVD へ書き出す」を選び、決定 を押す

SD に書き出す場合：

「SD カードへ書き出す」を選び、決定 を押す

USB-HDD に書き出す場合：

「SeeQVault-HDD へ書き出す」を選び、決定 を押す

9 「書き出し開始」を選び、決定 を押す

お知らせ

- BD-Rの写真再生のみに対応している当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生するためには、ディスクに写真のみを記録した状態でファイナライズしてください。(→179)

音楽 CD を再生する

CD

音楽 CD を入れる

再生中の曲
(♪を表示)



再生中の曲の経過時間/
現在の再生位置/演奏時間

- 自動的に再生が始まります。

🔍 別の曲を再生するには

再生したい曲を選び、[決定]を押す

音楽再生中のいろいろな操作

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



- 再生中に、以下の再生設定を行うことができます。
 - ・「基本設定」(→103) の「リピート」「ランダム」
 - ・「音声詳細設定」(→105)

スクリーンセーバー設定

音楽再生中に写真を表示することができます。

🔍 スクリーンセーバーを表示するには

[青]を押す

🔍 スクリーンセーバーを停止するには

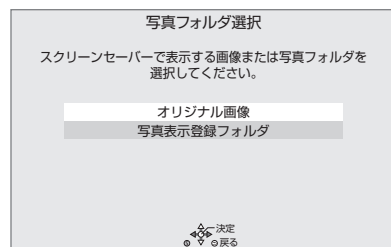
[戻る]を押す

(音楽の再生を停止したときも、停止します)

🔍 表示させる写真を選択するには

あらかじめ HDD に内蔵されているオリジナル画像または「音楽再生中の表示登録」(→144) で登録したフォルダを選ぶことができます。
(フォルダ内の 3D 写真は 2D 再生になります)

- ① スクリーンセーバー表示中に、
[サブメニュー]を押す
- ② 「写真フォルダ選択」を選び、[決定]を押す
- ③ オリジナル画像またはフォルダを選び、
[決定]を押す



写真や動画をネット送受信する

本機は、当社が運営する LUMIX CLUB (PicMate) のサービスを利用することによって、写真や撮影ビデオなどの動画 (AVCHD、AVC VIDEO 表示のある番組) の送受信に対応した機器同士で送受信をすることができます。

- 2010 年以前に発売された写真の送受信に対応したレコーダーと送受信を行う場合は、下記ホームページをご覧ください。

LUMIX CLUB (PicMate)

<http://lumixclub.panasonic.net/>

- ネットワーク接続と設定をする
(→232、233、242)

ディーガなどの対応機器へ送信する

HDD

HDDの写真一覧や録画一覧から、写真や動画をディーガなどの対応機器へ送信することができます。

- 送りたい相手からアドレス番号とアクセス番号を教えてください。

1 スタートを押す

2 写真を送信する場合： 「写真を見る」を選び、決定を押す

- 「ファイル共有サーバー機能」(→199) が「入」の場合：
「SD カード / USB 機器から取り込んだ写真」を選び、[決定]を押してください。

動画を送信する場合：

- ①「全機能から選ぶ」を選び、決定を押す
- ②「見る」を選び、決定を押す
- ③「撮影ビデオを見る」を選び、決定を押す

3 送信したい項目を選び、赤を押す

- 複数のフォルダ、写真を選択する場合、[青]を押す (動画は複数選択できません)
・選んだフォルダ、写真には ☒ が表示されます。
操作を繰り返します。



4 写真を送信する場合： 「家族や友人の機器へ送信する」を選び、決定を押す

動画を送信する場合：

「ネット送信へ」を選び、決定を押す

初めて送受信する場合、「利用規約の同意」「差出人の名前の設定」を行ってください。(→149)

5 宛先の設定をする (→149)

6 「送信開始」を選び、決定を押す

利用規約の同意

利用規約に同意すると写真や撮影ビデオなどの動画を
送受信することができます。
受信した写真 / 動画は、写真一覧 / 動画一覧から
ご覧いただけます。
※サービスからのお知らせ(写真)が配信されることがあります。

利用規約を表示する

利用規約に同意する

利用規約に同意しない

決定
戻る

- 利用規約を表示するまで、「利用規約に同意する」は選べません。

差出人の名前の設定

差出人（あなた）の名前を設定してください。

名前入力

設定完了

決定
戻る

☞ 文字入力については (→180)

宛先の設定

写真を送信したい宛先を選んでください。

新規宛先

決定
戻る

- 「新規宛先」を選ぶと、下記画面が表示されます。

宛先のアドレス番号(16桁)を入力してください。
宛先にアクセス番号が設定されている場合はアクセス番号を
入力してください。
[*取消し]を押すと、入力した番号を取り消します。

アドレス番号

アクセス番号

アドレス番号 / アクセス番号の説明を見る

0 ~ 9 番号入力

決定
戻る

- 送りたい相手から教えてもらったアドレス番号とアクセス番号を [1] ~ [10] で入力してください。
- 登録できる宛先は最大 10 件です。

お知らせ

- 動画は以下のように変換して送信します。(変換すると画質は下がります)
 - ・MP4 に変換
 - ・「AVCHD 3D」は 2D 映像に変換
- 送信中は以下の操作ができません。
 - ・XP、SP、LP、EP、FR モードで DVD に予約録画
 - ・スカパー！プレミアムサービスの番組の予約録画や CATV の LAN 録画
 - ・外部入力からの予約録画
 - ・番組編集
 - ・ディスク、SD カード、USB-HDD の再生
 - ・「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組の再生
 - ・番組のダウンロード
 - ・他の機器から本機の番組を再生（お部屋ジャンプリンク）
 - ・ダビング

- 本機を利用してアップロードなど可能なコンテンツは、ご自身が創作、撮影などして著作権を有するもの、または権利者から許諾を得ているもの、および内蔵 BGM に限ります。
あなたが録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。権利者の許諾なく、著作物を不特定または特定多数の人に送信すること、不特定または特定多数の人がインターネット上で視聴、閲覧できるようにすることなどは、著作権などを侵害しますので、お気をつけください。



便利機能

写真や動画をネット送受信する (続き)

ディーガなどの対応機器から受信する

受信の設定をする

以下の手順でアドレス番号とアクセス番号を取得し、送ってもらう相手に伝えてください。

- 1 **スタート** を押す
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す
 - 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「ネットワーク機能を使う」を選び、**決定** を押す
- 4 「受信した写真／動画を見る」を選び、**決定** を押す
 - 初めて受信する場合、「利用規約の同意」が必要です。(→149)
- 5 「受信した写真を見る」または「受信した動画を見る」を選び、**決定** を押す
- 6  **送信** を押す
- 7 写真を受信する場合：
「ネット受信」を選び、**決定** を押す

動画を受信する場合：
①「ネット送受信」を選び、**決定** を押す
②「ネット受信」を選び、**決定** を押す

受信する

1 日に 1 回程度、電源「切」時に自動的に受信します。

- 上記手順 1 ～ 5 で、受信した写真や動画を確認することができます。
- 受信する時刻は不定期なため、本機の使用状態によっては受信できていない場合があります。すぐに受信したい場合は、上記手順 1 ～ 7 のあと、「受信開始」を選び、**決定** を押してください。

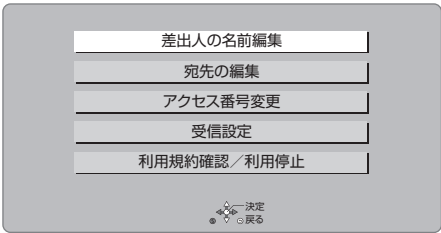
送受信の設定を確認・変更する

必要に応じて設定の変更を行ってください。

左記手順 4 のあと

- 5 「設定を確認／変更する」を選び、**決定** を押す

- 6 項目を選び、**決定** を押す



差出人の名前編集	写真や動画を送る相手に知らせる差出人の名前を編集します。 「名前入力」を選び、 決定 を押す ☞ 文字入力については (→180)
宛先の編集	宛先を編集します。 ① 編集したい宛先を選び、 決定 を押す ② 項目を選び、 決定 を押す ・宛先名編集 ・宛先のアクセス番号再入力 ・宛先削除
アクセス番号変更	アクセス番号を変更します。 ① 「アクセス番号を変更する」を選び、 決定 を押す ② [1] ～ [10] で番号を入力し、 決定 を押す
受信設定	本機宛てにメールで送信された写真や動画を受信するかどうかの設定をします。
利用規約確認／利用停止	サービスの利用規約を表示したり、利用を停止したりします。

動くアルバムを楽しむ

HDD

HDDに取り込んだ写真や撮影ビデオ（AVCHD、AVC VIDEO 表示のある番組）を組み合わせてアルバムを作成することができます。

- アルバムの画質は、「MP4 取込 / アルバムの作成画質」（→193）で選ぶことができます。「高画質モード」は 2 倍録相当、「標準モード」は 5 倍録相当の画質になります。（→86）

動くアルバムを作成する

1 スタート を押す

2 「アルバムを作る」を選び、決定 を押す

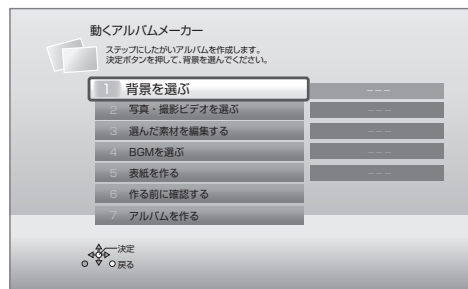
- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「新規作成」を選び、決定 を押す



- 作成中のアルバムがある場合には、**作成中** が表示されます。

4 ステップに従い、作成する（→右記へ）

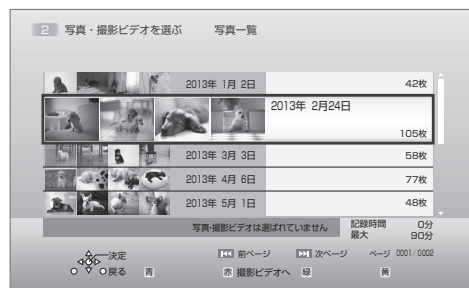


背景を選ぶ

背景を選び、決定 を押す

写真・撮影ビデオを選ぶ

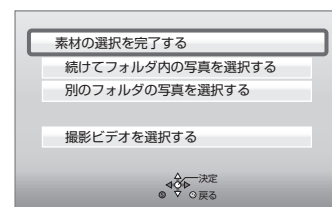
1 写真の日付または撮影ビデオを選び、決定 を押す



- 撮影ビデオを選択する場合は、[赤]を押してください。
- 選択した素材には、**済**が表示されます。

2 画面に従い、項目を選び、決定 を押す

- この操作を繰り返し、写真と撮影ビデオを選んでください。



3 撮影ビデオの一部分だけを選択したい場合は

- ①「使いたい部分を切り出す」を選び、[決定]を押す
- ②「切り出し開始点」を選び、切り出す部分の開始点で[決定]を押す
- ③「切り出し終了点」を選び、切り出す部分の終了点で[決定]を押す
- ④「シーンを切り出す」を選び、[決定]を押す
- ⑤「はい」を選び、[決定]を押す

お知らせ

- 以下の撮影ビデオは選択できません。
 - ・「1080/60p」の表示がある番組
 - ・3D 表示のある番組
- アルバムの記録時間は、最大 90 分です。
- 選択できる写真や撮影ビデオは、最大 900 です。
- 表示される「記録時間」は目安です。



便利機能

動くアルバムを楽しむ (続き)

選んだ素材を編集する

① 「編集する」を選び、**決定**を押す

② 素材を選び、**決定**を押す



③ 項目を選び、**決定**を押す

- 「選んだ素材を並べ替える」を選んだ場合は、移動先を選び **決定** を押します。
- 「選んだ素材を取り消す」で素材を取り消しても、HDD から素材自体が消去されることはありません。
- 「選んだ素材にデコレーションをつける」で装飾した写真には、**デコ** が表示されます。

④ 編集が終わったあと、



⑤ 「はい」を選び、**決定**を押す

BGM を選ぶ

① 項目を選び、**決定**を押す



A HDD に内蔵されているサンプル BGM

B 最近 HDD に録音した曲 (→ 下記)

② 曲を選び、**決定**を押す

③ 項目を選び、**決定**を押す

- この操作を繰り返し、曲を選んでください。

お知らせ

- BGM は最大 30 曲、合計時間 90 分まで選択できます。
- BGM の合計時間がアルバムの記録時間を超えた場合、超えた部分の BGM は再生されません。
- 映像や写真などとともに音楽を第三者に提供する場合には、本機内蔵のサンプル BGM をお使いください。
あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
権利者の許諾なく、著作物を不特定または特定多数の人に送信すること、不特定または特定多数の人がインターネット上で視聴、閲覧できるようにすることなどは、著作権などを侵害しますので、お気をつけください。

音楽 CD を HDD に録音するには

録音した音楽は、動くアルバムの BGM としてのみ使用できます。

- ① 音楽 CD を入れる
- ② **黄** を押す
- ③ 「録音開始」を選び、**決定**を押す

お知らせ

- 録画中は録音できません。
- 録音できるのは、音楽 CD 1 枚 (最大 99 曲) のみです。
録音すると、以前に録音した音楽は消去されます。
- CD の全曲を録音します。曲単位で録音はできません。
- コピーコントロール CD など、CD 規格外ディスクの再生および録音は保証しておりません。
- CD から HDD へのデジタル録音には、SCMS (シリアル・コピー・マネージメント・システム) という制限があります。著作権保護のため、この制限がある CD から HDD へのデジタル録音はできません。
- CD 音質 (LPCM) で録音されます。

表紙を作る

項目を選び、**決定** を押す



- 自分で入力できるアルバム名、日付・メッセージは、全角で最大 16 文字です。
文字入力について (→180)

作る前に確認する

アルバムの仕上がりを確認できます。

アルバムを作る

アルバムの作成を開始します。

お知らせ

- 録画中は動くアルバムの作成はできません。
- アルバムの作成には、画質によって以下のHDD残量が必要です。
 - ・2倍録モードで100分以上
 - ・5倍録モードで120分以上
- 本機で再生できない写真が選択されている場合、アルバムの作成はできません。「作る前に確認する」(→上記)を選び、アルバムの仕上がりが具合を確認してください。再生できない写真がある場合は、「選んだ素材を編集する」(→152)で取り消してください。
- 作成を途中で止めても、それまでに設定した内容は保存されるため、次回に続きから作成できます。
ただし、素材として選択した写真、撮影ビデオ、音楽を編集や消去すると、保存された設定内容は変更されます。

動くアルバムを再生・消去・ダビングする

1

スタート を押す

2

「アルバムを作る」を選び、**決定** を押す

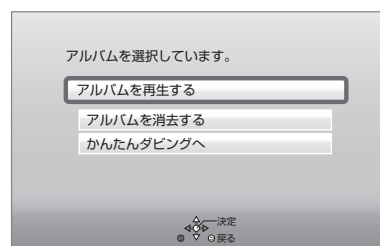
- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3

アルバムを選び、**決定** を押す

4

項目を選び、**決定** を押す (→下記へ)



アルバムを再生する	アルバムを再生します。 文字入力について (→98)
アルバムを消去する	アルバムを消去します。 「消去する」を選び、[決定]を押す
かんたんダビングへ	アルバムをダビングします。(→118)

お知らせ

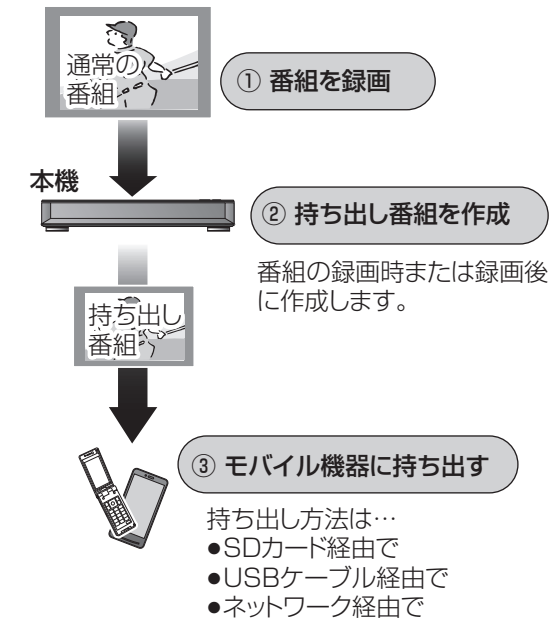
- 作成したアルバムは、録画一覧(→90)から再生することもできます。



便利機能

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

モバイル機器（携帯電話など）に転送するには、HDDに録画した番組から持ち出し番組を作成する必要があります。



持ち出し番組を再生できる機器については、当社ホームページ（➔3）をご覧ください。

持ち出し方法と画質について

持ち出し方法や再生できる画質は持ち出す機器によって異なります。詳しくは機器の説明書をご覧ください。選べる画質は持ち出し方法によって異なります。

画質	ワンセグ画質 (QVGA)	高画質 (VGA)	ハイビジョン画質 (HD)
持ち出し方法			
SD/USB 経由	○	○ ^{※1}	×
ネットワーク 経由	×	○ ^{※2}	○ ^{※3}

- ※1 「高画質 (VGA)」に設定すると、「ワンセグ画質 (QVGA)」より高画質で作成します。「持ち出し番組の VGA 画質」(➔193) で記録する画質 (1.5 Mbps/1.0 Mbps) を変更できます。
- ※2 デジタル放送などの録画番組は「高画質 (VGA)」(1.5 Mbps) となり、変更できません。
- ※3 撮影ビデオなどの動画 (AVCHD、AVC VIDEO 表示のある番組) のみ選択できます。

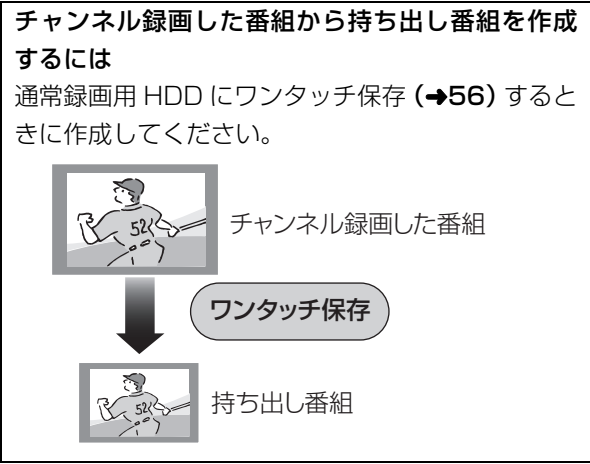
お知らせ

●持ち出し番組について

- ・通常録画した番組の「番組消去」「部分消去」「番組結合」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。
(ダウンロードした番組は番組消去しても、持ち出し番組は消去されません)
- ・通常録画した番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。(ダウンロードした番組を除く)
- ・本機では、持ち出し番組の再生・編集はできません。

●多重音声の記録について

- 多重音声の番組から持ち出し番組を作成する場合、以下のようになります。
- ・マルチ音声の番組
 - 録画した番組から作成するとき:
「信号切換」の「音声」(➔103)で設定した音声 1 つ
 - 通常の番組の録画と同時に作成するとき:
マルチ音声、サラウンド音声では放送されていません
 - ・二重音声の番組
 - 録画した番組から作成するとき:
「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➔192)の設定に従う
 - 通常の番組の録画と同時に作成するとき:
両方の音声



持ち出し番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定

HDD

番組の予約時に、持ち出し番組を作成するように設定しておくことができます。

番組予約 (→64 手順 5)、詳細設定 (→67 手順 1)、または時間指定予約 (→70 手順 3) 画面で

- ① 「持ち出し番組を設定する」または「持ち出し番組の設定」を選び、**決定** を押す
- ② 「持ち出し番組の作成」を選び、「する」に設定する
- ③ 「持ち出し方法」を選び、設定する
- ④ 「持ち出し番組の画質」を選び、設定する
- ⑤ 「かんたん転送の登録」を選び、設定する
 - 「する」に設定しておく、「かんたん転送」(→156)で自動的に転送することができます。

お知らせ

- 地上デジタル放送を「ワンセグ画質 (QVGA)」で作成する場合、通常の番組の録画と同時に作成します。
- 以下の場合、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
 - ・「高画質 (VGA)」で作成するとき
 - ・BS・CS デジタル放送、外部入力から作成するとき
 - ・LAN 経由 (スカパー！プレミアムサービスや CATV) で録画した番組から作成するとき
 - ・地上デジタル放送録画時に、ワンセグ放送が行われていないとき
 - ・地上デジタル放送の連続録画時間が8時間を超えたときの超え分
- ワンセグ放送が地上デジタル放送と放送内容が異なる場合や開始時刻 / 終了時刻がずれる場合、正しく作成されないことがあります。「録画した番組から作成する」(→右記) で作り直すことをお勧めします。
- 複数の音声や字幕を含む番組から作成する場合、「信号設定」(→68) で記録したい音声や字幕を選んでください。
- 作成される持ち出し番組のアスペクトは 16:9 になります。

録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成

HDD

通常録画用 HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。

作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

- ① ポップアップメニュー
録画一覧 を押す
- ② 作成する番組を選び、**緑** を押す
- ③ 「持ち出し番組の作成」を選び、**決定** を押す
- ④ 「持ち出し方法」を選び、設定する
- ⑤ 「持ち出し番組の画質」を選び、設定する
- ⑥ 「かんたん転送の登録」を選び、設定する
 - 「する」に設定しておく、「かんたん転送」(→156)で自動的に転送することができます。
- ⑦ 「開始方法」を選び、設定する

●すぐに：

下記手順 ⑨ の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。

●電源「切」後：

電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

- ⑧ 「作成する」を選び、**決定** を押す

- ⑨ 「すぐに」作成を開始する場合：

「開始」を選び、**決定** を押す

🔍 作成を実行中に中止するには

[戻る] を 3 秒以上押す

「電源「切」後」作成を開始する場合：

決定 を押す

🔍 作成の設定内容を変更・取り消しするには

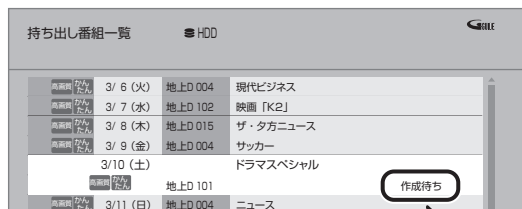
手順 ③ のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、[決定] を押す



便利機能

録画した番組をモバイル機器に持ち出す (続き)

🔍 作成が終了しているか確認するには



持ち出し番組一覧 (➔157 手順 ④) で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

📢 お知らせ

- ダウンロードした番組の場合：
 - ・コピー制限がある番組は、ダビングの残り可能回数は1回減ります。
 - ・以下の設定はできません。
 - 「持ち出し方法」の「ネットワーク経由」
 - 「かんたん転送の登録」の「する」
 - 「開始方法」の「電源[切]後」
 - ・インターネットに接続した状態で作成してください。
- 視聴制限のある番組は、「かんたん転送の登録」を「する」に設定することはできません。
- ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。
- 通常録画用HDDの残量が少ない場合や、HDDの番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
- 持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
 - ・二重音声：「ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定」(➔192)
 - ・マルチ音声：「信号切換」の「音声」(➔103)
 - ・チャプター：作成元になる番組のチャプター情報
 - ・字幕：「信号切換」の「字幕」(➔103)
(「電源[切]後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます)

ネットワーク経由で持ち出す (転送)

ネットワーク経由で DLNA 対応のモバイル機器に転送する場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワーク接続と設定をする

(➔232、233、242)

お部屋ジャンプリnk (DLNA) の設定を変更する場合 (➔203)

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方法は、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

SD/USB 経由で持ち出す (転送)

かんたん転送

「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。(最大 99 番組まで転送可能)

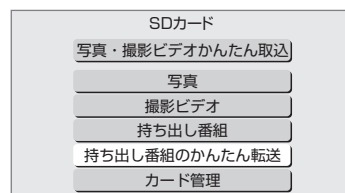
登録されている番組は、持ち出し番組一覧 (➔157) で確認することができます。

- 登録は、番組の予約時 (➔155)、持ち出し番組の作成時 (➔155) または作成後 (➔157) に行うことができます。

- ① SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など)を接続する

🔍 USB 機器を接続するには (➔214)

例) SD



- ② 「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、決定を押す

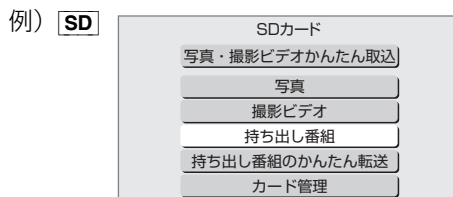
チャンネル録画した番組から作成する

チャンネル録画した番組から直接持ち出し番組を作成することはできません。ワンタッチ保存 (➔56) 時に作成するか、ワンタッチ保存したあと録画一覧から作成してください。(録画した番組から作成する ➔155)

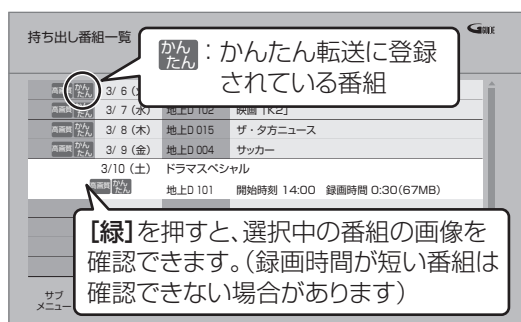
持ち出し番組一覧から転送する

- ① SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など)を接続する

☞ USB 機器を接続するには (→214)



- ② 「持ち出し番組」を選び、**決定** を押す
- ③ 「持ち出し番組を転送する」を選び、**決定** を押す
- ④ 番組を選び、**青** を押す



- ☒ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

☞ 選択を取り消すには
番組を選び、**[青]** を押す

- ⑤ 選び終わったあと、**決定** を押す
- ⑥ 「転送を開始する」を選び、**決定** を押す

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」(→左記) 手順 ③ のあと

- ④ 番組を選び、



- ⑤ 項目を選び、**決定** を押す (→下記へ)

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。 (→左記手順 ⑥ へ)
持ち出し番組 消去	持ち出し番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の 登録	「かんたん転送」(→156) の登録をします。 (かんたん が表示されます)
かんたん転送の 解除	「かんたん転送」(→156) の登録を解除します。
視聴制限一時 解除	「HDD 番組の視聴制限」(→193) で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。



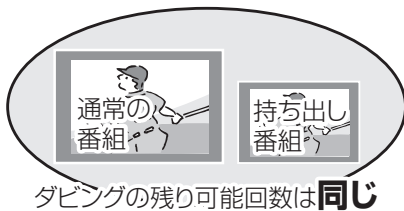
便利機能

録画した番組をモバイル機器に持ち出す (続き)

転送 (ダビング) の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送 (ダビング) できる回数に限りがあります。

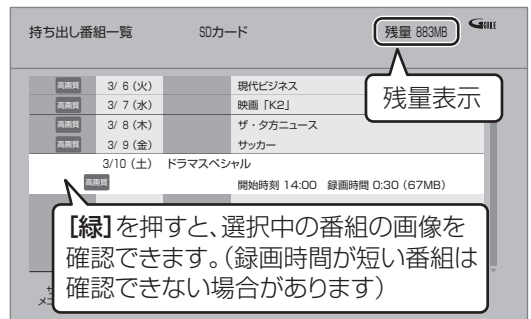
- 通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
- 1D** 表示のある番組をダビング (転送) すると、通常の番組・持ち出し番組は通常録画用 HDD から消去されます。



転送した番組を確認・消去する

- ① SD カードを入れる または USB 機器 (携帯電話など) を接続する
🔌 USB 機器を接続するには (→214)
- ② 「持ち出し番組」を選び、**決定** を押す
- ③ 「持ち出し番組を確認する」を選び、**決定** を押す
- ④ 番組を選ぶ

例) **SD**



🔌 番組の内容を確認するには

- ① [サブメニュー] を押す
- ② 「内容確認」を選び、[決定] を押す

🔌 持ち出し番組を消去するには

- ① [黄] を押す
- ② 「消去」を選び、[決定] を押す

🔌 お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。
- 本機以外で記録された持ち出し番組は、消去できない場合があります。
- ネットワーク経由で転送した番組の確認・消去は本機ではできません。

🔌 お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下のようになります。
 - ・通常の番組の再生はできません。
 - ・録画先が「BD」の予約録画が始まると、通常録画用 HDD に代替録画されます。
- ディスクに予約録画中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置 (→98「続き再生メモリー機能」) とチャプターマーク (→113) を通常の番組から引き継ぎます。
 - ・ダウンロードした番組では再生停止位置は引き継ぎません。
 - ・作成したチャプターマークは引き継ぎれない場合があります。
 - ・位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定 (→109) されている「1 回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。
- 消去中に他の操作を行うと消去に時間がかかる場合があります。

ビエラリンク (HDMI) を使う

ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) とは本機と HDMI ケーブル (別売) を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

※ すべての操作ができるものではありません。

■ 設定

- ① 「ビエラリンク制御」 (→195) を「入」にする
(お買い上げ時の設定は「入」)
- ② 「ビエラリンク録画待機」 (→195) を「入」にする
● 「クイックスタート」 (→191) は自動的に「入」になり、本機の電源「入」に伴う連動操作を素早く行えます。(待機時消費電力は増えます)
- ③ 接続した機器側 (テレビなど) で、ビエラリンク (HDMI) が働くように設定する
- ④ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切 / 入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する
(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

● お知らせ

- ビエラリンク (HDMI) は、HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC対応機器とのすべての動作を保証するものではありません。
- ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機はビエラリンク (HDMI) Ver.5 に対応しています。ビエラリンク (HDMI) Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。
- 「ビエラリンク録画待機」 (→195) が「入」の場合など、本機の電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は動きません。

ビエラリンク (HDMI) 対応機器の確認

それぞれの取扱説明書をご覧ください。

テレビ (ビエラ) 側から録画や録画予約、番組キープをしたときの本機の動作

■ 録画モード・録画先

- 録画 (「見ている番組を録画」など) :
 - ・ 本機であらかじめ設定された録画モードで通常録画用 HDD に録画
- 録画予約 / 番組キープ :
 - ・ DR モードで通常録画用 HDD に録画

■ 録画予約の登録の確認

- 本機の予約一覧画面で予約内容を確認できます。予約が登録されていない場合、テレビ側で予約の録画先 (ディーガなど) が正しいか確認してください。

■ 探して毎回予約の取り消し

- 「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。

■ 録画ができない場合

- すでに本機が「見ている番組を録画」を実行しているときは、新たに「見ている番組を録画」はできません。
- 本機に契約された通常録画用 B-CAS カードが挿入されていないとき。



便利機能

ビエラリンク（HDMI）を使う（続き）

詳しい操作方法是テレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

本機のリモコン：本機のリモコンで操作できます。

テレビのリモコン：テレビのリモコンで操作できます。

Ver.○以降：接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク（HDMI）に対応している場合に操作できます。（テレビによっては、対応していない機能もあります）

入力自動切換え / 電源オン連動

- テレビの電源が待機状態のときのみ

本機のリモコン

Ver.1以降

下記のボタンを押すと、テレビが連動し、それぞれの画面が現れます。

BRX6000 BRX4000 チャンネル 録画一覧	BRX2000 チャンネル 録画一覧	BRX6000 BRX4000 番組表	BRX2000 番組表
BRX6000 BRX4000 新着番組	BRX2000 新着番組	スタート	BRX6000 BRX4000 再生 1.3倍速
ポップアップメニュー 録画一覧	NETFLIX	ネット	
予約確認			

- 本機の電源「切」時は、【ネット】は動きません。

電源オフ連動

本機のリモコン

テレビのリモコン

Ver.1以降

- リモコンを使ってテレビの電源を切ると、自動的に本機の電源も切れます。

お知らせ

- ダビング、ファイナライズ、消去、バックアップ、復元、
【ワンタッチ予約/録画 ●】を押して録画などの実行中は切れません。

テレビのリモコンでディーガを操作

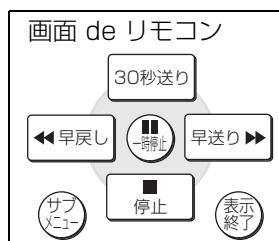
テレビのリモコン

Ver.1以降

テレビのリモコンで、本機を操作することができます。

- [サブメニュー]を押すと、再生中は下記の画面で操作することができます。

停止中は、ドライブ切換などの操作をすることができます。



- ビエラリンクメニューからスタート画面を表示させると、予約の操作や番組表から放送局を選局することができます。

テレビの電源を切って音楽の再生を続ける

本機のリモコン

テレビのリモコン

Ver.2以降

ビエラリンク（HDMI）対応のテレビ（ビエラ）とアンプを接続し、ビエラリンク（HDMI）を使っている場合、連動操作をするためテレビ（ビエラ）の電源を切ると本機の電源も切れます。

ただし、接続したテレビ（ビエラ）がビエラリンク（HDMI）Ver.2 以降に対応している場合、以下の操作で、音楽再生を続けることができます。

- ① 音楽再生中に、

BRX6000
BRX4000



BRX2000



を押す

- ② 「TV のみ電源 OFF」を選び、決定を押す

- テレビの電源が切れるときに数秒間、音が途切れる場合があります。

番組ぴったりサウンド（オートサウンド連携）

本機のリモコン

テレビのリモコン

Ver.3以降

ビエラとアンプと接続している場合、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。

- VR方式のディスクや他の機器で記録したディスクでは動きません。

設定を有効にするには

- 「オートサウンド連携」(→195) を「入」にする

ECO スタンバイ

テレビのリモコン

Ver.4以降

リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

設定を有効にするには

- 「ECO スタンバイ」(→195) を「入」にする

番組キープ

テレビのリモコン

Ver.3以降

視聴中の番組を通常録画用HDDに一時的に記録して、あとから続きを視聴することができます。

（番組キープ終了後は削除されます）



「番組キープ ●」が表示

お知らせ

- チャンネルや入力切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- 以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることはできます。
 - ・番組キープと2番組録画の同時実行中に、別の番組の予約録画開始時刻になったとき
 - ・番組キープが8時間を超えたとき、または通常録画用HDDの容量がなくなったとき
- 本機が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。
- ビエラリンク（HDMI）Ver.5のテレビでも、番組キープに対応していない場合があります。



便利機能

インターネットサービスを利用する

本機では、インターネットを利用してアクトビラ、Netflix、動画共有サイトなどのサービスを楽しむことができます。

- 以下の場合には利用できません。また、サービス利用中に以下の状態になると、サービスは終了し、テレビ放送の画面に戻ります。
 - ・ディスクにDRモード以外で録画
 - ・外部入力やネットワークを使って録画
 - ・ダビング中
- ネットワーク接続と設定をする
(→232、233、242)

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。

お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。

制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

- ① **【スタート】** を押す
- ② 「放送設定」を選び、**【決定】** を押す
- ③ 「デジタル放送 視聴・再生設定」を選び、**【決定】** を押す
- ④ 「制限項目設定」を選び、**【決定】** を押す
- ⑤ **【1】** ～ **【10】** で暗証番号を設定する
- ⑥ 「ブラウザ制限」を選び、「する」を選ぶ

- 「テレビでネット」を利用するには、手順⑤で設定した暗証番号の入力が必要になります。

acTVila (アクトビラ) を利用する

acTVila とは

- インターネットを利用して情報サービスが受けられる、デジタルテレビの仕組みです。
- 本機は以下のコンテンツをお楽しみいただけます。
 - ・アクトビラ ベーシック
 - ・アクトビラ ビデオ
 - ・アクトビラ ビデオ・フル
 - ・アクトビラ ビデオ・ダウンロード

アクトビラの最新情報はアクトビラ情報公式サイト (<http://actvila.jp/>) をご覧ください。
また、当社ホームページ (<http://panasonic.jp/support/actvila/>) でも紹介しています。

1  を押す

2 「アクトビラ」を選び、 を押す

3 見たい項目を選び、 を押す

 アクトビラを終了するには
[地上][BS][CS] を押す

お知らせ

● ホームページへの情報登録について

アクトビラを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。本機を譲渡または廃棄される場合には、登録時の規約などに従って必ず登録情報の消去を行ってください。

- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。
- ソフトウェア更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ソフトウェアを更新してください。更新を行わない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。
- 「テレビでネット」のポータルサイト画面に表示されないサービス（インターネット上のホームページの閲覧など）はご利用できません。

ネット操作パネルを表示する

① ホームページ表示中に、



② 項目を選び、決定を押す



- ① 1つ前のページへ
- ② 1つ先のページへ
- ③ 読み込みを中止
- ④ 表示中のページを再読み込み
- ⑤ ポータルサイトに戻るとき
- ⑥ お好みページを使う (→ 下記)

ネット操作パネルの表示を消すには
[サブメニュー]を押す

お好みページを使う

お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

① ホームページ表示中に、



- 登録したい場合、登録したいホームページを表示して[サブメニュー]を押してください。

② 「お好みページ」を選び、決定を押す

登録する

③ 青を押す

④ 内容を確認し、決定を押す

- 「お好みページ」の登録は最大20件までです。

見る

③ 見たいタイトルを選び、決定を押す

削除する

③ 削除したいタイトルを選ぶ

④ 黄を押す

⑤ 「はい」を選び、決定を押す

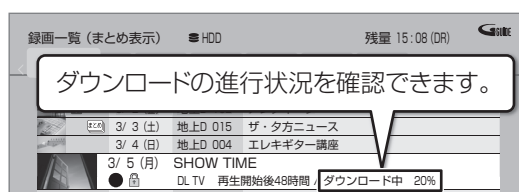
動画コンテンツをHDDにダウンロードする

アクトビラなどのページから動画コンテンツを購入し、通常録画用HDDにダウンロードすることができます。

- 動画コンテンツ購入の課金方法はそれぞれのサービスのページでご確認ください。

アクトビラなどのページに従って動画コンテンツを購入する

- 録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードは自動的に開始します。



ダウンロードを中断するには

ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。

- ① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、[サブメニュー]を押す
 - ② 「ダウンロード一時停止」を選び、[決定]を押す
 - ③ 「一時停止」を選び、[決定]を押す
- ダウンロードを再開するには、手順②で「ダウンロード再開」を選んでください。

ダウンロードに失敗した場合は

ダウンロード履歴を確認してください。
(→183「ダウンロード履歴」)

お知らせ

- 電源「切」時でもダウンロードは実行されます。
 - 以下の操作中はダウンロードは実行されません。
 - ・複数の番組を録画中
 - ・LAN経由(スカパー!プレミアムサービスやCATV)の番組を録画中
 - ・BDビデオやAVCHDのディスク再生中
 - ・ダビング中
 - ・お部屋ジャンプリンク(DLNA)機能など、ネットワークを利用する機能を使用中 など
- またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。

インターネットサービスを利用する (続き)

ダウンロードした番組を再生する

録画一覧(→90) から再生する

🔍 ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」(→193) の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

- ① [サブメニュー] を押す
- ② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
- ③ 暗証番号を入力する

🔍 お知らせ

- 視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から始まります。
- 再生時はインターネットに接続した状態で行ってください。
- 番組は自動的にプロテクト設定されます。

ダウンロードした番組をディスクにダビングする

ダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。

かんたんダビング(→118) や詳細ダビング(→120) でダビングを行う

🔍 ダウンロードした番組が表示されない場合

「HDD番組の視聴制限」(→193) の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

- ① [サブメニュー] を押す
- ② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
- ③ 暗証番号を入力する

🔍 お知らせ

- DVD にダビングする場合、CPRM 対応のディスクを準備してください。
- ダビング時はインターネットに接続した状態で行ってください。
- 番組によっては、ダビングできるディスクやダビングできる回数、期間に制限があります。番組の制限については、購入時にご確認ください。

Netflix のサービスを利用する

Netflix とは

映像コンテンツをインターネットを通じて利用できるサービスです。サービスをご利用になるには、Netflix 社との契約が必要です。

(2015 年秋サービス開始予定)

1 を押す

2 項目を選び、 を押す

- 操作方法是画面の指示に従ってください。

🔍 サービスを終了するには

[地上][BS][CS] を押す

動画共有サイトなどのサービスを利用する

動画コンテンツの閲覧などのさまざまなサービスを楽しむことができます。

1 を押す

2 項目を選び、 を押す

- 操作方法是画面の指示に従ってください。

🔍 サービスを終了するには

[地上][BS][CS] を押す

自宅にあるパソコンで操作する

本機と接続したパソコンから遠隔操作ができます。

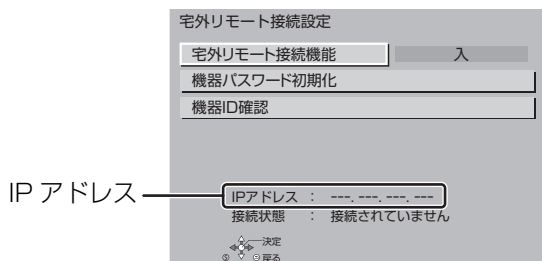
- ブラウザ機能を持つテレビでも操作できます。
- チャンネル録画の操作はできません。

☞ 携帯電話や外出先のパソコンから録画予約などの操作をしたいときは (→204)

- ネットワーク接続と設定、宅外リモート接続設定をする (→204、231 ~ 233、242)

パソコンを使って以下の操作を行ってください。

1 インターネット閲覧(ブラウザ)ソフトを起動させ、本機の IP アドレス (→204、手順 5 で確認) をアドレス欄に入力する



- ログイン画面が表示されます。

☞ ログイン画面が表示されないときは (Internet Explorer® 8.0 の場合)

インターネット閲覧ソフトを起動させ、「ツール」→「インターネットオプション」→「接続」→「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」の「LAN にプロキシサーバーを使用する」のチェックを外し、「OK」をクリックする

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする



- 初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。
- サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。

3 操作内容を選ぶ

- 各操作は画面の指示に従ってください。



番組編集 [HDD] 番組の番組名入力や消去

- ブラウザ機能を持つテレビでは、番組名入力はできません。



レコーダー操作 本機の録画、電源入/切など



ヘルプ 操作方法などの説明

ログアウト 操作の終了

☞ 機器パスワードとは

インターネットなどのネットワークから本機を不正に操作されないように設定するパスワードです。



便利機能

ドアホンやセンサーカメラから録画された映像を再生する

HDD

ドアホンやセンサーカメラを接続して設定すると、呼び出しや検知があったときに、映像を自動で通常録画用 HDD に録画します。

- H.264 対応のセンサーカメラからの場合は動画（音声付き）を、H.264 非対応のセンサーカメラやドアホンからの場合はコマ送りの画像（連続静止画）を記録することができます。

- 本機とドアホンやセンサーカメラを接続する（→231～233）

- ドアホンやセンサーカメラの設定をする（→205）

お知らせ

- ドアホン録画が実行された場合のみ、録画終了後に“お知らせ”ランプが点滅します。

- ドアホン映像に新着の映像がある場合、本機の電源を入れると、確認画面が表示されます。

- ドアホン・センサーカメラ映像の録画は、以下の制約がありますので、ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

- ・ 以下の場合、映像は録画されません。
 - 3 番組同時録画中（通知のみ記録）
 - 2 番組同時録画とダビングの同時実行中（通知のみ記録）
 - 1.5～15 倍録モードで録画とダビングの同時実行中（通知のみ記録）
 - LAN 経由（スカパー！プレミアムサービスや CATV）の番組を録画中（通知のみ記録）
 - オンエアダウンロードなどのソフトウェア更新中（→206）
 - 本機の安定性維持のために行われる午前 4 時ごろ（1 週間に 1 回程度）の自動再起動時
 - その他、ファイナライズ中 など

- ・ 録画は最大で約 30 秒です。最短検知間隔が 1 分間のセンサーカメラの場合、検知後、約 30 秒間の映像は記録されますが、30 秒以降から 1 分までの間は、センサーカメラは検知せず、録画されません。

ドアホンの場合、応答すると録画は止まります。

- ・ 最大記録件数は、以下になります。

ドアホン映像 400 センサーカメラ映像 400

400 件を超えると、古い映像から削除されます。削除したくない映像はプロテクトを設定してください。（→167）

- ・ 本機能を運用された結果、発生したいかなる損害に対して当社は一切の責任を負いません。

録画された映像を再生する

1 **スタート** を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 「見る」を選び、**決定** を押す

4 「ドアホン・センサーカメラ映像を見る」を選び、**決定** を押す

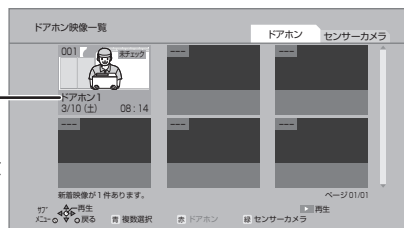
- ☞ ドアホン映像一覧を表示するには [赤] を押す

- ☞ センサーカメラ映像一覧を表示するには [緑] を押す

5 映像を選び、**決定** を押す

- 映像の再生が終了すると、次の映像を表示します。

録画した
機器の
名称を表示



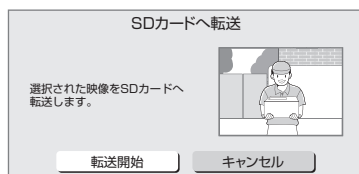
- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。



映像の一場面を SD カードに保存

映像の一場面を写真（JPEG）に変換して SD カードに保存することができます。

- 1 保存したい場面で **一時停止** を押す
- 2 **[◀][▶]** を押して場면을調整する
- 3 **黄** を押す
- 4 「転送開始」を選び、**決定** を押す



●SECURITYフォルダ内の日付フォルダに保存されます。

録画された映像を編集する

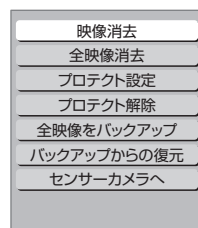
- 1 **スタート** を押す
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す
●表示がない場合は**[◀◀][▶▶]**でページを切り換えてください。
- 3 「見る」を選び、**決定** を押す
- 4 「ドアホン・センサーカメラ映像を見る」を選び、**決定** を押す
 - ☞ ドアホン映像一覧を表示するには **[赤]** を押す
 - ☞ センサーカメラ映像一覧を表示するには **[緑]** を押す

5 映像を選んで、



6 編集する項目を選び、**決定** を押す（→下記へ）

例)



映像消去 全映像消去	「消去」を選び、 [決定] を押す
プロテクト設定 / 解除	映像を誤って消去しないよう、映像ごと書き込み禁止（プロテクト）の設定または解除ができます。 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、 [決定] を押す ●プロテクト設定すると「 🔒 」が表示されます。
全映像をバックアップ	ドアホンまたはセンサーカメラの全映像を DVD-RAM にバックアップすることができます。 「開始」を選び、 [決定] を押す 🔔お知らせ ●バックアップする DVD-RAM は、バックアップ専用としてお使いください。（バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、バックアップデータを消去するためにフォーマットすると、大切な録画番組なども消去されてしまいます） ●バックアップデータを再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。 ●一度バックアップしたディスクには、フォーマットしないかぎり、バックアップはできません。
バックアップからの復元	DVD-RAM にバックアップしたデータをHDDに復元します。 ●万が一、HDD が故障してデータが損なわれた場合にはHDDの修理が完了してから復元を行ってください。 「開始」を選び、 [決定] を押す



便利機能

お部屋ジャンプリンク (DLNA) を使う

お部屋ジャンプリンク (DLNA) 機能

DLNA 対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- 2010年4月以前に発売のDLNA対応ディーガは、サーバー機能のみです。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
- 当社製DLNA対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/r_jump/
- 他社製DLNA対応機器では使用できない場合があります。

お知らせ

- 本機に接続して同時に操作できるのは2台までです。

「ビデオを見る」「写真を見る」のとき

- 編集はできません。(当社製機器の場合、番組の消去のみできます)
- ダウンロードした番組は再生できません。
(DLNA対応の他社製機器から再生時)
- SeeQVaultフォーマットのUSB-HDDにある写真は再生できません。
- ファイル取り込みしたMP4は再生できません。(→136)

「放送を見る」のとき

- 本機のチャンネル設定(→188)で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
- 本機が2番組録画中の場合、本機側で放送やチャンネルの切り換えはできません。
- アクトビラ、スカパー!プレミアムサービスの番組を視聴することはできません。
- 視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 他社製機器によっては、放送番組を視聴することができない場合があります。

映像が途切れたり、停止する場合

- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「レート変換モード」(→203)を「オート」または「入」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。さらに「画質モード」(→199)で調整することができます。ただし、画質を調整すると、以下の制限があります。
 - ・早送り・早戻しができない
 - ・XP、SP、LP、EP、FR モードの番組は設定にかかわらず画質調整を行いません。
- 無線LAN使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本機や無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
- 無線LANはすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。
- 本機でBD-Liveなどを利用しているときは、映像が途切れたり、停止する場合があります。

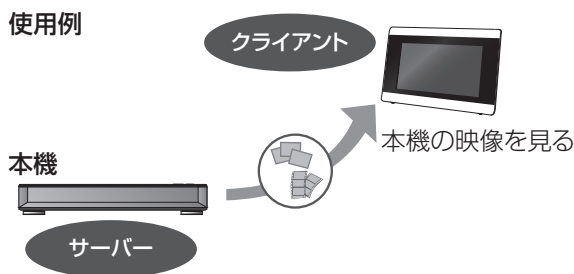
別室のテレビなどで見る (本機をサーバーとして使用する)

- ネットワーク接続と設定をする
(→231 ~ 233、242)
- お部屋ジャンプリンク (DLNA) の設定を変更する場合 (→203)

HDD **HDD** **USB-HDD** **USB-HDD**

DLNA 対応機器から、本機で録画した番組や写真の再生、受信した放送の視聴ができます。

使用例



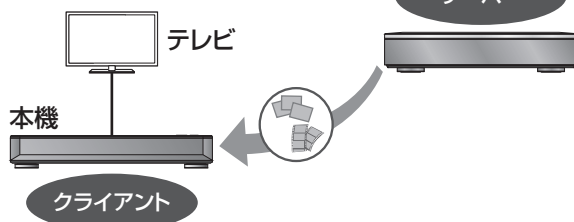
テレビなどのクライアント機器側で操作する

- 画面に従って、以降の操作をしてください。

別室の機器の映像を見る (本機をクライアントとして使用する)

本機からDLNA対応ディーガなどのHDDにある番組などを再生することができます。

使用例



- ネットワーク接続と設定をする
(→231～233、242)
- 接続した機器側で、本機を登録する(当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリンク(DLNA)」または「ビエラリンク(LAN)」で登録する)
(本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順1～3の操作を行ってください)

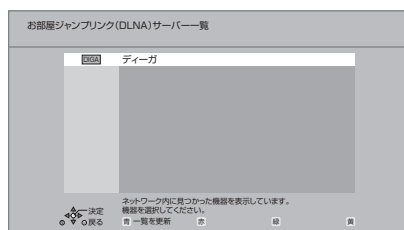
1 スタートを押す

2 「お部屋ジャンプリンク」を選び、決定を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 接続する機器を選び、決定を押す

例)

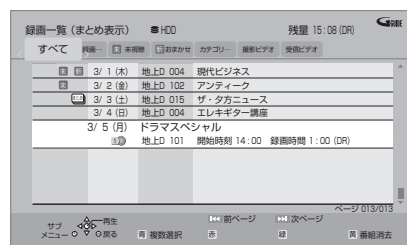


- 選んだ機器の画面が表示されます。
画面に従って、以降の操作をしてください。

例) DLNA対応ディーガの番組を再生する場合

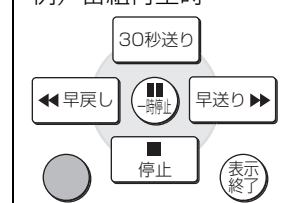
- ① 機器のリモコンを使って、ディーガの「録画一覧」を表示させる

例)



- ② 再生する番組を選び、[決定]を押す
●「画面 de リモコン」が表示されます。
([▲][▼][◀][▶][決定][戻る]で操作することができます)

例) 番組再生時



- 「画面 de リモコン」が表示されていないときは
[サブメニュー]を押す

お知らせ

- DLNA対応ディーガの番組を再生する場合、[音声]または[字幕]を押すと、「音声切換」「字幕切換」や「電波状態表示」(無線接続時のみ)を行うことができます。
- 接続環境によっては、接続機器の番組一覧が表示されないことや、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。
- 本機の録画一覧の「家じゅう」ラベルを選択すると、お部屋ジャンプリンク(DLNA)で接続されたすべての機器の録画番組をまとめて表示できます。(→94)
- パソコン上にあるコンテンツを再生する場合、音楽はLPCMのデータを再生できます。

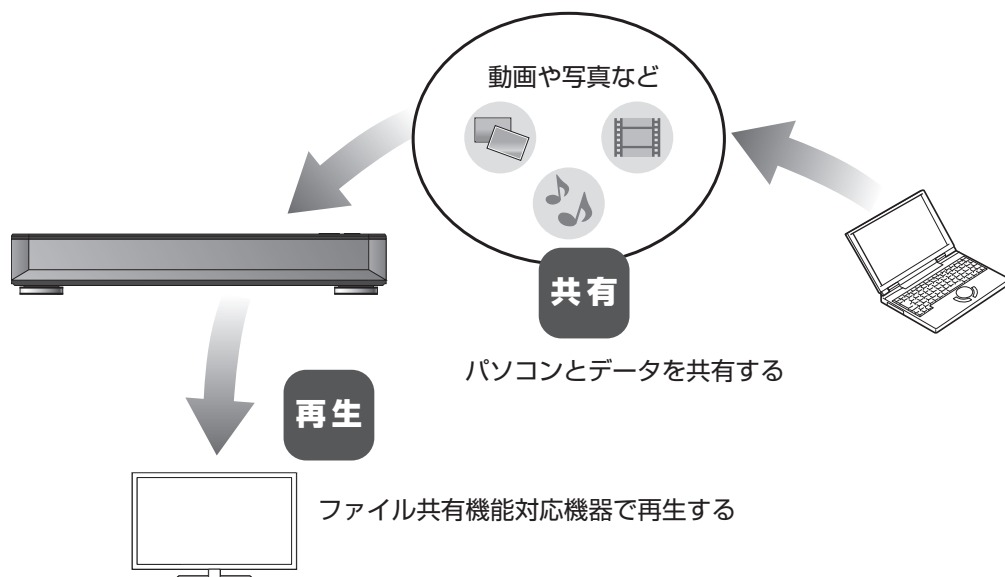


便利機能

ファイル共有機能を使う

HDD

本機と宅内ネットワーク接続したパソコンの中にある写真や動画などのデータを本機のHDDに保存して、ネットワーク接続したファイル共有機能対応機器で共有することができます。

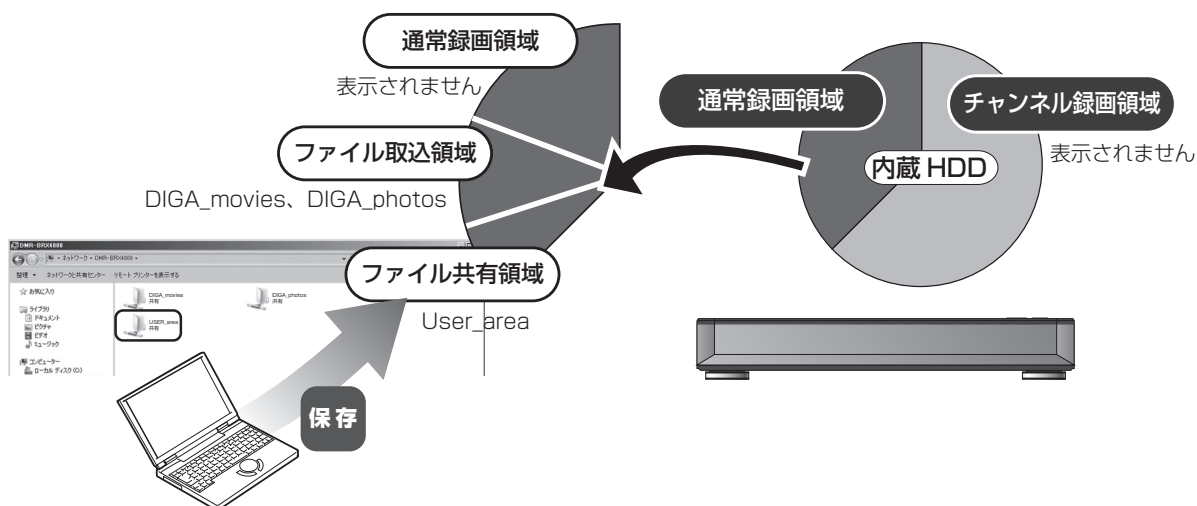


ファイル共有機能を利用するには

- ネットワーク接続と設定をする (→231 ~ 233、242)
- 「ファイル共有サーバー機能」(→199) を「入」にする

パソコンで表示されるフォルダと HDD の領域について

「User_area」は、ファイル共有領域になります。「User_area」にデータの保存や移動することができます。「DIGA_movies」「DIGA_photos」は、ファイル取込領域になります。閲覧のみ可能です。通常録画領域やチャンネル録画領域はパソコンでは表示されません。

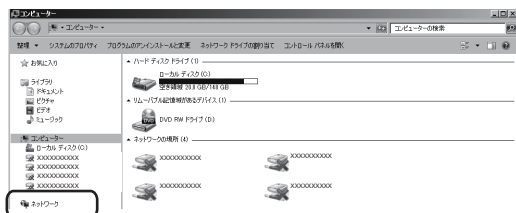


パソコンから本機にデータを保存する

本機と宅内ネットワーク接続したパソコンからデータを保存します。

例) Windows7 の場合

① フォルダを開き、「ネットワーク」をクリックする



② フォルダ内の「コンピューター」の一覧に表示される「ファイル共有サーバーの名称」(→199) で設定した、本機の名前のアイコンをダブルクリックする

- 「その他のデバイス」「メディア機器」に表示されている本機の機器名からはファイル共有サーバーは開きません。

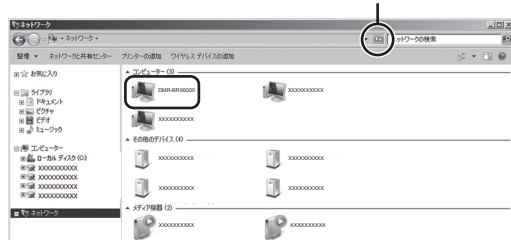
- 「コンピューター」の一覧に本機の名前のアイコンが表示されるまで時間がかかる場合があります。表示されていない場合はフォルダのアドレスバーにある「ネットワーク」を最新の状態に更新をクリックしてください。(OSの種類やバージョンによって更新ボタンがない場合は、アイコンが表示されるまで数分お待ちください)

- ユーザー名とパスワードを求められる場合があります。その場合は以下のように入力してください。

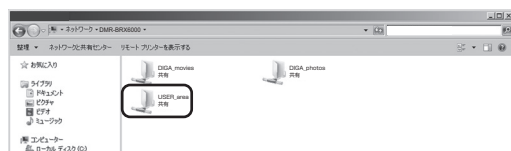
ユーザー名: DIGA

パスワード: 「パスワード設定」(→199) で設定したパスワード

“ネットワーク”を最新の状態に更新



③ 「USER_area」フォルダにパソコンのデータを保存する



表示されるフォルダについて

USER_area :

ファイル共有領域です。「USER_area」内のデータを保存したり、データの削除、移動をすることができます。

DIGA_movies* :

ファイル取込領域です。SD カードや USB 機器から本機にファイル取り込みした動画が表示されます。

DIGA_photos* :

写真の領域です。SD カードや USB 機器から本機に取り込んだ写真が表示されます。

※ フォルダ内にデータを保存したり、データの削除、移動をすることはできません。

お知らせ

- 「USER_area」フォルダに保存できるファイル数は、60000 までです。

保存した動画ファイル (MP4) や写真を本機で再生する

パソコンから保存した動画ファイル (MP4) や写真を本機で再生します

- ファイルによっては再生できないものもあります。

■ 動画ファイル (MP4) を再生する

1 スタート を押す

2 「動画ファイル (MP4) を再生する」を選び、

決定 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「パソコンなどから保存した動画」を選び、

決定 を押す

4 動画を選び、決定 を押す

例)



- ファイルの再生が終了すると動画一覧に戻ります。
- 再生中に予約録画が始まると、再生を中断します。

便利機能

ファイル共有機能を使う (続き)

■ 写真を再生する

1

スタート を押す

2

「写真を見る」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3

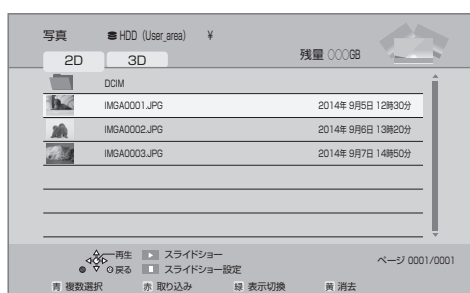
「パソコンなどから保存した写真」を選び、

決定 を押す

4

写真を選び、**決定** を押す

例)



☞ スライドショーについては (→143)

保存した動画ファイル (MP4) や写真を録画一覧や写真一覧に取り込む

パソコンから保存した動画 (MP4) や写真を他の領域に取り込んで、録画一覧や写真一覧で表示できるようにします。

- 動画：「MP4 の取り込み設定」(→193) が「変換取込」時は通常録画領域、「ファイル取込」時はファイル取込領域に取り込みます。
[MP4 (4K) はファイル取込領域に取り込みます]
- 写真：ファイル取込領域に取り込みます。

動画を取り込む場合は、171 ページ 手順 3 のあと
写真を取り込む場合は、左記手順 3 のあと

4 動画または写真を選び、**青** を押す

- ☒ が表示されます。操作を繰り返します。

例)



☞ 選択を取り消すには

動画または写真を選び、[青] を押す

5 選び終わったあと、**赤** を押す

6 「取り込み開始」を選び、**決定** を押す

🔔お知らせ

- ファイルを取り込んだあとに、ファイル名が変更される場合があります。

ミュージックサーバー機能を利用する

ミュージックサーバー機能は、本機の HDD のファイル共有領域に音楽ファイルを保存することによって本機と宅内ネットワーク接続した DLNA 対応のオーディオ機器で再生できる機能です。

- オーディオ機器の再生方法は、再生する機器の説明書をご覧ください。

音楽ファイルを自動的にダウンロードする設定をする

e-onkyo music で購入済みの音楽ファイルを本機の HDD に自動的にダウンロードするには、以下の設定が必要です。

■パソコンやスマートフォンでの操作

e-onkyo music のホームページで以下の操作を行ってください。

<http://www.e-onkyo.com/music/>

① アカウントを取得する

- すでにアカウントをお持ちのお客様は手順 ② に進んでください。

② デバイス管理画面で「デバイス認証キー」を取得する

- デバイス認証キーの有効時間が切れる前に、以下の「本機での操作」を行ってください。

■本機での操作

① 「音楽ファイルダウンロード機能」(→199)を「入」にする

② 「デバイス認証キー設定」(→199)で「デバイス認証キー」を入力する

- 「デバイス認証キー」は「パソコンやスマートフォンでの操作」の手順 ② で取得した番号を入力してください。

■ダウンロードについて

本機は 1 時間おきに e-onkyo music のサーバーを確認して購入済みの音楽ファイルがある場合は、自動的に HDD にダウンロードします。

☞ 手動でダウンロードを行うには

「ダウンロード(手動更新)」(→199)を行う

☞ ダウンロードした音楽ファイルを確認するには

「音楽ファイルダウンロード履歴」(→199)を選ぶ
(履歴は最大 300 まで、期間は 1 カ月まで表示します)

お知らせ

●e-onkyo music とは

オンキョーエンターテインメントテクノロジー株式会社が運営するインターネットを利用した音楽配信サービスです。音楽ファイルの購入はパソコンやスマートフォンから行ってください。

詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<http://www.e-onkyo.com/music/>

- 音楽配信サービスは、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了する場合があります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対して当社は責任を負いません。

- 本機が以下の操作中はダウンロードは実行されません。

・LAN 経由 (スカパー! プレミアムサービスや CATV) の番組を録画中

・アクトビラや動画共有サイトのサービスなど、ネットワークを利用する機能を使用中 など

またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。

- HDD の残量が少ないときは、ダウンロードは実行されません。

- ダウンロードした音楽ファイルは、HDD のファイル共有領域 (USER_area) に保存されます。

音楽ファイルを削除した場合、削除した音楽ファイルは再度ダウンロードできません。

- 本機の HDD は音楽ファイルの一時的な保管場所としてご使用ください。大切な音楽ファイルはパソコンなどに必ずコピーして保存ください。何らかの不具合による音楽ファイルの損失および損害に対して当社は一切の責任を負いません。

音楽ファイルをパソコンから本機にコピーする

ネットワーク接続したパソコンから本機の HDD のファイル共有領域 (USER_area) に音楽ファイルをコピーすることができます。(→171)



便利機能

マイメニューについて

本機を家族など複数人でご利用になる場合に、マイメニューを利用すると、利用者ごとにお好みの番組の再生・録画やよく利用する機能を使用しやすくすることができます。

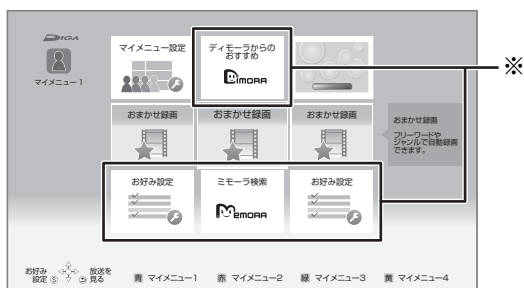
- マイメニューは[青]、[赤]、[緑]、[黄]の4つのボタンにそれぞれ設定できます。

マイメニューを設定する

利用者ごとにお好みに合わせて設定できます。

1 スタート を押す

2 設定したいボタン（青 赤 緑 黄）を押す



- 「おまかせ録画」は3つまで設定できます。
- ※ 表示機能を選ぶことができます。

アイコンや背景を選ぶ（マイメニュー設定）

左記手順 2 のあと

3 「マイメニュー設定」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、決定 を押す（→下記へ）

メニューのアイコンを選ぶ：

マイメニューアイコンを設定します。

メニューの名前を変更する：

マイメニュー名は全角で最大7文字まで登録できます。

文字入力については（→180）

メニューの背景を選ぶ：

マイメニュー背景の壁紙を設定します。

表示機能を選ぶ（お好み設定）

左記手順 2 のあと

3 「お好み設定」などを選び、



- 左記手順 2 の※部分に登録できます。
- 登録済みの機能を変更する場合、「機能を登録する」を選び、[決定] を押してください。

4 メニューを選び、決定 を押す

5 表示したい機能（→41）を選び、決定 を押す

- 「壁紙設定」「お好み設定リセット」はマイメニューには表示できません。

6 「はい」を選び、決定 を押す

お好みのおまかせ録画を登録する

マイメニューから、お好みのおまかせ録画一覧(→74)を表示できるようにします。

よく利用するおまかせ録画を登録しておく、お好みの番組を再生するのに便利です。

174 ページ手順 2 のあと

3 「おまかせ録画」を選び、決定を押す

4 赤を押す

5 項目を選び、決定を押す

- おまかせ録画の一覧(→71 手順 3)にアイコンが表示されるようになります。
- 新たにおまかせ録画を登録する場合は、「未登録」を選び[青]を押したあと、71 ページ手順 4、5 で録画条件を設定してください。

お知らせ

- 1 つのおまかせ録画に対して、複数のマイメニューから登録することはできません。
(すでに他のマイメニューに登録されているおまかせ録画を選択した場合は、他のマイメニューから解除されます)

登録したおまかせ録画を解除する

174 ページ手順 2 のあと

3 登録済みのおまかせ録画を選び、決定を押す

4 赤を押す

5 BRX6000 BRX4000 サブメニュー S を押す

6 「マイメニュー設定解除」を選び、決定を押す

7 「設定解除」を選び、決定を押す

- おまかせ録画の一覧(→71 手順 3)に表示されていた利用者アイコンも表示されなくなります。

マイメニューを使う

174 ページ手順 2 のあと

3 項目を選び、決定を押す

インターネットに接続するとディモーラからお勧めの情報を受信できます。

アイコン / マイメニュー名



便利機能

本機で記録できるようにする（フォーマット）

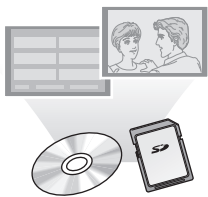
新品または他の機器で使っていたディスクやカード



そのままでは本機で記録できない場合があります。

フォーマットすると





本機で記録できるようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

■ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要場合があります。
記録方式によって、他の機器で再生する場合の互換性が異なります。（→33）

ディスク	記録方式	記録できる画質	記録できる録画モード	フォーマット	備考
	—	放送画質 ハイビジョン画質	DR 1.5 ～ 15 倍録	必要	記録方式の設定はありません。
	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	— (ディスクによる)	
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。			
	AVCREC 方式	ハイビジョン画質	1.5 ～ 15 倍録	必要	
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	不要	デジタル放送は記録できません。
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。			
	VR 方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	
	ビデオ方式	DVD画質	XP SP LP EP FR	必要	デジタル放送は記録できません。

1 スタート を押す

2 「メディアを使う」を選び、決定 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

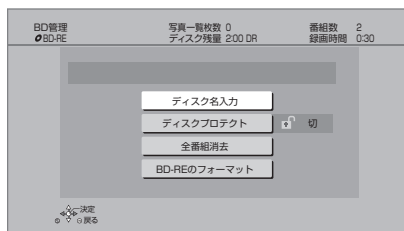
3 「ブルーレイ (BD) /DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

4 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

- 未使用の[R]を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。(→手順6へ)

5 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

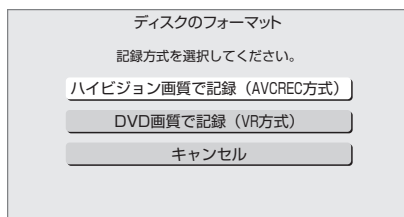
例) **BD-RE**



6 画面の指示に従って、フォーマットする

- DVDの場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) **RAM**



お知らせ

- フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。
- SD「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- R 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(→178) を行うと記録方式を変更できません。
- RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD フォーマットは「HDDのフォーマット」(→193)で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R -RW

(ファイナライズしたディスクではできません)

1 **スタート** を押す

2 「メディアを使う」を選び、**決定** を押す

•表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「ブルーレイ (BD) / DVD」を選び、**決定** を押す

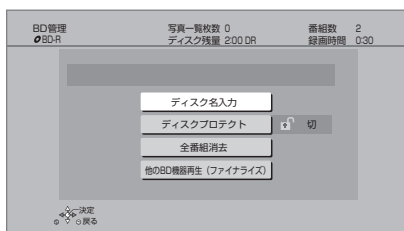
4 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、

決定 を押す

5 操作したい項目を選んで、**決定** を押す

(→ 下記へ)

例) **BD-R**



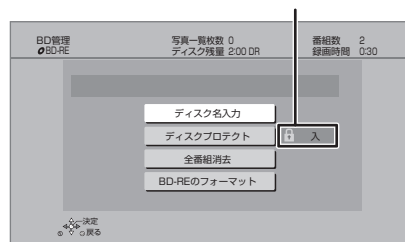
ディスクプロテクト

BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

⑥ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、**決定** を押す

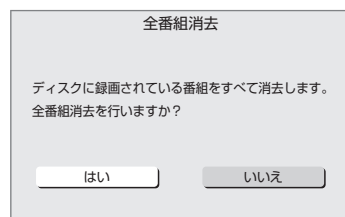
プロテクト設定すると「**入**」が表示



全番組消去

BD-RE BD-R RAM -R AVCREC -R VR -RW VR

例) **BD-RE**



⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す

⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

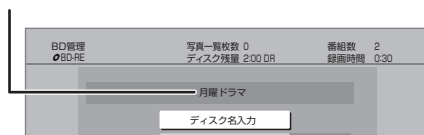
- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- **BD-RE** **BD-R** **RAM** 写真は消去されません。
- **BD-R** **-R AVCREC** **-R VR** 消去しても残量は増えません。

ディスク名入力

BD-RE BD-R RAM -R -RW

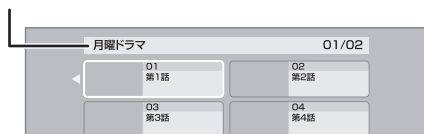
文字入力については (→180)

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。



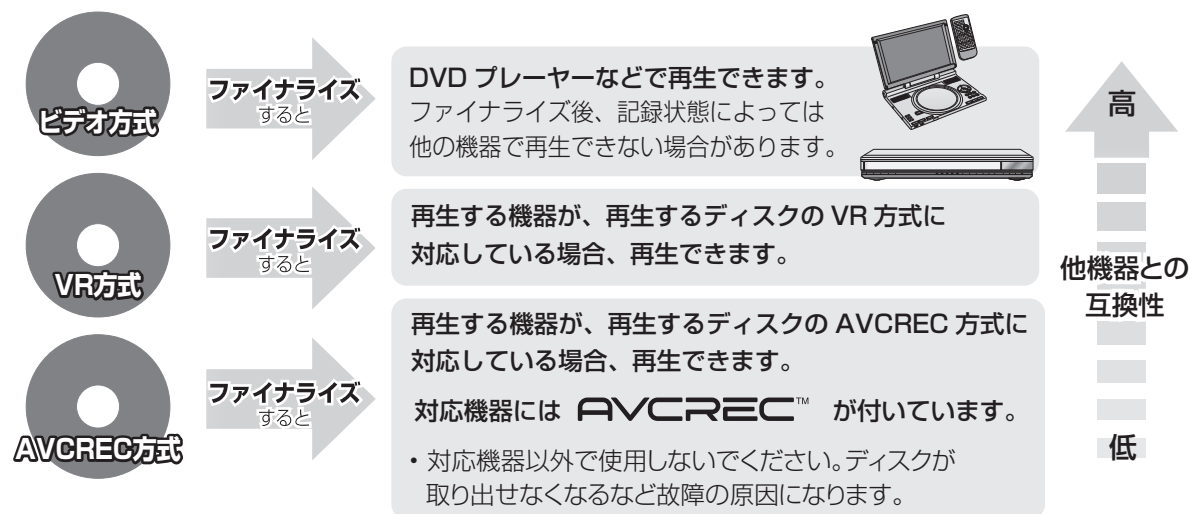
-R V **-RW V**

ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。



ファイナライズ

BD-RE **RAM** ファイナライズは不要です。



178 ページ手順 1 ～ 5 のあとに操作します。

トップメニュー

-R V **-RW V**

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

⑥ お好みの背景を選び、**決定** を押す



●トップメニュー内に表示される画像(サムネイル)は変更できます。(→111「サムネイル変更」)

ファーストプレイ選択

-R V **-RW V**

ファイナライズ後のディスクの再生の始め方を設定できます。

⑥ 「トップメニュー」または「タイトル 1」を選び、**決定** を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生 (ファイナライズ) 他の BD 機器再生 (ファイナライズ)

-R **-RW** **BD-R**

⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す

⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- RW V** フォーマット (→176) すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- RW VR** 「ファイナライズ解除」(→下記) を行うと、記録や編集ができます。
- BD-R** ファイナライズすると、HDD へのコピー制限のある番組の移動はできません。

ファイナライズ解除

-RW VR

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す

⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す

お知らせ

- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

？
必要なとき

文字入力

本機では、表示された画面によって文字入力方法が異なります。

●BRX6000 BRX4000

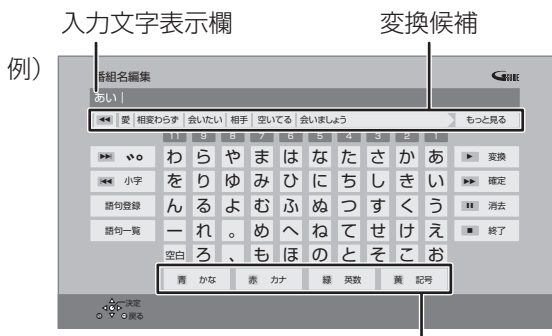
インターネット接続時に、「リモコン受信方式」(→190)が「無線方式」のときは、「音声入力方式」(→右記)で文字入力することができます。

文字パネルから文字入力する

(番組名、ディスク名、フォルダ名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力するとき)

- 1 **青 赤 緑 黄** で文字の種類を選ぶ
●漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。
- 2 入力する文字を選び、**決定** を押す
●この手順を繰り返し、文字を入力します。
●ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(→右記)
- 3 入力が終わったら、**■停止** を押す
- 4 「はい」を選び、**決定** を押す

カーソルキー方式の場合



入力できる文字の種類

入力方法

- ① **[▲][▼][◀][▶]** で文字を選ぶ
 - ② **[決定]** を押す
- 文字入力時に、変換候補に予測変換候補が表示されます。変換候補から選んで**[決定]**を押すと、その文字が入力されます。

音声入力方式の場合

BRX6000 BRX4000

- ① **マイク** を押す
- ② マイクに向かって入力したい文字を発話する
(変換候補に文字が表示されます)
- ③ 変換候補から文字を選び、**[決定]**を押す

数字ボタン[1]～[9]、[11]でも文字を入力できます。
例：ひらがな「す」を選ぶ場合

- ① **[3]** を押す
●「さ」行に移動します。
- ② **[3]** を2回押し、**[決定]** を押す
●「す」が入力文字表示欄に表示されます。



ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

- [▶再生]** を押したあと、変換候補を選び、**[決定]** を押す
- [戻る]** を押すと、入力画面に戻ります。
 - JIS 第1水準、JIS 第2水準の漢字コードを入力可能

文字を消す

[■一時停止] を押す

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

- ① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、**[決定]** を押す
- ② 「登録」を選び、**[決定]** を押す

語句を呼び出す

- ① 「語句一覧」を選び、**[決定]** を押す
- ② 語句を選び、**[決定]** を押す

語句の消去

- ① 「語句一覧」を選び、**[決定]** を押す
- ② 語句を選び、**[黄]** を押す
- ③ 「消去」を選び、**[決定]** を押す

リモコンボタン方式で文字入力する

(アクティブラなどで入力するとき)

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。

(番組名やディスク名はこの方法では入力できません)



1 1あ ~ 12数字 で文字を入力する

例)「えいが」と入力するとき



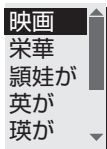
えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。(→182)

漢字に変換するには

[▲][▼]で変換候補を選び、[決定]を押す

●JIS 第1水準、JIS 第2水準の漢字コードを入力可能



2 決定を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。



文字の種類を変換する

[緑]を押して文字の種類を選び、[決定]を押す

●[緑]を押すごとに、(かな→カナ→英数→数字)に切り換わります。

●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶]でカーソルを右に移動させる

例)「あい」と入力する場合:[1][▶][1][1]の順に押す

文節を分けて変換する

例)「えいが」の「えい」だけを変換する場合:

①「えいが」と入力して、[▼]を押す

② [◀]を押して
「えい」だけを選ぶ

③ 変換候補を選び、
[決定]を押す

映画

えいが

映が

記号を入力する

① “きごう”と入力する

② 変換候補を選び、[決定]を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
(カーソルの左に文字が追加されます)

文字を消す

カーソルを移動させたあと、[黄]を押す
(カーソルの文字が削除されます)

リモコンボタン方式での入力文字一覧表

ボタン 入力モード	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]	
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ		改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を		
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	？	ん		
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	！	わ		
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゆ	ろ	・	ー		
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	よ	9	(	スベ		
	い			4				8		)			
	う									0			
	え												
	お												
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ		改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ		
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	？	ン		
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	！	ワ		
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ユ	ロ	・	ー		
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ヨ	9	(	スベ		
	イ			4				8		)			
	ウ									0			
	エ												
	オ												
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	ー	スベ		改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,			
	/	c	f	i	l	o	r	v	y	;			
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'			
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"			
	=	C	F	I	L	O	Q	V	X	?			
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!			
							S		Z	(			
							7		9	)			
										&			
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#	

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。
(例：「い」を入力するときは [1] を 2 回押す)
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。
- 入力可能な文字は画面によって異なる場合があります。

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC** 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

1 を押す

2 「全機能から選ぶ」を選び、 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

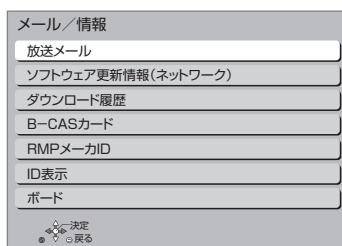
3 「設定する・その他の機能」を選び、 を押す

4 「メール / 情報・診断コード」を選び、 を押す (診断コードを見る場合 → 249 手順⑤へ)

5 「メール / 情報」を選び、 を押す

6 項目を選び、 を押す

例)



放送メール

放送局からのお知らせや、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の1通のみ保存）を確認することができます。

確認したいメールを選び、 を押す

お知らせ

- ほとんどのメールは、お客様自身で消去することができません。
- メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。
- 放送局からのお知らせは、それぞれのB-CASカードに対し、最大31通まで保存されます。

ソフトウェア更新情報（ネットワーク）

ネットワークからダウンロードした日時を確認できます。

ダウンロード履歴

ダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。

 表示されていない番組を表示するには

- ① [サブメニュー] を押す
- ② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
- ③ 暗証番号 (→ 193 「HDD番組の視聴制限」) を入力する

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、B-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

 各B-CASカードの番号を見るには

- [青]：視聴・通常録画用
- [赤]：チャンネル録画用

RMP メーカ ID BRX6000

TRMP 方式の本機 ID および放送局 ID を表示します。お問い合わせ時にご確認をお願いする場合があります。

ID 表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

 その他の情報を見るには

- [青]：本機のソフト情報を表示
- [赤]：データ放送時のルート証明書情報を表示

ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

① 「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、 を押す



② 確認したい情報を選び、 を押す

？
必要
な
と
き

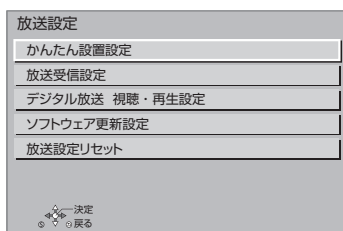
放送設定を変える（放送設定）

1 **スタート** を押す

2 「放送設定」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 メニューを選び、**決定** を押す



4 設定項目を選び、**決定** を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

かんたん設置設定

かんたん設置設定 (→237)

放送受信設定

【 】はお買い上げ時の設定です

受信対象設定

放送視聴時や番組表で使わない放送を操作できないようにします。

- 地上デジタルは設定できません。

BS/CS 【使う】

チャンネル設定 (→188)

地上デジタル / BS/CS1/CS2

番組表設定

G ガイド地域設定

「かんたん設置設定」(→237)を行うと、自動的に設定されます。

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信

【切】

「入」に設定すると、インターネットを利用して1カ月の番組表や注目番組を取得することができます。

- ネットワークの接続と設定 (→232、233、242)が必要です。
- 「入」にすると、常時接続状態になります。
- 1カ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。
- 2015年3月現在、インターネットから番組情報を取得できる放送局は NHK、スター・チャンネル、WOWOW のみです。

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

- お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定 (→186)

地上デジタル

アッテネーター

【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネル (→187) を指定してアンテナレベルを確認します。

衛星

アンテナ電源

【入】

アンテナ出力

【入】

本機の BS・110 度 CS アンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択

衛星周波数

(放送局からの案内がない限り、変更しないでください)

B-CAS カードテスト

NG の場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、B-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

チャンネル録画用

視聴・通常録画用

デジタル放送 視聴・再生設定

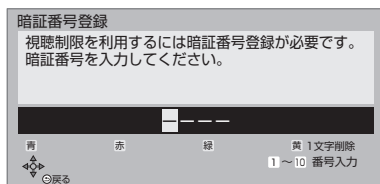
【 】はお買い上げ時の設定です

字幕設定

ディスクに録画した場合、デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。XP、SP、LP、EP、FR モードで録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕	【切】
字幕言語	【日本語】
文字スーパー	【切】
文字スーパー言語	【日本語】

制限項目設定



画面の指示に従って【1】～【10】を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢

【無制限】

- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、チャンネル録画一覧や番組表などで「・・・」と表示されます。

ブラウザ制限

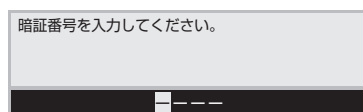
【しない】

「テレビでネット」を利用するとき、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。



- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象

【すべて】

デジタル放送で【チャンネルへ、▼】を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネルを選局します。

ソフトウェア更新設定

【 】はお買い上げ時の設定です

ダウンロード予約

【自動】

デジタル放送からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。(→206)

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(→183「放送メール」)

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」「アンテナ出力」(→184)をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

時刻設定以外の初期設定と放送設定やチャンネル録画設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や予約内容、チャンネル録画していた番組も消去します。廃棄などで本機を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送をご利用の場合、本機からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDやUSB-HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」(→193)や「通常録画用USB-HDDのフォーマット」(→193)、「USB-HDDのフォーマット」(→193)を行ってください。

?

必要
な
と
き

放送設定を変える（放送設定）（続き）

アンテナレベルを確認する

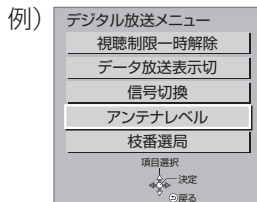
アンテナレベルについて

アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

- 1 視聴中に
サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度「サブメニュー」を押してください。

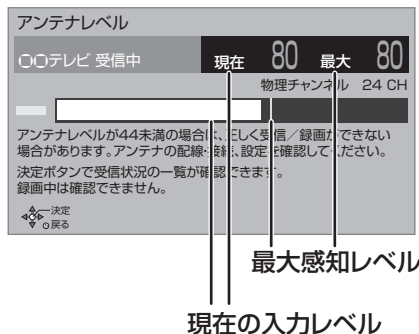
- 2 「デジタル放送メニュー」を選び、決定を押す

- 3 「アンテナレベル」を選び、決定を押す



4 アンテナレベルを確認する

例) 地上デジタル



受信アンテナ設定をする

マンションなどの共同アンテナや CATV をご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- アンテナの説明書もご覧ください。

- 1 スタートを押す
- 2 「放送設定」を選び、決定を押す
●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「放送受信設定」を選び、決定を押す
- 4 「受信アンテナ設定」を選び、決定を押す
- 5 修正したい放送を選び、決定を押す
(→187 ページへ)

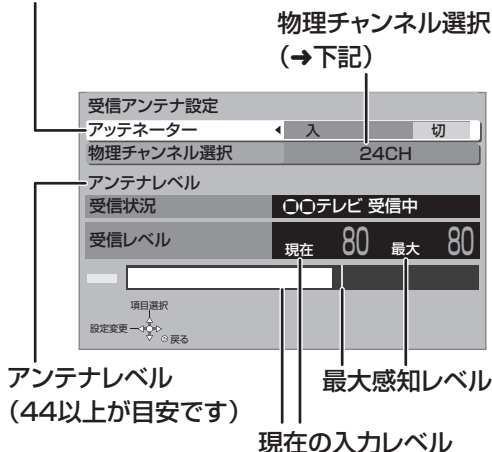
地上デジタル

186 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アッテネーター

- アンテナレベルが大きくなる方を選択してください。



物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており（13 CH ～ 62 CH）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、[決定] を押し、[1] ～ [10] で物理チャンネルを入力し、[決定] を押しと、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。

お知らせ

- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、再度「かんたん設置設定」(→237) をやり直してください。
 - ・アッテネーターを切り換える
 - ・ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す
- 状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

衛星

186 ページ手順 1 ～ 5 のあと

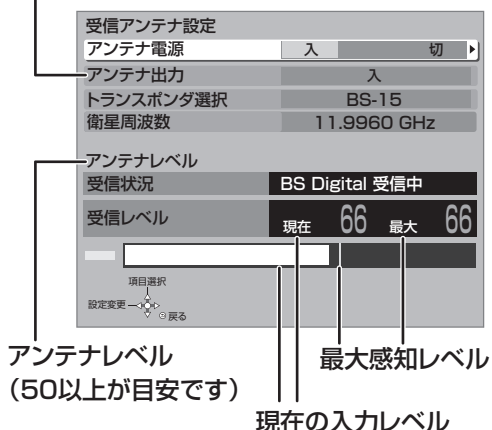
6 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- 衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入（オン）」にしてください。

7 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する

アンテナ出力

- 通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどでBS・110度CSデジタル放送の番組を視聴できなくなります。



☞ 「他の衛星受信中」の表示が出たとき

BS・110度CS デジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ

- 「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

必要
な
と
き

放送設定を変える（放送設定）（続き）

受信チャンネルを修正する

- 1 **スタート** を押す
- 2 「放送設定」を選び、**決定** を押す
•表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「放送受信設定」を選び、**決定** を押す
- 4 「チャンネル設定」を選び、**決定** を押す
- 5 修正したい放送を選び、**決定** を押す
(BS、CS1、CS2 の場合 →189 ページへ)
- 6 (地上デジタルのみ)
修正する方法を選び、**決定** を押す
(→ 右記または 189 ページへ)

地上デジタル 初期スキャン

引っ越しなどで受信地域が変わったときに受信できる局を自動で探します。

左記手順 1 ～ 6 のあと

- 7 お住まいの地域を選び、**決定** を押す

- 8 受信帯域を選び、**決定** を押す

- 9 正しく設定されていることを確認したあと、



地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 ～ 6 のあと

- 7 正しく設定されていることを確認したあと、



地上デジタル マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHK Eテレ東京	テレビ
3	----	----	----
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po : 「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼]を押してください。

CH : テレビの画面に表示される番号です。「-----」の場合、チャンネル設定されていません。

188 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 修正したい行 (Po) を選び、**決定** を押す

8 表示チャンネル (CH) を修正し、



9 修正が終わったら、



☞ チャンネルの順番を入れ換えるには

- ① [緑] を押す
- ② 入れ換えをしたい行 (Po) を選び、[決定] を押す
- ③ 入れ換え先の行 (Po) を選び、[決定] を押す
- ④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

お知らせ

- 地上デジタル放送のチャンネル一覧表は、お手持ちのパソコンから以下のホームページでご覧いただけます。

- ① <http://panasonic.jp/support/bd/manual/> を開く
- ② 「同意する」 → 「DMR-BRX2000/DMR-BRX4000/DMR-BRX6000」 → 「放送チャンネルなどの一覧表」を選ぶ

BS、CS1、CS2

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS1	テレビ
3	103	NHK BS プレミアム	テレビ
4	141	BS 日テレ	テレビ
5	151	BS 朝日 1	テレビ

Po : 「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼]を押してください。

CH : テレビの画面に表示される番号です。「-----」の場合、チャンネル設定されていません。

188 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 修正したい行 (Po) を選び、**決定** を押す

7 表示チャンネル (CH) を修正し、



8 修正が終わったら、



☞ チャンネルの順番を入れ換えるには

- ① [緑] を押す
- ② 入れ換えをしたい行 (Po) を選び、[決定] を押す
- ③ 入れ換え先の行 (Po) を選び、[決定] を押す
- ④ 入れ換えが終わったら [戻る] を押す

?

必要なとき

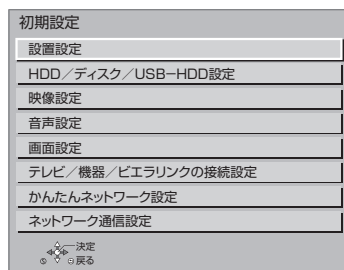
本機の設定を変える（初期設定）

1 **スタート**を押す

2 「初期設定」を選び、**決定**を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 メニューを選び、**決定**を押す



4 設定項目を選び、**決定**を押す

- さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

5 設定内容を変更する

設置設定

【 】はお買い上げ時の設定です

自動電源〔切〕 【6 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本機の動作（録画やダビングなど）が終了してから 2 時間後または 6 時間後に、電源が切れます。

リモコン設定 **BRX6000** **BRX4000** (→200)

リモコン受信方式

無線方式詳細設定

赤外線方式詳細設定

音声操作設定

リモコンのテレビ操作設定

認証 ID について

リモコン設定 **BRX2000** (→202)

リモコンモード

リモコンのテレビ操作設定

日時設定

本機はデジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に日時を修正しますので、通常は日時設定の必要はありません。

音声ガイドの設定

番組表や録画一覧の内容、選局時の番組名、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。

- 実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。

- 「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「デジタル出力」(→194) は自動的に「PCM」になります。（「切」に戻しても「PCM」のままです）

- チャンネル録画一覧や外部入力の際は、出力されません。

音声ガイド機能

【切】

読み上げ音量

読み上げ速度

クイックスタート設定

クイックスタート

【切】

「入」にすると、電源「切」状態からの起動を高速化します。(テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります)

- 待機時消費電力は増えます。
- 以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」に固定になります。
 - ・**BRX6000** **BRX4000** 「リモコン受信方式」
(→190) : 「無線方式」
 - ・「ピエラリンク録画待機」(→195) : 「入」
 - ・「i.LINK 機器モード設定」(→196) : 「TS モード 2」
 - ・「宅外リモート接続機能」(→198) : 「入」
 - ・「お部屋ジャンプリンク機能」(→199) : 「入」
 - ・「ドアホン・センサーカメラ接続」(→199) : 「入」
 - ・「ファイル共有サーバー機能」(→199) : 「入」

クイックスタートモード

クイックスタート(→上記)が「入」時の設定をします。

- 「標準」の場合
 - ・無信号自動オフ機能が働かない場合があります。
- 「省エネ」の場合
 - ・「標準」より起動が遅くなりますが、待機時の消費電力は少なくなります。

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。
ただし、以下の設定は戻りません。

- ・**BRX6000** **BRX4000** リモコン設定
 - ・時刻
 - ・DVD-Video の視聴制限
 - ・BD-Video の視聴可能年齢
 - ・HDD 番組の視聴制限
 - ・USB-HDD の登録
 - ・かんたんネットワーク設定
 - ・LAN 接続形態
 - ・無線／無線親機設定
 - ・IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定
 - ・ファイル共有サーバーの名称
 - ・ファイル共有サーバーのパスワード設定
- BRX2000** 本体側の「リモコンモード」もお買い上げ時の設定(リモコン1)に戻ります。リモコンが働かなくなった場合(本体の“お知らせ”ランプが 6 回点滅)、リモコンモードを変更してください。
(→247)

ソフトウェア更新(ネットワーク)

本機をインターネット接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

- 更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
 - ・本機の電源を切る
 - ・電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新

【切】

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。
(更新は電源「切」時に行います)

ソフトウェア更新の実行

手動でソフトウェアの更新をします。



必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

HDD/ ディスク /USB-HDD 設定

【 】はお買い上げ時の設定です

再生設定（再生専用ディスク）

DVD-Video の視聴制限^{*1} 【8 すべて視聴】

DVDビデオの視聴制限ができます。
制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢^{*1} 【無制限】

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

●「年齢入力」を選んで【決定】を押すと、【1】～【10】で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続^{*1} 【有効（制限付き）】

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

MASTER GRADE VIDEO CODING 【入】

（MGVC 対応の **BD-V**）

スタジオマスターと同等の滑らかで質感豊かな高画質映像で再生します。（→102）

3D ディスクの再生方法 【3D 再生】

3D ディスクの再生方法を選びます。

BD-Video の 2D → 3D 変換モード 【モード 1】

3D 変換中の表示方法を選びます。

●「モード 1」の場合は、副映像を表示できません。

音声言語^{*2} 【日本語】

再生時の音声を選びます。

●「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語^{*2} 【オート】

再生時の字幕言語を選びます。

●「オート」は、「音声言語」の言語で音声再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語^{*2} 【日本語】

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード 【切】

BD-RE **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC**

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

●「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録設定

ハイビジョン画質 / 持ち出し番組の記録設定

外部入力音声設定 【ステレオ】

外部入力から録画時の音声の種別を選びます。

二重音声記録時の音声選択 【主音声（L/R）】

二重音声（二カ国語）番組を録画やダビングする場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

DVD-Video 記録の設定 **-R V** **-RW V**

二重音声記録時の音声選択 【主音声（L/R）】

二重音声（二カ国語）番組を記録する場合に記録する音声を設定します。

記録アスペクト設定 【オート】

記録時のアスペクトを設定します。

高速ダビング速度 【最高速モード】

高速モードでのダビング速度を設定します。

（高速記録対応ディスクの場合など）

ムーブバックエラー制御 【中断】

ムーブバック中にディスクの汚れや劣化によるエラーを検出したときの制御を設定します。

自動チャプター 【入】

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

●録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

●チャンネル録画では、設定にかかわらずチャプターが作成されます。

※ 1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って【1】～【10】で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。

暗証番号は忘れないでください。

※ 2 「その他 * * * *」の場合、* には【1】～【10】で言語番号（→206）を入力してください。

選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

持ち出し番組の VGA 画質

【モード 1】

「持ち出し方法」を「SD/USB 経由」、「持ち出し番組の画質」を「高画質 (VGA)」に設定して作成する場合に、記録する画質 (1.5 Mbps/1.0 Mbps) を変更します。

MP4 の取り込み設定

【変換取込】

MP4 (4K 以外) の取り込み形式を選びます。

- 「変換取込」は、本機のパフォーマット形式に変換して取り込みます。
- 「ファイル取込」すると、ネットワーク接続したファイル共有機能対応機器でも見ることができます。
(→170)

MP4 取込 / アルバムの作成画質

【高画質モード】

本機に MP4 (4K 以外) を取り込むときの画質と動くアルバムの作成画質を設定します。

- MP4 の取り込みは「MP4 の取り込み設定」
(→上記) が「変換取込」時のみ有効。

ワンタッチ保存の優先モード

【録画優先】

ワンタッチ保存実行中に、ワンタッチ保存の予約を設定した番組がチャンネル録画の上書きによって消去されそうな場合に、チャンネル録画を止めてワンタッチ保存を優先させるか、そのままチャンネル録画を優先させるかを選びます。

再放送の録画

【録画しない】

「おまかせ録画」(→71) や「カテゴリーまとめて予約」(→75) で一度録画した番組の再放送を録画するかどうかを設定します。

HDD 番組の視聴制限^{※1}

【無制限】

年齢制限の記録されている番組の視聴制限を設定できます。(年齢制限が視聴制限以上の番組は録画一覧で表示されなくなります)

HDD 設定

HDD 管理

全番組消去

通常録画した番組をすべて消去します。

写真一覧の全写真消去

HDD 内の「写真一覧」(→142) に表示されている写真をすべて消去します。
[ファイル共有領域 (→170) に保存した写真は消去されません]

取り込み動画ファイル全消去

本機で「ファイル取込」した MP4 をすべて消去します。(録画一覧にある撮影ビデオは消去されません)

ユーザ共有フォルダの全消去

ファイル共有機能 (→170) でパソコンから本機に保存したファイルをすべて消去します。

全チャンネル録画番組消去

チャンネル録画番組をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録 (→211)

別売の USB-HDD を登録します。

USB-HDD の取り外し (→213)

別売の USB-HDD を本機から取り外す前に行います。

お願い

この操作を行わずに USB-HDD を取り外した場合、記録内容を損失するおそれがあります。取り外す前に必ず行ってください。

USB-HDD 管理

通常録画用 USB-HDD

通常録画用 USB-HDD のフォーマット

通常録画用に登録した別売の USB-HDD の初期化を行います。

SeeQVault-HDD

SeeQVault 対応のフォーマット (→213)

チャンネル録画用 USB-HDD

USB-HDD のフォーマット

チャンネル録画用に登録した別売の USB-HDD の初期化を行います。

USB-HDD 登録の取り消し (→212)

登録されている USB-HDD の登録を取り消します。

すべての USB-HDD 登録の取り消し (→212)

登録されているすべての USB-HDD の登録を取り消します。

※ 1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って [1] ~ [10] で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。
暗証番号は忘れないでください。

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

映像設定

【 】はお買い上げ時の設定です

スチルモード

【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

【入】

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

音声設定

【 】はお買い上げ時の設定です

音声のダイナミックレンジ圧縮

【切】

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

音声は Dolby® Digital、Dolby® Digital Plus、Dolby® TrueHD のときのみ有効です。

- 「オート」は、Dolby® TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D +/Dolby TrueHD 【Bitstream】

DTS/DTS-HD 【Bitstream】

AAC 【Bitstream】

音声の出力方法を選びます。

- 出力される音声については、「デジタル出力される音声と接続・設定の関係」(→263)をご覧ください。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む **BD-V**）

【入】

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入/切を設定します。

PCM ダウンサンプリング変換

【切】

サンプリング周波数96 kHzで収録された音声を48 kHzに変換する（「入」かしない（「切」）かを選びます。

- 96 kHzに非対応の機器に接続時は「入」を、対応した機器に接続時は「切」にしてください。
- 以下の場合、48 kHzに変換されます。
 - ・ **BD-V** 「BD ビデオ副音声・操作音」(→上記)：「入」
 - ・ **BD-V** 192 kHz 以上の信号
 - ・ 著作権保護処理がされているディスク

ダウンミックス

【ノーマル】

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 「デジタル出力」(→左記)が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
- 2チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
- 以下の場合、は、「ノーマル」で出力されます。
 - ・ **AVCHD** 再生時
 - ・ **BD-V** 副音声や操作音を含んだ再生時

音声ディレイ

【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

画面設定

【 】はお買い上げ時の設定です

画面表示動作【オート】

【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。

「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
[「HDMI出力解像度」(→196)が「480p」以外のとき]

電源起動時の画面

【新着番組画面】

電源「入」時に「新着番組画面」を表示するかどうかの設定をします。

テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定

【 】はお買い上げ時の設定です

3D 設定

3D 方式設定

【フルHD】

接続しているテレビの方式に設定します。

- 「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

3D 番組の出力方法

【3D】

3D 番組を 2D 再生します。

3D 再生時の注意表示

【入】

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

비에라링크設定

비에라링크制御

【入】

비에라링크 (HDMI) に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

비에라링크録画待機

【切】

비에라의電源が「入」のときに、本機がすぐに録画できる状態に設定します。

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→191) は自動的に「入」になります。

オートサウンド連携

【入】

비에라링크 (HDMI) Ver. 3 以降に対応した비에라とアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

ECO スタンバイ

【入】

비에라링크 (HDMI) Ver. 4 以降に対応した비에라と接続時、비에라의電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を少なくします。

- 「入」に設定すると、비에라의電源「切」時に、「クイックスタート」(→191) が「切」のときと同じように動作します。

비에라의電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

TV アスペクト

【16:9】

アスペクト比が 4 : 3 の映像の表示方法を設定します。

16 : 9 : ワイドテレビに接続しているとき

4 : 3 の映像は、左右に

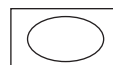
黒帯を付加して表示



16 : 9 フル: ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4 : 3 の映像は、画面いっ

ぱいに拡大して表示



本機の設定を変える（初期設定）（続き）

HDMI 接続

HDMI 出力解像度 【オート】

接続した機器が対応している項目に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

- ① **【決定】** と **【青】** と **【黄】** を同時に 5 秒以上押す
・本体の“お知らせ”ランプが点滅します。
 - ② **【▶】** を数回押して、本体の“SD”ランプを点滅させる
 - ③ **【決定】** を 3 秒以上押す
・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。
- 4K 対応テレビと接続する場合は、「オート」を選択してください。
 - 「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力 **BD-V** **AVCHD** 【切】

映画など 24p で記録された素材を再生時に、自動で 24p 出力します。

- 4K/24p 対応テレビと接続している場合
「HDMI 出力解像度」(**→上記**)を「オート」に設定時に 4K/24p で出力されます。
 - 1080/24p 対応のテレビと接続している場合
「HDMI 出力解像度」(**→上記**)を「オート」または「1080i」、「1080p」に設定時に 1080/24p で出力されます。
- 24p 以外で記録された素材は 60i または 60p で出力されます。

HDMI カラースペース 【YCbCr (MGVC オート)】

HDMI 端子で接続時、映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

HDMI 音声出力 【入】

- デジタル音声端子でアンプなどに接続しているときのみ、「切」にしてください。

Deep Color 出力 【オート】

Deep Color 対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング **BD-V** 【オート】

接続する機器が 7.1 チャンネル・サラウンドに対応している場合、6.1 チャンネル以下の LPCM サラウンド音声を自動的に 7.1 チャンネルに拡張して再生します。

- 「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。(6.1 チャンネルの場合は 5.1 チャンネルで再生します)

コンテンツタイプフラグ 【オート】

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

i.LINK 機器モード設定 【TS モード 1】

i.LINK (TS) 端子に接続した機器に合わせて設定します。

- 「TS モード 2」にすると、「クイックスタート」(**→191**) は自動的に「入」になります。

かんたんネットワーク設定

かんたんネットワーク設定 (→242)

ネットワーク通信設定 【 】はお買い上げ時の設定です

通常は「LAN 接続形態」「無線 / 無線親機設定」「IP アドレス / DNS / プロキシサーバー設定」の設定は不要です。

「かんたんネットワーク設定」(→ 上記)を行ってもネットワークにつながらない場合に設定してください。

- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態 【有線】

ネットワーク接続の方法を選びます。

- 「無線親機 (シンプル Wi-Fi)」にすると、本機をアクセスポイントに設定することができます。

無線 / 無線親機設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

- 「LAN 接続形態」(→ 上記)が「無線」または「無線親機 (シンプル Wi-Fi)」時のみ有効

WPS (プッシュボタン) 方式

WPS (PIN コード) 方式

無線ネットワーク検索

手動設定

無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) との接続を行います。

- 「LAN 接続形態」(→ 上記)が「無線」時のみ有効

WPS 方式での子機接続

無線子機を追加で登録することができます。(最大 8 台まで)

- 「LAN 接続形態」(→ 上記)が「無線親機 (シンプル Wi-Fi)」時のみ有効

設定変更

- 「LAN 接続形態」(→ 左記)が「無線親機 (シンプル Wi-Fi)」時のみ有効

ネットワーク名 (SSID)

暗号化キー

無線方式

接続する子機が 802.11n/a に対応している場合は、無線方式は 802.11n/a (5 GHz) を選択することをお勧めします。ただし、無線子機が対応していない場合は接続できない場合があります。詳しくは無線子機の取扱説明書をご覧ください。

倍速モード 【通常モード (20 MHz)】

無線方式が 5 GHz の場合、通信速度を設定します。

- 「無線方式」(→ 上記)が「802.11n/a (5 GHz)」時のみ有効。
- 「倍速モード (40 MHz)」で通信を行うと、2 チャンネル分の周波数帯域で高速に通信します。ただし、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

無線チャンネル

他機器との電波干渉があるときに、無線チャンネルを変更してください。

設定リセット

本機が無線親機 (シンプル Wi-Fi) のときの設定をリセットします。



必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- 「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- 「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が利用できる状態です。

IP アドレス自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP*サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていな
いときのみ設定してください。

- 「IP アドレス自動取得」(→上記)を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得 【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS

セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- 「DNS-IP 自動取得」(→上記)を「切」にしたあと設定します。
- パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

- プロキシサーバーを設定すると、アクトビラのサービスが利用できなくなります。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号 【0】

接続テスト

宅外リモート接続設定 (→204)

宅外リモート接続機能 【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→191)と「お部屋ジャンプリンク機能」(→199)は自動的に「入」になります。

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

お部屋ジャンプリンク (DLNA) / スカパー! Link (録画) 設定 (→203)

お部屋ジャンプリンク機能 【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→191) は自動的に「入」になります。
- 「切」にすると、「宅外リモート接続機能」(→198) は自動的に「切」になります。

本機の名前

アクセス許可方法 【自動】

レート変換モード 【切】

画質モード 【5 倍録画質】

- 「レート変換モード」(→上記) が「オート」または「入」時のみ有効。

機器一覧

家じゅう録画一覧設定

家じゅうラベルの表示 【切】

- 「入」にすると、録画一覧に「家じゅう」ラベルを表示し、接続機器の録画番組の情報を通常録画用 HDD に書き込みます。(通常録画用 HDD が容量不足の場合、「入」にはできません)

自動更新 【入】

- 「入」にすると、録画一覧の「家じゅう」ラベルの情報を自動で更新します。(更新は 1 日に 1 回程度、電源「切」時に行います)

接続する機器一覧

- 「家じゅう」ラベルで番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を消去

- 「家じゅう」ラベルに表示されている録画番組の情報や接続する機器一覧の情報を消去します。

ドアホン・センサーカメラの接続設定 (→205)

ドアホン・センサーカメラ接続 【切】

- 「入」にすると、「クイックスタート」(→191) は自動的に「入」になります。

ドアホン録画

センサーカメラ録画

機器一覧

デモラ / ミモラサービス設定

(おとどけ動画設定)

デモラやミモラの機器登録を解除します。

ファイル共有サーバー設定

ファイル共有サーバー機能 【切】

- 「入」にすると、ネットワーク接続したパソコンを操作して、MP4 や写真などのファイルを本機の HDD に保存することができます。
- 「入」にすると、「クイックスタート」(→191) は自動的に「入」になります。

パスワード設定

- ネットワーク接続したパソコンなどから本機にアクセスするときのパスワードを設定します。

ファイル共有サーバーの名称

- 接続したパソコンなどの機器に表示する本機の名前を設定します。

音楽ファイルダウンロード設定

e-onkyo music で購入した音楽ファイルを本機の HDD に自動的にダウンロードすることができます。

音楽ファイルダウンロード機能 【切】

デバイス認証キー設定

ダウンロード (手動更新)

音楽ファイルダウンロード履歴

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

表示される番号は、「LAN 接続形態」(→197) の設定によって、以下ようになります。

- 「有線」：背面の LAN 端子に割り当てられた番号
- 「無線」：内蔵の無線 LAN に割り当てられた番号



必要
な
と
き

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

リモコン設定をする **BRX6000** **BRX4000**

リモコン受信を無線方式にする

「無線方式」にすると、以下のようになります。

- リモコンを本機に向けずに操作できる
- モーション操作や音声操作ができるようになる（→36、37）
- 登録したリモコンからのみ操作できる
 - ・本機が他のリモコンからの影響を受けなくなる
 - ・本機のリモコン操作が他の機器に影響しなくなる

無線方式リモコンの使用上のお願い（→217）

1 **スタート** を押す

2 「初期設定」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「設置設定」を選び、**決定** を押す

4 「リモコン設定」を選び、**決定** を押す

5 「リモコン受信方式」を選び、**決定** を押す

6 「無線方式」を選び、**決定** を 3 秒以上押す

7 **決定** と **7** を同時に 5 秒以上押す

リモコン設定
無線リモコンの登録を行い、リモコンを無線方式に設定します。
リモコンの数字ボタン「7」と「決定」ボタンを同時に5秒以上押してください。
（時間がかかることがあります）

完了画面が表示されない場合は、リモコンを本体に近づけて操作してください。



8 **決定** を押す

■ Ir システムを使って予約録画を行う場合 [他機器連携 (Ir システム)]

無線方式でセットトップボックスなどのIrシステム（→226）を利用する場合、以下の設定が必要です。

左記手順 1 ～ 4 のあと

- 5** 「無線方式詳細設定」を選び、**決定** を押す
- 6** 「他機器連携 (Ir システム)」を選び、**決定** を押す
- 7** 「リモコン 1」～「リモコン 3」のいずれかを選び、**決定** を押す

■ リモコン設定をお買い上げ時の状態に戻す

以下の操作でお買い上げ時の状態（赤外線方式のリモコン 1）に戻ります。

- 1** 電源「切」時に、本体の[▲ 開 / 閉]を押す
 - ディスプレイが開きます。
- 2** 本体の[▲ 開 / 閉]を 10 秒以上押す
 - ディスプレイが閉まり、メッセージが表示されます。
- 3** リモコンの**決定** と **1** を 3 秒以上押す
- 4** **決定** を押す

🔔お知らせ

- 「無線方式」の場合でも、リモコンと本体との無線通信が不安定になったときは、リモコンが一時的に赤外線方式の信号を発信することがあります。

リモコン受信を赤外線方式にする

200 ページ手順 1 ～ 5 のあと

6 「赤外線方式」を選び、決定 を 3 秒以上押す

7 1あ～6はのいずれかを押しながら、決定 を 3 秒以上押したままにする

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

リモコン設定
本体のリモコン受信方式を赤外線方式に変更しました。
リモコンの決定ボタンと数字ボタン 0 を 3 秒以上押して、リモコンを赤外線方式に設定してください。
次に、決定ボタンを押してください。



8 決定 を押す

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

200 ページ手順 1 ～ 4 のあと

5 「赤外線方式詳細設定」を選び、決定 を押す

6 「リモコンモード」を選び、決定 を押す

7 「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、決定 を押す

リモコンモードの設定
本体とリモコンを同じリモコンモードに合わせます。
まず、本体側のリモコンモードを選択して決定ボタンを押してください。

リモコン1
リモコン2
リモコン3
リモコン4
リモコン5
リモコン6

Irシステムを使った予約録画を行う場合は、リモコン1～3を選択してください。

リモコン側のモードを設定する

8 1あ～6はのいずれかを押しながら、決定 を 3 秒以上押したままにする

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

リモコンモードの設定
本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。

1. リモコンの決定ボタンと数字ボタン 0 を同時に3秒以上押してください。リモコン側の設定が完了します。
2. 続いて、リモコンを本体に向け、画面表示が切り換わるまで決定ボタンを3秒以上押してください。

9 リモコンを本体に向けて、決定 を 3 秒以上押す

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

10 決定 を押す

- リモコンモードの設定を終了します。

お知らせ

- 赤外線方式では、モーション操作 (→36) や音声操作 (→37) はできません。
- セットトップボックスなどのIrシステム (→226) を利用する場合は、Irシステムのリモコン種別を本機のリモコンモードに合わせてください。また、本機のリモコンモードは「リモコン 1」～「リモコン 3」のいずれかをお使いください。詳しくは、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。
- リモコン下部に「IR6」の表示があるリモコンの場合、「リモコン 4」～「リモコン 6」で操作できます。

本機のリモコンでテレビを操作する

リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの [テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量 +, -] でテレビを操作できます。

また、[テレビ操作] を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。



200 ページ手順 4 のあと

6 「リモコンのテレビ操作設定」を選び、

決定 を押す (→239、手順 2 へ)

?

必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

リモコン設定をする [BRX2000]

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製ブルーレイディスクレコーダーなどがあるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 [スタート] を押す

2 「初期設定」を選び、[決定] を押す

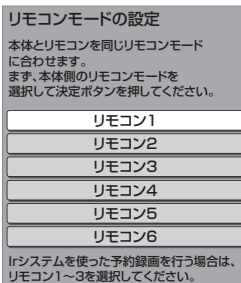
- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「設置設定」を選び、[決定] を押す

4 「リモコン設定」を選び、[決定] を押す

5 「リモコンモード」を選び、[決定] を押す

6 「リモコン 1」～「リモコン 6」のいずれかを選び、[決定] を押す



リモコン側のモードを設定する

7 1. [あ]～[は]のいずれかを押しながら、[決定] を3秒以上押したままにする

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

リモコンモードの設定

本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。

1. リモコンの[あ]ボタンと数字ボタン[○]を同時に3秒以上押してください。リモコン側の設定が完了します。
2. 続いて、リモコンを本体に向け、画面表示が切り換わるまで決定ボタンを3秒以上押してください。

8 リモコンを本体に向けて、[決定] を3秒以上押す

- 本機側とリモコン側のリモコンモードの設定が完了します。

9 [決定] を押す

- リモコンモードの設定を終了します。

お知らせ

- セットトップボックスなどのIrシステム（→226）を利用する場合は、Irシステムのリモコン種別を本機のリモコンモードに合わせてください。また、本機のリモコンモードは「リモコン 1」～「リモコン 3」のいずれかをお使いください。詳しくは、セットトップボックスなどの説明書をご覧ください。
- リモコン下部に「IR6」の表示があるリモコンの場合、「リモコン 4」～「リモコン 6」で操作できます。

本機のリモコンでテレビを操作する

リモコンのテレビ操作設定

テレビに合った番号を設定すると、リモコンの[テレビ電源]、[テレビ入力切替]、[音量+,-]でテレビを操作できます。

また、[テレビ操作]を押してボタンを点灯させると、他のボタンでもテレビを操作できるようになります。



左記手順4のあと

⑤ 「リモコンのテレビ操作設定」を選び、[決定] を押す（→239、手順2へ）

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器 / CATV セットトップボックス / スカパー! プレミアムサービス対応チューナー / ビエラなどと接続する

お部屋ジャンプリnk (DLNA) / スカパー! Link (録画) 設定

1 を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、 を押す

- 表示がない場合は [◀◀] [▶▶] でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク通信設定」を選び、 を押す

4 「お部屋ジャンプリnk (DLNA) / スカパー! Link (録画) 設定」を選び、 を押す

5 「お部屋ジャンプリnk機能」を選び、 を押す

6 「入」を選び、 を押す

- レート変換モードの設定画面が表示される場合があります。(→ 右記)
- 「クイックスタート」(→ 191) が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 無線接続で無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

7 「アクセス許可方法」を選び、 を押す

8 「手動」または「自動」を選び、 を押す

- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
(「手動」から「自動」に変更する場合、メッセージが表示されます。メッセージを確認したあと、「はい」を選んで [決定] を押してください。)
- 「手動」の場合 (→ 右記手順 9 へ)

左記手順 8 で「手動」を選んだ場合

9 「機器一覧」を選び、 を押す

10 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、 を押す

11 「アクセス許可」を選び、 を押す

- 最大 16 台まで登録できます。

 登録している機器のアクセス許可を取り消すには (「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ)

- ① 手順 10 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、[決定] を押す
 - ② 「アクセス許可取消」を選び、[決定] を押す
- 「自動」の場合、機器ごとにアクセス許可を取り消すことはできません。手順 8 で「手動」を選んだあと、上記手順で機器ごとに取り消し操作を行ってください。

 「レート変換モード」を変更するには

- 映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「入」に設定してください。
- ① 手順 4 のあと「レート変換モード」を選び、[決定] を押す
 - ② 「オート」「入」または「切」を選び、[決定] を押す

 接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

- ① 手順 4 のあと「本機の名称」を選び、[決定] を押す
- ② 項目を選び、[決定] を押す
 - 一覧から選んで変更 : あらかじめ登録されている名前から選びます。
 - 文字入力して変更 : 文字入力画面から入力します。(→ 180)

 お部屋ジャンプリnk機能を使用しないときは
手順 6 で「切」を選ぶ

- 登録している機器からの操作はできなくなります。

お知らせ

- スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスから録画または予約録画をする場合や、ビエラなどからダビングまたは他のディーガからお引越シダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。
機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧ください。

?

必要
な
と
き

本機の設定を変える（初期設定）（続き）

スマートフォン、携帯電話、パソコンと接続する

宅外リモート接続設定

外出先から、スマートフォンやタブレットで番組を視聴したり、パソコンなどで録画予約などの操作をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

当社ホームページ

外からどこでもスマホで視聴：

http://panasonic.jp/support/av/m_access/

ディモラ：http://dimora.jp/

ミモラ：http://me-mora.jp/

株式会社インタラクティブ・プログラム・ガイド

パソコンの場合 http://ipg.jp/ra

携帯電話の場合 http://ipg.jp/k

🔧 「接続されていません」が表示されているとき
ネットワークの接続（➡231～233）、「IPアドレス/DNS/プロキシサーバー設定」（➡198）を確認してください。

🔧 機器パスワードを初期化するには

- ① 手順4のあと「機器パスワード初期化」を選び、
[決定]を押す
- ② 「する」を選び、[決定]を押す

1 を押す

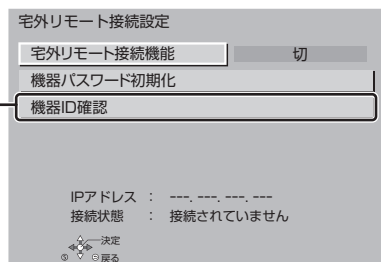
2 「ネットワーク設定」を選び、 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク通信設定」を選び、 を押す

4 「宅外リモート接続設定」を選び、 を押す

5 「宅外リモート接続機能」を選び、 を押す



機器ID：

宅外リモート接続機能を使ってインターネット経由でパソコンや携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

🔧 お知らせ

- 外出先から番組を視聴する場合、本機が3番組を録画中は放送番組の視聴はできません。
- 外出先から番組を視聴する場合、2台同時に視聴することはできません。

6 「入」を選び、 を押す

ドアホン・センサーカメラと接続する

ドアホン・センサーカメラの接続設定

ドアホンやセンサーカメラの映像を、本機で録画するための設定です。

手順 4 から 8 の間で登録する機器を登録モードにしてください。機器によって登録モードにする方法は異なりますので、必ず登録する機器の取扱説明書をご覧ください。

1 を押す

2 「ネットワーク設定」を選び、 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「ネットワーク通信設定」を選び、 を押す

4 「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選び、 を押す

5 「ドアホン・センサーカメラ接続」を選び、 を押す

6 「入」を選び、 を押す

- 「ドアホン・センサーカメラ接続」の設定を「入」にすると、通常録画用 HDD にドアホンやセンサーカメラの映像を録画するための領域が確保されます。
一度「入」にすると、「HDD のフォーマット」(→193) をしないかぎり、「切」にしても、通常録画用 HDD の領域は確保されたままです。
- メッセージを確認したら、[戻る]を押してください。

7 「〔新規登録〕」を選び、 を押す

8 「する」を選び、 を押す

- 登録が正しく完了したら“登録が完了しました。”と表示され、“お知らせ”が点灯します。
- ドアホンやセンサーカメラは最大5台まで登録できます。

🔧 「ドアホン・センサーカメラ接続」からの録画を解除するには

手順 6 で「切」を選ぶ

- 手順 4 のあと「ドアホン録画」または「センサーカメラ録画」を選び、「しない」を選ぶと、ドアホン単位またはセンサーカメラ単位で設定を解除できます。

🔧 登録機器の詳細情報を確認するには

手順 4 のあと「機器一覧」から情報を知りたい機器を選び、[決定]を押す

- 「機器のページ」では、登録している機器の設定画面が表示されます。
詳しい操作方法是各機器の取扱説明書をご覧ください。

🔧 機器の登録を削除するには

- ① 手順 4 のあと「機器一覧」から削除したい機器を選び、[決定]を押す
- ② 「登録削除」を選び、[決定]を押す
- ③ 「する」を選び、[決定]を押す

🔧 機器の登録ができない場合は

- 本機と各機器の接続を確認し、登録したい機器を再起動してから、再度設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた直後に操作をすると、登録できない場合があります。その場合は、約 3 分待って、操作を行ってください。(登録する機器が登録モードになったのを確認してから手順 8 を行ってください)
- ネットワークの接続や設定が正しく行われていても登録ができない場合は、DIGA (ディーガ) ご相談窓口 (→ 裏表紙) までお問い合わせください。



必要なとき

ソフトウェアの更新について

本機は以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアダウンロード

電源「切」の状態、デジタル放送から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機のソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- お買い上げ時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。(→185「ソフトウェア更新設定」)

ネットワークからのダウンロード

本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

[→191「ソフトウェア更新(ネットワーク)」]

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体の"DL"ランプが点灯しています。

"DL"ランプが点灯するまで本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
- オンエアダウンロードには、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。
- 手動でソフトウェアの更新を行うと、実行中のチャンネル録画や通常録画は中断されます。

言語番号一覧

「再生設定(再生専用ディスク)」の言語選択時に使用します。(→192)

アイスランド.....7383	オランダ.....7876	ジャワ.....7487	ドイツ.....6869	ベンガル
アイマラ.....6589	カザフ.....7575	スウェーデン.....8386	ナウル.....7865	(バングラ).....6678
アイルランド.....7165	カシミール.....7583	スペイン.....6983	日本語.....7465	ペルシャ.....7065
アゼルバイジャン.....6590	カタロニア.....6765	スロバキア.....8375	ネパール.....7869	ポーランド.....8076
アッサム.....6583	ガリチア.....7176	スロベニア.....8376	ノルウェー.....7879	ポルトガル.....8084
アフガル.....6565	韓国(朝鮮)語.....7579	スワヒリ.....8387	ハウサ.....7265	マオリ.....7773
アフリカーンス.....6570	カンナダ.....7578	スンダ.....8385	ハンガリー.....7285	マケドニア.....7775
アブハジア.....6566	カンボジア.....7577	ズールー.....9085	バシキール.....6665	マダガスカル.....7771
アムハラ.....6577	キルギス.....7589	セルビア.....8382	バスク.....6985	マライ
アラビア.....6582	ギリシャ.....6976	セルボクロアチア.....8372	バシュト.....8083	(マレー).....7783
アルバニア.....8381	クルド.....7585	ソマリ.....8379	パンジャブ.....8065	馬拉ッタ.....7782
アルメニア.....7289	クロアチア.....7282	タイ.....8472	ヒンディー.....7273	マラーヤラム.....7776
イタリア.....7384	グアラニー.....7178	タガログ.....8476	ビハール.....6672	マルタ.....7784
イディッシュ.....7473	グジャラト.....7185	タジク.....8471	ビルマ.....7789	モルダビア.....7779
インターリングア.....7365	グリーンランド.....7576	タタール.....8484	フィジー.....7074	モンゴル.....7778
インドネシア.....7378	グルジア.....7565	タミル.....8465	フィンランド.....7073	ヨルバ.....8979
ウェールズ.....6789	ケチュア.....8185	チェコ.....6783	フェロー.....7079	ラオ.....7679
ウオーフ.....8779	ゲール	チベット.....6679	フランス.....7082	ラテン.....7665
ウクライナ.....8575	(スコットランド).....7168	中国語.....9072	フリジア.....7089	ラトビア
ウズベク.....8590	コーサ.....8872	ティグリニア.....8473	ブータン.....6890	(レット).....7686
ウルドゥー.....8582	コルシカ.....6779	テルグ.....8469	ブルガリア.....6671	リトアニア.....7684
ヴォラビュック.....8679	サモア.....8377	デンマーク.....6865	ブルターニュ.....6682	リンガラ.....7678
英語.....6978	サンスクリット.....8365	トウイ.....8487	ヘブライ.....7387	ルーマニア.....8279
エストニア.....6984	ショナ.....8378	トルクメン.....8475	ベトナム.....8673	レトロマンズ.....8277
エスペラント.....6979	シンド.....8368	トルコ.....8482	ベロルシア	ロシア.....8285
オーリヤ.....7982	シンハラ.....8373	トンガ.....8479	(白ロシア).....6669	

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ 	映画や音楽などの市販ソフト ●本機では右記のマーク（リージョンコード）が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例)  ●リージョンコードは国により違います。
DVD ビデオ 	映画や音楽などの市販ソフト ●本機では右記のマーク（リージョン番号）が表示されたディスクを再生できます。 ただし、PAL方式のディスクは再生できません。	「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例)  ●番号は国により違います。
CD 	音楽や音声記録された市販ソフト (CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) 写真が記録された CD-R や CD-RW (JPEG フォーマット記録ディスク)	
+R +R DL (片面2層) +RW	他機器で番組やハイビジョン動画 (AVCHD)、写真 (JPEG) を記録したディスク ●録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます。 ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。	
DVD-RAM DVD-R DVD-RW	他機器でハイビジョン動画 (AVCHD) を記録したディスク ●編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。 [R] [RW] 写真 (JPEG) を記録したディスク	

- 記録状態によって再生できない場合があります。
- CD-DA規格に準拠していないCD（コピーコントロールCDなど）は、動作および音質の保証はできません。
- 8 cm ディスクに記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。
- 本機では、「RAM 2」マークの付いた DVD-RAM ディスク（6X 以上の 高速記録対応）の記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。

本機で使えないディスク

- カートリッジから取り出せない DVD-RAM (TYPE1)
- BD-RE (Ver.1.0)
- 2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
- 本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R（ビデオ方式）、DVD-R DL（ビデオ方式）、DVD-RW（ビデオ方式）
- HD DVD
- ビデオCD
- SACD
- SVCD
- DVDオーディオ
- Photo-CD
- パソコンやゲームのソフト など

?

必要なとき

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード (8 MB ~ 2 GB)

(miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む)

SDHC メモリーカード (4 GB ~ 32 GB)

(microSDHC メモリーカードを含む)

SDXC メモリーカード (48 GB、64 GB、128 GB)

(microSDXC メモリーカードを含む)



- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。(→176)
- SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。(SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます)
非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画 (AVCHD、MP4) の取り込み (→136 ~ 139) や再生 (→91)
- 録画した番組の持ち出し (→156)
- 写真の再生 (→141) や取り込み (→145)

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをお勧めします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側になると、カードの内容を誤って消去することを防げます。

書き込み禁止
スイッチ



お知らせ

- パソコンを使ってコピーや編集をした動画の再生や取り込みは、本機では保証しておりません。

別売の USB ハードディスク (USB-HDD) について

本機は、USB-HDD を接続し、番組を USB-HDD に録画することができます。

- USB-HDD の説明書もよくお読みください。

SeeQVault 対応の USB-HDD を使用すると

本機では、SeeQVault フォーマットにして使用することもできます。(→213)

- 通常番組の予約録画はできませんが、番組や撮影ビデオ、写真をダビングすることができます。
- チャンネル録画はできません。(ワンタッチ保存もできません)
- 他の SeeQVault 対応ディーガで再生やダビングをすることができます。
(録画用フォーマットの USB-HDD は、他のディーガで使用できません)

ディーガ以外の機器で記録した SeeQVault 対応の USB-HDD の動作確認情報は以下のホームページでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/bd/>



USB-HDD に記録できるコンテンツについて

コンテンツ	チャンネル録画用 フォーマット	通常録画用 フォーマット	SeeQVault フォーマット
チャンネル録画番組	○	×	×
通常録画番組	×	○	○*
撮影ビデオ	×	×	○
写真	×	×	○

※・予約録画はできません。ダビングでの記録のみ可能です。ただし、コピー制限のある番組をダビングした場合は、USB-HDD の番組のダビング残り可能回数は 1 回になります。

チャンネル録画した番組をワンタッチ保存して記録することはできません。

- ・「部分消去」「番組結合」「番組分割」「サムネイル変更」「録画モード変換」、まとめ番組やチャプターの編集はできません。
- ・保存している番組数が多い場合、本機の電源を入れてから最大数分の間、SeeQVault フォーマットした USB-HDD へのダビング、消去、編集など再生以外の操作ができないことがあります。

推奨 USB-HDD について

録画や再生に適した、推奨 USB-HDD をご使用ください。

推奨 USB-HDD の最新情報については、以下のホームページでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/bd/>

- USB-HDD に不具合が起きた場合は、お買い上げのメーカーにお問い合わせください。

?

必要なとき

別売の USB ハードディスク (USB-HDD) について (続き)

接続する

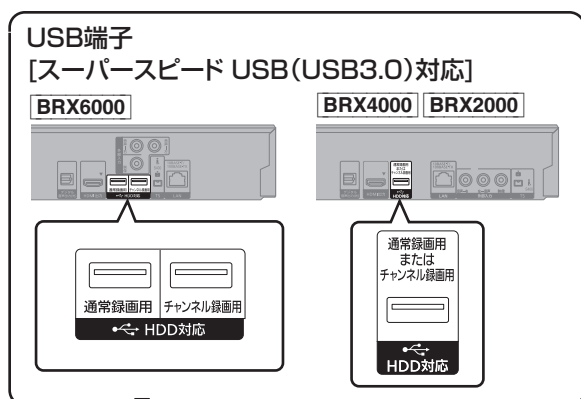
- 以下の操作はUSB3.0対応USB-HDDでのみ行えます。
 - ・USB-HDD にチャンネル録画する
 - ・複数の番組を同時に通常録画する
- USB-HDD は、本機背面の以下の端子に接続してください。(他の端子に接続すると、録画できません)

BRX6000

- ・通常録画とSeeQVaultフォーマットで使用する場合は「通常録画用」に、チャンネル録画で使用する場合は「チャンネル録画用」に接続してください。
- ・「チャンネル録画用」にUSB2.0のUSB-HDDは使用できません。

BRX4000 | BRX2000

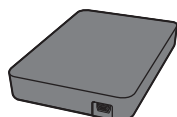
- ・「通常録画用またはチャンネル録画用」に接続してください。



USB 接続ケーブル

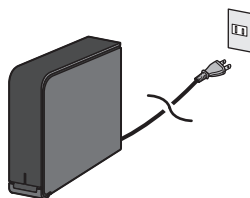
USB-HDD に付属の USB ケーブルをご使用ください。

バスパワー方式



電源コード
接続不要

電源供給方式

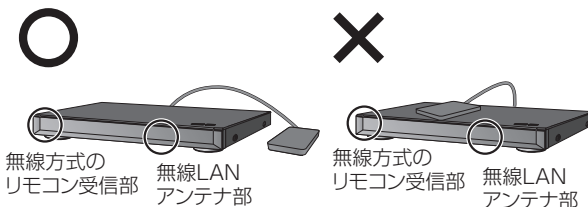


電源供給方式の USB-HDD の場合、
本機で使用中は電源を切ったり、
電源コードを抜いたりしないでください。

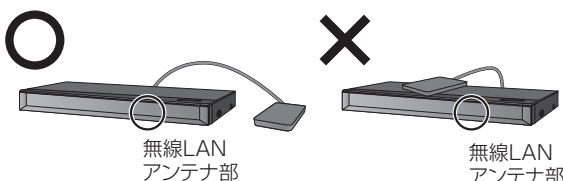
お知らせ

- USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。そのため、無線方式でのリモコン操作ができなくなる場合 (BRX6000 | BRX4000 のみ) や、お部屋ジャンプリンクやインターネット接続が不安定になる場合があります。以下のように設置してください。
- ・BRX6000 | BRX4000 USB-HDD は本機左前にある無線方式のリモコン受信部からできるだけ離して設置する
- ・無線 LAN をご使用の場合は、802.11 n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーターで接続し、5 GHz で使用する
- ・ご使用の無線ブロードバンドルーターが 2.4 GHz のみの場合
 - USB-HDD は本機の上には置かない
 - USB-HDD は本機右前にある無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して設置する

BRX6000 | BRX4000



BRX2000



- USB ハブを使用して接続しないでください。

チャンネル録画用フォーマット・ 通常録画用フォーマットで使用する

USB-HDD を使用する場合、本機で USB-HDD の登録をする必要があります。

登録できる USB-HDD の台数は以下の通りです。

- 通常録画 : **BRX6000** 8 台
: **BRX4000** **BRX2000** 7 台

- チャンネル録画 : 1 台

複数の通常録画用 USB-HDD を同時に接続して使用することはできません。

BRX4000 **BRX2000** 通常録画用 USB-HDD とチャンネル録画用 USB-HDD は同時に接続することはできません。

接続時に USB-HDD の登録画面が表示された場合は、手順 7 に進んでください。

例)

USB-HDD の設定	
登録する USB-HDD の用途を選択してください。	
通常録画用 USB-HDD	登録数 0 台
チャンネル録画用 USB-HDD	登録数 0 台
チャンネル録画用 USB-HDD で使用する場合は、登録した後に「チャンネル録画設定」で、録画先を USB-HDD に変更すると使用することができます。	
決定 戻る	

1 **スタート** を押す

2 「初期設定」を選び、**決定** を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、**決定** を押す

4 「USB-HDD 設定」を選び、**決定** を押す

5 「USB-HDD の登録」を選び、**決定** を押す

6 **決定** を押す

7 「通常録画用 USB-HDD」または「チャンネル録画用 USB-HDD」を選び、**決定** を押す

8 「登録」を選び、**決定** を押す

9 **決定** を押す

🔔お知らせ

- 本機以外で使用した USB-HDD を本機に登録する場合、USB-HDD に記録されている内容はすべて消去されます。消去された内容は、元に戻せません。
- 登録番号は録画一覧で確認することができます。
- 本機ではセクタサイズが 512 B または 4 KB (4096 B) 以外の USB-HDD は使用できません。

?

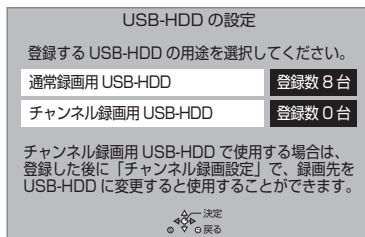
必要なとき

別売の USB ハードディスク (USB-HDD) について (続き)

登録できる台数が最大になった場合

すでに登録済みの USB-HDD を取り消す必要があります。新たな USB-HDD を接続し、本機の電源を入ると、以下の登録画面が表示されます。

例)



- ① 「通常録画用 USB-HDD」または「チャンネル録画用 USB-HDD」を選び、**決定** を押す
- ② 「はい」を選び、**決定** を押す
●チャンネル録画用の場合は、下記手順 ⑤ へ
- ③ 取り消しを行う USB-HDD の登録番号を選び、**決定** を押す
- ④ 「実行」を選び、**決定** を押す
- ⑤ 「登録」を選び、**決定** を押す
- ⑥ **決定** を押す

USB-HDD 登録を取り消す

本機に登録されている USB-HDD の登録を取り消します。

USB-HDD や本体を廃棄・譲渡する場合などに行ってください。

- USB-HDD 登録を 1 台ずつ取り消す場合は、登録を取り消したい USB-HDD を接続してから実行してください。
- すべての USB-HDD 登録を取り消す場合は、「USB-HDD の取り外し」(→213) を行ったあと、実行してください。

- ① **スタート** を押す
- ② 「初期設定」を選び、**決定** を押す
●表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。
- ③ 「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、**決定** を押す
- ④ 「USB-HDD 設定」を選び、**決定** を押す
- ⑤ USB-HDD 登録を 1 台ずつ取り消す場合：「USB-HDD 登録の取り消し」を選び、**決定** を 3 秒以上押す
すべての USB-HDD 登録を取り消す場合：「すべての USB-HDD 登録の取り消し」を選び、**決定** を 3 秒以上押す
- ⑥ 「はい」を選び、**決定** を押す
- ⑦ 「実行」を選び、**決定** を押す
- ⑧ **決定** を押す
- ⑨ 登録を取り消した USB-HDD が本機に接続されている場合、該当の USB-HDD を取り外す

お知らせ

- 登録を取り消した USB-HDD の内容は、再生できなくなります。

SeeQVault フォーマットで使用する

以下の操作は、SeeQVault 対応の USB-HDD 接続時のみ可能です。

- チャンネル録画や予約録画する場合は、「チャンネル録画用フォーマット・通常録画用フォーマットで使用する」(→211)でUSB-HDDを登録してください。
- 複数のSeeQVault フォーマットのUSB-HDDを同時に接続して使用することはできません。

1 を押す

2 「初期設定」を選び、 を押す

- 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。

3 「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、 を押す

4 「USB-HDD 設定」を選び、 を押す

5 「USB-HDD 管理」を選び、 を 3 秒以上押す

6 「SeeQVault-HDD」を選び、 を押す

7 「SeeQVault 対応のフォーマット」を選び、 を押す

8 「はい」を選び、 を押す

9 「実行」を選び、 を押す

取り外しについて

USB-HDD の記録内容を保持したまま、一時的にUSB-HDD を取り外したい場合に、以下の手順を行ってから取り外してください。この操作を行わずに取り外した場合、記録内容を損失したり、予約録画が実行されないおそれがあります。

- 1  を押す
- 2 「初期設定」を選び、 を押す
 - 表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「HDD/ ディスク /USB-HDD 設定」を選び、 を押す
- 4 「USB-HDD 設定」を選び、 を押す
- 5 「USB-HDD の取り外し」を選び、 を押す
- 6 「通常録画用 USB-HDD」、「チャンネル録画用 USB-HDD」または「SeeQVault-HDD」を選び、 を押す
- 7 「実行」を選び、 を押す
- 8 USB-HDD を取り外す

お知らせ

- 本機ではセクタサイズが512 Bまたは4 KB(4096 B)以外のUSB-HDD は使用できません。

?

必要なとき

USB 機器について

接続できる USB 機器について

当社製のデジタルハイビジョンビデオカメラやデジタルカメラ、携帯電話などと接続することができます。動作確認済みの機器については、当社ホームページ(→3)をご覧ください。

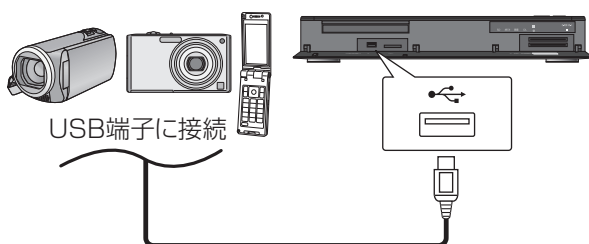
- USB機器(USBメモリー、USBリーダー&ライター、USB 電源を利用する機器など)によっては動作保証していないものがあります。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
- USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
- 接続に使う USB ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。

- 動画 (AVCHD、MP4) の取り込み (→136 ~ 138)
- 録画した番組の持ち出し (→156)
- 写真の再生 (→141) や取り込み (→145)

USB 機器を接続する



USB接続ケーブル

(USB機器の付属品など指定のケーブル)

背面端子も同様に接続することができます。

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。(機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合があります)

- 接続・設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。

取り外しについて

本体の“SD”ランプ (→25) 点滅中は、認識や読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりするおそれがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜いたりしないでください。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の移動などで電源プラグを抜くとき

- ① チャンネル録画設定画面（➔58 手順 2）で「開始・停止」を選び、チャンネル録画を停止する
 - ② 本体の【電源ON/OFF】を押して、電源を切る
 - ③ 電源プラグをコンセントから抜く
 - ④ HDD の回転が完全に止まってから（3 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています）
- 移動後、チャンネル録画設定画面で、「開始・停止」を選んで、チャンネル録画を再開してください。

お手入れ

本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー（RP-CL720A）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、「ディモラ / ミモラサービス設定（おとどけ動画設定）」（➔199）で機器登録を解除してから、「個人情報リセット」（➔185）を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

本機を修理依頼するとき

HDD の初期化（録画内容の消去）に関するお願い

HDD は大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行います。修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化（出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます）や交換が必要な場合があります。HDD の初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。（ただし、初期化しないと修理ができない場合があります）

USB-HDD に関するお願い

USB-HDD を SeeQVault フォーマット以外でお使いになっていた場合、本機の修理過程において USB-HDD の登録が取り消される場合があります。再度登録し直せばお使いいただけるようになりますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

?

必要なとき

取り扱いについて (続き)

HDD (ハードディスク)・USB-HDD

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。

特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

異常を感じたらすぐにダビング (バックアップ) を…

不具合箇所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

●HDD や USB-HDD が故障した場合は、記録内容 (データ) の修復はできません。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- ディスク
 - ・シールやラベルを貼らない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
 - ・印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
 - ・傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
 - ・以下のディスクを使わない。
 - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
 - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
 - ハート型など、特殊な形のディスク



●カード

- ・カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ (大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

ディスク、カード

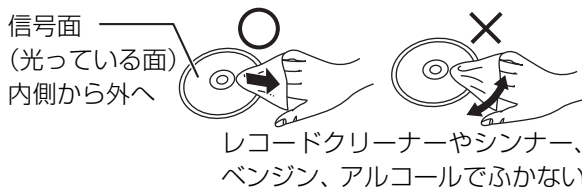
持ち方



信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。



信号面
(光っている面)
内側から外へ

レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナー (別売) のご使用をお勧めします。
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

無線方式リモコン^{※1} および内蔵無線 LAN の使用上のお願い

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、次の連絡先へお問い合わせください。

パナソニック DIGA（ディーガ）ご相談窓口（→ 裏表紙）

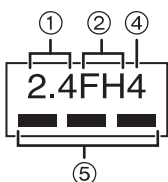
■ 周波数表示の見方

BRX6000 BRX4000

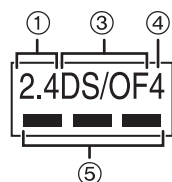
BRX6000 BRX4000

BRX2000

本機背面および付属リモコンのふた内部に記載



本機背面に記載



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 変調方式が FH-SS 方式
- ③ 変調方式が DSSS と OFDM 方式
- ④ 電波干渉距離 40 m 以下
- ⑤ 2.400 GHz ~ 2.483 GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

■ 無線認証 ID 表示について [BRX6000] [BRX4000]

無線装置（DBUB-P705）の認証 ID は以下の操作で画面に表示することができます。

「スタート」→「初期設定」→「設置設定」→「リモコン設定」→「認証 ID について」

■ 機器認定

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。

ただし、本機に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- 分解 / 改造する
- 定格銘板および証明ラベルを消す
- 5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

■ 使用制限

使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および無線方式リモコン^{※1} や内蔵無線 LAN の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- 日本国内でのみ使用できます。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。

無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク（SSID^{※2}）が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

- 磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。

一次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。

- 電子レンジ
- 他の無線 LAN 機器
- その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器（Bluetooth[®]対応機器、デジタルコードレス電話機、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機、パソコン周辺機器など）

– 802.11n(2.4 GHz/5 GHz同時使用可)の無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)をお選びください。5 GHz 帯での使用をお勧めします。また暗号化方式は「AES」にしてください。

- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。

※1 無線方式リモコンは [BRX6000] [BRX4000] のみ対応

※2 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送 (地上デジタル)

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

- 本機ではワンセグ放送を録画できます。(→154)
ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。(お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります)

BS デジタル放送 (BS デジタル)

放送衛星 (Broadcasting Satellite) を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOW などの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送 (CS デジタル)

通信衛星 (Communications Satellite) を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110 度 CS デジタル放送の放送事業者「スカパー！」*への加入申し込みと契約が必要です。
「スカパー！」*には、CS1 と CS2 の 2 つの放送サービスがあります。

※ 2012 年 9 月 29 日より「スカパー！e2」から「スカパー！」に名称変更しました。

お問い合わせ先

スカパー！カスタマーセンター (総合窓口)

0120-039-888 (携帯、IP 電話などもつながります)

受付時間 10:00 ~ 20:00 (年中無休)

スカパー！公式ホームページ

<http://www.skyperfectv.co.jp/>

お知らせ

- B-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。
- WOWOW など有料の放送局とのご契約は B-CAS カード単位での契約となります。テレビの B-CAS カードでご契約いただいている場合でも、本機付属の B-CAS カードのご契約が必要です。
- 本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

接続

220 ページ

接続の前に

- 各機器の電源コードをコンセントから抜いてください。
(本機の電源コードは、すべての接続が終わったあと、接続してください)
- 各機器の説明書もご覧ください。

設定

236 ページ

設定1 ~ 設定5 の設定終了後に

以下の症状が出る場合は、指定の設定を行ってください。

放送が受信できない/映りが悪い

アンテナの入力レベルが正常か確認する場合 ▶ 「受信アンテナ設定」を確認 (→186)

地上デジタル放送の映像が不安定になる場合 ▶ 「アッテネーター」を切り換える (→187)

リモコンを使うと他機器が同時に動作する

複数の当社製機器を使う場合 ▶ 「リモコン設定」(→200)

つながり方ナビゲーション

接続方法をわかりやすく説明しています。

<http://panasonic.jp/support/mpii/connectionnavi/>



接続と設定を行う



必要なとき

接続1 B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機へのB-CASカード（付属）の常時挿入が必要です。

本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

- B-CASカードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

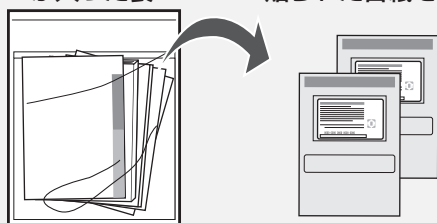
お問い合わせは（紛失時など）

（株）ビーエス・コンディショナル
アクセスシステムズ・カスタマーセンター
TEL：0570-000-250

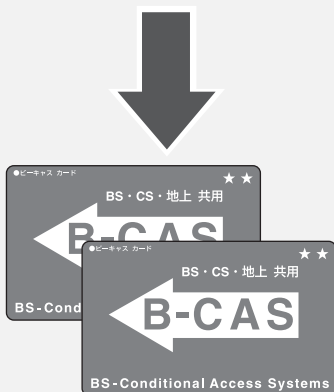
1 B-CASカードを台紙からはがす

取扱説明書
が入った袋

B-CASカードが
貼られた台紙を取り出す



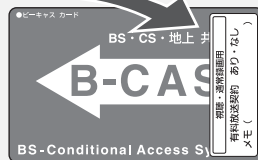
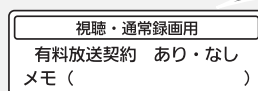
2枚のカードは同じものです。
どちらを視聴・通常録画用またはチャンネル録画用
に使用しても問題ありません。



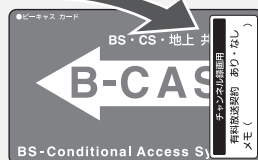
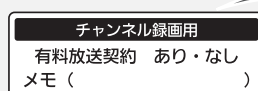
- B-CASカードに記載されている番号は、契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモ（→221）などに控えておいてください。
- 本機でも番号を確認できます。（→183）

2 B-CASカードに付属のB-CASカードシールを貼る

視聴・通常録画用

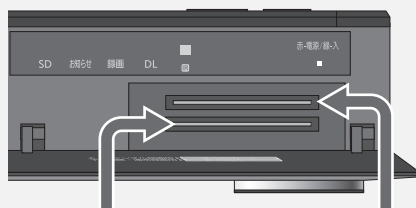


チャンネル録画用



3 B-CASカードを挿入する

貼ったシールに合わせてB-CASカードを挿入してください。



本機前面



視聴・通常録画用



チャンネル録画用

挿入 / 取り出しをするときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。

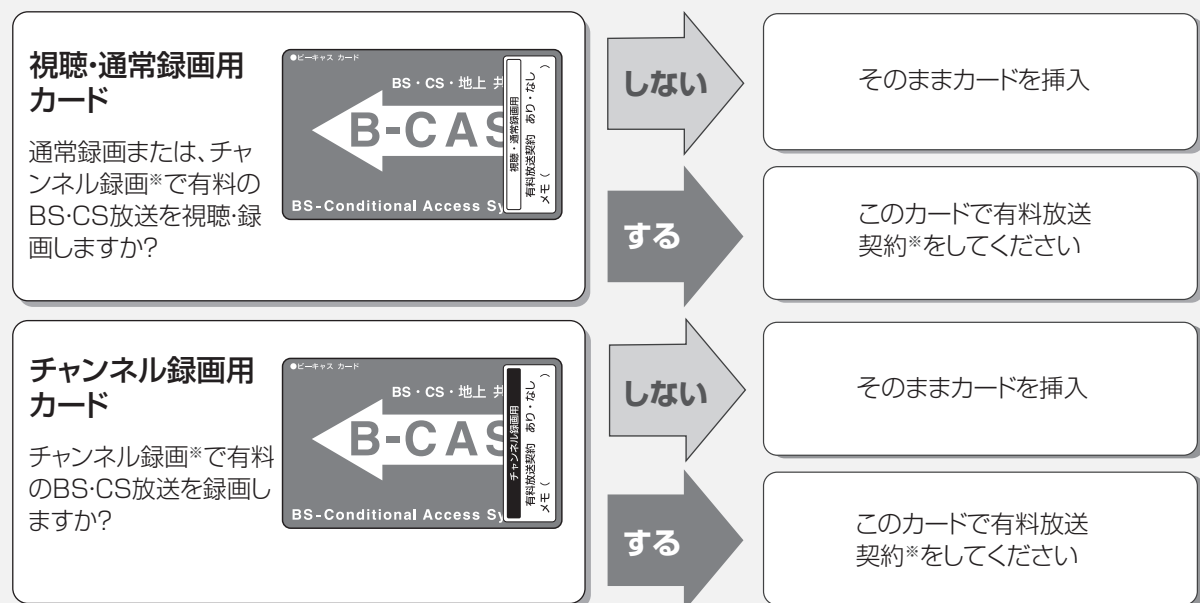
お知らせ

- カードを取り出すときは、電源コードを抜いた状態で、引き抜いてください。
- B-CASカード以外は絶対に挿入しないでください。

B-CAS カードの契約について

本機に付属の2枚のB-CASカードは、視聴・通常録画用に1枚、チャンネル録画用に1枚を使用します。有料のBS・CS放送をご利用になるには、ご利用状況にあわせて2枚のB-CASカードそれぞれに有料放送事業者との契約が必要になります。

- 契約カードをすでに保有している場合は、本機付属のB-CASカードへ契約の移動、もしくは契約の追加をしてください。詳しくは有料放送事業者にお問い合わせください。



接続と設定を行う

※本機では3チャンネルまで有料のBS・CS放送をチャンネル録画することができます。追加チャンネル(→60)を登録すると、録画できるチャンネル数をさらに2チャンネル追加できます。追加チャンネルでBS・CS有料放送を追加して録画する場合は、視聴・通常録画用カードに契約してください。

■B-CAS カードメモ

各カードに割り当てた内容を記入しておく、と、契約内容の確認に便利です。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

視聴・通常録画用 カード番号： ご契約内容：	チャンネル録画用 カード番号： ご契約内容：
--	--

●お知らせ

- 通常録画とチャンネル録画で同じ有料放送の番組を同時に録画する場合、視聴・録画用とチャンネル録画用のB-CASカード2枚ともに契約が必要になります。
- NHKへのBS受信機設置の連絡には、視聴・通常録画用B-CASカードのカード番号(カード裏面記載)でご連絡ください。
(視聴・通常録画用のB-CASカードスロットに連絡したカードと違うB-CASカードを挿入した場合、NHK-BS設置のメッセージは消えません。挿入するスロットは間違えないでください)
- [BRX6000]** チャンネル録画のうち4つの地上デジタル専用チューナーの受信には、B-CASカードを使用せずに録画できるTRMP方式を採用しています。
・TRMP方式とは、地上デジタル放送のコンテンツ権利保護専用方式です。
詳しくは、下記サイトをご覧ください。
一般社団法人地上放送RMP管理センター(TRMP) <http://www.trmp.or.jp/>

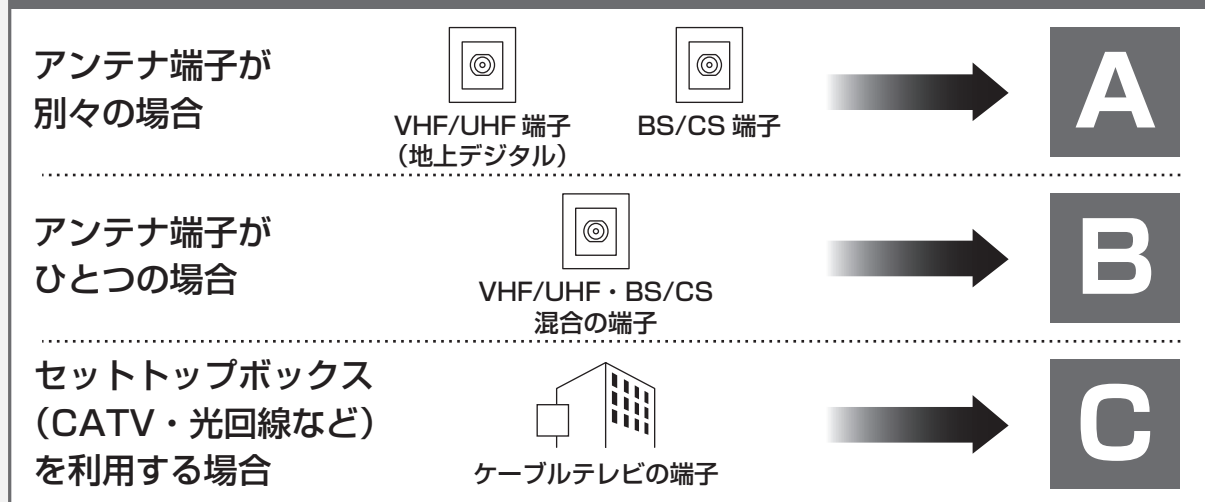
接続2 テレビやアンテナと接続する

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線を接続してください。

- すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでください。

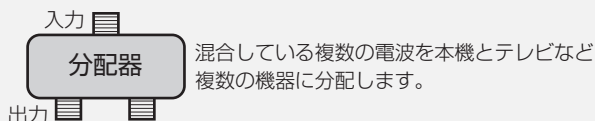
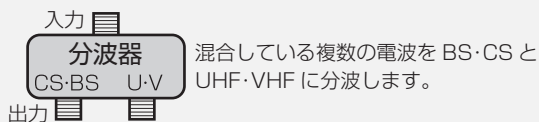
電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

接続するご家庭のアンテナ端子に合わせて接続を行ってください。



お知らせ

- アンテナ線をアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないように F 型接栓をご使用になることをお勧めします。F 型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付けすぎると、本機内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本機とテレビに BS・110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- 接続状態により、分波器や専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。



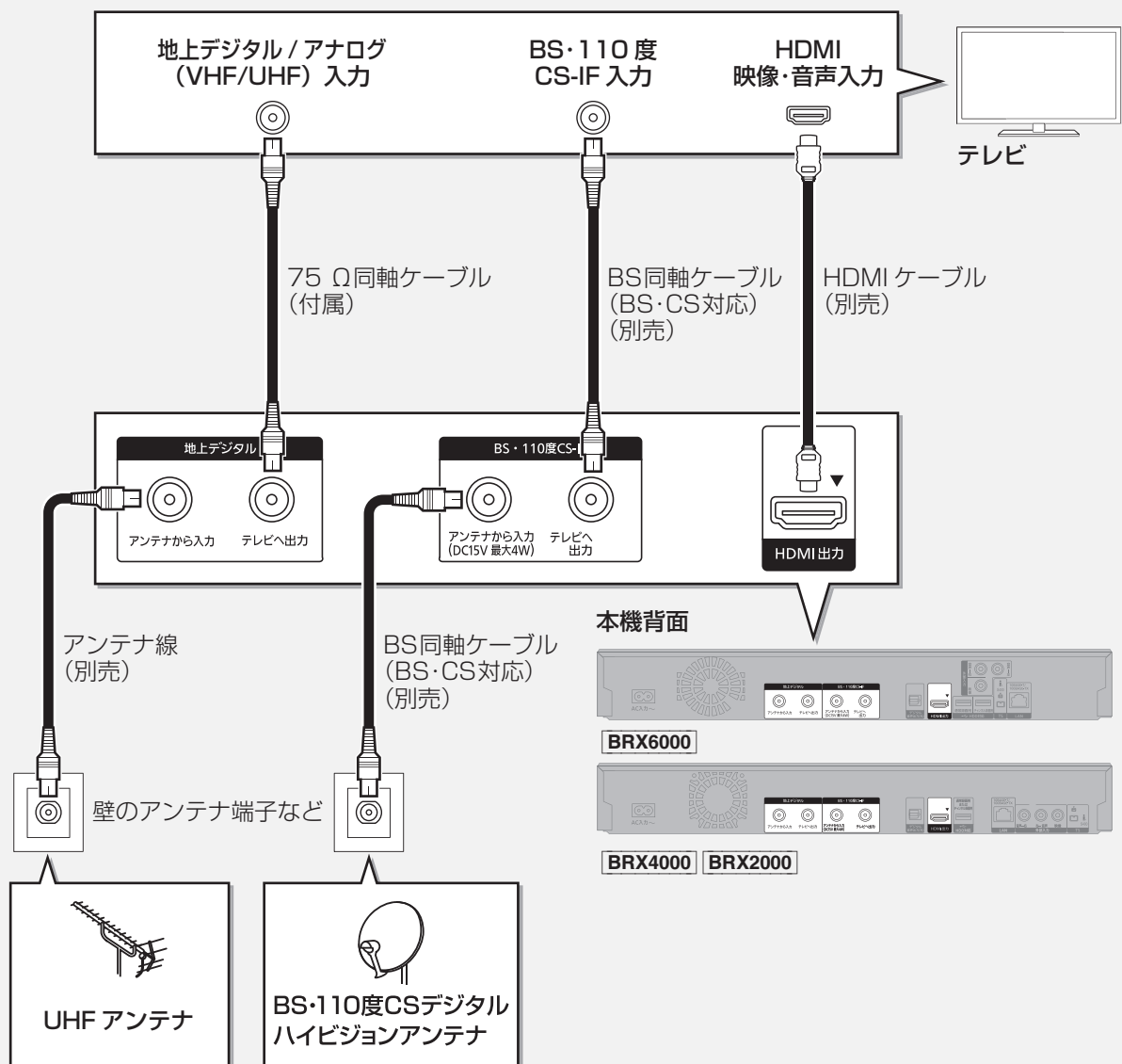
- HDMI ケーブルは、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
- HDMI ケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル（別売）が必要です。

本機はアナログ出力端子がありません。HDMI 端子のないテレビでは、ご利用になれません。

A

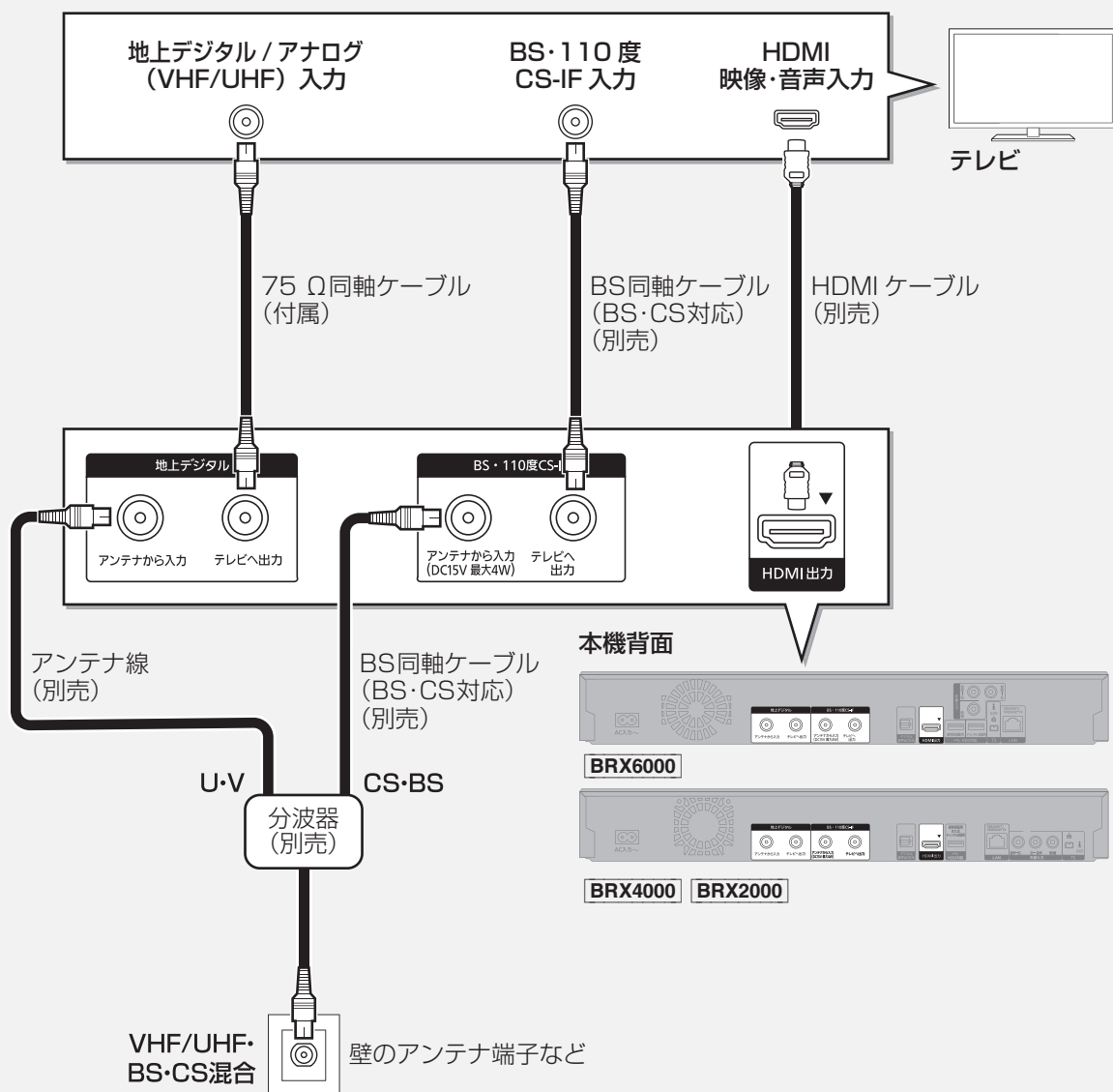
アンテナ端子が別々の場合



接続と設定を行う

B

アンテナ端子がひとつの場合



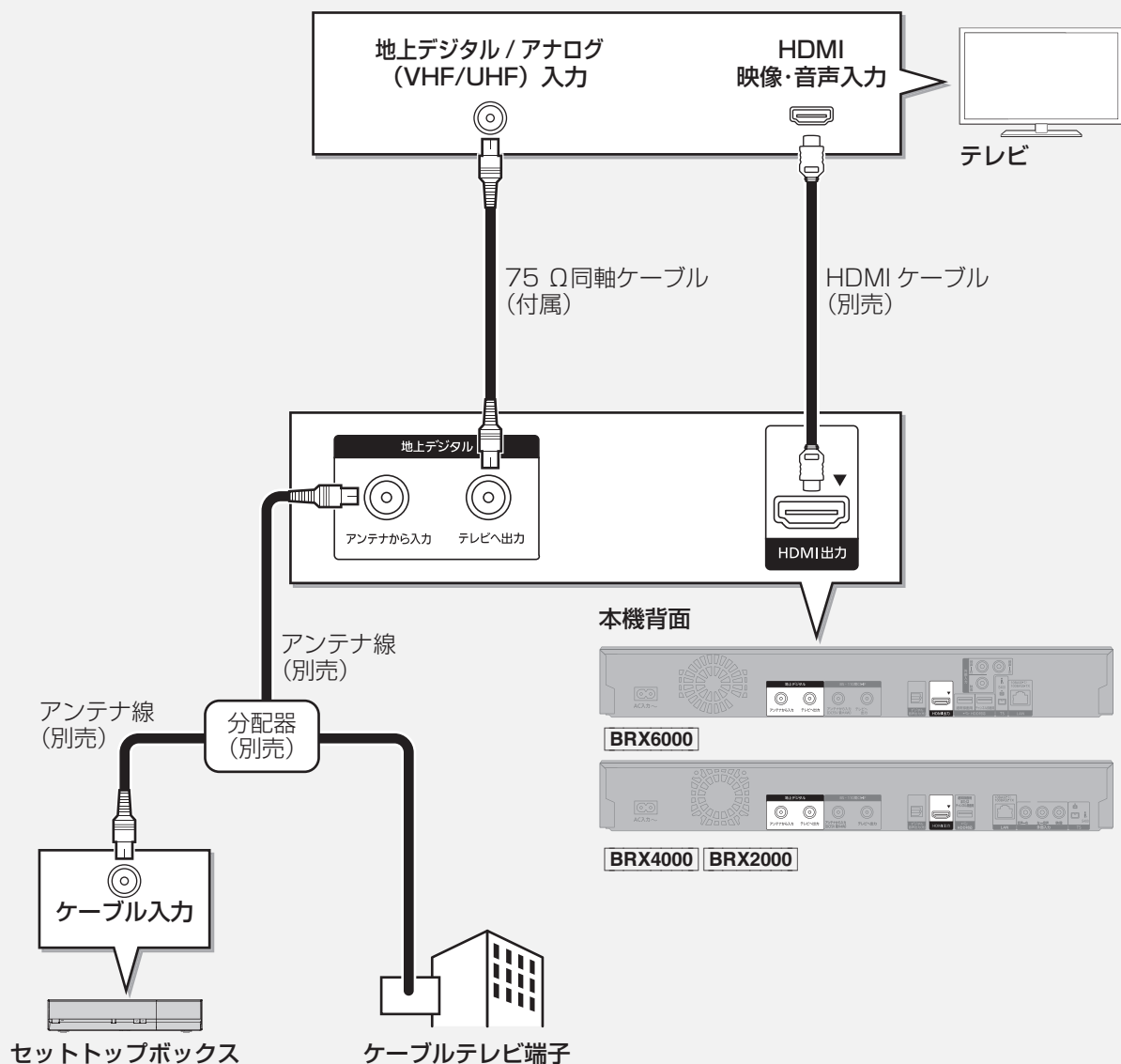
C

セットトップボックス（CATV・光回線など）を利用する場合

CATVの接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約のCATV会社にご相談ください。

このページでは、CATVの地上デジタル放送の信号方式がパススルー方式^{*}の場合の接続を紹介しています。

※ CATV会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。



●BS・110度CSデジタル放送を受信するには

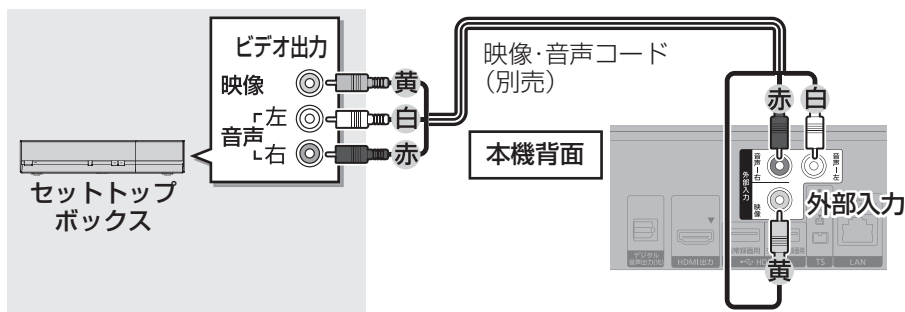
BS・CSデジタル放送を受信できる衛星アンテナをBS・110度CS-IF入力端子に接続するか、226ページの接続を行ってください。



接続と設定を行う

接続2 テレビやアンテナと接続する (続き)

パススルー方式でない場合や、パススルー方式でも本機で受信できない放送を録画するためには、下記の接続が必要です。

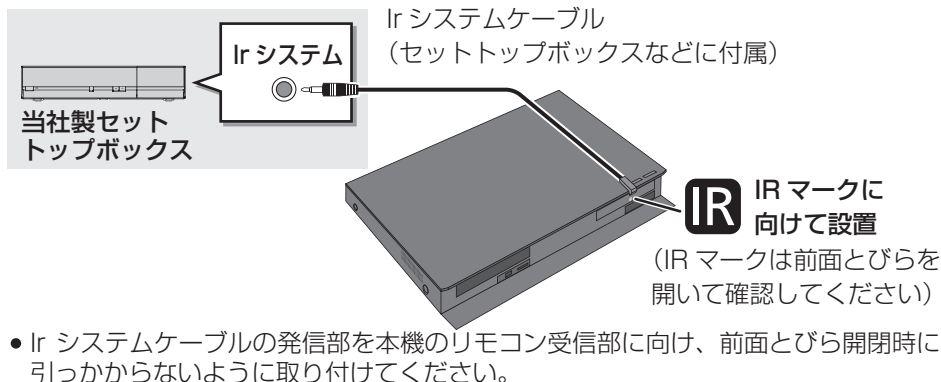


CATV から連動して予約録画するために

映像・音声コード で接続する

上記接続に加えて、Ir システムの接続をすると、CATV から予約録画の信号を本機のリモコン受信部に送り、連動操作することができます。(CATV のIrシステムがブルーレイディスクレコーダーに対応していない場合、予約録画できません)

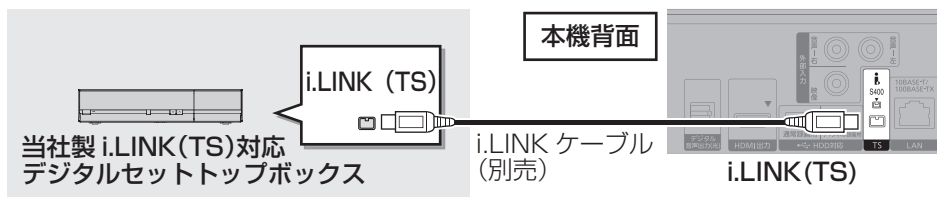
Ir システムケーブルの設置例



- Ir システムケーブルの発信部を本機のリモコン受信部に向け、前面とびら開閉時に引っかからないように取り付けてください。

i.LINK ケーブル で接続する

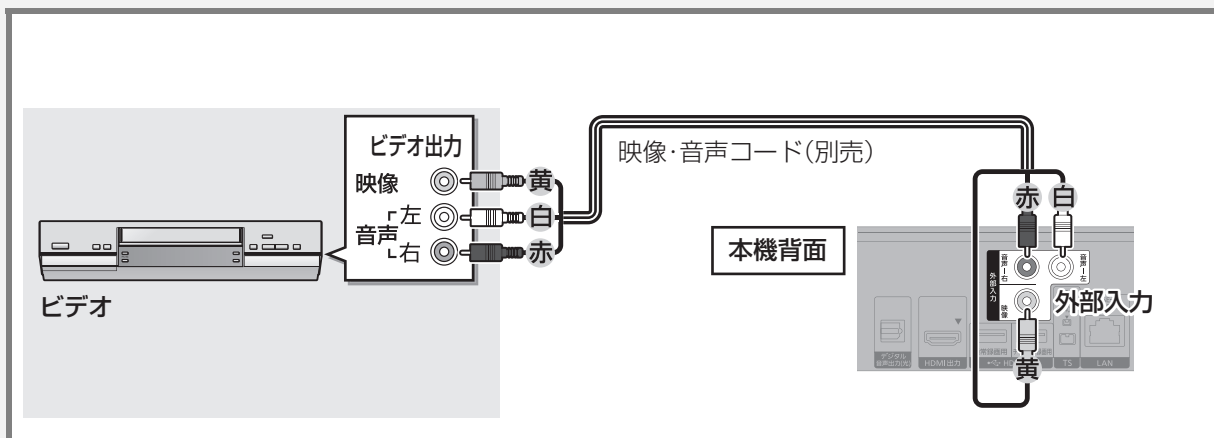
- ハイビジョン放送の番組をそのままの画質で予約録画できます。(→129)
- セットトップボックスが i.LINK 対応していない場合、予約録画できません。
- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。



LANケーブルで 接続する

- ハイビジョン放送の番組をそのままの画質で予約録画できます。
- セットトップボックスが LAN ケーブルでの予約録画に対応している必要があります。対応機器については当社ホームページ (→3) をご覧ください。接続方法は (→231、232)

接続3 ビデオと接続する



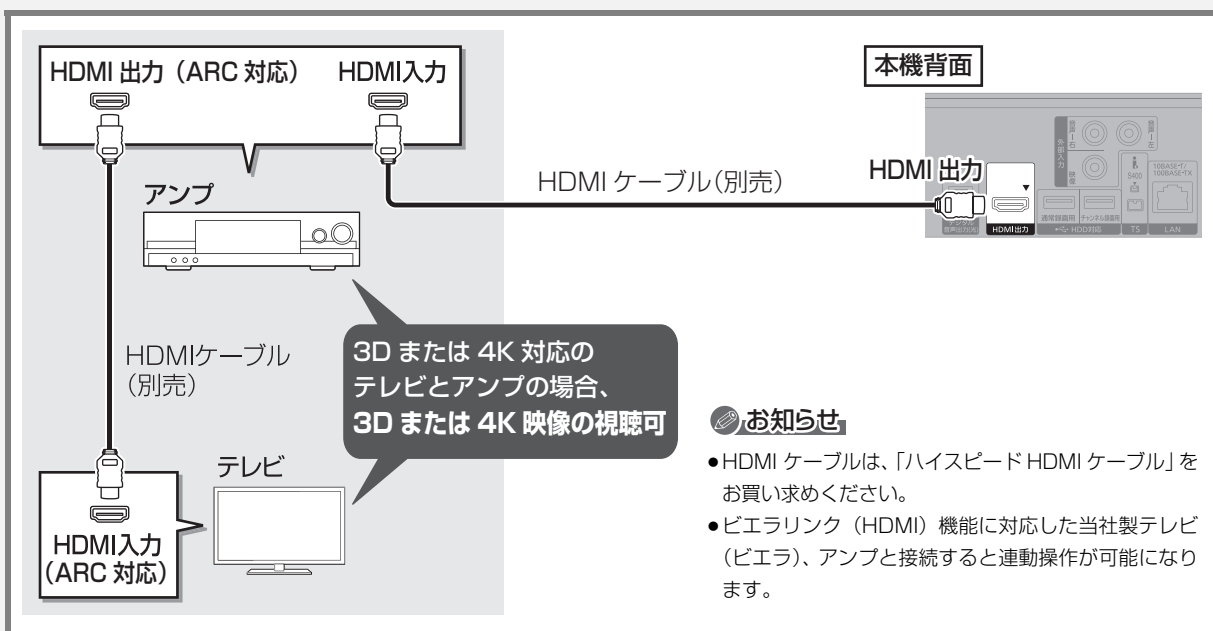
接続と設定を行う

接続4 アンプと接続する

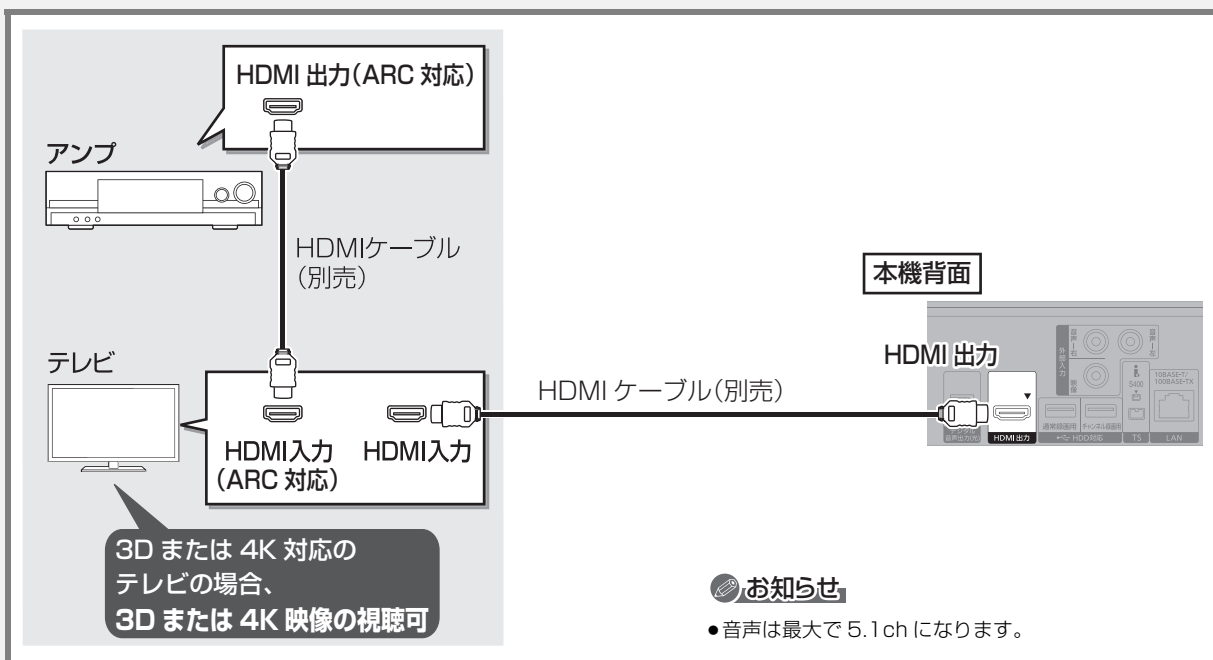
アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

🔊 デジタル出力される音声と接続・設定の関係 (→263)

HDMI 端子で接続する



3D または 4K 非対応のアンプと接続して、3D または 4K 映像を視聴するには



🔊 お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」の表示がない ARC 非対応のテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

デジタル音声端子で接続する

本機背面



光デジタルケーブル(別売)



形状を合わせて差し込む
(ケーブルを急な角度で折り曲げ
ないでください)



お知らせ

- 3D 対応テレビと本機を HDMI ケーブルで接続すると、3D 映像を視聴することができます。



接続と設定を行う

接続5 ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。
ご家庭のネットワーク環境に合わせて、接続（→231～233）と、かんたんネットワーク設定（→242～246）を行ってください。

接続機器について

DLNA対応機器

お部屋ジャンプリnk
(DLNA)機能を使う

▶ 168

スカパー！プレミアムサービス 対応チューナー※1

スカパー！プレミアムサービス
の番組を録画する

▶ 126

CATVセットトップボックス※1

ネットワークを使って
予約録画する

▶ 128

ビエラ※2など

ネットワークを使って
ダビングする

▶ 132

パソコン

ファイル共有機能を使う/
自宅のパソコンから録画
などの操作をする

▶ 165、170

ドアホン・センサーカメラ

ドアホンやセンサーカメラ
の映像を録画する

▶ 166

※1 スカパー！プレミアムサービス対応チューナーやCATVセットトップボックスは、安定した録画を実行するために、LANケーブルを使って接続してください。（→231、232）

※2 USB-HDD録画対応ビエラやHDD内蔵ビエラ

インターネットにつなぐと

●インターネットを使用するサービスや機能もご利用の場合は、232、233ページの接続をしてください。

アクトビラなどのサービス
を楽しむ

▶ 162

BD-Live対応のディスクを
楽しむ

▶ 102

1ヵ月の番組表や注目番組
を受信する

▶ 65、69

外出先から番組の視聴や
録画予約をしたり、録画番
組の詳細情報を見る

▶ 204

写真や動画を送受信する

▶ 148

デジタル放送の情報サービ
スを利用する

デジタル放送のさまざまな情報配
信サービスを利用できます。

音声操作機能を拡張する

音声操作で番組検索や、文字入力か
ができるようになります。

▶ 37、180



お知らせ

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- カテゴリ 5 (CAT5) 以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター (アクセスポイント) に接続してください。

各機器と直接接続する

有線

本機背面

LAN
(10BASE-T/
100BASE-TX)



LAN ケーブル (別売)

LANケーブル以外(電話の
モジュラーケーブルなど)
を挿入しないでください。
故障の原因になります。

接続機器



接続に関する詳細は、接続する機器の
取扱説明書をご覧ください。

- LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。

各機器と直接無線 LAN で接続することができます。

無線

(シンプルWi-Fi)

本機



内蔵無線 LAN

無線 LAN

接続機器

DLNA対応機器
お部屋ジャンプリンク
(DLNA)機能を使う



接続に関する詳細は、接続する機器の
取扱説明書をご覧ください。

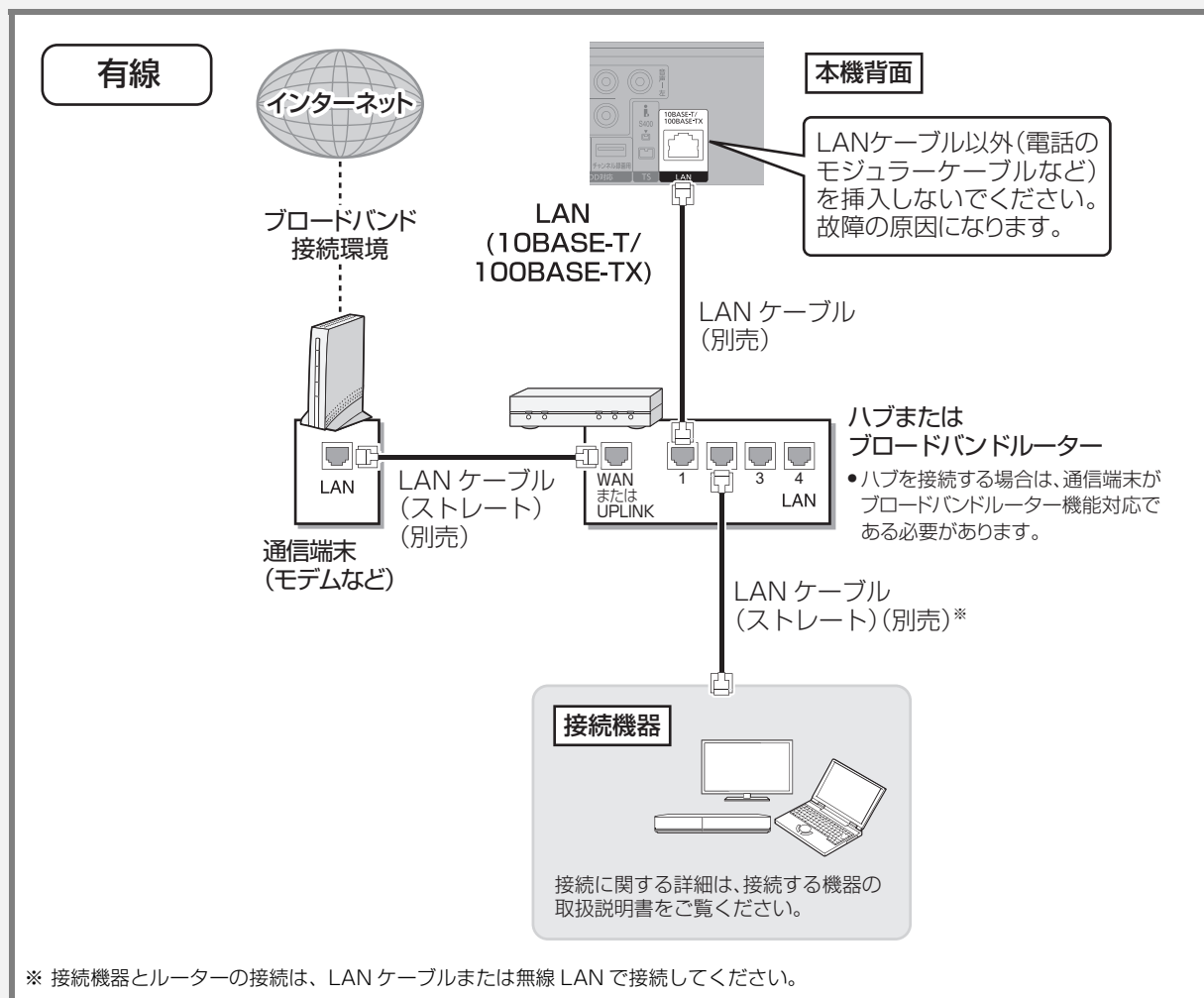
お知らせ

- この接続では、お部屋ジャンプリンク (DLNA) 機能 (➡168) やスマートフォンでの操作/予約登録のみ利用できます。



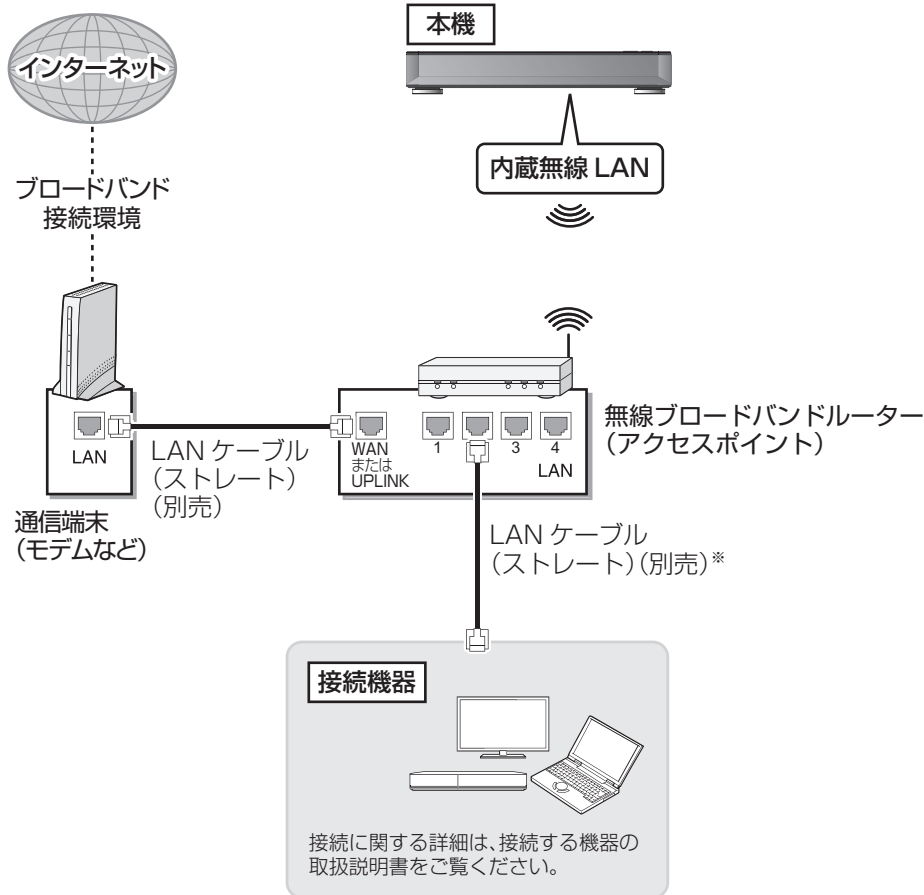
接続と設定を行う

ハブまたはブロードバンドルーターを使って各機器と接続する





無線



※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

お知らせ

- 無線 LAN をご使用時は、LAN ケーブル(有線)での使用はできません。
- 802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) については、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/bd/>
- スカパー! プレミアムサービス対応チューナーや CATV セットトップボックスは、安定した録画を実行するために、LAN ケーブルを使って接続してください。(→231、232)



接続と設定を行う

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続と設定をしてください。

- 接続する機器の説明書もご覧ください。
- 契約により、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- 使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- 本機は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- 有線接続の場合、100BASE-TX 対応のものをお使いください。無線接続の場合、802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) 対応のものをお使いください。
- ルーターのセキュリティ設定によっては、本機からインターネットに接続できない場合があります。必要な情報については下記サポート情報ホームページをご覧ください。

本機を操作できるパソコン (2015 年 3 月現在)

OS :

Microsoft® Windows Vista® Home Basic/

Home Premium/Business/Ultimate

Microsoft® Windows® 7 Home Premium/Professional/
Ultimate

www ブラウザ :

Internet Explorer® 8.0 以上

動作確認済みのパソコンや携帯電話などの機器や環境については、ホームページにて順次ご案内いたします。

詳しくは、下記サポート情報ホームページをご覧ください。

(携帯電話からはご利用いただけません)

<http://panasonic.jp/support/bd/>

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
 - ・ 他人に見られたり、教えたりしないでください。
 - ・ 第三者が本機の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
 - ・ 修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し (→204)、再設定してください。
 - ・ 第三者に譲渡したり廃棄する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話やパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

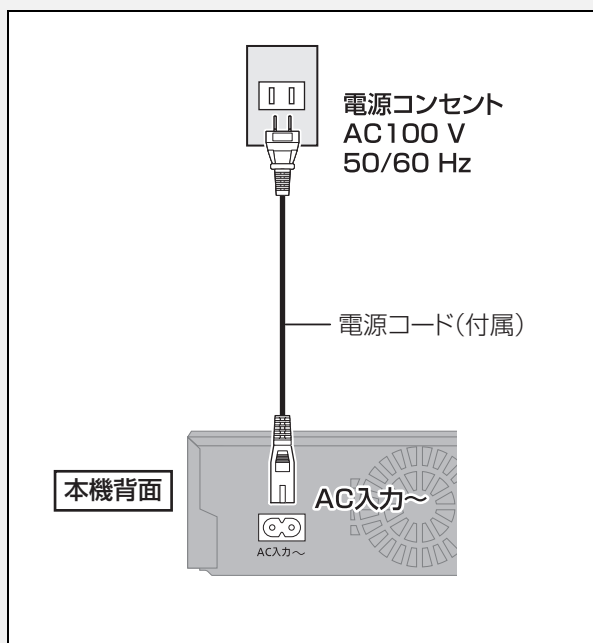
対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。(→204)

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器 (モデム、ルーターやハブなど) や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- 本機がお手元でない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。



⚠ 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。(電源「切」時の消費電力→253)

- 電源コードを抜いている場合：
 - ・自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
 - ・テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。



接続と設定を行う

設定1 リモコン設定をする BRX6000 BRX4000

BRX6000 **BRX4000** 初めて電源を入れたときに自動的に「リモコン設定」の画面が表示されます。

リモコンの受信方式は「無線方式」で設定します。

- 後で「リモコン設定」(→201) から、「赤外線方式」に変更することもできます。

🔧 無線方式リモコンの使用上のお願い (→217)

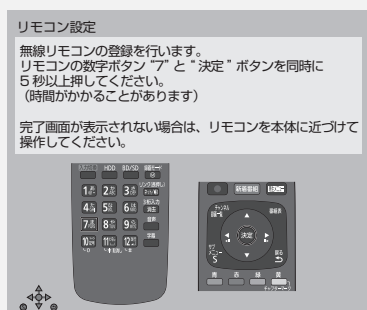
BRX2000 リモコン設定はありません。「かんたん設置設定」から設定を始めてください。(→237)

設定中は電源コードを抜いたり、電源を切らないでください。

1 リモコンの を押して、電源を入れる

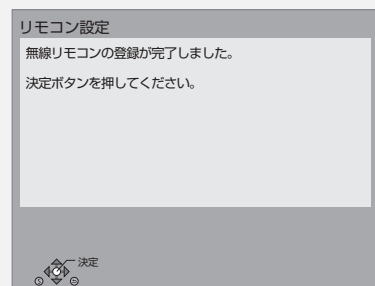
2 リモコンを本体に近づけて

決定 と **7** を同時に 5 秒以上押す



- 「クイックスタート」(→191) は「入」に固定されます。
- 上記画面が表示されない場合は、お知らせ(→右記)をご覧ください。

3 **決定** を押す



Ir システム (→226) をお使いになる場合、「他機器連携 (Ir システム)」(→200) の設定が必要です。

リモコン登録終了後、引き続き「かんたん設置設定」(→237) を行うことができます。

🔧 リモコン設定を変更するには (→200)

クイックスタートとは

電源「切」状態からの起動を高速化します。

- テレビの種類によっては、表示が遅れることがあります。

ただし、「入」に設定すると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。

- 待機時消費電力が増えます。
- 内部の温度上昇を防ぐため、内部冷却用ファンが低速で回ることがあります。
- クイックスタートモードを「標準」に選んだ場合、テレビの無信号自動オフ機能が働かないときがあります。

🔧 お知らせ

- テレビに映像が映らない場合は
 - ・テレビの入力を確認してください。(→35「本機の映像をテレビに映す」)
 - ・接続を確認してください。(→220 ~ 235)
 - ・以下の操作を行うと映像が映ります。
 - ① **【決定】** と **【青】** と **【黄】** を同時に5秒以上押す
 - ・本体の“お知らせ”ランプが点滅します。
 - ② **【▶】** を数回押して、本体の“SD”ランプを点滅させる
 - ③ **【決定】** を3秒以上押す
 - ・本体の“SD”ランプと“DL”ランプが点滅したあと、ランプは消灯します。

🔧 設定を中止するには **【戻る】** を押す

- 映像が映っても、手順2の画面が表示されない場合、「リモコン設定」(→200) を行ってください。
- リモコンが動かない場合は (→251)

設定2 かんたん設置設定をする

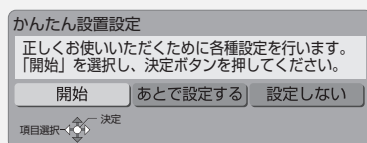
BRX2000 初めて電源を入れたときに自動的に「かんたん設置設定」の画面が表示されます。

設定中は電源コードを抜いたり、電源を切らないでください。

BRX6000 **BRX4000** 「リモコン設定」(→236) のあと
下記手順2へ

1 リモコンの電源のボタンを押して、電源を入れる

2 「開始」を選び、決定を押す

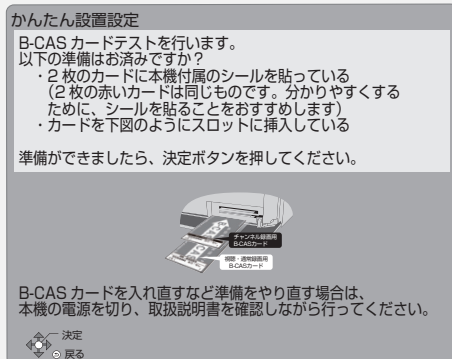


以下の手順でかんたん設置設定を行うこともできます。

- ① **スタート** を押す
- ② 「放送設定」を選び、決定を押す
 - 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。
- ③ 「かんたん設置設定」を選び、決定を押す

画面の指示に従って設定を行ってください。

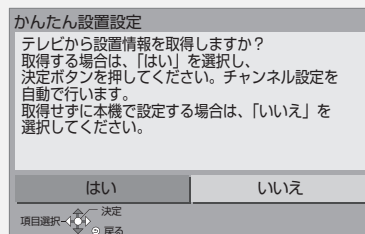
B-CAS カードテスト



- NG の場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、B-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

テレビから設置情報を取得

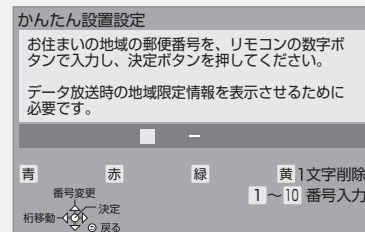
ビエラリンク (HDMI) Ver.2以降に対応した当社製テレビと接続している場合、テレビから設置情報を取得することができます。



設置情報の取得に失敗する場合、「いいえ」を選んで「地域設定」から設定を進めてください。

地域設定

お住まいの地域の郵便番号、都道府県、市外局番を設定します。



接続と設定を行う

地上デジタル放送チャンネルの設定

受信帯域選択

チャンネルスキャンの帯域を設定します。
通常は「UHF」を選択してください。

ケーブルテレビ（CATV）等で、地上デジタル放送が受信できなかったときに「全帯域」を選ぶと、受信できることがあります。
（詳しくはCATV会社にて確認ください）

決定ボタンを押すと、チャンネルスキャンを開始します。地上デジタルチャンネル設定リストが表示されましたら、内容を確認の上、よろしければ「次へ」を選択し、決定ボタンを押してください。

UHF 全帯域

項目選択 ← 決定
戻る

地上デジタルチャンネル設定 / アンテナレベル確認 アッテネーター 切

Pc	CH	チャンネル名	種類	アンテナレベル
1	011	NHK総合・東京	テレビ	80 高
2	021	NHKEテレ東京	テレビ	80 高
3	----	----	----	----
4	041	日本テレビ	テレビ	80 高
5	051	テレビ朝日	テレビ	80 高
6	061	TBS	テレビ	80 高
7	071	テレビ東京	テレビ	80 高
8	081	フジテレビジョン	テレビ	80 高
9	091	TOKYO MX	テレビ	80 高
10	----	----	----	----
11	----	----	----	----
12	121	放送大学	テレビ	80 高

NHK総合・東京 受信レベルは良好です。

項目選択 ← 決定
戻る (終了)

チャンネル設定修正 / アンテナレベル確認
修正する / 確認する 次へ

ふだん見ている放送局が表示されていない場合やチャンネルの割り当てが違うときなどは、「修正する／確認する」を選んでください。（→189「マニュアル」）

衛星アンテナ設定

かんたん設置設定

マンションなどの共同アンテナで受信する場合は「共同受信」を、個人でアンテナを設置している場合は「個別受信」を選択し、決定ボタンを押してください。
衛星アンテナを接続していない場合は「接続しない」を選択し、決定ボタンを押してください。

共同受信 個別受信 接続しない

項目選択 ← 決定
戻る

「個別受信」を選んだ場合は、テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側で衛星アンテナの電源を「入（オン）」にする設定をしてください。

クイックスタートの設定 BRX2000

かんたん設置設定

「クイックスタート」の設定を行います。
・「入」に設定すると、電源[切]状態からの起動が速くなります。
・「切」に設定すると、電源[切]状態での消費電力が少なくなります。

「入」もしくは「切」を選択し、決定ボタンを押してください。

入 切

項目選択 ← 決定
戻る

「入」を選んだ場合、「標準」または「省エネ」を選んでください。

かんたん設置設定

次に、クイックスタートのモードを選択します。

「省エネ」は「標準」より少し起動が遅くなりますが、消費電力は少なくなります。

「標準」もしくは「省エネ」を選択し、決定ボタンを押してください。

標準 省エネ

項目選択 ← 決定
戻る

●「ビエラリンク録画待機」の設定画面が表示された場合、「入」を選んでください。

かんたん設置設定終了後、引き続き
「リモコンのテレビ操作設定」(→239)
を行うことができます。

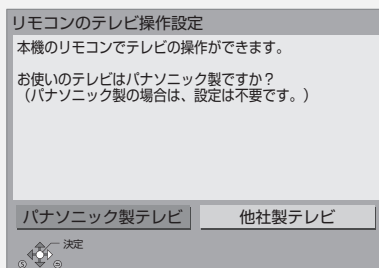
お知らせ

●デジタル放送を受信できない場合、「かんたん設置設定」終了後、日時設定を行ってください。（→190）

設定3 リモコンのテレビ操作設定をする

「かんたん設置設定」(→237、238)のあと
テレビに合った番号を設定すると、リモコンの
[テレビ電源]、[テレビ入力切換]、[音量+,-]でテ
レビを操作できます。
また、[テレビ操作]を押すと「テレビ操作モード」に
なり、他のボタンでもテレビ操作ができるようになり
ます。(→240)

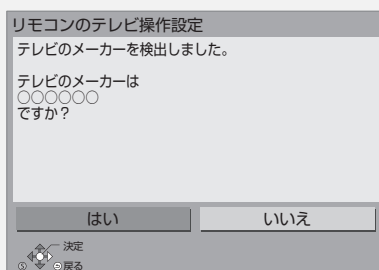
1 「パナソニック製テレビ」または 「他社製テレビ」を選び、決定を押す



●「他社製テレビ」を選んだ場合:(→下記手順2へ)

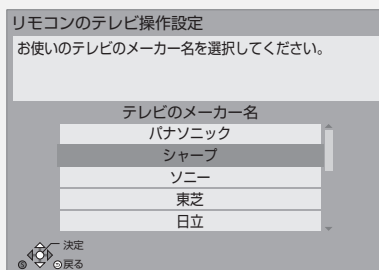
2 テレビのメーカー確認画面が表示された場合： 「はい」または「いいえ」を選び、決定を押す

例)



●お使いのテレビメーカーと異なるメーカー名が
表示される場合、「いいえ」を選び、メーカー選
択画面(→下記)で正しいメーカー名を選んで
ください。

テレビのメーカー選択画面が表示された場合：
メーカー名を選び、決定を押す



3 リモコンを本機に向け、

BRX6000
BRX4000

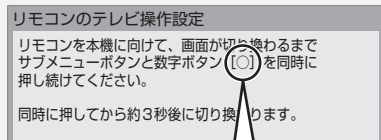


BRX2000



Sを押しながら、1あ～12新のいずれかを3秒以上押したま
まにする

例)



ここに表示されている数字のボタンを
押ししてください。

●画面が切り換わったら、リモコンをテレビに向
け、音量ボタンを使って、テレビ操作ができる
か確認してください。
正しく動作しない場合「メーカー番号を入力し
て設定する場合」(→240)をお試しください。

4 決定を押す

接続と設定を行う

設定3 リモコンのテレビ操作設定をする (続き)

以下の手順でリモコンのテレビ操作設定を行うこともできます。

- 1 **スタート** を押す
- 2 「初期設定」を選び、**決定** を押す
●表示がない場合は [◀▶] [▶▶] でページを切り換えてください。
- 3 「設置設定」を選び、**決定** を押す
- 4 「リモコン設定」を選び、**決定** を押す
- 5 「リモコンのテレビ操作設定」を選び、**決定** を押す

お知らせ

●メーカー番号を入力して設定する場合

「リモコンのテレビ操作設定」(→239)を行っても正しく動作しない場合、以下の操作で設定してみてください。

[戻る] を押しながら、[1] ~ [10] を使って、2桁のメーカー番号 (→下記) を入力してください。

例) 01 の場合…[10] → [1] 10 の場合…[1] → [10]
11 の場合…[1] → [1] 12 の場合…[1] → [2]

メーカー名	メーカー番号
パナソニック	01、10、22、24、30、31
アイワ	18
NEC	06、15
三洋	07、16
シャープ	02、11、21、33
ソニー	03
東芝	04、27、32
パイオニア	13、28
JVC/ビクター	14
日立	05、20
富士通ゼネラル	09
フナイ	19、29
三菱	08、12、25
LG	26

番号を複数持つメーカーの場合は、番号を順に入力して、テレビ操作できる番号に合わせてください。

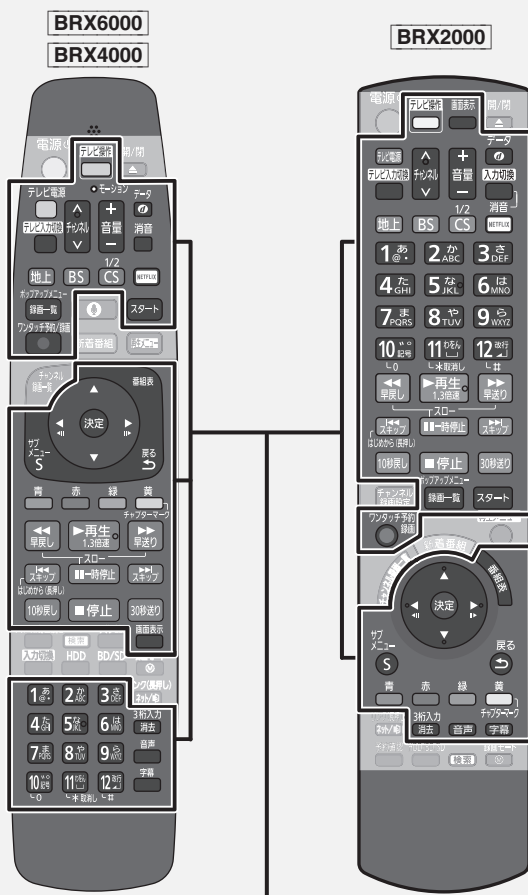
設定が完了すると、[テレビ操作] が2回点滅します。

テレビ操作モードにする

1 リモコンの **テレビ操作** を押す

- ボタンが点灯し、テレビ操作モードになります。

2 下記のボタンでテレビを操作する



テレビの操作に使用できるボタン

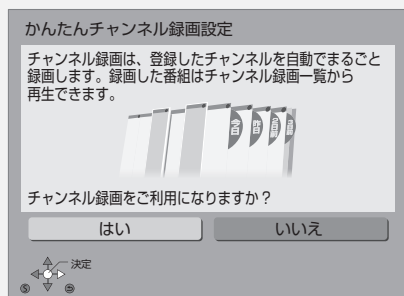
[テレビ電源]、[テレビ入力切替]、[音量 +, -] は、[テレビ操作] を押さなくてもテレビを操作できます。

お知らせ

- 再度[テレビ操作]を押すか、約30秒間何も操作しなかった場合、[テレビ操作]は消灯し、テレビ操作モードは終了します。
- 機種によっては、操作できないボタンもあります。
- 登録したテレビのリモコンにないボタンは動作しません。また、機種によってはボタンの名称が異なる場合があります。
- 三洋、JVC/ビクター、NEC、富士通ゼネラル、アイワ製のテレビは[テレビ電源]、[テレビ入力切替]、[チャンネル へ、へ]、[音量 +, -] 以外は対応していません。

設定4 かんたんチャンネル録画設定をする

「リモコンのテレビ操作設定」(→239、240)のあと



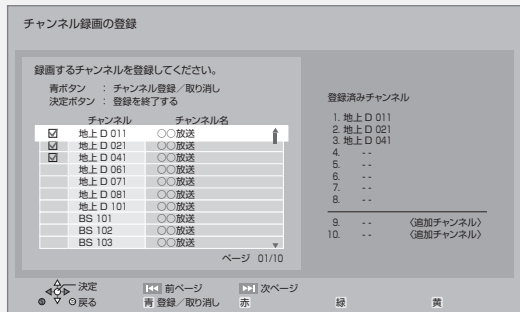
画面の指示に従って設定を行ってください。

チャンネル録画設定をあとからやり直したい場合は、以下の操作を行ってください。

- ① **BRX6000** チャンネル録画設定 **BRX2000** チャンネル録画設定 **BRX4000** を押す
- ② チャンネル録画設定を変更する (→58 手順2へ)

録画するチャンネルの登録

録画するチャンネルを登録します。



- ① 録画するチャンネルを選び、[青]を押す
- ② 選び終わったあと、[決定]を押す
- ③ 「登録を終了する」を選び、[決定]を押す

下記のチャンネル数を超過して登録した場合、追加チャンネル(→60)が登録されます。

BRX6000 : 8 チャンネル

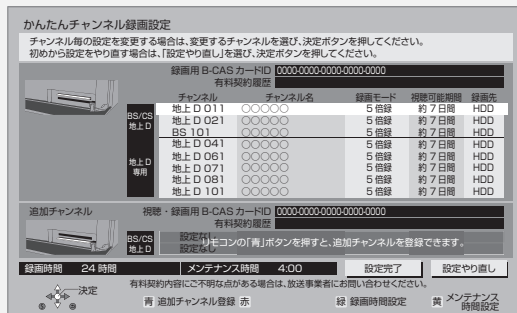
BRX4000 **BRX2000** : 4 チャンネル

追加チャンネルを登録すると上記のチャンネル数に最大2チャンネル追加して登録することができますが、BDビデオ再生中は追加チャンネルの録画が中断されるなどの制限が発生します。

🔧 追加チャンネル登録時の制限について (→60)

設定内容の確認

例)



●各ボタンで以下の操作もできます。

- ・[赤] : 通常録画用 HDD の容量の一部を、チャンネル録画用に割り当てる (→59)
(**BRX6000** 追加チャンネル登録時のみできます)
- ・[緑] : 録画時間を変更する (→59)
- ・[黄] : メンテナンス時間を変更する (→59)

🔧 設定をやり直すには

「設定やり直し」を選び、[決定]を押す
(録画するチャンネルの選択画面に戻ります)

🔧 設定を終了するには

「設定完了」を選び、[決定]を押す

かんたんチャンネル録画設定終了後、引き続き「かんたんネットワーク設定」(→242)を行うことができます。

接続と設定を行う

設定5 かんたんネットワーク設定をする

「かんたんチャンネル録画設定」(→241)のあと

はじめに、本機で楽しめるネットワーク機能が紹介されます。

決定 を数回押して画面を進め、
ネットワーク設定を開始する

LAN ケーブルを接続している場合は、自動的に有線の設定で開始します。

画面の指示に従って設定を行ってください。

以下の手順でかんたんネットワーク設定を行うことができます。

🔗 リンクボタンから設定する

- 1 **リンク(長押し)** を 3 秒以上押す
- 2 表示される画面の指示に従って、ネットワーク設定を行う

🔗 スタートボタンから設定する

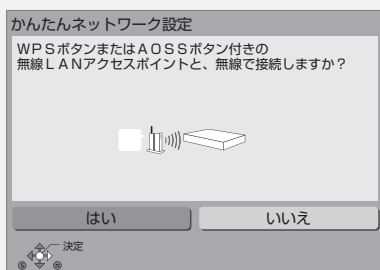
- 1 **スタート** を押す
- 2 「ネットワーク設定」を選び、**決定** を押す
●表示がない場合は[◀◀][▶▶]でページを切り換えてください。
- 3 「かんたんネットワーク設定」を選び、**決定** を押す
- 4 表示される画面の指示に従って、ネットワーク設定を行う

📎 お知らせ

- インターネットに接続できる状態で、かんたんネットワーク設定を行うと、以下のようになります。
 - ・ネットワークに接続されたすべての機器から本機にアクセスできるようになります。機器ごとにアクセス制限をしたい場合は、「お部屋ジャンプリンク (DLNA) / スカパー! Link (録画) 設定」(→203)を行ってください。
 - ・「クイックスタート」(→191)が「入」になり、待機時の消費電力が増えます。
- 接続機器側での設定が必要になる場合があります。詳しくは接続機器側の説明書をご覧ください。
- かんたんネットワーク設定をやり直すと、スカパー! プレミアムサービスや CATV の登録済みの予約は、正しく実行されなくなる場合があります。設定前に、登録済みの予約を取り消し、設定後に再度予約登録を行ってください。

こんな画面が表示された場合

無線 LAN アクセスポイントとの接続確認



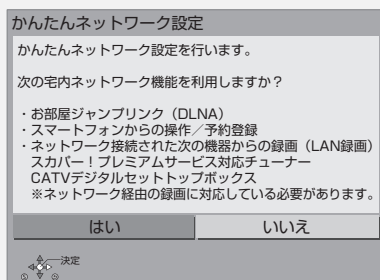
無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が WPS（Wi-Fi Protected Setup™）に対応している場合は、「はい」を選ぶと、簡単に設定することができます。

「いいえ」を選んだ場合や、ネットワークに問題がある場合は、「その他のネットワーク設定」(→ 下記) の画面が表示されます。

画面の指示に従って設定してください。

- WPSとは、無線LAN機器との接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

その他のネットワーク設定

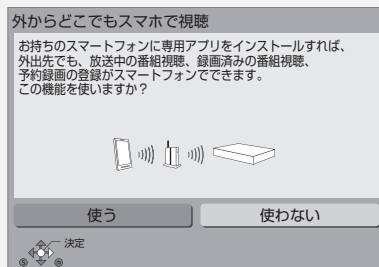


ネットワークをご利用にならない場合や WPS で接続しない場合、ネットワークに問題がある場合は上記の画面が表示されます。

画面の指示に従って設定してください。

外からどこでもスマホで視聴

例)



スマートフォンを以下のように接続すると、スマートフォンから番組視聴などができます。

- 無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）と無線接続

お知らせ

- スマートフォンに専用のアプリケーションをインストールする必要があります。

ディモラ・ミモラ会員登録

ネットワークの設定が完了すると、ディモラ・ミモラの会員登録の画面が表示されます。

ディモラやミモラのサービスの登録について

本機では、ディモラやミモラのサービスに一定期間お試しで登録して利用することができます。(2015年3月現在)

お試しの期間が終了後、引き続きすべての機能を利用したい場合は、パソコンなどからディモラやミモラに会員登録する必要があります。すでに CLUB Panasonic に会員登録している場合は、本機からディモラやミモラに会員登録することができます。本機でのお試しの登録や会員登録については、画面の指示に従って行ってください。

●お試しの登録は「ディモラ/ミモラサービス設定 (おとどけ動画設定)」(→199) で解除することができます。

ディモラやミモラのサービスについては、下記ホームページをご覧ください。

パナソニック株式会社

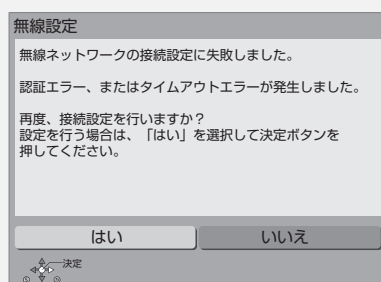
テレビ番組情報ウェブサービス

ディモラ：http://dimora.jp/

ミモラ：http://me-mora.jp/

無線ネットワークの接続確認

例)



無線ネットワークの接続に失敗した場合

表示	ここを確認してください
他の機器との競合が発生しました。	●しばらく待ってから、再度実行してください。
タイムアウトエラーが発生しました。	●無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) 側のMACアドレスなどの設定 ●電波が弱いことが考えられます。 ・本機の位置や角度を調節してください。
認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	●無線設定のネットワーク名 (SSID) や暗号化キー ●しばらく待ってから、再度実行してください。
デバイスエラーが発生しました。	●再度設定しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ネットワークに問題があるとき

以下のような画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

例)

かんたんネットワーク設定

無線ネットワークへの接続 : ○
IPアドレスの設定 : ○
ルーターへの接続 : ○
インターネットへの接続 : ×

サーバーが見つかりません。(B019)

問題の原因と対応は取扱説明書をご確認ください。
再度、ネットワークの接続確認を行う場合は「再確認」を選択して決定ボタンを押してください。

再確認

中止

決定
戻る

有線接続で「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
LAN ケーブルの接続：× IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	LAN ケーブルの接続 (→232)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (→198)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●ハブやルーターの接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (→198)
LAN ケーブルの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました (B020)」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」(→198) やルーターなどの設定 「サーバーが見つかりません (B019)」表示時 ●「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」の設定 (→198) ●ルーターなどの設定



接続と設定を行う

無線接続で「×」の表示が出た場合

表示	ここを確認してください
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：× ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (→198)
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：× インターネットへの接続：×	●無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の接続と設定 ●「IP アドレス」の確認 (→198)
無線ネットワークへの接続：○ IP アドレスの設定：○ ルーターへの接続：○ インターネットへの接続：×	「サーバーへの接続に失敗しました (B020)」表示時 ●サーバーの混雑やサービスの停止の可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。 ●「プロキシサーバー設定」 (→198) やルーターなどの設定 「サーバーが見つかりません (B019)」表示時 ●「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」の設定 (→198) ●ルーターなどの設定

お知らせ

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。5 GHz をお使いください。
- 無線設定 (→197) の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上（受信レベル 30 以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本機や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、かんたんネットワーク設定 (→242) を再度行ってください。
- お部屋ジャンプリンク機能 (→203) をご利用になるには、802.11n (5 GHz) をお使いのうえ、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の取扱説明書をご覧ください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。
- USB 3.0 対応のUSB-HDDを使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。無線 LAN をご使用の場合は、802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーターで接続し、5 GHz で使用してください。 (→252)

こんな表示が出たら

本体のランプの状態に応じて、下記の項目を確かめてください。



●下記の操作をしてもランプが消えない場合、お買い上げの販売店またはお近くの「修理ご相談窓口」(→268)へ修理を依頼してください。

本体のランプの状態	調べるところ・原因・対策
	●本体とリモコンのリモコンモードが異なっているため、本機を操作することができません。以下の操作で本体とリモコンの設定を一度お買い上げ時の状態に戻してください。 ① 電源「切」時に、本体の [▲開/閉] を押す ●ディスプレイが開きます。 ② 本体の [▲開/閉] を 10 秒以上押す ●ディスプレイが閉まります。 ③ リモコンの [決定] と [1] を 3 秒以上押す - リモコンモードが「1」になります。 必要に応じて設定を変更してください。(→201、202) ●リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機以外のリモコンでは操作できない場合があります。(リモコン下部に「IR6」の表示があるリモコンで操作できます)
	●ダウンロード実行中またはソフトウェアの更新中です。“DL”ランプが消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。ランプが消えるまで(約30分間)お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンや側面の吸気孔をふさがないでください。
	●本機が正常に動作しません。本体の [電源切/入] を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	●本体動作に異常が確認されたため、正常に戻すための復旧動作中です。ランプが消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。ランプが消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	●アンテナ電源の異常です。アンテナ線内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。

接続と設定を行う

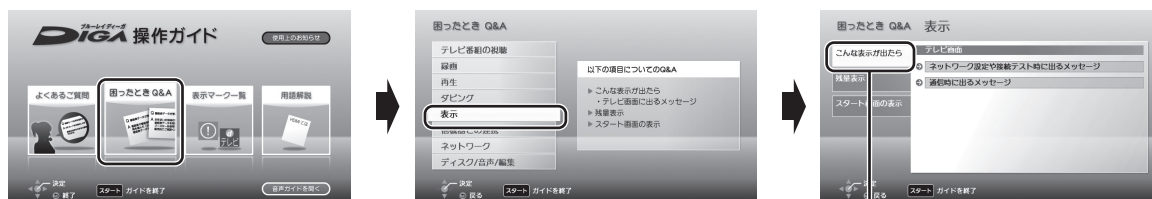
? 必要なとき

こんな表示が出たら (続き)

本体のランプの状態	調べるところ・原因・対策
SD お楽しみ 録画 DL 消灯 消灯 点滅 消灯	● 通常録画の予約録画が始まる前の約 3 分前です。 ● 通常録画やチャンネル録画ができない状態です。 ・ B-CAS カードが抜けていませんか。

メッセージについては、本体の「操作ガイド」をご覧ください。

- ① **スタート** を押す
- ② **[▲][▼][◀][▶]** で「全機能から選ぶ」を選び、**決定** を押す
 - 表示がない場合は **[◀◀][▶▶]** でページを切り換えてください
- ③ 「設定する・その他の機能」を選び、**決定** を押す
- ④ 「操作ガイド」を選び、**決定** を押す



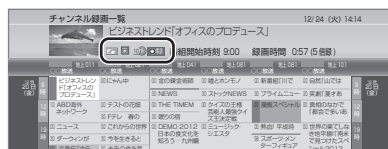
この項目を確認してください。

表示マークについても「操作ガイド」をご覧ください。

チャンネル録画一覧画面

予約一覧画面

録画一覧画面

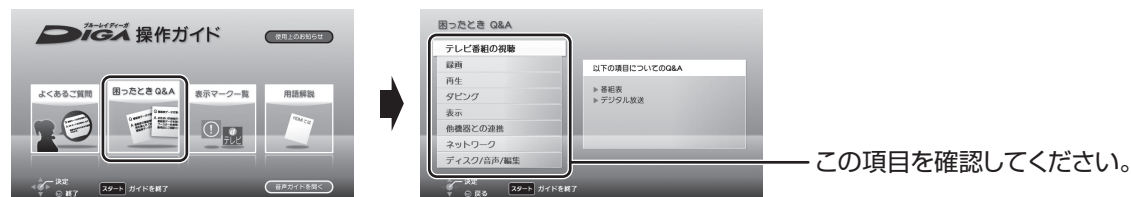


故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな!？」の内容は、本体の「操作ガイド」や当社ホームページ（➔3）も併せてご覧ください。

- ① [スタート] を押す
- ② 「操作ガイド」を選び、[決定] を押す
 - 表示がない場合は [◀◀][▶▶] でページを切り換えてください。

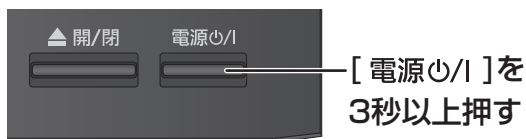


以下の動作音は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
 - 電源切 / 入時の音
 - 以下の状態のときに、本機から動作音が聞こえる場合があります。
 - ・電源切 / 入時
 - ・番組表データを受信中
 - ・ソフトウェア更新中または番組のダウンロード中
 - ・録画中（チャンネル録画を含む）
 - ・録画モード変換時、持ち出し番組作成時
 - ・「ピエラリンク録画待機」（➔195）の「入」時
 - ・「家じゅう録画一覧設定」（➔199）の「自動更新」の「入」時
 - ・メンテナンス時
- 本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受け付けなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。
 - ① 本体の [電源 〇/I] を押し、電源を切る
 - 切れない場合は、約3秒間押したままにすると強制的に切れます。（チャンネル録画は中断します）



（それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

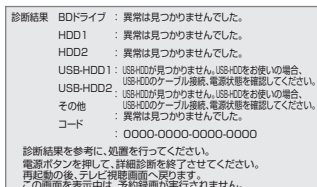
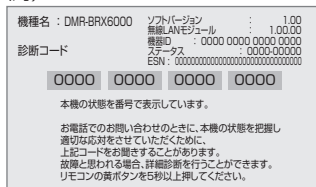
- ② 本体の [電源 〇/I] を押し、電源を入れる
（起動に時間がかかる場合があります）
- 上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- リモコンが正しく働いていないことがあります。（➔251）

診断コードについて

本機では、故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

- ① [スタート] を押す
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、[決定] を押す
- ③ 「設定する・その他の機能」を選び、[決定] を押す
- ④ 「メール / 情報・診断コード」を選び、[決定] を押す
- ⑤ 「診断コード」を選び、[決定] を押す
- ⑥ [黄] を 5 秒以上押す
- ⑦ 「はい」を選び、[決定] を押す
 - 診断を開始します。

- 診断コードですべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。



？
必要
な
と
き

故障かな!?(続き)

電源

電源が入らない

- 電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
- 停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の【電源 〇/I】を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

- 「自動電源〔切〕」(→190)やピエラリンク(HDMI)の電源オフ連動(→160)、「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

- ピエラリンク(HDMI)をお使いのときは、テレビから電源を入れたり予約をすると、本機の電源が自動的に入ります。

USB-HDDの電源が切れない

- 本機の設定によっては、電源を「切」にしてもUSB-HDDの電源が切れない場合があります。

ピエラリンクが働かなくなった

- 本体の【電源 〇/I】を約3秒間押して電源を切り、テレビの主電源を切ったあと、HDMI ケーブルを抜き差ししてください。(チャンネル録画は中断します)

本体

本機が熱い

- 本機使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースを空けてください。
本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
 - ① 本体の【電源 〇/I】を3秒以上押す
・本体の電源が切れます。
 - ② 【決定】と【青】と【黄】を同時に5秒以上押す
・本体の“お知らせ”ランプが点滅します。
 - ③ 【▶】を押して、本体の“DL”ランプを点灯させる
 - ④ 【決定】を押す
・本体の“SD”ランプと“DL”ランプが点滅したあと、ランプは消灯します。(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)ディスクを取り出し、お買い上げの販売店へご相談ください。

ボタン操作

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(→201、202)
・【BRX6000】 【BRX4000】 本機のリモコン設定を「無線方式」にしても解決することができます。
ただし、リモコンと本体との無線通信が不安定になったときは、リモコンが一時的に赤外線方式の信号を発信することがあります。その場合は、他の当社製機器のリモコンモードを変更してください。

リモコン操作の反応が遅い

- 【BRX6000】 【BRX4000】 本機とリモコンの受信方式が異なります。再度リモコン受信設定を行ってください。(→200)

リモコンが働かない

- 以下の場合は、本体とリモコンのリモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。

- ・電池を交換した。
- ・本体の“お知らせ”ランプが6回点滅している。
- ・**BRX6000** **BRX4000** 使用しているリモコンの受信方式が分からない。

この場合、以下の操作で本体とリモコンの設定を一度お買い上げ時の状態に戻してください。

- ① 電源「切」時に、本体の**【▲ 開 / 閉】**を押す
 - ディスクトレイが開きます。
- ② 本体の**【▲ 開 / 閉】**を10秒以上押す
 - ディスクトレイが閉まり、メッセージが表示されます。
- ③ リモコンの**【決定】**と**【1】**を3秒以上押す
 - リモコンモードが「リモコン1」になります。必要に応じて設定を変更してください。
(→201、202)

- **BRX6000** **BRX4000**

無線方式でリモコンを使用している場合：

- ・本機に登録しているリモコンでのみ操作できます。
(→200)
- ・電子レンジやコードレス電話機などの電波の干渉により、操作が効きにくくなることがあります。電波を使う機器(→217)からは本体およびリモコンをできるだけ離してください。
- ・USB 3.0 対応の USB-HDD を使用する場合、本機左前にある無線方式のリモコン受信部からできるだけ離して設置してください。(→210)
- ・電池を交換すると、リモコンの設定が赤外線方式に戻るときがあります。リモコンの**【決定】**と**【9】**を同時に3秒以上押すと、無線方式に切り換わります。

- 赤外線方式でリモコンを使用している場合：

- ・リモコンモードを「4」～「6」に設定している場合、本機のリモコン以外では操作できないときがあります。(リモコン下部に「IR6」の表示があるリモコンで操作できます)
- ・本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- ・リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色付きガラスも含む)などがありませんか。

- リモコンでテレビ操作をできない場合は、以下のことを確認してください。

- ・**【テレビ操作】** が点灯していますか。
- ・テレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(→240)

録画

「契約期限が切れています。予約できません。(8902)」の表示が出て予約録画ができない

- 有料放送で契約が有効な B-CAS カードが挿入されているか確認してください。
- 契約にかかわらず期間限定でお試し視聴できる有料放送局があります。そういった放送局の場合、一度その放送局を視聴するとメッセージが消えて予約録画ができることがあります。

テレビ画面や映像

**本機からの映像が映らない
テレビに「信号がありません。」が表示される**

- 本体の**【電源 〇/I】** を押し、電源を入れてください。
- HDMI ケーブルが認識されていない場合があります。本機の電源が「切」の状態、HDMI ケーブルを抜き差ししたあと、もう一度本機の電源を入れてください。

本機を接続したら、テレビの映りが悪くなった、または映らなくなった

- アンテナ線の接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 以下の場合は、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
 - ・かんたん設置設定で衛星アンテナの設定を「個別受信」にしているとき (→238)
 - ・「アンテナ電源」を「入」にしているとき (→184)
- 「アンテナ出力」(→184) を「入」にしてください。「切」の場合、本機の電源「切」時に BS・110 度 CS アンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送を視聴できません。
- 一度「アッテネーター」(→187) の設定を切り換えてみてください。



必要
な
と
き

故障かな!?(続き)

アンテナレベルが改善して、テレビの映りがよくなっても、アンテナレベル不足の表示が消えない

- 「かんたん設置設定」(→237)をやり直してください。

表示していた画面が消える

- 「テレビ画面の焼き付き低減機能」(→194)が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

画面の上下左右に黒帯(グレー帯)が表示される
画面の横縦比がおかしい

- 「画面モード切替」(→104)で調整してください。(テレビのアスペクト設定でも調整できます)
- 「TV アスペクト」(→195)で調整してください。

再生時の映像に残像が多い

- 「ノイズ低減」(→104)の各項目を「O」にしてください。

映像が映らない
映像が乱れる

- 接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。(→220 ~ 235)
- 以下の場合、故障ではありません。
 - ・気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
 - ・BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害
 - ・3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ
 - ・HDCP (不正コピー防止技術) 非対応機器に接続した場合は映像が映りません。HDCP 対応機器でも接続した機器(パソコンのディスプレイなど)によって正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
 - ・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
 - 「24p 出力」(→196)が「オート」の場合、24p 素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
 - 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
 - ・「24p/30p 変換出力」(→105)の設定を変更したとき
 - ・「Deep Color 出力」(→196)もしくは「コンテンツタイプフラグ」(→196)を「切」にしてください。
- テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
接続するテレビのHDMI端子を他のHDMI端子に変更すると改善される場合があります。

- 4K 出力時、HDMI ケーブルによっては映像が乱れる場合があります。4K 出力対応の HDMI ケーブルをお使いください。

「コード EC22」「コード EC23」が表示される

- 本機での放送受信に問題が発生している場合などに表示されます。
DIGA (ディーガ) ご相談窓口 (→裏表紙) までお問い合わせください。

ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

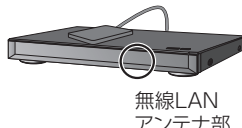
- 通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
- ブロードバンドルーターのリセットを行ってみてください。
- ネットワークに関しては、本体の操作ガイド (→2) や当社ホームページ (→3) をご覧ください。

お部屋ジャンプリンク・インターネット接続が不安定になる

- USB3.0 対応の USB-HDD を使用すると、2.4 GHz 帯への電波干渉によって通信速度が低下したり、通信が不安定になることがあります。
以下のように設置してください。
 - ・無線LANをご使用の場合は、802.11 n(2.4 GHz/5 GHz同時使用可)の無線ブロードバンドルーターで接続し、5 GHz で使用する
 - ・ご使用の無線ブロードバンドルーターが 2.4 GHz のみの場合
 - USB-HDD は本機の上には置かない
 - USB-HDD は本機右前にある無線 LAN アンテナ部からできるだけ離して設置する



無線LAN
アンテナ部



無線LAN
アンテナ部

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

BRX6000

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 51 W

待機時（クイックスタート「切」）：

電源ランプ消灯時・約 0.1 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：

電源ランプ消灯時・約 13.0 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」標準）：

電源ランプ点灯時・約 14.0 W^{*1 *2}

BRX4000

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 33 W

待機時（クイックスタート「切」）：

電源ランプ消灯時・約 0.15 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：

電源ランプ消灯時・約 6.5 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」標準）：

電源ランプ点灯時・約 8.0 W^{*1 *2}

BRX2000

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 31 W

待機時（クイックスタート「切」）：

電源ランプ消灯時・約 0.15 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」省エネ）：

電源ランプ消灯時・約 6.5 W^{*1}

待機時（クイックスタート「入」標準）：

電源ランプ点灯時・約 8.0 W^{*1 *2}

※ 1・地上デジタルアッテネーター：「入」

- ・BS・110度CS デジタルアンテナ電源：「切」
- ・BS・110度CS デジタルアンテナ出力：「切」
- ・外部接続端子（LAN、USB、TS）：未接続
- ・無線 LAN：未接続
- ・録画未実行時
- ・リモコン受信方式：赤外線

※ 2・HDMI 出力解像度：1080i

待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など本機が動作している場合の消費電力は増えます。

年間消費電力量	
区分名 ^{*3}	—
年間消費電力量 (表示値は JEITA 基準による算出式を基に算出した参考値です)	BRX6000 42.8 kWh/ 年
	BRX4000 26.8 kWh/ 年
	BRX2000 26.5 kWh/ 年
省エネ基準達成率 ^{*3}	—

※ 3 ブルーレイディスクレコーダーについては、「区分 / 省エネ基準」が設定されていないため記載しておりません。

■ 本体

寸法：

BRX6000

幅 430 mm×高さ 68.0 mm×奥行 309 mm(突起部含まず)
幅 430 mm×高さ 68.0 mm×奥行 319 mm (突起部含む)

BRX4000

幅 430 mm×高さ 61.0 mm×奥行 199 mm(突起部含まず)
幅 430 mm×高さ 61.0 mm×奥行 209 mm (突起部含む)

BRX2000

幅 430 mm×高さ 59.0 mm×奥行 199 mm(突起部含まず)
幅 430 mm×高さ 59.0 mm×奥行 209 mm (突起部含む)

質量：BRX6000 約 4.9 kg BRX4000 約 3.2 kg BRX2000 約 2.9 kg

許容周囲温度：5℃～40℃

許容相対湿度：10%～80%RH（結露なきこと）

■ テレビジョン方式

アンテナ受信入力：

地上デジタル入力：

90 MHz～770 MHz 75 Ω（VHF：1～12 CH、
UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH）

BS・110度CSデジタル-IF入力：

1032 MHz～2071 MHz（IF入力周波数）75 Ω

電源供給：DC 15 V、最大4 W

■ 入出力端子（映像・音声を除く）

TS入力端子：

4ピン：1系統（IEEE1394 準拠）、端子は背面 1 装備

SDメモリーカードスロット：1系統

LAN端子：1系統（10BASE-T/100BASE-TX）

USB端子【ハイスピードUSB（USB2.0）対応】：

前面 1 系統（DC 5 V 最大 500 mA）

USB 端子（USB ハードディスク録画用）

【スーパースピードUSB（USB3.0）対応】：

BRX6000 背面 2 系統、BRX4000 BRX2000 背面 1 系統、
HDD 対応（DC 5 V 最大 900 mA）

■ 映像

記録圧縮方式：

MPEG-2（Hybrid VBR）、MPEG-4 AVC/H.264

映像入力：

入力端子：1 系統（ピンジャック）

入力レベル：1.0 Vp-p 75 Ω

HDMI映像・音声出力：

出力端子：1 系統（19ピン typeA 端子）

480/60p、1080/60i、720/60p、1080/60p・24p
（4K）2160/30p・24p（4Kの解像度は3840×2160）

マスターグレードビデオコーディング対応

■ 音声

記録・再生圧縮方式：

MPEG-2 AAC：最大 5.1ch 記録

Dolby Digital：2ch 記録

アナログ入力：

入力端子：2ch入力、1 系統（ピンジャック）

入力レベル：

FS：2 Vrms（1 kHz、0 dB）

入力インピーダンス：22 kΩ

デジタル出力：

光デジタル音声出力端子：1 系統

HDMI 映像・音声出力端子：1 系統

■SD 部

対応カード：

- SD カード：FAT12/FAT16
- SDHC カード：FAT32
- SDXC カード：exFAT

■USB 部

USB 機器：

- 対応フォーマット：FAT12、FAT16、FAT32

通常録画用 USB-HDD：

- USB3.0/USB2.0 (160 GB 以上 3 TB 以下)
- 登録可能台数：
[BRX6000] 最大 8 台まで (同時接続台数は 1 台のみ)
[BRX4000] [BRX2000] 最大 7 台まで (同時接続台数は 1 台のみ)

USB-HDD (SeeQVault 規格準拠)：

- USB3.0/USB2.0 (160 GB 以上 3 TB 以下)
- 同時接続台数は 1 台のみ

チャンネル録画用 USB-HDD：

- USB3.0 (1 TB 以上 3 TB 以下)
- 登録可能台数は最大 1 台まで

■写真

画素数：

- 34 × 34 ~ 8192 × 8192
- サブサンプリング：4 : 2 : 2、4 : 2 : 0

解凍時間：約 2 秒 (1010 万画素)

- ・解凍時間は使用環境 (ファイル数・圧縮率など) によって多少長くなることがあります。

記録 / 再生可能メディア：

- HDD、BD-RE、BD-R、DVD-RAM、SD カード

再生のみ可能メディア：

- DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、USB

ファイル方式：

- JPEG：ベースライン方式 (DCF 準拠)
 - ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル (半角英数字のみ)
 - ・MOTION JPEG 非対応
- MPO：マルチピクチャーフォーマット (MPF 準拠)
 - ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル (半角英数字のみ)

フォルダ数：

- BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 500
 - ・最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数 (ルートもフォルダとして数える)

ファイル数：

- HDD：最大 20000
- BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SD カード、USB：最大 10000
 - ・最大ファイル数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大ファイル数 (JPEG と MPO のファイル合計)

CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW：

- ISO9660 level1 と 2 (拡張フォーマットは除く)、Joliet 対応

■音楽

再生メディア：

- CD-Audio(CD-DA)、CD-R/CD-RW(CD-DA)

■AVCHD 動画

ファイル形式：AVCHD規格準拠

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

■MP4 動画

ファイル形式：MP4 ファイルフォーマット

- ・ファイル名の拡張子に「MP4」と書かれたファイル (半角英数字のみ)

ビデオ圧縮方式：

- MPEG-4 AVC/H.264：High profile 5.1 以下
- ビットレート：100 Mbps 以下
- 解像度 / フレームレート：3840 × 2160/30p、4096 × 2160/24p まで

音声圧縮方式：

MPEG-4 AAC-LC

- サンプリング周波数：8 kHz ~ 48 kHz

- チャンネル数：1 または 2

- (音声の内容によっては、映像のみ再生し、音声が出力できない場合があります)

■持ち出し動画

ファイル形式 / 画質：

- SD VIDEO 規格 (ISDB-T Mobile Video Profile) 準拠 / 320 × 180 15 fps (412 kbps)
- SD VIDEO 規格 (H.264 Mobile Video Profile) 準拠 / 640 × 360 30 fps (1.5 Mbps、1.0 Mbps)

圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

■内蔵無線 LAN モジュール

規格：

- IEEE802.11n / IEEE802.11a / IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠
- ・従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続できません。
- ARIB STD-T71 (5 GHz 帯)、ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯) (5 GHz 帯は屋内使用限定)

セキュリティ：

- WPA™ / WPA2™
- (暗号化方式：TKIP / AES、認証方式：PSK)
- WEP (64 bit / 128 bit)

■無線リモコン受信部 [BRX6000] [BRX4000]

規格：

- Bluetooth® ver. 3.0
- ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯)
- ※専用リモコンとのみ接続可能
- 他の Bluetooth® 機器との接続はできません。

使用周波数範囲：2402 MHz ~ 2480 MHz

DCF 準拠 (デジタルカメラなどで記録したもの) したフォーマットが使用できます。

DCF：Design rule for Camera File system [電子情報技術産業協会 (JEITA) にて制定された統一規格]

録画モードと記録時間の目安（通常録画）

BRX6000

録画モード				通常録画のHDD 容量設定						
				250 GB	500 GB	1.0 TB	1.5 TB	2.0 TB	2.25 TB	3.0 TB
放送画質	DR	BS	HD放送 (≦24 Mbps)	約 22 時間 30 分	約 45 時間	約 90 時間	約 135 時間	約 180 時間	約 202 時間	約 270 時間
		デジタル	SD放送 (≦12 Mbps)	約 45 時間	約 90 時間	約 180 時間	約 270 時間	約 360 時間	約 405 時間	約 540 時間
		地上 デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 31 時間 30 分	約 63 時間	約 127 時間	約 190 時間	約 254 時間	約 285 時間	約 381 時間
ハイビジョン画質	1.5 倍録			約 33 時間 45 分	約 67 時間 30 分	約 135 時間	約 202 時間	約 270 時間	約 303 時間	約 405 時間
	1.6 倍録			約 36 時間	約 72 時間	約 144 時間	約 216 時間	約 288 時間	約 324 時間	約 432 時間
	1.8 倍録			約 40 時間 30 分	約 81 時間	約 162 時間	約 243 時間	約 324 時間	約 364 時間	約 486 時間
	2 倍録 (HG)			約 45 時間	約 90 時間	約 180 時間	約 270 時間	約 360 時間	約 405 時間	約 540 時間
	2.3 倍録			約 51 時間 45 分	約 103 時間 30 分	約 207 時間	約 310 時間	約 414 時間	約 465 時間	約 621 時間
	2.5 倍録			約 56 時間 15 分	約 112 時間 30 分	約 225 時間	約 337 時間	約 450 時間	約 506 時間	約 675 時間
	2.7 倍録			約 60 時間 45 分	約 121 時間 30 分	約 243 時間	約 364 時間	約 486 時間	約 546 時間	約 729 時間
	3 倍録 (HX)			約 67 時間 30 分	約 135 時間	約 270 時間	約 405 時間	約 540 時間	約 607 時間	約 810 時間
	3.5 倍録			約 78 時間 45 分	約 157 時間 30 分	約 315 時間	約 472 時間	約 630 時間	約 708 時間	約 945 時間
	4 倍録 (HE)			約 90 時間	約 180 時間	約 360 時間	約 540 時間	約 720 時間	約 810 時間	約 1080 時間
	4.5 倍録			約 101 時間 15 分	約 202 時間 30 分	約 405 時間	約 607 時間	約 810 時間	約 911 時間	約 1215 時間
	5 倍録 (HL)			約 112 時間 30 分	約 225 時間	約 450 時間	約 675 時間	約 900 時間	約 1012 時間	約 1350 時間
	5.5 倍録			約 123 時間 45 分	約 247 時間 30 分	約 495 時間	約 742 時間	約 990 時間	約 1113 時間	約 1485 時間
	6 倍録			約 135 時間	約 270 時間	約 540 時間	約 810 時間	約 1080 時間	約 1215 時間	約 1620 時間
	7 倍録			約 157 時間 30 分	約 315 時間	約 630 時間	約 945 時間	約 1260 時間	約 1417 時間	約 1890 時間
	8 倍録 (HM)			約 180 時間	約 360 時間	約 720 時間	約 1080 時間	約 1440 時間	約 1620 時間	約 2160 時間
	9 倍録			約 202 時間 30 分	約 405 時間	約 810 時間	約 1215 時間	約 1620 時間	約 1822 時間	約 2430 時間
	10 倍録			約 225 時間	約 450 時間	約 900 時間	約 1350 時間	約 1800 時間	約 2025 時間	約 2700 時間
11 倍録			約 247 時間 30 分	約 495 時間	約 990 時間	約 1485 時間	約 1980 時間	約 2227 時間	約 2970 時間	
12 倍録			約 270 時間	約 540 時間	約 1080 時間	約 1620 時間	約 2160 時間	約 2430 時間	約 3240 時間	
15 倍録 (HZ)			約 337 時間 30 分	約 675 時間	約 1350 時間	約 2025 時間	約 2700 時間	約 3037 時間	約 4050 時間	
DVD画質	XP			本機では録画できません						
	SP									
	LP									
	EP (8 時間)									

?

必要なとき

録画モードと記録時間の目安 (通常録画)

BRX4000

録画モード				通常録画のHDD容量設定							
				250 GB	500 GB	1.0 TB	1.75 TB	2.0 TB	2.5 TB	3.0 TB	4.0 TB
放送画質	DR	BS デジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約 22 時間 30 分	約 45 時間	約 90 時間	約 157 時間	約 180 時間	約 225 時間	約 270 時間	約 360 時間
			SD放送 (≦12 Mbps)	約 45 時間	約 90 時間	約 180 時間	約 315 時間	約 360 時間	約 450 時間	約 540 時間	約 720 時間
		地上 デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 31 時間 30 分	約 63 時間	約 127 時間	約 222 時間	約 254 時間	約 317 時間	約 381 時間	約 508 時間
ハイビジョン画質	1.5 倍録			約 33 時間 45 分	約 67 時間 30 分	約 135 時間	約 236 時間	約 270 時間	約 337 時間	約 405 時間	約 540 時間
	1.6 倍録			約 36 時間	約 72 時間	約 144 時間	約 252 時間	約 288 時間	約 360 時間	約 432 時間	約 576 時間
	1.8 倍録			約 40 時間 30 分	約 81 時間	約 162 時間	約 283 時間	約 324 時間	約 405 時間	約 486 時間	約 648 時間
	2 倍録 (HG)			約 45 時間	約 90 時間	約 180 時間	約 315 時間	約 360 時間	約 450 時間	約 540 時間	約 720 時間
	2.3 倍録			約 51 時間 45 分	約 103 時間 30 分	約 207 時間	約 362 時間	約 414 時間	約 517 時間	約 621 時間	約 828 時間
	2.5 倍録			約 56 時間 15 分	約 112 時間 30 分	約 225 時間	約 393 時間	約 450 時間	約 562 時間	約 675 時間	約 900 時間
	2.7 倍録			約 60 時間 45 分	約 121 時間 30 分	約 243 時間	約 425 時間	約 486 時間	約 607 時間	約 729 時間	約 972 時間
	3 倍録 (HX)			約 67 時間 30 分	約 135 時間	約 270 時間	約 472 時間	約 540 時間	約 675 時間	約 810 時間	約 1080 時間
	3.5 倍録			約 78 時間 45 分	約 157 時間 30 分	約 315 時間	約 551 時間	約 630 時間	約 787 時間	約 945 時間	約 1260 時間
	4 倍録 (HE)			約 90 時間	約 180 時間	約 360 時間	約 630 時間	約 720 時間	約 900 時間	約 1080 時間	約 1440 時間
	4.5 倍録			約 101 時間 15 分	約 202 時間 30 分	約 405 時間	約 708 時間	約 810 時間	約 1012 時間	約 1215 時間	約 1620 時間
	5 倍録 (HL)			約 112 時間 30 分	約 225 時間	約 450 時間	約 787 時間	約 900 時間	約 1125 時間	約 1350 時間	約 1800 時間
	5.5 倍録			約 123 時間 45 分	約 247 時間 30 分	約 495 時間	約 866 時間	約 990 時間	約 1237 時間	約 1485 時間	約 1980 時間
	6 倍録			約 135 時間	約 270 時間	約 540 時間	約 945 時間	約 1080 時間	約 1350 時間	約 1620 時間	約 2160 時間
	7 倍録			約 157 時間 30 分	約 315 時間	約 630 時間	約 1102 時間	約 1260 時間	約 1575 時間	約 1890 時間	約 2520 時間
	8 倍録 (HM)			約 180 時間	約 360 時間	約 720 時間	約 1260 時間	約 1440 時間	約 1800 時間	約 2160 時間	約 2880 時間
	9 倍録			約 202 時間 30 分	約 405 時間	約 810 時間	約 1417 時間	約 1620 時間	約 2025 時間	約 2430 時間	約 3240 時間
	10 倍録			約 225 時間	約 450 時間	約 900 時間	約 1575 時間	約 1800 時間	約 2250 時間	約 2700 時間	約 3600 時間
	11 倍録			約 247 時間 30 分	約 495 時間	約 990 時間	約 1732 時間	約 1980 時間	約 2475 時間	約 2970 時間	約 3960 時間
	12 倍録			約 270 時間	約 540 時間	約 1080 時間	約 1890 時間	約 2160 時間	約 2700 時間	約 3240 時間	約 4320 時間
	15 倍録 (HZ)			約 337 時間 30 分	約 675 時間	約 1350 時間	約 2362 時間	約 2700 時間	約 3375 時間	約 4050 時間	約 5400 時間
DVD画質	XP			本機では録画できません							
	SP										
	LP										
	EP (8 時間)										

■ 録画モードと記録時間の目安（通常録画）

BRX2000

録画モード				通常録画のHDD 容量設定			
				250 GB	500 GB	1.0 TB	2.0 TB
放送画質	DR	BS デジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約 22 時間 30 分	約 45 時間	約 90 時間	約 180 時間
			SD放送 (≦12 Mbps)	約 45 時間	約 90 時間	約 180 時間	約 360 時間
		地上 デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 31 時間 30 分	約 63 時間	約 127 時間	約 254 時間
ハイビジョン画質	1.5 倍録			約 33 時間 45 分	約 67 時間 30 分	約 135 時間	約 270 時間
	1.6 倍録			約 36 時間	約 72 時間	約 144 時間	約 288 時間
	1.8 倍録			約 40 時間 30 分	約 81 時間	約 162 時間	約 324 時間
	2 倍録 (HG)			約 45 時間	約 90 時間	約 180 時間	約 360 時間
	2.3 倍録			約 51 時間 45 分	約 103 時間 30 分	約 207 時間	約 414 時間
	2.5 倍録			約 56 時間 15 分	約 112 時間 30 分	約 225 時間	約 450 時間
	2.7 倍録			約 60 時間 45 分	約 121 時間 30 分	約 243 時間	約 486 時間
	3 倍録 (HX)			約 67 時間 30 分	約 135 時間	約 270 時間	約 540 時間
	3.5 倍録			約 78 時間 45 分	約 157 時間 30 分	約 315 時間	約 630 時間
	4 倍録 (HE)			約 90 時間	約 180 時間	約 360 時間	約 720 時間
	4.5 倍録			約 101 時間 15 分	約 202 時間 30 分	約 405 時間	約 810 時間
	5 倍録 (HL)			約 112 時間 30 分	約 225 時間	約 450 時間	約 900 時間
	5.5 倍録			約 123 時間 45 分	約 247 時間 30 分	約 495 時間	約 990 時間
	6 倍録			約 135 時間	約 270 時間	約 540 時間	約 1080 時間
	7 倍録			約 157 時間 30 分	約 315 時間	約 630 時間	約 1260 時間
	8 倍録 (HM)			約 180 時間	約 360 時間	約 720 時間	約 1440 時間
	9 倍録			約 202 時間 30 分	約 405 時間	約 810 時間	約 1620 時間
	10 倍録			約 225 時間	約 450 時間	約 900 時間	約 1800 時間
	11 倍録			約 247 時間 30 分	約 495 時間	約 990 時間	約 1980 時間
	12 倍録			約 270 時間	約 540 時間	約 1080 時間	約 2160 時間
	15 倍録 (HZ)			約 337 時間 30 分	約 675 時間	約 1350 時間	約 2700 時間
DVD画質	XP			本機では録画できません			
	SP						
	LP						
	EP (8 時間)						

?

必要なとき

■録画モードと記録日数の目安 (チャンネル録画)

BRX6000

録画モード				追加チャンネルのHDD 容量設定※1						チャンネル録画用 HDD 容量※2
				2.75 TB	2.5 TB	2.0 TB	1.5 TB	1.0 TB	750 GB	3.0 TB
放送画質	DR	BS デジタル	HD 放送 (≦24 Mbps)	約 5 日	約 4 日	約 3 日	約 2 日	約 1 日	約 1 日	約 1 日
			SD 放送 (≦12 Mbps)	約 10 日	約 9 日	約 7 日	約 5 日	約 3 日	約 2 日	約 2 日
		地上 デジタル	HD 放送 (≦17 Mbps)	約 7 日	約 6 日	約 5 日	約 4 日	約 2 日	約 2 日	約 2 日
ハイビジョン画質	1.5 倍録			約 7 日	約 7 日	約 5 日	約 4 日	約 2 日	約 2 日	約 2 日
	1.6 倍録			約 8 日	約 7 日	約 6 日	約 4 日	約 3 日	約 2 日	約 2 日
	1.8 倍録			約 9 日	約 8 日	約 6 日	約 5 日	約 3 日	約 2 日	約 2 日
	2 倍録 (HG)			約 10 日	約 9 日	約 7 日	約 5 日	約 3 日	約 2 日	約 2 日
	2.3 倍録			約 12 日	約 11 日	約 8 日	約 6 日	約 4 日	約 3 日	約 3 日
	2.5 倍録			約 13 日	約 12 日	約 9 日	約 7 日	約 4 日	約 3 日	約 3 日
	2.7 倍録			約 14 日	約 12 日	約 10 日	約 7 日	約 5 日	約 3 日	約 3 日
	3 倍録 (HX)			約 15 日	約 14 日	約 11 日	約 8 日	約 5 日	約 4 日	約 4 日
	3.5 倍録			約 18 日	約 16 日	約 13 日	約 10 日	約 6 日	約 5 日	約 5 日
	4 倍録 (HE)			約 21 日	約 19 日	約 15 日	約 11 日	約 7 日	約 5 日	約 5 日
	4.5 倍録			約 23 日	約 21 日	約 17 日	約 13 日	約 8 日	約 6 日	約 6 日
	5 倍録 (HL)			約 26 日	約 24 日	約 19 日	約 14 日	約 9 日	約 7 日	約 7 日
	5.5 倍録			約 28 日	約 26 日	約 21 日	約 15 日	約 10 日	約 7 日	約 7 日
	6 倍録			約 31 日	約 28 日	約 23 日	約 17 日	約 11 日	約 8 日	約 8 日
	7 倍録			約 37 日	約 34 日	約 27 日	約 20 日	約 13 日	約 10 日	約 10 日
	8 倍録 (HM)			約 42 日	約 38 日	約 30 日	約 23 日	約 15 日	約 11 日	約 11 日
	9 倍録			約 47 日	約 42 日	約 34 日	約 25 日	約 17 日	約 12 日	約 12 日
	10 倍録			約 52 日	約 48 日	約 38 日	約 28 日	約 19 日	約 14 日	約 14 日
	11 倍録			約 57 日	約 52 日	約 42 日	約 31 日	約 20 日	約 15 日	約 15 日
	12 倍録			約 63 日	約 57 日	約 46 日	約 34 日	約 23 日	約 17 日	約 17 日
	15 倍録 (HZ)			約 79 日	約 72 日	約 57 日	約 43 日	約 28 日	約 21 日	約 21 日
DVD 画質	XP			本機では録画できません						
	SP									
	LP									
	EP (8 時間)									

※ 1 追加チャンネル (2 チャンネル) を設定した場合の録画可能日数
※ 2 チャンネル録画 (8 チャンネル) を設定した場合の録画可能日数
●上記の記録日数は最低保証日数です。

録画モードと記録日数の目安（チャンネル録画）

BRX4000

録画モード				チャンネル録画の HDD 容量設定 ^{* 1}						
				3.75 TB	3.5 TB	3.0 TB	2.25 TB	2.0 TB	1.5 TB	1.0 TB
放送画質	DR	BS デジタル	HD 放送 (≤24 Mbps)	本機では録画できません (ただし、追加チャンネルに登録した場合は録画できます)						
			SD 放送 (≤12 Mbps)							
		地上 デジタル	HD 放送 (≤17 Mbps)							
	1.5 倍録									
1.6 倍録										
1.8 倍録										
ハイビジョン画質	2 倍録 (HG)			約 7 日	約 6 日	約 5 日	約 4 日	約 3 日	約 2 日	約 1 日
	2.3 倍録			約 8 日	約 7 日	約 6 日	約 5 日	約 4 日	約 3 日	約 2 日
	2.5 倍録			約 9 日	約 8 日	約 7 日	約 5 日	約 4 日	約 3 日	約 2 日
	2.7 倍録			約 9 日	約 9 日	約 7 日	約 5 日	約 5 日	約 3 日	約 2 日
	3 倍録 (HX)			約 10 日	約 10 日	約 8 日	約 6 日	約 5 日	約 4 日	約 2 日
	3.5 倍録			約 12 日	約 11 日	約 10 日	約 7 日	約 6 日	約 5 日	約 3 日
	4 倍録 (HE)			約 14 日	約 13 日	約 11 日	約 8 日	約 7 日	約 5 日	約 3 日
	4.5 倍録			約 16 日	約 15 日	約 13 日	約 9 日	約 8 日	約 6 日	約 4 日
	5 倍録 (HL)			約 18 日	約 16 日	約 14 日	約 10 日	約 9 日	約 7 日	約 4 日
	5.5 倍録			約 19 日	約 18 日	約 15 日	約 11 日	約 10 日	約 7 日	約 5 日
	6 倍録			約 21 日	約 20 日	約 17 日	約 13 日	約 11 日	約 8 日	約 5 日
	7 倍録			約 25 日	約 23 日	約 20 日	約 15 日	約 13 日	約 10 日	約 6 日
	8 倍録 (HM)			約 27 日	約 27 日	約 23 日	約 17 日	約 15 日	約 11 日	約 7 日
	9 倍録			約 32 日	約 30 日	約 25 日	約 19 日	約 17 日	約 12 日	約 8 日
	10 倍録			約 36 日	約 33 日	約 28 日	約 21 日	約 19 日	約 14 日	約 9 日
11 倍録			約 39 日	約 36 日	約 31 日	約 23 日	約 21 日	約 15 日	約 10 日	
12 倍録			約 43 日	約 40 日	約 34 日	約 26 日	約 23 日	約 17 日	約 11 日	
15 倍録 (HZ)			約 54 日	約 50 日	約 43 日	約 32 日	約 28 日	約 21 日	約 14 日	
DVD画質	XP			本機では録画できません						
	SP									
	LP									
	EP (8 時間)									

※ 1 4 チャンネルのチャンネル録画を設定した場合の録画可能日数

●上記の記録日数は最低保証日数です。

■録画モードと記録日数の目安 (チャンネル録画)

BRX2000

録画モード				チャンネル録画の HDD 容量設定 ^{※1}					
				1.75 TB	1.5 TB	1.0 TB			
放送画質	DR	BS デジタル	HD 放送 (≦24 Mbps)	本機では録画できません (ただし、追加チャンネルに登録した場合は録画できます)					
			SD 放送 (≦12 Mbps)						
		地上 デジタル	HD 放送 (≦17 Mbps)						
1.5 倍録									
1.6 倍録									
1.8 倍録									
ハイビジョン画質	2 倍録 (HG)						約 3 日	約 2 日	約 1 日
	2.3 倍録						約 3 日	約 3 日	約 2 日
	2.5 倍録						約 4 日	約 3 日	約 2 日
	2.7 倍録			約 4 日	約 3 日	約 2 日			
	3 倍録 (HX)			約 5 日	約 4 日	約 2 日			
	3.5 倍録			約 5 日	約 5 日	約 3 日			
	4 倍録 (HE)			約 6 日	約 5 日	約 3 日			
	4.5 倍録			約 7 日	約 6 日	約 4 日			
	5 倍録 (HL)			約 8 日	約 7 日	約 4 日			
	5.5 倍録			約 9 日	約 7 日	約 5 日			
	6 倍録			約 10 日	約 8 日	約 5 日			
	7 倍録			約 11 日	約 10 日	約 6 日			
	8 倍録 (HM)			約 13 日	約 11 日	約 7 日			
	9 倍録			約 15 日	約 12 日	約 8 日			
	10 倍録			約 16 日	約 14 日	約 9 日			
	11 倍録			約 18 日	約 15 日	約 10 日			
	12 倍録			約 20 日	約 17 日	約 11 日			
15 倍録 (HZ)			約 25 日	約 21 日	約 14 日				
DVD画質	XP			本機では録画できません					
	SP								
	LP								
	EP (8 時間)								

※ 1 4 チャンネルのチャンネル録画を設定した場合の録画可能日数

●上記の記録日数は最低保証日数です。

■録画モードと記録時間の目安（ディスク）

ディスク				BD-RE、BD-R				DVD-RAM DVD-R (4.7 GB)	DVD-R DL (8.5 GB) (片面2層)	DVD-RW (4.7 GB)
				128 GB (片面4層)	100 GB (片面3層)	50 GB (片面2層)	25 GB (片面1層)			
放送 画質	DR	BS デジタル	HD放送 (≤24 Mbps)	約11時間 10分	約8時間 40分	約4時間 20分	約2時間 10分	本機では録画できません		
			SD放送 (≤12 Mbps)	約22時間 20分	約17時間 20分	約8時間 40分	約4時間 20分			
		地上 デジタル	HD放送 (≤17 Mbps)	約15時間 30分	約 12時間	約 6時間	約 3時間			
ハイビジョン 画質	1.5倍録			約16時間45分	約13時間	約6時間30分	約3時間15分	約36分	約1時間7分	本機では 録画できません
	1.6倍録			約17時間55分	約14時間	約7時間	約3時間30分	約39分	約1時間12分	
	1.8倍録			約20時間10分	約16時間	約8時間	約4時間	約44分	約1時間21分	
	2倍録 (HG)			約22時間20分	約17時間20分	約8時間40分	約4時間20分	約48分	約1時間30分	
	2.3倍録			約25時間45分	約20時間	約10時間	約5時間	約56分	約1時間43分	
	2.5倍録			約27時間55分	約21時間40分	約10時間50分	約5時間25分	約1時間	約1時間52分	
	2.7倍録			約30時間10分	約24時間	約12時間	約6時間	約1時間5分	約2時間1分	
	3倍録 (HX)			約33時間30分	約26時間	約13時間	約6時間30分	約1時間12分	約2時間15分	
	3.5倍録			約39時間5分	約30時間20分	約15時間10分	約7時間35分	約1時間24分	約2時間37分	
	4倍録 (HE)			約44時間40分	約34時間40分	約17時間20分	約8時間40分	約1時間36分	約3時間	
	4.5倍録			約50時間15分	約39時間	約19時間30分	約9時間45分	約1時間48分	約3時間22分	
	5倍録 (HL)			約55時間50分	約43時間20分	約21時間40分	約10時間50分	約2時間	約3時間45分	
	5.5倍録			約61時間25分	約48時間	約24時間	約12時間	約2時間12分	約4時間7分	
	6倍録			約67時間	約52時間	約26時間	約13時間	約2時間24分	約4時間30分	
	7倍録			約78時間10分	約60時間40分	約30時間20分	約15時間10分	約2時間48分	約5時間15分	
	8倍録 (HM)			約89時間20分	約69時間20分	約34時間40分	約17時間20分	約3時間12分	約6時間	
	9倍録			約100時間30分	約78時間	約39時間	約19時間30分	約3時間36分	約6時間45分	
	10倍録			約111時間40分	約86時間40分	約43時間20分	約21時間40分	約4時間	約7時間30分	
11倍録			約122時間50分	約95時間20分	約47時間40分	約23時間50分	約4時間24分	約8時間15分		
12倍録			約134時間	約104時間	約52時間	約26時間	約4時間48分	約9時間		
15倍録 (HZ)			約167時間30分	約130時間	約65時間	約32時間30分	約6時間	約11時間15分		
DVD 画質	XP			本機では録画できません				約1時間	約1時間45分	約1時間
	SP							約2時間	約3時間35分	約2時間
	LP							約4時間	約7時間10分	約4時間
	EP (8時間)							約8時間	約14時間20分	約8時間

●お知らせ

- 128 GB(片面4層)はBD-Rのみ。2015年3月現在、BD-R(128 GB:片面4層)は発売されていません。
- [HDD]** 持ち出し番組や音楽、写真を記録している場合、「ドアホン・センサーカメラ接続」(➡199)を「入」にすると、記録できる時間は少なくなります。
- 15倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態(録画される時間の1.3倍以上の残量がある状態)で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。(HDD BD-RE BD-R RAM AVCREC R AVCREC では、特にその差が著しくなります)
- DRモードの録画時間は放送(転送レート)によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を17 Mbps、BS デジタル放送を24 Mbpsで録画したものと計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない(ビットレートの低い)番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいになり記録することができない場合があります。
- 録画モードに記載されているHG、HX、HE、HL、HM、HZの表記は、従来ディーガの録画モードとの目安です。

?

必要
な
と
き

■HDD の記憶容量

- **BRX6000** : 6 TB
- **BRX4000** : 4 TB
- **BRX2000** : 2 TB

■記録できる最大番組数（使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります）

- **HDD** : 3000（持ち出し番組を含む。長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）
- **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC** : 200
- **RAM VR** **-R VR** **-R V** **-RW VR** **-RW V** : 99
- **USB-HDD**（通常録画用フォーマット）: 3000（撮影ビデオ、写真は記録できません）
- **USB-HDD**（SeeQVault フォーマット）: 10000

■予約可能番組数

128（予約可能期間：1 年間）

■スカパー！プレミアムサービスの番組記録時間の目安

番組 \ 内蔵HDD	BRX6000 3 TB	BRX4000 2.5 TB	BRX2000 1 TB
スカパー！プレミアムサービスの ハイビジョン画質の番組	約 704 時間 (約 381 ～ 880 時間)	約 586 時間 (約 318 ～ 723 時間)	約 234 時間 (約 127 ～ 293 時間)
スカパー！プレミアムサービスの 標準画質の番組	約 1204 時間 (約 763 ～ 2314 時間)	約 1006 時間 (約 635 ～ 1931 時間)	約 400 時間 (約 254 ～ 770 時間)

- 録画する番組によって記録できる時間は変動します。（ ）は変動する記録時間の目安です。

■最大チャプターマーク数（記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む）

- **HDD** **USB-HDD** : 1 番組当たり約 999 個
- **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R AVCREC** **-R VR** **-RW VR** : ディスク当たり約 999 個
（**BD-RE** **BD-R** の BDXL は約 20000 個）
- **BD-RE** **BD-R** **RAM AVCREC** **-R AVCREC** : 1 番組当たり約 100 個

■持ち出し番組の記録可能時間の目安

SD カード \ 画質	ワンセグ (412 kbps)	VGA (1.0 Mbps)	VGA (1.5 Mbps)
4 GB	約 21 時間 19 分	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分
16 GB	約 87 時間 20 分	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分
64 GB	約 349 時間 28 分	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分
128 GB	約 690 時間 23 分	約 252 時間 1 分	約 174 時間 39 分

SD カードは主な記憶容量のみ記載しています。

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

- **最大番組数** : 99 [ハイビジョン動画 (AVCHD) 以外の動画を含む]

■ デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch (チャンネル数) は最大チャンネル数を表示]

接続端子	HDMI 端子				デジタル音声出力端子			
「デジタル出力」の設定	Bitstream ^{※1}		PCM		Bitstream		PCM	
「BD ビデオ副音声・操作音」の設定	入 ^{※2}	切	入	切	入	切	入	切
Dolby Digital Dolby Digital EX	Dolby Digital	オリジナルの 音声で出力	ダウンミックス 2ch		Dolby Digital Dolby Digital EX ^{※3}		ダウン ミックス 2ch	
Dolby Digital Plus Dolby TrueHD					Dolby Digital			
DTS Digital Surround™ DTS Digital Surround ES™	DTS Digital Surround™ DTS Digital Surround ES™ ^{※3}							
DTS-HD High Resolution Audio™								
DTS-HD Master Audio™								
7.1ch LPCM	7.1ch PCM				ダウンミックス 2ch PCM			

※1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital SurroundTM の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM (例：テレビなど) で出力します。

※2 **[BD-V]** 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(**→194**) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※3 **[BD-V]** 「BD ビデオ副音声・操作音」(**→194**) を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS Digital Surround | ESTM は DTS Digital SurroundTM の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

■ 4K 出力のためのお勧めの設定と出力映像信号

本機を 4K 対応テレビに接続して、本機の再生設定を下記表の設定にすると、本機から 4K 映像を出力することが可能になります。(4K ダイレクトクロマアップコンバート)

(テレビ放送視聴映像は 4K 出力できません)

接続するテレビの種類	再生素材		本機のお勧め設定		本機から出力される映像信号	
			初期設定 ^{※4} 「24p 出力」 (→196)	再生設定 「24p/30p 変換出力」 (→105)	解像度	フレームレート
4K 対応テレビ	[BD-V] ^{※5}	24p	オート	—	4K	24p
	[BD-V] / 録画番組	60i	—	24p ^{※6}		30p
			—	30p ^{※7}		

※4 その他の初期設定値 (お買い上げ時の設定)

・「HDMI 出力解像度」(**→196**) : 「オート」

・「HDMI カラースペース」(**→196**) : 「YCbCr (MGVC オート)」

※5 MGVC 対応ディスクは、4K24p / 4:2:2 / 36bit [12bit(Y)+12bit(Cb)+12bit(Cr)] で出力します。

※6 1 秒あたり 24 コマの映画素材以外の場合、映像の動きがなめらかではなくなることがあります。

※7 1 秒あたり 30 コマの素材以外の場合、映像の動きがなめらかではなくなることがあります。

?

必要
な
と
き

同時操作について

録画 / 予約録画中の同時操作

以下は追加チャンネル (→60) 未登録時の通常録画を実行中の動作になります。

☞ 追加チャンネル登録時の制限について (→60)

(○:できる ×:できない)

録画状態			再生				HDD の編集※1	ダビング	
放送 / 入力	録画先	録画モード	HDD・USB-HDD の番組	録画ディスク	BDビデオ・AVCHD	DVDビデオ		ファイナライズ切	ファイナライズ入
地上 D BS CS	HDD (1番組録画)	DR 1.5~15倍録	○	○	○	○	○	○	×
	HDD (2番組録画)								
	HDD (3番組録画)								
	BD	DR	○	×	×※2	×	○	×	×
		1.5~15倍録	○	×	×※2	×	○	×	×
	DVD	1.5~15倍録	○	×	×※2	×	○	×	×
		XP、SP、LP、EP、FR	○※3	×	×	×	○	×	×
	USB-HDD	DR 1.5~15倍録	○	○	○	○	○	×	×
外部入力	HDD	1.5~15倍録	○	○	×	○	○	○※4	×
	BD DVD (AVCREC)	1.5~15倍録	○	×	×	×	○	×	×
	DVD (VR)	XP、SP、LP、EP、FR	○※3	×	×	×	○	×	×
i.LINK	HDD	DR	○	○	○	○	○	○	×
スカパー! プレミアム サービス CATV (LAN録画)	HDD	—	○	○	×	○	○	○※4	×

●HDDの残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。

※1 実行できる編集 (→109 ~ 115) (ただし、録画モード変換はできません)

※2 SDカードのAVCHDは再生できます。

※3 「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができません。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D再生できません。

※4 画質変更ダビングはできません。

ダビング中の同時操作

以下は通常録画した番組のダビングを実行中の動作になります。

(○：できる ×：できない)

ダビングの種類	視聴 放送中 の番組	予約録画 の実行	再生					HDD の 編集 ^{※5}
			HDD の 番組	録画 ディスク	BD ビデオ・ AVCHD	DVD ビデオ	USB- HDD	
高速ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○	○	× ^{※6}	× ^{※6}	× ^{※6}	× ^{※6}	○
画質変更ダビング中 (ファイナライズ切)	○	○ ^{※7}	○ ^{※8}	×	×	×	×	○ ^{※8}
ファイナライズ入で ダビング中	×	×	×	×	×	×	×	×
AVCHD 取り込み中	×	×	×	×	×	×	×	×
ネットワークを使って ダビング中	○	○ ^{※9}	○	○	×	○	○	○

※5 実行できる編集 (→109～115) (ただし、録画モード変換はできません)

※6 HDD 番組を複製中は、再生できます。(SD カードは除く)

※7 スカパー！プレミアムサービスや CATV の番組の予約録画、外部入力予約録画は実行できません。

※8 「1080/60p」の表示がある番組は、再生や編集ができます。また、「AVCHD 3D」の表示がある番組は、3D 再生できません。

※9 複数の番組の予約録画が始まると、ダビングは中断します。

本機を操作中のお部屋ジャンプリnk (DLNA) の同時操作

(○：できる ×：できない)

	クライアント側の操作 (チャンネル録画を見る / ビデオを見る / 放送を見る)				
	ビデオ ^{※10}	放送	ビデオ ^{※10}	ビデオ ^{※10}	放送
1 台目	ビデオ ^{※10}	放送	ビデオ ^{※10}	ビデオ ^{※10}	放送
2 台目	—	—	ビデオ ^{※10}	放送	放送
通常録画用 HDD・録画ディスク再生中	○	○ ^{※11}	○	○ ^{※11}	○ ^{※11}
DVD ビデオ・BD ビデオ・AVCHD 再生中	○	○	○ ^{※12}	×	×
HDD へ放送番組を複数番組録画中	○ ^{※13}	○ ^{※13※14}	○ ^{※13}	○ ^{※13※14}	×
LAN 経由 (スカパー！プレミアムサービス・CATV) で録画中	×	×	×	×	×
録画一覧の番組をディスクに高速ダビング中	○ ^{※13}	○ ^{※13}	○ ^{※13}	○ ^{※13}	○ ^{※13}
録画一覧の番組をディスクに画質変更ダビング中	○ ^{※12※13}	×	○ ^{※12※13}	×	×
アクトビラなどのネットワーク使用中	×	×	×	×	×
チャンネル録画した番組を再生中	○ ^{※15}	○	○ ^{※15}	○ ^{※15}	○
チャンネル録画した番組をダビング中	○ ^{※15}	○	○ ^{※15}	○ ^{※15}	○

●本機の状態によってはお部屋ジャンプリnk (DLNA) ができない場合があります。

※10 「ビデオ」は「チャンネル録画を見る」と「ビデオを見る」を含みます。

※11 本機側で「1080/60p」や「AVCHD 3D」の表示がある番組を再生中は、放送を見ることはできません。

※12 「レート変換モード」 (→199) が「オート」または「入」の場合、お部屋ジャンプリnk (DLNA) ができないときがあります。また、VGA 変換が必要な機器 (ビエラワンセグなど) がクライアントの場合、お部屋ジャンプリnk (DLNA) はできません。

※13 本機側で番組の再生が始まると、お部屋ジャンプリnk (DLNA) はできません。

※14 本機側が 3 番組録画中は放送を見ることはできません。

※15 チャンネル録画に DR モード、1.5 倍録、1.6 倍録、1.8 倍録で録画している場合はお部屋ジャンプリnk (DLNA) はできません。

?

必要
な
と
き

著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 「マスターグレード\MASTER GRADE」は(株)バンダイの登録商標です。
- DTSの特許については、<http://patents.dts.com>をご参照ください。DTS Licensing Limited からの実施権に基づき製造されています。DTS、シンボルマークおよび DTS とシンボルマークとの複合ロゴは DTS, Inc. の登録商標です。DTS 2.0+Digital Out は DTS, Inc. の商標です。© DTS, Inc. 無断複写・転載を禁じます。
- SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- i.LINKとi.LINKロゴ  は商標です。
- DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
- HDMI、HDMIロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Microsoft、Windows、Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- HDAVI Control™ は商標です。
-  マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、(株)アクトビラの商標または登録商標です。
- 「Wi-Fi CERTIFIED™」ロゴは、「Wi-Fi Alliance®」の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ 識別マークは、「Wi-Fi Alliance®」の認証マークです。
- 「Wi-Fi®」は「Wi-Fi Alliance®」の登録商標です。
- 「Wi-Fi Protected Setup™」、「WPA™」、「WPA2™」は「Wi-Fi Alliance®」の商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイルWnnを使用しています。
「Mobile Wnn」© OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- 富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011-2015
- 「AVCHD」、「AVCHD 3D」、「AVCHD Progressive」、および「AVCHD 3D/Progressive」はパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
- 「DVD Logo」はDVDフォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
- SeeQVault Text and Logo are trademarks of NSM Initiatives LLC.
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされていません。
 - ・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画(以下、AVC/VC-1 ビデオ)を記録する場合
 - ・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
 - ・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- Copyright 2004-2014 Verance Corporation. Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
- 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、[スタート] ボタンを押し、「全機能から選ぶ」→「設定する・その他の機能」→「メール／情報・診断コード」→「メール／情報」→「ID表示」→「ソフト情報」をご参照ください。
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機器をネットワークに接続して利用される場合、当社は、本機器に入力された文字情報を、本機器の操作機能(かな漢字変換や番組の検索等を含む)の利便性向上や新機能の開発のために、弊社サーバー上で保管し、利用することがあります。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2015年3月現在のデジタル放送規格の運用条件(著作権保護内容)に基づいて設計されています。

- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン / 見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン / 見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うものではありません。シーン / 見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因したまたは関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン / 見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン / 見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- アクトビラなどのインターネットサービス
- 番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 動画共有サービスからの似たもののおすすめ機能
- 宅外リモート接続機能
- ニュアンスサーバーを利用した、音声操作による番組検索
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス



VIERA Link



本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社（パナソニック）が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<http://panasonic.net/avc/oss/>

?

必要なとき

保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い上げの販売店へご相談ください。

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

B-CASカード番号 (→221)

※ B-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは

「故障かな!？」(→249 ~252) でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名 ブルーレイディスクレコーダー

● 品 番 ☐ DMR-BRX6000
☐ DMR-BRX4000
☐ DMR-BRX2000

 お買い上げの品番に記入してください。

● 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご希望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

●使いかた・お手入れなどのご相談は ---

パナソニック DIGA(ディーガ) ご相談窓口 365日 受付9時~20時

電話 フリーダイヤル  **0120-878-982**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●修理に関するご相談は -----

パナソニック 修理ご相談窓口

電話 フリーダイヤル  **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

●上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。(→249)

事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただきます、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口へ転送させていただく場合がございます。

北海道地区	札幌	☎ (011)894-1255	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3015	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8478	帯広市西20条北2丁目23-3
東北地区	函館	☎ (0138)48-6630	函館市西桔梗町589-241
	青森	☎ (0172)62-0880	青森市浪岡大字浪岡字稲村262-1
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市備前館2丁目5
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	熊谷市宮町1丁目29番
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都杉並区本天沼3丁目43-16
	山梨	☎ (055)222-5822	中央市山之神流通団地1-5-1
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市戸塚区品濃町561-4
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
中部地区	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鷗4丁目42
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	栗東市小柿9丁目4-10
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)7730-8888	門真市松生町1-15
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市栗栖373-4
中国地区	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20-14
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
四国地区	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
	香川	☎ (087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市東区健軍本町12-3
沖縄地区	鹿児島	☎ (099)246-7050	鹿児島市上谷口町3128-3
	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。 <http://www.panasonic.com/jp/support/consumer/repair/area.html> 1114

?

必要
な
と
き

英数字	ページ
■ AVCHD	
再生する	91
取り込む	136
■ AVCREC 方式	30
■ B-CASカード	
契約（有料放送）	221
挿入する	220
テストする	184
番号を見る	183
■ BD-Live	102
BD-Live インターネット接続	192
■ CATV	
接続する	225
録画する	127
■ DNS-IP 自動取得	198
■ DR モード	86
■ DR モード切り換えについて	87
■ DVD 画質	86
■ ECO スタンバイ	195
■ FR（フレキシブルレコーディング）	86
■ HDD	
取り扱い	216
フォーマット	193
■ HDMI	
アンプと接続	228
設定する（「HDMI接続」）	196
テレビと接続	223
■ i.LINK	
i.LINK（TS）対応機器とのダビング	134
設定する（「i.LINK 機器モード設定」）	196
■ IP アドレス /DNS/ プロキシサーバー設定 ..	198
■ Irシステム	
Irシステムを接続する	226
Irシステムを使ってタイマー予約する	130
■ MP4	
書き出す	92
再生する	91、92
取り込む	136
■ Netflix	164
■ RMP メーカー ID	183
■ SDカード	208
入れ方/出し方	29
撮影ビデオを取り込む	136
撮影ビデオを見る	91
写真の再生	141
写真の取り込み	145
フォーマット	176
プロテクト（書き込み禁止）	208
持ち出し番組の転送	156
■ SeeQVault	209
■ USB-HDD	
接続する	210
フォーマットする	211、213
予約録画する	63
■ USB 機器	214
撮影ビデオを取り込む	136
写真の再生	141
写真の取り込み	145
接続する	214
持ち出し番組の転送	156
■ VR 方式（DVDビデオレコーディング規格） ..	30
■ 10 秒戻し	98
■ 24p 出力	105、196
■ 30p 出力	105
■ 30秒送り	98
■ 3D	
3D 奥行きコントローラー	106
3D 再生時の注意表示	195
3D ディスクの再生方法	192
3D 方式設定	195
再生する（映像）	101
再生する（写真）	141
■ 4K アップコンバート出力	263
■ 4K 出力	105、196
■ 4K ダイレクトクロマアップコンバート	263
■ 4K 動画	
再生	91
保存	136

あ 行	ページ
■ アクトビラ	
ダウンロードする.....	163
見る.....	162
■ 暗証番号	
BD-Video の視聴可能年齢.....	192
DVD-Video の視聴制限.....	192
HDD 番組の視聴制限.....	193
視聴制限（番組）.....	185
■ アンテナ	
アンテナ電源.....	187
アンテナの調整（アンテナレベル）.....	186
接続する.....	222
■ アンプと接続する.....	228
■ 一括ダビング.....	133
■ 動くアルバムメーカー.....	151
■ 枝番号.....	48
■ オートサウンド連携.....	161
■ お好みチャンネル.....	47
■ 追っかけ再生.....	90
■ お手入れ.....	215
■ おとどけ動画設定.....	199
■ お引越しダビング.....	132
■ お部屋ジャンプリnk（DLNA）	
設定する.....	203
操作する.....	168
■ おまかせ録画.....	71
■ おもいで再生.....	142
■ 音楽	
再生する（CD）.....	147
■ 音楽ファイルダウンロード機能.....	173
■ 音質効果.....	105
■ 音声	
音質効果を設定する.....	105
音声言語を切り換える（音声情報）.....	103
音声を切り換える（再生時）.....	99
音声を切り換える（受信時）.....	47
外部入力から録画する	
（「外部入力音声設定」）.....	192
記録する音声（主/副）を選ぶ	
（「二重音声記録時の音声選択」）.....	192
■ 音声ガイド	
設定する（「音声ガイドの設定」）.....	190
■ 音声操作.....	37

か 行	ページ
■ 画質の選択（再生時）.....	104
■ 画質変更ダビング.....	116
■ カテゴリーまとめて予約.....	75
■ 画面モード切換.....	104
■ かんたん設置設定.....	237
■ かんたんダビング.....	118
■ かんたんチャンネル録画設定.....	241
■ かんたん転送.....	156
■ かんたんネットワーク設定.....	242
■ 機器パスワード初期化.....	198
■ 記録方式.....	30
■ クイックスタート.....	191
■ ケーブルテレビ（CATV）	
接続する.....	225
録画する.....	127
■ 検索する.....	78、107
チャンネル録画番組.....	52
通常録画番組.....	107
似たものおすすめ検索.....	45
■ 高速ダビング	
高速ダビング速度.....	192
■ 個人情報リセット.....	185
■ コマ送り/コマ戻し.....	99



さ 行	ページ
■ サーチ	98
■ 再生する	
BD ビデオ、DVD ビデオ (市販またはレンタル)	90
音楽 (CD)	147
撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	91
写真	141
スライドショー	143
チャンネル録画番組	50
ドアホン・センサーカメラ映像	166
番組 (通常番組)	90
プレイリスト	92
■ 再生設定	103
■ 再生中番組の保存	124
■ 再生メニュー	44
■ 探して毎回予約	159
■ 撮影ビデオ (AVCHD、MP4)	
再生する	91
取り込む	136
■ ザッピング操作	50
■ サブメニュー	
かんたんダビング	119
写真一覧	144
チャンネル録画一覧	51
番組表 (通常録画)	66
持ち出し番組一覧	157
録画一覧 (再生)	95
録画一覧 (編集)	109
■ シーン一覧	96
■ 時間指定予約	70
■ 視聴制限	
BDビデオの視聴可能年齢を設定する	192
DVDビデオの視聴制限を設定する	192
番組の視聴制限を設定する	185
■ 自動更新録画	82
■ 字幕	
切り換える (再生時)	103
切り換える (受信時)	48
字幕設定 (再生設定)	103
字幕設定 (放送設定)	185
録画モードによる記録の違い	86
■ 写真	
書き出す	146
かんたん取込	145
再生する	141
スライドショー	143
整理する	144
送受信する	148
取り込む	145
プロテクト	144
■ 受信アンテナ設定	186
■ 仕様	253
■ 消去する	
写真	144
写真一覧の全写真消去 (HDD)	193
全番組消去 (HDD)	193
全番組消去 (ブルーレイディスク、DVD)	178
番組 (通常録画)	115
持ち出し番組	157
ワンタッチ保存 (チャンネル録画)	57
■ 詳細ダビング	
番組をダビングする	120
ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) をダビングする	122
■ 初期設定	190
初期化する (初期設定リセット)	191
■ 信号切換	
再生時	103
放送受信時	48
■ 信号設定	68
■ 診断コード	249
■ 新着番組	38
■ 新番組おまかせ録画	77
■ シンプル Wi-Fi	231
■ スカパー！プレミアムサービス	
接続する	231、232
設定する	203
録画予約する	126
■ スキップ	98
■ 好きな番組	
再生メニュー	44
新着番組	38
■ スタート画面	40
■ スロー再生	99
■ 選局対象	185
■ 操作ガイド	2
■ 操作状態の表示 (情報表示)	
再生時	100
受信時	47
■ 外からどこでもスマホで視聴	5、204

た 行	ページ
■ 代替録画	82
■ ダウンミックス	194
■ ダウンロード	
ソフトウェア更新	206
番組のダウンロード	163
■ 他機器での再生について	33
■ 宅外リモート	
設定する	204
パソコンから本機を操作する	165
■ 他の BD 機器再生 (ファイナライズ)	179
■ 他の DVD 機器再生 (ファイナライズ)	179
■ ダビング	
i.LINK (TS) 対応機器	134
お引越しダビング	132
かんたんダビング	118
再生中番組の保存	124
詳細ダビング	120
セットトップボックスから	131
チャンネル録画番組のダビング	56
ディーガから	131
ビエラから	131
ビデオカメラから	135
ファイナライズ後のディスク (DVDビデオ) (詳細ダビング)	122
■ チャプター	113
再生・編集する	114
自動チャプター	192
■ チャプターマーク	113
■ チャンネル設定	188
■ チャンネル録画	
画面の見方 (録画一覧)	51
再生する	50
設定	58、241
日付選択	50
有料放送の視聴・録画について	221
ワンタッチ保存	55
■ 重複について	83
■ 通常番組	
再生する	90
消去する	115
名前を付ける	109
プロテクト	109
編集する	109
■ 通信による G ガイド受信	184
■ 続き再生メモリー機能	98

■ ディスク	
記録できるディスク	30
再生のみできるディスク	207
ディスクの選び方	32
ディスクの再生方法 (再生設定)	103
ディスクのメニュー画面	90
名前を付ける	178
フォーマット	176
プロテクト	178
■ デモレー	5
■ データ放送	46
■ テレビでネット	162
■ ドアホン・センサーカメラ録画	
再生する	166
接続する	231 ~ 233
設定する (ドアホン・センサーカメラの 接続設定)	205
■ 同時録画再生	90
■ 同時録画について	88

な 行	ページ
■ 名前を付ける	
ディスク	178
番組 (通常番組)	109
フォルダ	144
予約録画	70
■ 二重放送	
音声の記録について	85
記録する音声 (主/副) を選ぶ (「二重音声記録時の音声選択」)	192
■ 日時設定	190
■ ネットワーク	
かんたんネットワーク設定	242
接続する	230
設定する	197



は 行	ページ	
■ ハイビジョン画質	86	■ プロキシサーバー設定.....198
■ ハイビジョン動画 (AVCHD)		■ プロテクト (書き込み禁止)
再生する	91	SD カード.....208
取り込む	136	写真.....144
■ はじめから再生		ディスク.....178
再生時	99	番組 (通常番組).....109
受信時	48	■ 編集する
■ バックアップ		番組 (通常番組).....109
ドアホン・センサーカメラ	167	■ 放送設定.....184
■ 早送り / 早戻し (サーチ)	98	■ 放送メール.....183
■ 早見再生 (1.3倍速)	98	■ ポップアップメニュー.....90
■ 番組キープ.....161		
■ 番組結合	110	
■ 番組追従機能.....82		
■ 番組表		
枝番号表示を非表示にする (選局対象)	185	
画面の見方.....62		
検索 (フリーワード、ジャンル)	78	
設定を確認する	184	
表示チャンネル数を変更する.....66		
表示を変更する	65	
予約録画する	63	
■ 番組分割	111	
■ 番組持ち出し.....154		
■ ビエラリンク (HDMI)		
接続する (アンプ)	228	
接続する (テレビ)	223	
操作する	159	
비에라링크制御	195	
비에라링크録画待機	195	
■ ビデオ方式 (DVDビデオ規格).....30		
■ ファイナライズ		
ファイナライズ解除.....179		
他のBD/DVD機器再生 (ファイナライズ) ...	179	
■ ファイル共有機能.....170		
■ フォーマット (初期化)	176	
■ 副映像	102	
■ 部分消去	110	
■ プレイリスト		
再生する (番組).....92		

ま 行	ページ
■ マイク	37
■ 毎日・毎週予約	82
設定する	67
毎日・毎週予約で録画した番組の再生 (まとめ番組の再生)	97
■ マイメニュー	174
■ マイラベル	
設定する (予約時)	68
設定する (録画一覧で)	111
■ マスターグレードビデオコーディング	102
■ まとめ番組	97
■ まる録り (チャンネル録画)	49
■ ミモラ	5
■ 無線 LAN	
接続する	233
設定する	242
■ ムーブバック (詳細ダビング)	117、120
■ メール/情報	183
■ モーション操作	36
■ 文字入力	180
■ 持ち出し番組	
SD カードの記録時間の目安	262
SD カードを確認・消去	158
画質を変更する (「持ち出し番組の VGA 画質」)	193
作成する (チャンネル録画番組より)	56
作成する (予約登録時)	155
作成する (録画後)	155
転送する	156

や 行	ページ
■ 野球延長対応 (番組追従)	82
■ 有料放送の視聴・録画について	221
■ 予約確認	80
チャンネル録画番組のワンタッチ保存	57
通常録画番組	80
■ 予約録画	
lrシステムを使って (タイマー予約)	130
重複について	83
番組表を使って	63
予約内容の確認・取り消し・修正	80
録画日時を指定して (時間指定予約)	70

ら 行	ページ
■ リージョンコード / リージョン番号	207
■ リピート再生	103
■ リ・マスター	105
■ リモコン	
各部の働き	27
他機器が同時に動作するのを防ぐ (リモコンモード)	201、202
本機のリモコンでテレビを操作する (リモコンのテレビ操作設定)	239
■ リモコンモード	201、202
■ 録画中に再生する (追っかけ再生/同時録画再生)	90
■ 録画中の同時操作	264
■ 録画モード	86
変換する	112
録画モードを選ぶ	61
■ 録画モードと記録時間の目安	
チャンネル録画	258
通常録画	255
ディスク	261

わ 行	ページ
■ ワンタッチ保存	55

ホームページ

diga.jp

操作方法や困ったときに役立つ
サポート情報を掲載しています。



？
必要
な
と
き

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

お宅の家電情報をまとめて登録管理！エンジョイポイントをためてプレゼントに応募！



<http://club.panasonic.jp/>



<http://mobile.club.panasonic.jp/>



※このサービスは
WEB限定のサービスです。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

パナソニック DIGA(ディーガ)ご相談窓口

電話

365日 受付9時～20時

フリーダイヤル

パナは キュウハチニ



0120-878-982

※携帯電話・PHSからご利用になれます。

■上記番号が
ご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444

Osaka (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。
ご了承ください。

●修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

インターネットでの依頼も可能です。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話

フリー
ダイヤル



0120-878-554

※携帯電話・PHSからご利用になれます。

・上記電話番号がご利用いただけない場合は、
各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

●宅配便による引取・配送サービスも承っております。(保証期間内は無料)

●パナソニックスマートアプリの使いかたなど のご相談は…

パナソニック スマートアプリのご紹介サイト

<http://panasonic.jp/pss/ap/>

パソコン、スマートフォンのどちらからでもご覧になれます。

スマートフォンを使った

タッチアクセス・無線アクセス機能ご相談窓口

365日

受付9時～20時

電話

フリー
ダイヤル



0120-878-832

※携帯電話・PHSからご利用になれます。

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

本機の使用で、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。

This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検

長年ご使用のブルーレイディスクレコーダーの点検を！



こんな症状は
ありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音声がでないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、
電源を切り、コンセント
から電源プラグを抜い
て、必ず販売店に点検を
ご相談ください。

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2015

SQT0764-1
F0315TN1045